トヨタ純正

トヨタ純正
HDDナビゲーション
■型番 *NHZA-W61G*

取扱書

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。



トヨタ自動車株式会社

車載機の操作

GPSボイスナビゲーション

オーディオ&ビジュアル

音声操作システム

情報

周辺モニター

ETC/ITSスポットサービス(DSRC)

ハンズフリーを使う

G-BOOKオンラインサービス

ご参考に

このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- お買い上げの販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

目次

1	車載機の操作	11
2	GPS ボイスナビゲーション	55
3	オーディオ&ビジュアル	219
4	音声操作システム	369
5	情報	389
6	周辺モニター	393
7	ETC システム／ ITS スポットサービス（DSRC）	461
8	ハンズフリーを使う	471
9	G-BOOK オンラインサービス	523
	ご参考に	637

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 1 章の「車載機の操作」には、本機について知っておいていただきたいこと、および各機能共通の操作内容がまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

GPS ボイスナビゲーションについて

GPS ボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

搭載されているソフトウェアについて

当製品には、イーソル株式会社の eCROS^{TM} が搭載されています。

バッテリーの取りはずしについて

本機はエンジンスイッチを OFF（LOCK）にするごとに、各種データをハードディスクに保存しています。各種データの保存が終わる前にバッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本書の中の見方表示について

本書の見方



1 **概要説明**	操作や機能の概要を説明しています。
2 **主要操作**	操作の手順を説明しています。
3 **関連操作**	主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。
4 **知識**	知っておくと便利な情報を記載しています。

本書での表示について

○○○	画面外のスイッチ名称を表示しています。 （ ◭ ・ ♪ など）
【○○○】	画面のスイッチの名称を表示しています。 （**【広域】**・**【詳細】** など）
○○○	画面のタブの名称を表示しています。 （ **ナビ** ・ **オーディオ** など）

警告、注意、知識について

⚠警 告

ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⚠注 意

ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

セーフティーシンボルについて

	“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味を表しています。

その他の表示について

知 識	「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を記載しています。
→ P.000	参照するページを表示しています。
★	オプションです。

本書では、操作を開始する画面を表示するまでのガイドとして、下記のように記載しています。操作開始画面の表示方法がわからないときにご利用ください。

画面外の → **運転支援** →
安全・快適走行設定 →
安全・快適走行設定画面

この場合は、次の操作を意味しています。

1 画面外の にタッチ。

2 画面内の **運転支援** にタッチ。

3 画面内の **［安全・快適走行設定］** にタッチ。

4 安全・快適走行設定画面が表示される。
この画面から、操作を開始する。

1 車載機の操作

1. 車載機について 13
   - 車載機でできること 13
   - 作動条件について 14
   - 各部の名称とおもな働き 15
   - ステアリングスイッチについて 17
   - スライドタッチ操作について 20
   - 電源を入れる・切る 22
2. メディアについて 23
   - メディアについて 23
3. ソフトウェアキーボード 30
   - ソフトウェアキーボードを使う 30
   - ソフトウェアキーボードの設定を変更する 35
4. リスト画面 38
   - リスト画面について 38
5. 画面の調整・設定について 40
   - 画面の調整・設定を変更する 40
6. 車載機の設定について 44
   - 車載機の設定を変更する 44
7. QUICK SETUP（初期設定サポート） 50
   - QUICK SETUPで設定する 50
8. セキュリティ 52
   - セキュリティを設定する 52

2 GPS ボイスナビゲーション

1. ナビをお使いになる前に 59
   - はじめに 59
   - ナビ画面の見方と音声案内 60
2. 地図画面を操作する 63
   - 地図の表示 63
   - 地図表示画面を設定する 74
   - 高速道路・都市高速道路を表示する 87
   - 音声の設定を変更する 90
   - 地図を呼び出す 91
   - 検索した地図を操作する 107
3. 目的地までの案内 110
   - 目的地案内 110
   - 目的地を設定してルートを探索する 111
   - 目的地案内の開始 121
   - 目的地への案内について 122
   - ルート案内中の操作 131
   - ルートを再探索する 132
   - ルートを変更する 134
   - 目的地履歴を消去する 141
4. 地点の登録 142
   - メモリ地点を登録する 142
   - メモリ地点を取り込み・取り出しする 156
5. ナビを使いこなす 159
   - 補正が必要なとき 159
   - ナビの設定状態を記憶する 161
   - ナビ詳細設定一覧 163
   - 安全・快適走行設定一覧 168
   - メンテナンス機能について 169
   - エコ機能 174
   - GPS について 183
   - 知っておいていただきたいこと 185
6. データ情報を確認する 191
   - 地図について 191

7. VICS・交通情報を使う 197
VICS・交通情報の表示について 197
VICS・交通情報を活用する 201
VICS 放送局を選択する 208
VICS の概要について 210
8. 携帯連携 216
携帯連携について 216

3 オーディオ&ビジュアル

1. はじめに 223
基本操作をする 223
2. ラジオを聞く 236
ラジオを操作する 236
3. DVDプレーヤーを操作する 240
音楽CDを聞く 240
MP3/WMAディスクを聞く 243
DVD（DVDビデオ、DVD-VR）を見る 251
知っておいていただきたいこと 266
4. SDメモリーカードについて 271
SDオーディオを操作する 271
5. HDDオーディオについて 275
お使いになる前に 275
HDDオーディオに録音する 279
HDDオーディオを聞く 282
HDDオーディオを編集する 287
6. デジタルテレビを見る 297
地上デジタルテレビの操作について 297
知っておいていただきたいこと 320
7. USBについて 322
はじめに 322
USBメモリを操作する 324
8. iPodについて 329
はじめに 329
iPodを操作する 331
iPodの設定を変更する 336
9. VTR 338
VTRの操作 338
10. Bluetoothオーディオを聞く 341
はじめに 341
Bluetoothオーディオを操作する 345
Bluetoothオーディオの設定を変更する 350
11. 後席ディスプレイ 360
リモコンでの操作 360

4 音声操作システム

1. 音声操作システムを使う前に 370
はじめに 370
各部の名称 371
2. 基本操作について 372
基本操作を覚える 372
3. 代表的な音声操作 374
音声操作の使用例 374
4. 音声認識コマンド一覧 383
音声認識コマンド一覧 383

5 情報

1. 情報について 390
情報・G・BTナビ（情報）について 390
交通ナビ関連情報について 391

6 周辺モニター

1. バックガイドモニター 395
バックガイドモニターとは 395
ガイド画面の出し方 396
ガイド方法の選び方 397
並列駐車のしかた（進路表示モード） 399
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 403
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 405
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 413
バックガイドモニターの設定 415
バックガイドモニターについての注意点 416
2. マルチビューバックガイドモニター 422
マルチビューバックガイドモニターとは 422
カメラの視点切替方法 423
マルチビューバックガイドモニターについての注意点 425
3. バックモニター 429
バックモニターとは 429
操作のしかた 430
バックモニターについての注意点 432
4. ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステム 436
ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムとは 436
操作のしかた 437
ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点 440
5. マルチアングル全周囲モニター 445
マルチアングル全周囲モニターとは 445
フロントモード 446
バックモード 447
回転表示モード 449
マルチアングル全周囲モニターの設定 450
マルチアングル全周囲モニターについての注意点 454

7 ETC システム／ITS スポットサービス（DSRC）

1. ETC システム 462
ETC システムについて 462
ETC 画面の使い方 465
エラーコードについて 468
2. ITSスポットサービス（DSRC） 470
ITSスポット対応DSRCユニットについて 470

8 ハンズフリーを使う

1. お使いになる前に 473
ハンズフリーとは 473
各部の名称について 476
音声について 477
各種表示について 478
お車を手放すとき 480
Bluetooth機器使用上の注意事項 481

2. ハンズフリーの基本操作 482
ハンズフリーの準備をする 482
電話をかける 487
電話を受ける 489
通話中に操作する 490

3. ハンズフリーの便利な使い方 491
色々な方法で電話をかける 491
着信中画面で電話を受ける 498
通話中画面で操作する 499
簡易画面で操作する 501

4. ハンズフリーの設定を変更する 502
設定・編集画面を表示する 502
音の設定を変更する 503
電話帳を編集する 504
ハンズフリーの詳細設定を変更する 513
Bluetoothの設定を変更する 516

9 G-BOOKオンラインサービス

1. はじめに 526
ご利用の前に知っておいていただきたいこと 526

2. G-BOOKとは 531
G-BOOKオンラインサービスとは 531

3. G-BOOKを使うための準備 535
利用手続きをする 535
各種手続きについて 541

4. G-BOOKトップ画面 545
G-BOOKトップ画面 545

5. G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー） 546
G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー） 546

6. よく使う情報を登録する（Myリクエスト） 548
よく使う情報を登録する（Myリクエスト） 548

7. お気に入りのスポットを登録する（Gメモリ地点） 554
Gメモリ地点 554

8. G-BOOKで目的地を探す 556
Gで設定 556
WEB検索 559

9. 地図画面から使う 560
地図画面から使う 560

10. 画面操作の説明 561
ブラウザ 561
G情報マーク 566

11. パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 568
パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 568

12. サービスの使い方 570
ヘルプネット 570
オペレーターサービス 588
マップオンデマンド（差分更新） 592
ドライブプラン 605
G-Security 606
Gルート探索（プローブ情報付） 611
渋滞予測 614
周辺情報 618
ETC割引情報 619
G-駐車場 620
CDタイトル情報取得 622
13. 各種登録・設定 623
G-BOOK詳細設定 623
プライバシー設定 632
契約内容・契約者情報の確認・変更 633
14. こんなメッセージが表示されたときは 634
こんなメッセージが表示されたときは 634

ご参考に

1. 参考情報 638
アフターサービスについて 638
バッテリーの交換について 640
お手入れについて 642
VICS情報有料放送サービス契約約款 643
スピーカー一覧 645
仕様について 647
2. さくいん 652
50音さくいん 652
アルファベットさくいん 670

1

車載機の操作

1 車載機について

1. 車載機でできること 13
   車載機でできること一覧 13
2. 作動条件について 14
   作動条件一覧 14
3. 各部の名称とおもな働き 15
   車載機のスイッチ 15
4. ステアリングスイッチについて 17
   ステアリングスイッチ 17
5. スライドタッチ操作について 20
   スライドタッチ操作について 20
   スライドタッチ操作を設定する 21
6. 電源を入れる・切る 22
   電源を入れる・切る 22

2 メディアについて

1. メディアについて 23
   メディアの出し入れ 23
   使用できるメディアについて 25
   プレーヤーについて 29
   文字情報の表示について 29

3 ソフトウェアキーボード

1. ソフトウェアキーボードを使う 30
   入力画面の各スイッチを使う 30
2. ソフトウェアキーボードの設定を変更する 35
   ソフトウェアキーボードの設定変更について 35
   単語を編集する 35
   定型文を修正する 36
   入力履歴を削除する 37
   予測変換候補の表示設定を変更する 37

4 リスト画面

1. リスト画面について 38
   リスト画面を切り替える 38
   文字の表示範囲を変更する 39

5 画面の調整・設定について

1. 画面の調整・設定を変更する 40
   ディスプレイの角度を調整する 40
   画質調整画面を表示する 40
   画質を調整する 41
   昼画表示・夜画表示について 41
   ライト点灯時に昼画表示にする 42
   ライブコントラストを設定する 42
   画面を消す 42
   画面モードについて 43

6 車載機の設定について

1. 車載機の設定を変更する..... 44
車載機の設定変更について..... 44
タッチしたときの応答音について 44
操作画面継続表示の設定を変更する..... 44
テーマカラーを変更する 45
エアコン切替表示の設定を変更する..... 45
地図表示を切り替える 45
個人情報を初期化する 46
オープニング画面の設定 48

7 QUICK SETUP（初期設定サポート）

1. QUICK SETUPで設定する..... 50
QUICK SETUP の使い方..... 50

8 セキュリティ

1. セキュリティを設定する..... 52
セキュリティの設定..... 52

1. 車載機でできること

車載機でできること一覧

モード	主な機能	記載場所
共通	• QUICK SETUP • セキュリティ	P.13 ～ P.53
GPS ボイス ナビゲーション	• 現在地の表示 • 目的地への案内 • メモリ地点の登録 • メンテナンス機能の設定 • エコ機能 • VICS・交通情報の地図への表示 • 携帯連携	P.55 ～ P.217
情報	• 交通・ナビ関連情報の表示	P.389 ～ P.391
	• ハンズフリー	P.471 ～ P.522
G-BOOK	• G-BOOK オンラインサービス	P.523 ～ P.636
オーディオ& ビジュアル	• AM・FM 放送の受信 • DVD プレーヤーの操作 • SD オーディオの操作 • HDD オーディオの操作 • デジタルテレビ放送の受信 • USB メモリの操作 ★ • iPod の操作 ★ • Bluetooth オーディオの操作 • 後席ディスプレイの操作 ★	P.219 ～ P.367
周辺モニター	• バックガイドモニターの表示 ★ • マルチビューバックガイドモニターの表示 ★ • バックモニターの表示 ★ • ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムの表示 ★ • マルチアングル全周囲モニターの表示 ★	P.393 ～ P.460

★印はオプションです。

2. 作動条件について

作動条件一覧

車載機の各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。

×：操作できません。

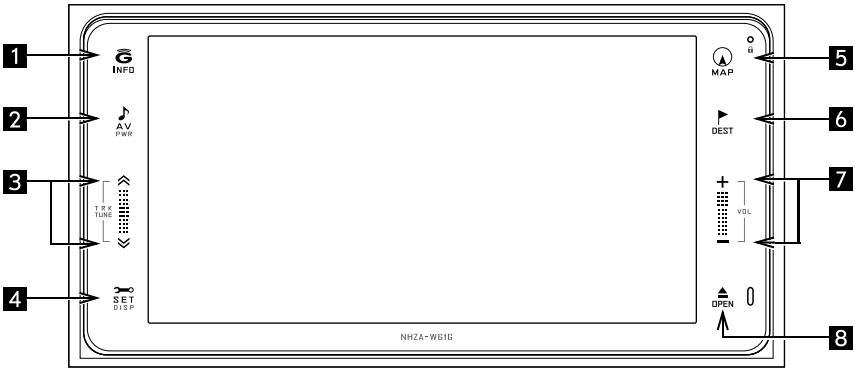
エンジンスイッチ / 機能	OFF（LOCK）	ACC	ON 停車中	ON 走行中	ディスプレイがオープン状態
GPS ボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
デジタルテレビ DVD　ビデオ DVD-VR	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
ハンズフリー	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	○
G-BOOK	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
ディスクおよび SD メモリーカードの出し入れ / ディスプレイの角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません。

知 識

● − 20 ℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、ハードディスクへの書き込みができなくなります。

3. 各部の名称とおもな働き

車載機のスイッチ



名　称		機　能
1	G・INFO スイッチ	情報画面を表示する。(→ P.390) G-BOOK 画面を表示する。(→ P.545) BT ナビ画面を表示する。(→ P.216)
2	オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。(→ P.224) “ピッ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源を ON/OFF する。
3	TRK・TUNE スイッチ	選曲やラジオ・デジタルテレビの放送局を変えるなど。
4	SET・DISP スイッチ	設定・編集画面を表示する。 画質の調整、画面を消すなど。(→ P.41)
5	現在地スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示するなど。 (→ P.63)
6	目的地スイッチ	目的地を設定する。(→ P.111)
7	音量調整スイッチ	音量を調整する。
8	⏏ スイッチ	ディスク・SD メモリーカードを出し入れする。 (→ P.23) ディスプレイの角度調整をする。(→ P.40)

3. 各部の名称とおもな働き

⚠注 意

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知 識

- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- 車載機のタッチパネルは静電容量方式のため、手袋などを着用して操作すると、反応しなくなることがあります。

- 1 つ前の画面に戻すときは、**[⮌]** にタッチします。
  タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

⚠警 告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

⚠注 意

バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

知 識

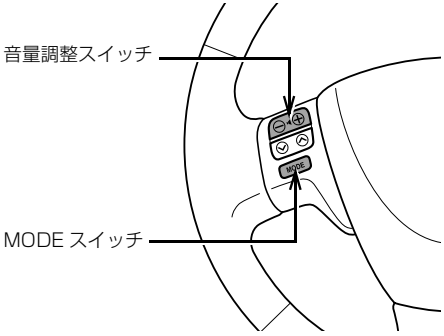
- 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

4. ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ

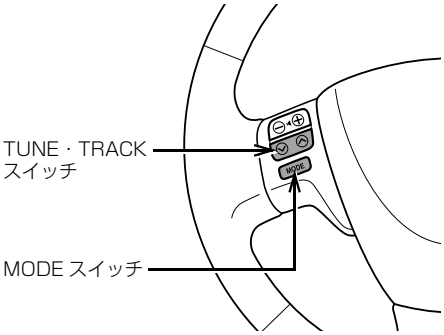
ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで各オーディオや G-BOOK の主要操作をすることができます。

共通操作



スイッチ	機能
音量調整スイッチ	オーディオの音量、ハンズフリー音声の音量（受話音量・着信音量）、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋側を押す。 • 小さくするとき ➡ －側を押す。 • 1 秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。（オーディオ音量のみ）
MODE スイッチ	オーディオ OFF のとき、押すとオーディオが ON になる。

オーディオの操作



■モードの切り替え操作

スイッチ	機能
MODE スイッチ	押すとオーディオのモードが切り替わる。 • 押すごとに、「FM →（DVD プレーヤー）→（HDD オーディオ）→（USB/iPod）→（Bluetooth オーディオ）→（VTR）→デジタルテレビ→（SD オーディオ）→ AM → FM」の順にモードが切り替わります。

知 識

- （ ）内のモードは、次のようなときは選択できません。
  - メディアが挿入されていないとき（DVD プレーヤーモード、SD オーディオモード）
  - 再生するデータがない（収録されていない）とき（HDD オーディオモード）
  - Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤーが登録されていないとき（Bluetooth オーディオモード）
  - iPod 対応 USB/VTR アダプターに機器が接続されていないとき（USB モード、iPod モード）
  - iPod 対応 USB/VTR アダプターが接続されていないとき（VTR モード）

4. ステアリングスイッチについて

■ラジオ・デジタルテレビの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	プリセットスイッチに記憶した放送局を切り替える。 • 次のプリセットスイッチを選択するとき ➡∧側を押す。 • 前のプリセットスイッチを選択するとき ➡∨側を押す。 放送局を自動で選択する。（ラジオのみ）（→ P.237） • 高い（大きい）方へ選択するとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 • 低い（小さい）方へ選択するとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、ミュートをON ／ OFF する。

■音楽 CD の操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 • うしろにあるとき ➡∧側を押す。 • 前にあるとき ➡∨側を押す。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

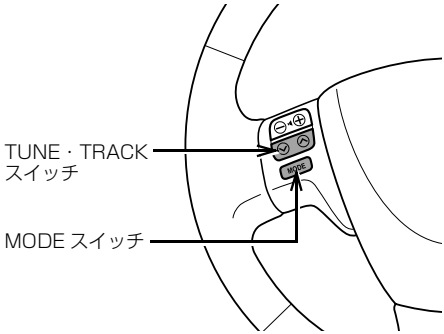
■MP3/WMA ディスク・SD オーディオ・HDD オーディオ・USB メモリ・iPod ミュージック・Bluetooth オーディオの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 • うしろにあるとき ➡∧側を押す。 • 前にあるとき ➡∨側を押す。 フォルダ（アルバム）を選択する。 • うしろにあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 • 前にあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

■DVD・iPod ビデオの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	チャプターやファイルを選択する。 • うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。 • 前にあるとき ➡ ∨側を押す。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

G-BOOK の操作



スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げ開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押してから約 1 秒以内に再度押す。
MODE スイッチ	押すとコンテンツの読み上げを解除する。

5. スライドタッチ操作について

スライドタッチ操作について

車載機では、通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、画面の移動やスクロールをすることができます。

スライドタッチ操作には次の方法があります。

- ドラッグ操作
- フリック操作

● スライドタッチ操作のする/しないを設定することができます。(→ P.21)

ドラッグ操作について

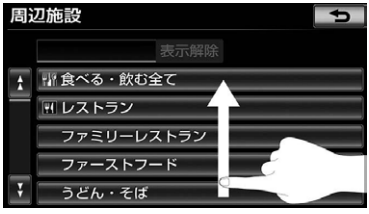
一部の地図画面、リスト画面および目的地設定画面で操作できます。

画面をタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。

▶地図画面



▶リスト画面



▶目的地設定画面



知 識

- 走行中は操作できません。

フリック操作について

一部の地図画面、リスト画面および目的地設定画面で操作できます。

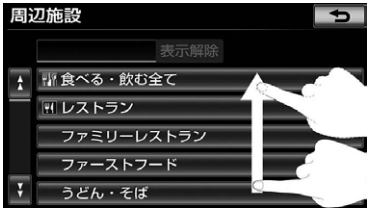
画面をタッチした状態で、軽く指を払うと、払った方向に画面がスクロールします。スクロールする量は、払う速度により変わります。

スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

▶地図画面



▶リスト画面



▶目的地設定画面



知 識

● 走行中は操作できません。

スライドタッチ操作を設定する

スライドタッチ操作のする / しないを設定することができます。

画面外の → **共通設定** → **共通設定画面**

1 **[スライドタッチ操作]** にタッチ。



2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

6. 電源を入れる・切る

電源を入れる・切る

1 車両のエンジンスイッチを ACC または ON にする。

- オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
- 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、車載機の電源が切れます。

1. メディアについて

メディアの出し入れ

車載機では、CD、DVD および SD メモリーカードを使用します。

メディアを入れる

1 画面外の ⏏ にタッチ。

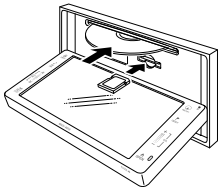
2 **[DISC ▲]** または **[OPEN]** にタッチ。



- ディスプレイが開きます。

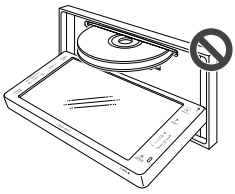
3 メディアを挿入口に差し込む。

- ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。
- ディスクを差し込んだ場合、自動的にディスプレイが閉じます。
- SD メモリーカードは奥まで挿入したことを確認します。
- SD メモリーカードを挿入した場合、**[CLOSE]** にタッチすると、ディスプレイが閉じます。画面外の ⏏ にタッチしてもディスプレイは閉じます。



⚠注 意

- 8cm ディスクを使用するときは、アダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDまたはDVDを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- 挿入口にディスク、または SD メモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- SD メモリーカードは ▶ マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- miniSD カード、microSD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードを差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。（miniSD カード、micro SD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードのみを差し込むと取り出せないことがあります。）

1. メディアについて

⚠注 意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスクまたはSDメモリーカードの差し込み途中に、**[CLOSE]** にタッチ、または画面外の ⏏ にタッチしないでください。

メディアの取り出しかた

1 画面外の ⏏ にタッチ。

2 取り出したいメディアを選択する。

- **[DISC ⏏]**：CDまたはDVDを取り出す
- **[OPEN]**：SD メモリーカードを取り出す



- **[DISC ⏏]** にタッチした場合、ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- SDメモリーカードはカードを軽く押して取り出します。

3 メディアを取り出したあと、**[CLOSE]** にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。画面外の ⏏ にタッチしてもディスプレイは閉じます。

⚠注 意

- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
  - A/T 車はディスクを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。（コラム A/T の場合はP またはN レンジで操作してください。）
  - M/T 車はディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡ ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 本機からディスクまたは SD メモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SD メモリーカードを破損するおそれがあります。

⚠注 意

- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- メディアが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。
- SD メモリーカードの再生中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■ディスプレイ開警告ブザー

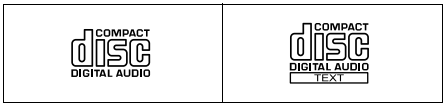
ディスプレイ部を開いたままエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、“ピッピッピッピッピッ”というブザー音でお知らせします。

使用できるメディアについて

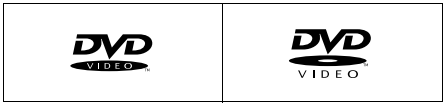
CD、DVD について

以下のマークのついたディスクが使用できます。

■音楽 CD



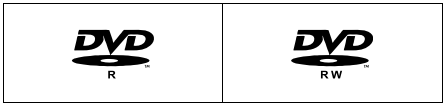
■DVD ビデオ



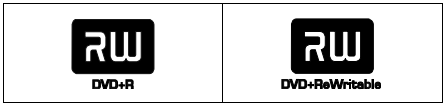
■CD-R/RW



■DVD-R/RW



■DVD+R/RW



- ビデオモード（ビデオフォーマット）およびVR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD ± R/RW の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW の再生にも対応しています。

1. メディアについて

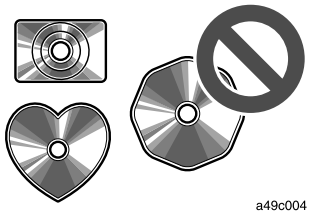
- コピーコントロールCDなどの正式なCD規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD ± R/RWは、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。

⚠注 意

- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチにタッチして、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

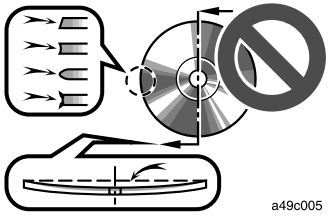
⚠注 意

- 直径12cmまたは8cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



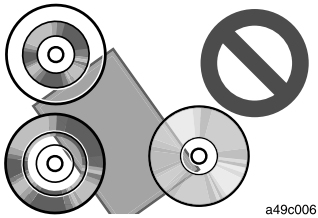
a49c004

- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



a49c005

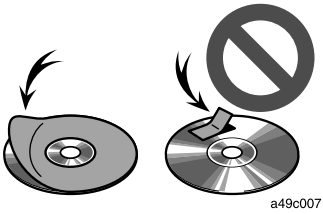
- 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



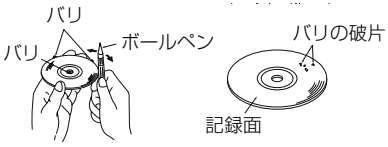
a49c006

⚠注 意

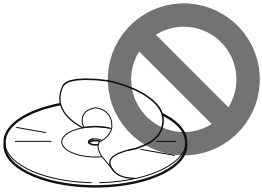
● セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。



● 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となることがあります。



⚠注 意

● 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CD リング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。



SD メモリーカードについて

以下のマークのついた SD メモリーカードが使用できます。

■SD/SDHC

■miniSD/miniSDHC

■microSD/microSDHC

● 32MB～2GBまでのSDメモリーカードおよび 4G ～ 32GB までの SDHC カードに対応しています。

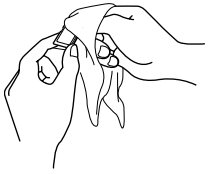
● SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

1. メディアについて

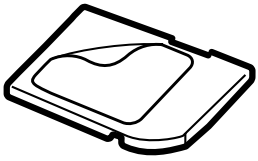
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- SDメモリーカードをフォーマットする場合、次のソフトを使用してください。
  - ・ Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - ・ Panasonic　SD メモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0

⚠注 意

- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある SD メモリーカードは使用しないでください。

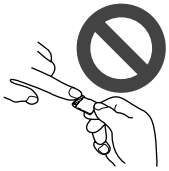


⚠注 意

- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードが使用できなくなることがあります。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- SD メモリーカードの再生中は、SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

1. ソフトウェアキーボードを使う

入力画面の各スイッチを使う

本システムでは、文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ここでは G-BOOK オンラインサービスのソフトウェアキーボードで説明しています。

知 識

● ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

● 各スイッチの働きは、次のようになっています。
・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
・ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。
➡「名称で地図を検索する」（→ P.96）
➡「名称を入力する」（→ P.150）

▶かな・漢字入力時



スイッチ		働　き
1	定型スイッチ	定型入力画面を表示し、定型文を入力する。
2	履歴スイッチ	入力履歴画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
3	カーソル移動スイッチ	カーソルを移動する。 • タッチし続けると、連続してカーソルが移動。 • 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
4	修正スイッチ	文字を消去する。 • カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去。 • カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去。 タッチし続けると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去する。
5	改行スイッチ	改行する。
6	戻るスイッチ	ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了する。
7	スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力する。
8	文字入力スイッチ	各種文字を入力する。
9	完了スイッチ	ソフトウェアキーボードを終了する。 キーボードが表示される前の画面にもどり、文字が入力される。
10	無変換スイッチ	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
11	変換スイッチ	かな入力時、漢字に変換する。
12	入力モード切り替えスイッチ	文字の入力モードを切り替える。 **[かな]**：ひらがな、漢字を入力 **[カナ]**：カタカナを入力 **[英数字]**：アルファベット、数字を入力 **[数記号]**：数字、記号を入力

1. ソフトウェアキーボードを使う

▶カタカナ入力時



▶数字・記号入力時



▶英字・数字入力時



▶定型文入力時／履歴入力時



▶WEB 検索時



スイッチ		働　き
13	全角／半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替える。
14	大文字／小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替える。
15	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。
16	定型文入力スイッチ／ 履歴入力スイッチ	各文字列を入力する。
17	検索エンジンスイッチ	検索エンジンを選択する。
18	エリアスイッチ	検索エリアを指定する。 「 ⓐ 」：現在地を指定 「●」：住所を指定 「G1 ～ G5」：目的地を指定 「なし」：エリア指定なし

1. ソフトウェアキーボードを使う

漢字変換

1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 **［変換］**にタッチ。



3 文字を確定する。

- そのままの状態でよいとき
  ➡ **［全確定］**にタッチ。
- 変換範囲のみ変換するとき
  ➡ 希望の候補を選択しタッチ。
- 変換範囲（文節）が間違っているとき
  ➡ **［<］**または**［>］**にタッチして変換範囲を修正する。

4 変換範囲のみ変換する場合は、確定すると、次の変換範囲に移動する。すべての文字の変換が終わるまで、**3**の操作を繰り返す。

予測変換候補の表示

G-BOOK 詳細設定の予測変換候補表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補を選択する。



予測変換候補

- 表示された候補でよいとき
  ➡ 予測変換候補にタッチ。
- 希望の候補でないとき
  ➡ **［▼］**にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

- 予測変換候補の表示／非表示を切り替えるとき
  ➡「予測変換候補の表示設定を変更する」（→ P.37）

知 識

- 予測変換候補は最大 5 候補まで表示されます。

2. ソフトウェアキーボードの設定を変更する

ソフトウェアキーボードの設定変更について

G-BOOK 詳細設定画面で、メモリ地点の名称登録やEメール作成時などの入力を簡単にする設定ができます。

項　目	ページ
単語の編集	P.35
定型文の修正	P.36
入力履歴の削除	P.37
予測変換候補の表示設定	P.37

単語を編集する

読みと単語を指定して、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語を追加する

1 画面外の にタッチ。

2 G-BOOK にタッチ。

3 **[G-BOOK 詳細設定]** にタッチ。



4 **[単語編集]** にタッチ。

5 **[追加]** にタッチ。

6 **[読み]** および **[単語]** にタッチして、それぞれ入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

7 **[完了]** にタッチ。

単語を修正する

画面外の → G-BOOK →
G-BOOK 詳細設定 →
G-BOOK 詳細設定画面

1 **[単語編集]** にタッチ。

2 **[修正]** にタッチ。

3 修正したい単語の読みにタッチ。



4 **[読み]** または **[単語]** にタッチして修正する。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

5 **[完了]** にタッチ。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。(→ P.36)
- 引き続き単語の修正をするとき
  ➡ **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語を削除する

画面外の → G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 **[単語編集]** にタッチ。

2 **[削除]** にタッチ。

3 削除したい単語の読みにタッチ。



- すべての単語を選択するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。

4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

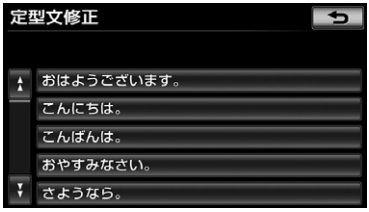
定型文を修正する

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

画面外の → G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 **[定型文修正]** にタッチ。

2 修正したい定型文にタッチ。



3 定型文を修正する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

入力履歴を削除する

不要な入力履歴を削除することができます。

画面外の → G-BOOK →
G-BOOK 詳細設定 →
G-BOOK 詳細設定画面

1 **[入力履歴削除]** にタッチ。

2 削除したい履歴にタッチ。



- すべての履歴を削除するとき
  ➡ **[全削除]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

予測変換候補の表示設定を変更する

ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補（→ P.34）の表示／非表示を選択できます。

画面外の → G-BOOK →
G-BOOK 詳細設定 →
G-BOOK 詳細設定画面

1 **[予測変換候補表示]** にタッチ。



2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

1. リスト画面について

リスト画面を切り替える

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

行の切り替え表示について

1 **[あ行]**、**[か行]**、**[さ行]**、**[た行]**、**[な行]**、**[は行]**、**[ま行]**、**[や行]**、**[ら行]** または **[わ行]** にタッチ。



- 「あ行→か行」というようにリストが動きます。
- 「あ行」の場合、**[あ行]** にタッチするごとに、「あ→い」というようにリストが動きます。

マークの切り替え表示について

1 **[▲マーク]** または **[▼マーク]** にタッチ。



- 次のマークに飛ばして、リストが動きます。

ページの切り替え表示について

1 **[▲]** または **[▼]** にタッチする。

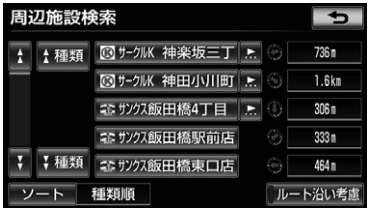


- 1 ページずつリストが動きます。
- **[▲]** または **[▼]** にタッチし続けると、1 項目ずつリストが動き続けます。

- スライドタッチ操作でリストを切り替えることもできます。（→ P.20）

種類の切り替え表示について

1 **[▲種類]** または **[▼種類]** にタッチ。



- 次の種類に飛ばして、リストが動きます。

地域の切り替え表示について

1 **[北海道]**、**[東北]**、**[関東]**、**[中部]**、**[近畿]**、**[中四国]** または **[九州]** にタッチ。



● 地域ごとにリストが動きます。

施設項目の切り替え表示について

1 **[店]**、**[車]**、**[宿泊]**、**[遊び]**、**[公共]**、**[医療]**、**[交通]**、**[文化]** または **[他]** にタッチ。

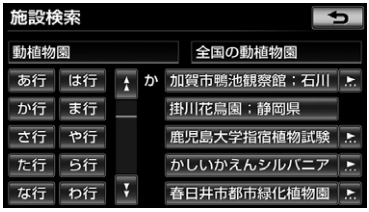


● 施設項目ごとにリストが動きます。

文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 **[▶...]** にタッチ。



● 先頭に戻すとき ➡ **[◀]** にタッチ。

1. 画面の調整・設定を変更する

ディスプレイの角度を調整する

1 画面外の ⏏ にタッチ。

2 **[TILT▼]** または **[TILT▲]** にタッチ。



- **[TILT▼]** …… 斜め下方に傾ける
- **[TILT▲]** …… 傾きを戻す
- タッチするごとに 1 段階（5°）ずつ傾きます。最大 6 段階 30° まで傾けることができます。

知 識

- ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを ACC または ON にした場合、元の傾いた状態に戻ります。

画質調整画面を表示する

画面外のスイッチで表示する

1 画面外の ⊶ に 1 秒以上タッチし続ける。

タッチスイッチで表示する

1 画面外の ⊶ にタッチ。

2 **[画質・消]** にタッチ。

- 画質調整画面（ナビゲーション画面）が表示されます。

- DVD などの映像表示中は、**[各種切替]** → **[画質調整]** の順にタッチしても表示させることができます。

画質調整画面の表示例 （ライト点灯時の昼画表示）

▶ナビゲーション画面



▶DVD 画面



▶カメラ画面



- **[>]** または **[<]** にタッチして、調整したい項目のスイッチを表示させます。
- 画質調整画面を解除するとき
  ➡ **[完了]** にタッチ。

画質を調整する

色合い、色の濃さは、DVD やカメラなどの映像を表示しているときに調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

画面外の (1 秒以上タッチ) →
画質調整画面

または

画面外の → **画質・消** →
画質調整画面

1 **[>]** または **[<]** にタッチし、調整したい項目に切り替える。

2 画質を調整し、**[完了]** にタッチ。

- 画質調整では、次のような項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
色合い	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする

知 識

- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

昼画表示・夜画表示について

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

- ライト消灯時〈昼画表示〉
- ライト点灯時で周囲が暗いとき〈夜画表示〉

昼画表示と夜画表示の画面例

▶昼画表示〈ライト消灯時〉



▶夜画表示〈ライト点灯時〉



1. 画面の調整・設定を変更する

ライト点灯時に昼画表示にする

ライト点灯時に、昼画表示にすることができます。

画面外の (1 秒以上タッチ) →
画質調整画面

または

画面外の → 画質・消 →
画質調整画面

1 夜画表示のとき、**[昼画面]** にタッチ。

- タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知 識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ライト消灯時の画質調整画面には「昼画面」は表示されません。

ライブコントラストを設定する

映像を表示しているときに、映像のコントラストを自動で調整して、暗いシーンや暗い場所の映像を見やすくすることができます。

画面外の (1 秒以上タッチ) →
画質調整画面

または

画面外の → 画質・消 →
画質調整画面

1 **[ライブコントラスト]** にタッチ。

- ライブコントラストが設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

知 識

- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

画面外の (1 秒以上タッチ) →
画質調整画面

または

画面外の → 画質・消 →
画質調整画面

1 **[画面消]** にタッチ。

- 画面を表示させるとき
  ➡ 各モードのスイッチにタッチ。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード（Normal）

たて 3 : よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



ワイド 1 画モード（Wide 1）

たて 3 : よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



ワイド 2 画モード（Wide 2）

たて 3 : よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナルの映像とは見え方に差が出ることをご留意ください。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映　像	ページ
DVD	P.259
デジタルテレビ	P.315
iPod ビデオ	P.337
VTR	P.339

1. 車載機の設定を変更する

車載機の設定変更について

1 画面外の にタッチ。

2 **[共通設定]** にタッチ。



3 各項目の設定をし、**[完了]** にタッチ。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
スライドタッチ操作の設定	P.21
BEEP 音通知の設定	P.44
操作画面継続表示の設定	P.44
テーマカラーの切替	P.45
個人情報の初期化	P.46
エアコン切替表示の設定	P.45
セキュリティの設定	P.52

タッチしたときの応答音について

タッチスイッチにタッチしたときの応答音の出力する／しないを設定できます。

画面外の → 共通設定 →
共通設定画面

1 **[BEEP 音通知]** にタッチ。

2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

操作画面継続表示の設定を変更する

オーディオ操作画面の継続表示のする／しないを設定することができます。

画面外の → 共通設定 →
共通設定画面

1 **[操作画面継続表示]** にタッチ。

2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

- 「しない」に設定すると、約 20 秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。

知 識

- ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面にもどらないことがあります。

テーマカラーを変更する

画面のテーマカラーを変更することができます。

画面外の → 共通設定 →
共通設定画面

1 **[テーマカラー切替]** にタッチ。

2 希望の色にタッチ。

エアコン切替表示の設定を変更する

車両のエアコン機能を操作したときのオンスクリーン画面の表示する／しないを設定することができます。



画面外の → 共通設定 →
共通設定画面

1 **[エアコン切替表示]** にタッチ。

2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

知 識

- 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

地図表示を切り替える

地図画面の右側に拡大地図やオーディオ画面などを表示することができます。

画面外の → ナビ詳細設定 →
地図表示設定 → 地図表示設定 →
地図表示設定画面

1 設定したい地図表示を選択し、**[完了]** にタッチ。

- 地図表示設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
地図 1 画面	P.69
地図 2 画面	P.69
地図&オーディオ	P.71
地図&エコ情報	P.71

- 地図画面の **[表示変更]** からも、地図表示を切り替えることができます。

個人情報を初期化する

車載機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

- 次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項　目	情　報
ソフトウェアキーボード	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目

項　目	情　報
GPS ボイスナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	車両情報の設定
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	ユーザーカスタマイズ
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	音量設定
	ナビ詳細設定一覧の設定
	地図向きの設定
	地図表示モードの設定
	地図表示縮尺の設定
	施設の表示設定
	VICS・交通情報の各種設定
	ETC の各種設定
	安全・快適走行設定一覧の設定
	渋滞増減予測の表示設定※

※ G-BOOK　オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

項　目	情　報
オーディオ&ビジュアル	音量設定
	音質調整の設定
	オーディオモード
	受信するラジオの種類（AM/FM）
	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	ハードディスクに録音している音楽
	手動 Gracenote メディアデータベース更新データ
	メディアデータベースバージョン情報
	Bluetooth オーディオ機器の登録情報
オープニング画面	オープニング画面の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目

項　目	情　報
G-BOOK ※	G-BOOK 画面のオペレーターサービス、情報確認
	G メモリ地点
	G-BOOK.com コンテンツで取得した G 情報マーク
	メインメニューに G-BOOK センターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	G-BOOK 関連の設定・編集項目

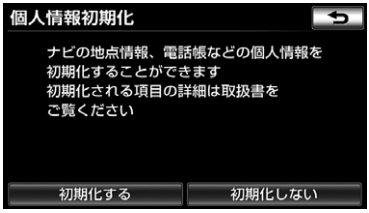
※ G-BOOK　オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

1. 車載機の設定を変更する

画面外の → 共通設定 →
共通設定画面

1 **[個人情報初期化]** にタッチ。

2 **[初期化する]** にタッチ。



3 **[はい]** にタッチ。

知 識

- 一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

オープニング画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

1 画面外の にタッチ。

2 画像設定 にタッチ。

3 **[オープニング画像変更]** にタッチ。

4 **[1]**、**[2]**、**[3]** または **[カスタム]** にタッチ。



- **[カスタム]** は画像が登録してあるときのみタッチできます。

5 **[完了]** にタッチ。

カスタムへの画像の登録

SD メモリーカードに記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。

画面外の → 画像設定 →
オープニング画像変更 →
オープニング画像変更画面

1 SD メモリーカードを車載機に挿入する。(→ P.23)

2 **[カスタムの変更]** にタッチ。



3 設定したい画像を選択し、**[決定]** にタッチ。



- 選択した画像のプレビュー画面を見たいとき
  ➡ **[プレビュー]** にタッチ。



- 次の画像を見たいとき
  ➡ **[➡]** にタッチ。
- 前の画像を見たいとき
  ➡ **[⬅]** にタッチ。

4 **[決定]** にタッチ。

■使用できる画像データについて

使用できる画像データは下記のとおりです。

- 画像容量：4MB
- 最大取り込み可能サイズ：6656　×　3328dot
- ファイル種類：jpg（jpg2000 は対応していません）
- 最大画素数：1000 万画素
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：半角 28 文字
- 最大表示ファイル数：100
- 取り込み対象となる画像データ：ルートディレクトリ（最上位階層）のみ

1. QUICK SETUP で設定する

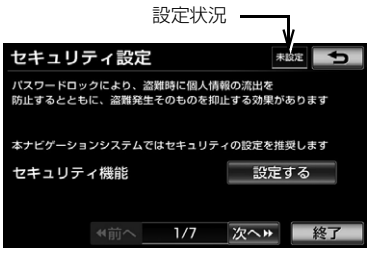
QUICK SETUP の使い方

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

1 **[QUICK SETUP を開始する]** にタッチ。

- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示するとき
  ➡ **[次回起動時に設定する]** にタッチ。
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示しないとき
  ➡ **[設定しない]** にタッチ。
- セキュリティを設定しないと、**[設定しない]** を操作できません。

2 セキュリティを設定する。



- **[設定する]** にタッチすると、パスワードのヒント設定画面が表示されます。（→ P.52）
- 項目により、設定状況が表示されます。

3 **[次へ ⏩]** にタッチ。

4 自宅を登録する。

- **[現在地周辺から登録]** …現在地周辺の地図を表示する
- **[住所から登録]** …住所から登録する（→ P.100）

5 **[セット]** にタッチ。

6 **[次へ ⏩]** にタッチ。

7 案内音量を設定する。（→ P.90）

8 **[次へ ⏩]** にタッチ。

9 車両情報を設定する。（→ P.129）

10 **[次へ ⏩]** にタッチ。

11 エコ機能の燃費を設定する。（→ P.176）

12 **[次へ ⏩]** にタッチ。

13 Bluetooth の設定をする。（→ P.350、P.482）

- G-BOOK 通信設定（→ P.623）は、G-BOOK mX モデルのみ設定が必要です。

14 **[次へ ⏩]** にタッチ。

15 車種情報を設定する。（→ P.232）

16 **[完了]** にタッチ。

17 **[はい]** にタッチ。

知 識

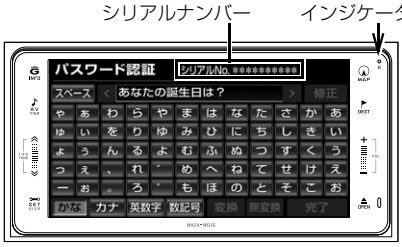
- **[◀◀ 前へ]** にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で画面外のスイッチを押して他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP 画面が再度表示されます。
- 設定の途中で **[終了] → [はい]** の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時には、QUICK SETUP 画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください。（→ P.163）
- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→ P.167）
- セキュリティの設定をしていないと、起動するたびにQUICK SETUP画面が表示されます。

1. セキュリティを設定する

セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリーターミナルをはずした場合、車載機を操作することができません。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点灯させて、盗難を抑止することができます。

また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、車載機と所有者を確認することができます。



セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

知 識

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときに必要です。

1 画面外の にタッチ。

2 **[共通設定]** にタッチ。



3 **[セキュリティ設定]** にタッチ。

4 セキュリティ機能の **[設定]** にタッチ。

- パスワードを登録している場合、**[設定]** → **[はい]** の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。
- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、車載機と所有者を確認することができます。

5 **[マルチワードで設定]** または **[固定文より設定]** にタッチ。

- **[マルチワードで設定]** …パスワードのヒントを任意に入力する
- **[固定文より設定]** …パスワードのヒントを 5 つの中から選ぶ

6 パスワードのヒントを登録する。

- 手順 **5** で **[マルチワードで設定]** にタッチした場合
  ➡ ヒントを入力する。（→ P.30）
- 手順 **5** で **[固定文より設定]** にタッチした場合
  ➡ ヒントにタッチする。

7 パスワードを入力する。（→ P.30）

8 **[完了]** にタッチ。

セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリーターミナルをはずして車載機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。(→ P.30)



- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、車載機と所有者を確認することができます。

2 **[了解]** にタッチ。

知 識

- パスワードを忘れた場合、販売店にご相談ください。

作動インジケータを点滅させる

エンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

知 識

- 作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します。(→ P.52)

画面外の → 共通設定 → セキュリティ設定 → セキュリティ画面

1 インジケータの **[ON]** にタッチ。

- **[OFF]** にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを停止する

画面外の → 共通設定 → セキュリティ設定 → セキュリティ画面

1 セキュリティ機能の **[解除]** にタッチ。

2 **[はい]** にタッチ。

3 パスワードを入力する。(→ P.30)

MEMO

2

GPS ボイスナビゲーション

1 ナビをお使いになる前に

1. はじめに 59
知っておいていただきたいこと 59

2. ナビ画面の見方と音声案内 60
GPS ボイスナビゲーションとは 60
目的地案内中の現在地画面の見方 60
音声案内について 62

2 地図画面を操作する

1. 地図の表示 63
現在地を表示する 63
スイッチの表示について 64
地図を動かす（スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロール） 65
地図縮尺を切り替える 66
地図の向きを切り替える 67
地図の文字サイズの設定を変える 68
画面を左右 2 分割して表示する（2 画面表示) 69
画面を左右 2 分割して表示する（地図 / オーディオ） 71
画面を左右 2 分割して表示する（地図 / エコ情報） 71
地図の表示色の設定を変える 72
自車マークを切り替える 72
市街図を表示する 72

2. 地図表示画面を設定する 74
地図上に施設記号を表示する 74
施設記号の表示を消去する 75
近くの施設を検索する 75
走行中に呼び出すジャンルの設定を変更する 77
実際と同じ道幅で表示する（ビジュアルシティマップ） 77
立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク） 77
一時停止交差点を案内する 78
道路形状を案内する 79
事故多発地点を案内する 80
逆走注意案内をする 81
学校の周辺であることを案内する 82
ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内 82
季節規制区間を表示する 84
走行した経路を表示する（走行軌跡） 84
季節名所を表示する (シーズンレジャーランドマーク) 85
県境案内を表示する 86
ご当地グルメ施設を案内する 86
画面切り替え時に動画表現をする 86

3. 高速道路・都市高速道路を表示する 87
ハイウェイモードについて 87
高速分岐案内を表示する 89

4. 音声の設定を変更する..... 90
音量設定を変更する 90
ハートフル音声を発声する..... 90

5. 地図を呼び出す 91
地図を検索する 91
名称で地図を検索する 96
住所で地図を検索する 100
施設で地図を検索する 100
電話番号で地図を検索する..... 101
コンテンツデータから地図を検索する..... 102
ジャンルで地図を検索する..... 104
マップコードで地図を検索する..... 105
携帯電話で地図を検索する..... 105
履歴で地図を検索する 106

6. 検索した地図を操作する..... 107
ピンポイント検索について..... 107
地図の位置を変更する 107
施設の内容を表示する 107
提携駐車場を検索する 108
住所で絞り込む..... 108

3 目的地までの案内

1. 目的地案内..... 110
目的地案内について 110

2. 目的地を設定してルートを探索する 111
目的地の設定について 111
自宅を目的地に設定する 113
ルート探索について 113
ルート学習について 114
ルート検索後の全ルート図表示について..... 115

3. 目的地案内の開始 121
目的地案内を開始する..... 121
目的地案内を中止する..... 121

4. 目的地への案内について..... 122
音声案内について 122
交差点案内について..... 124
到着予想時刻を表示する..... 128
車両情報の設定をする..... 129
フェリー航路の案内について 130

5. ルート案内中の操作 131
全ルート図を表示する..... 131
到着予想時刻・残距離表示を切り替える 131

6. ルートを再探索する 132
ルートを自動で再探索する 132
ルートの再探索方法を選ぶ..... 132

7. ルートを変更する 134
ルート変更画面を表示する 134
探索条件を変更する..... 134
目的地を追加する 135
目的地への順番を並び替える 135
目的地を消去する 136
出入口 IC（インターチェンジ）を指定する 137
通過する道路を指定する..... 138

8. 目的地履歴を消去する..... 141
目的地履歴を消去する..... 141

4 地点の登録

1. メモリ地点を登録する 142
地点の登録について 142
地点編集画面について 142
自宅を登録する 143
自宅を修正する 143
自宅を消去する 144
特別メモリを登録する 144
特別メモリを修正する 144
特別メモリを消去する 145
メモリ地点を登録する 145
メモリ地点を修正する 146
メモリ地点を消去する 146
迂回メモリを登録する 147
迂回メモリを修正する 147
迂回メモリを消去する 148
登録地点の情報を修正する 149
グループで絞り込む 153

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする 156
メモリ地点の取り込みと取り出しについて 156
パスワードの設定 156
メモリ地点の取り込み 157
メモリ地点の取り出し 158

5 ナビを使いこなす

1. 補正が必要なとき 159
補正について 159
現在地を修正する 159
距離を補正する 159

2. ナビの設定状態を記憶する 161
記憶しておくことができるナビの設定項目について 161
記憶を呼び出して使う 162
設定した名称を変更する 162
各種ナビ設定の記憶を消去する 162

3. ナビ詳細設定一覧 163
ナビの詳細を設定する 163
地図表示設定をする 163
自動表示切替設定をする 164
案内表示設定をする 164
音声設定をする 165
ルート系設定をする 166
その他の設定をする 167

4. 安全・快適走行設定一覧 168
安全・快適走行の設定をする 168

5. メンテナンス機能について 169
メンテナンス機能とは 169
メンテナンスの項目を設定する 169
メンテナンスの設定を変更する 171
販売店の設定をする 172

6. エコ機能 174
エコ機能について 174
燃費の計算 174
ルート案内時の燃費設定 176
エコ情報の表示 177
エコトライアル機能を使用する 179
エコドライブインフォメーションの設定 181
エネルギーモニターの表示 182

7. GPS について 183
GPS とは 183
GPS 情報を利用できないとき 184
システムの特性上、避けられないズレ 184

8. 知っておいていただきたいこと 185
こんなメッセージが表示されたとき 185
故障とお考えになる前に 187
ナビの精度について 188

6 データ情報を確認する

1. 地図について 191
地図データについて 191
地図データの更新について 191
地図データの情報を見る 192
地図データベースについて 193
地図のスケール表示について 194
地図記号・表示について 194

7 VICS・交通情報を使う

1. VICS・交通情報の表示について 197
VICS・交通情報を表示する 197
タイムスタンプについて 198
VICS 記号の内容を表示する 199
VICS・交通情報の表示設定 199

2. VICS・交通情報を活用する 201
渋滞・規制音声案内について 201
VICS 図形情報・文字情報を表示する 202
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する 202
割込情報の表示設定を変更する 205
渋滞を考慮して探索する 206
新旧ルートを比較して表示する 207

3. VICS 放送局を選択する 208
放送局を選択する 208
自動で放送局を選択する 208
手動で放送局を選択する 209

4. VICS の概要について 210
VICS について 210
VICS の用語について 210
VICS センター著作権について 211
VICS について問い合わせをする 211
VICS 記号・表示について 215

8 携帯連携

1. 携帯連携について 216
携帯連携とは 216
情報を携帯電話へ送信する 216
情報を車載機へ送信する 217

1. はじめに

知っておいていただきたいこと

走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。

安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。

目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。

・必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。

道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。

タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→ P.159）

・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

自車マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。

・このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。

・人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マークがずれることがあります。

ただし、地図の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→ P.188）

※マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車マークを表示させるシステムです。

2. ナビ画面の見方と音声案内

GPS ボイスナビゲーションとは

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

目的地案内中の現在地画面の見方



表 示		機 能
1	方位マーク	地図の方角を表示する。 ：ノースアップ時 ：ヘディングアップ時 ：3D 時 • 地図向きの切り替えについて ➡「地図の向きを切り替える」（→ P.67）
2	自車マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。
3	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） • 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示。
4	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） • 通過・分岐する交差点の名称 • 走行している道路の名称 • 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ） • 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

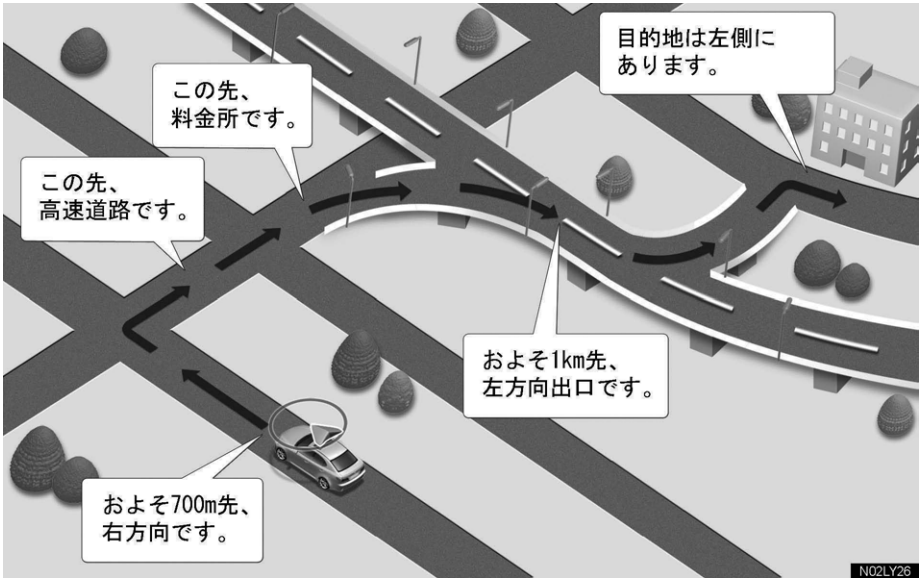
表示		機能
5	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 (→ P.118)
6	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。 (→ P.124)
7	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 • 詳しくは、「地図縮尺を切り替える」(→ P.66)・「地図のスケール表示について」(→ P.194) をご覧ください。
8	GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。(→ P.183)
9	VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。(→ P.198)
10	到着予想時刻表示／ 目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示 目的地への到着予想時刻を表示する。(→ P.128) • 到着予想時刻表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」(→ P.131) ■目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。
11	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 • 表示されているルートを通っての距離を表示する。 (ルートからはずれたときは、直線距離を表示する。) • 残距離表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」(→ P.131)

知識

● 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク・VICS タイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。

音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。
(→ P.122)



1. 地図の表示

現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。



現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 画面外の ◭ にタッチ。

- 現在地画面で、画面外の ◭ にタッチすると、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



知識

- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。（→ P.118）
- 初めて車載機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク◭が表示されている（自車マーク◭がずれている）ことがあります。
  ただし、地図の自車マーク◭がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
- GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.159）
- 以下のとき路線名・路線番号は表示されません。
  - 地図データに情報がないとき
  - 200m 図より広域な地図を表示しているとき

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。



現在地の地図表示中

1 画面外の [A] にタッチ。

2 **[座標]** にタッチ。



- 現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

知 識

- 緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

スイッチの表示について

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



1 **[◀◀ Off]** にタッチ。



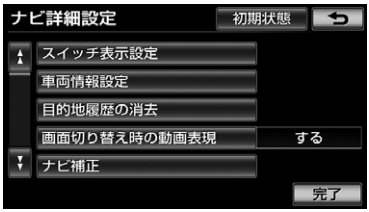
- **[◀◀ Off]** のときに表示するスイッチ類を設定するとき
  ➡「スイッチ表示設定を変える」(→ P.64)
- スイッチ類を表示するとき
  ➡ **[▶▶ On]** にタッチ。

スイッチ表示設定を変える

[◀◀ Off] にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定をすることができます。

画面外の [⚙] → **[ナビ詳細設定]** → **[その他]** → **ナビ詳細設定画面**

1 **[スイッチ表示設定]** にタッチ。



2 表示設定を変更したいスイッチにタッチし、**[完了]** にタッチ。

- 文字または記号が灰色になっているスイッチは **[◀◀ Off]** にタッチしたとき表示されません。
- 初期設定の状態にもどすとき
  ➡ **[初期状態]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。(**1** の画面)

地図を動かす（スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロール）

スライドタッチスクロールで地図を動かす

フリックおよびドラッグ操作で地図を動かすことができます。

● スライドタッチ操作のする/しないを設定することができます。（→ P.21）

1 地図上にタッチし、ドラッグまたはフリック操作をする。（→ P.20）



● ドラッグ操作のときは、指の動きに合わせて地図が動きます。
● フリック操作をしたときは、指を払った方向に地図がスクロールします。
  ・スクロールする量は、払う速度により変化します。
  ・スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

知 識

● 次のときは、スライドタッチスクロールができません。
  ・走行中
  ・３Ｄ地図を表示しているとき

ワンタッチスクロールで地図を動かす

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。



1 地図上にタッチ。

● スライドタッチ操作を「しない」に設定（→ P.21）したときは、タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⊕が黄色になります。）
● 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

知 識

● 走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→ P.72）を表示しているときは、地図を移動することはできません。
● ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、画面外の ◭ にタッチし現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
● 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→ P.67）ができないことがあります。

地図スクロール時の地名表示について

地図を移動しているとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。



知 識

- 地図の移動をやめると、約6 秒後自動的に消去されます。
- 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - 地図データに情報のないとき
  - 200m 図より広域な地図を表示しているとき

地図縮尺を切り替える

地図を1/2048 万図～1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

[広域]：地図の範囲を広くする
[詳細]：地図の範囲を狭くする



スケールバー

- 13 段階に切り替えることができます。（→ P.194）
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- **[広域]** または **[詳細]** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- **[広域]** または **[詳細]** を約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

知 識

- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

縮尺切替メッセージの表示について

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。



● 縮尺切替メッセージの表示／非表示を設定できます。（→ P.164）

知識

● 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
- 『施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません』
- 『施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません』
- 『VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません』
- 『市街図を表示します』

地図の向きを切り替える

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

▶ノースアップ表示 

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示する。



▶ヘディングアップ表示 

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示する。



▶3D 表示 

立体的な地図を表示する。



1. 地図の表示

1 、 または にタッチ。

● タッチするごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示が切り替わります。

知 識

● ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または3D表示に復帰します。

● 3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

見下ろす角度を調整する

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[3D 地図表示設定]** にタッチ。

2 **[ ]** または **[ ]** にタッチ。

[ ]：角度を上げる

[ ]：角度を下げる



3 調整が終わったら、**[セット]** にタッチ。

3D 表示の地図を回転する

1 地図上にタッチ。

2 地図を回転する。

[ ]：時計まわり

[ ]：反時計まわり



知 識

● 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

地図の文字サイズの設定を変える

地図上に表示される地名などの文字サイズを変更することができます。

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[地図の文字サイズ変更]** にタッチ。



2 **[大]**、**[中]** または **[小]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

画面を左右 2 分割して表示する (2 画面表示)

画面を左右に 2 分割して表示させることができます。



1 **[表示変更]** にタッチ。

2 **[地図表示]** にタッチ。



3 **[地図 2 画面]** にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ **[地図 1 画面]** にタッチ。

知識

- 左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 2 画面表示にさせているときは、左画面のみスライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。
- 一度 2 画面表示を解除し、再度 2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

右画面を地図画面から設定する

1 右画面の地図上にタッチ。

2 右画面の設定をする。



作動表示灯

右画面を設定・編集画面から設定する

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[右画面設定]** にタッチ。



2 右画面の設定をし、**[完了]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。(**1** の画面)

■右画面設定画面から設定を変更する

- 地図縮尺の切り替え（→ P.66）
  ➡ **[詳細]** または **[広域]** にタッチ。
- 地図向きの切り替え（→ P.67）
  ➡ 、 または にタッチ。
  ・2 画面表示画面でも、切り替えることができます。
- 施設の表示（→ P.74）

左画面に施設の記号を表示させているとき、右画面でも施設の記号を表示させることができます。

➡ **[周辺施設表示]** にタッチ。
・施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

- VICS・交通情報の表示（→ P.197）

左画面に VICS・交通情報を表示させているとき、右画面でも VICS・交通情報を表示させることができます。

➡ **[VICS 表示]** にタッチ。
・VICS・交通情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

- 施設の表示、VICS・交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

画面を左右２分割して表示する（地図 / オーディオ）

地図画面の右側にオーディオ画面を表示させることができます。



1 **[表示変更]** にタッチ。

2 **[地図表示]** にタッチ。

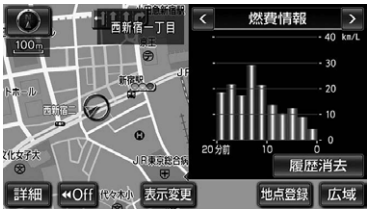


3 **[地図＆オーディオ]** にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ **[地図 1 画面]** にタッチ。
- 右画面には、放送局情報や、楽曲情報が表示されます。オーディオ操作については、3 章オーディオ＆ビジュアルをご覧ください。

画面を左右２分割して表示する（地図 / エコ情報）

地図画面の右側にエコ情報画面を表示させることができます。



1 **[表示変更]** にタッチ。

2 **[地図表示]** にタッチ。



3 **[地図＆エコ情報]** にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ **[地図 1 画面]** にタッチ。
- 右画面の **[>]** または **[<]** にタッチすると、エコ運転評価・燃費情報・エコトライアルに表示を切り替えることができます。

知 識

- エコトライアル機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

地図の表示色の設定を変える

地図色を切り替える（5 種類）ことができます。

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[地図色設定]** にタッチ。

2 希望の地図色にタッチし、**[完了]** にタッチ。



自車マークを切り替える

地図上に表示される自車マークを切り替える（5 種類）ことができます。

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[自車マーク変更]** にタッチ。

2 表示するマークを選択し、**[完了]** にタッチ。



市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。



1/5 千図表示中（→ P.66）

1 **[市街図]** にタッチ。



- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
  [広域] または **[詳細]** にタッチして切り替えます。

知 識

- 市街図のデータがある地域のみ、1/5 千図を表示すると、「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）
- 1/2500　市街図にすると（一方通行）を表示します。

市街図の表示を解除する

1 1/5 千市街図表示中、**[広域]**にタッチ。

施設の内容を表示する

1 **[施設]** にタッチ。



2 にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、**[施設情報]** にタッチ。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に 1 つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

3 施設名称にタッチ。

知 識

- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

2. 地図表示画面を設定する

地図上に施設記号を表示する

地図上に施設の記号を表示させることができます。



知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 表示することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

地図画面から施設記号を表示する

1 **[表示変更]** にタッチ。

2 **[周辺施設]** にタッチ。



3 施設のジャンルにタッチ。

- 5つまで選択することができます。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡ **[全ジャンル]** にタッチ。
- **[全ジャンル]** にタッチしたとき
  ➡ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 表示を解除するとき
  ➡ **[表示解除]** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

知 識

- **[G 情報マーク表示]** は、G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。
  （→ P.566）

設定・編集画面から施設記号を表示する

画面外の → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[周辺施設表示]** にタッチ。



2 施設のジャンルを選択し、**[完了]** にタッチ。

- 施設のジャンルの選択方法は、「地図画面から施設記号を表示する」（→ P.74）の手順 **3** と同様です。

3 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

施設記号の表示を消去する

周辺施設画面（→ P.74）または周辺施設表示設定画面（→ P.75）

個別に消去する

1 選択済みの施設のジャンルにタッチ。

すべて消去する

1 **[表示解除]** にタッチ。

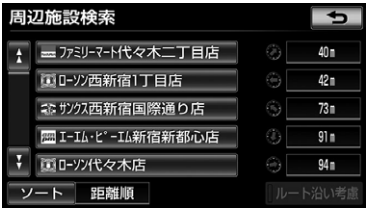
近くの施設を検索する

地図上に施設の記号を表示させているときに、▲または⊕の位置の近くにある施設の名称と▲または⊕からの直線距離・方向を表示させることができます。

地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 周辺施設画面

1 **[施設検索]** にタッチ。

2 施設名称にタッチ。



- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
  - スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

2. 地図表示画面を設定する

3 **[情報]** にタッチ。

- 施設の内容が表示されます。(→ P.107)
- **[ソート]** にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	ⓐまたは⊕から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

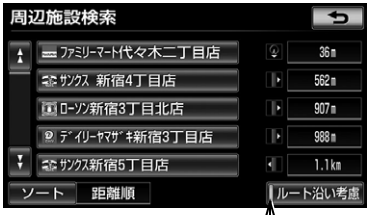
- 検索することができる施設は、ⓐまたは⊕から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにすることができます。

地図表示中 → **表示変更** → **周辺施設** → **施設検索** → 周辺施設検索画面

1 **[ルート沿い考慮]** にタッチ。



作動表示灯

- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。
- ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

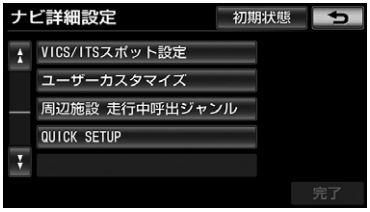
- 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
- 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

走行中に呼び出すジャンルの設定を変更する

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 **[周辺施設 走行中呼出ジャンル]** にタッチ。



2 変更したい施設のジャンルにタッチ。

- 初期設定の状態にもどすとき
  ➡ **[初期状態]** にタッチ。

3 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンルにタッチして、さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

4 **[完了]** にタッチ。

5 **[完了]** にタッチ。(**1** の画面)

実際と同じ道幅で表示する（ビジュアルシティマップ）

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。



- ビジュアルシティマップ表示のする／しないを設定できます。(→ P.163)

立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク）

地図上に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。



- 立体ランドマーク表示のする／しないを設定できます。(→ P.163)

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)

2. 地図表示画面を設定する

立体ランドマークの施設情報を表示する

1 立体ランドマークにタッチ。

- 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **[情報]** にタッチ。



- 施設の内容が表示されます。（→ P.107）

一時停止交差点を案内する

一時停止交差点に近づくと、地図右上に が表示され、音声案内されます。



- 一時停止案内のする／しないを設定できます。（→ P.168）

⚠警告

一時停止案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、熊本市、鹿児島市など）における片側 2 車線以上の道路に進入する道路以外※

    ※2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

道路形状を案内する

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の道路形状案内地点に近づくと、地図右上に案内マークが表示され、音声案内されます。踏切案内マークは地図上にも表示されます。

※ 都市高速道路走行中のみ案内されます。

- 道路形状案内が設定できます。（→ P.168）

道路形状案内マークについて

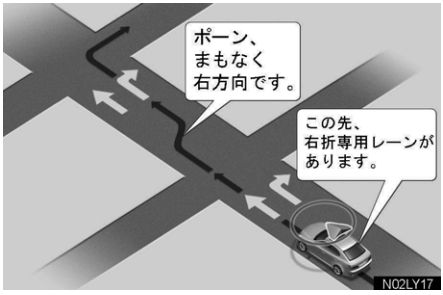


形　状		案内マーク
踏切		
合流道路		
急カーブ		
レーン	レーン数減少	
	右折・左折専用	なし

右折・左折専用レーン案内の例

- 直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。
- 目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折･左折専用レーン案内はされません。
  ･（この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。）





⚠警告

道路形状案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

2. 地図表示画面を設定する

知 識

- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
  - ・ 目的地案内開始直後
  - ・ 再探索直後
  - ・ 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

事故多発地点を案内する

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

- 事故多発地点案内のする／しないを設定できます。（→ P.168）

一般道路上での案内マークについて

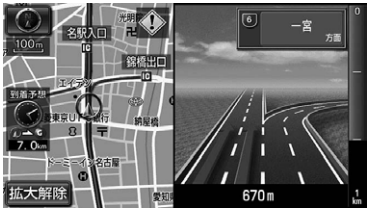
交通事故が多発している地点に、◆が表示されます。



- 1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

高速道路上での案内マークについて

交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に◆が表示され、音声案内されます。



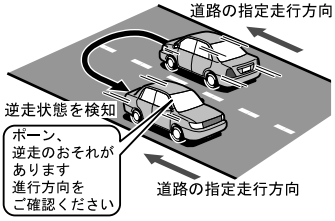
⚠警 告

事故多発地点案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

逆走注意案内をする

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で案内を行うことができます。





- 逆走を検知した場合、「ポーン、逆走の恐れがあります。進行方向をご確認ください。」と音声案内されます。

※ サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。

- 逆走注意案内のする/しないを設定できます。（→ P.168）

⚠警告

逆走注意案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
  - サービス対象道路以外を走行している場合
  - 「本線、または本線に繋がる区間での U ターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
  - ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサが故障している場合
  - ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
  - 地図データに情報のない道路を走行している場合
  - 急激な回転をした場合
  - 自車位置補正、方位補正が行われた直後
  - 地図更新が行われた直後
  - 料金所付近を走行している場合
  - 本線への合流区間が短い場合
  - スマート IC 付き SA・PA、その他特定の SA・PA である場合
- 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
  - 地図データに情報のない道路を走行しているときに U ターン動作をした場合
  - 自車位置マーク の位置が正しくない場合
  - 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
  - SA・PA 内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）
  - 重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

2. 地図表示画面を設定する

学校の周辺であることを案内する

学校に近づくと、地図右上に が表示され、音声案内されます。



● 学校存在案内のする／しないを設定できます。（→ P.168）

案内できる学校について

全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校。

※ 専有校舎物件のみ。

⚠警告

学校存在案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

● 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
- 地図データに情報のない地点
- 土曜日、日曜日
- 午後 7 時～午前 7 時
- 自宅登録時の自宅周辺
- 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中

● 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
- 案内表示中に別の学校に近づいたとき
- 他のナビ音声案内などと重なるとき

ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内

見通しの悪いカーブ先の渋滞や合流車の接近等を、高速道路等に設置された ITS スポットサービス（DSRC）路側無線装置から受信して、音声と画面で案内させることができます。

● ITSスポット安全運転支援案内のする／しないを設定することができます。（→ P.168）

➡ ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内は、ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着しているときに行われます。ITS スポット対応 DSRC ユニットについては、ITS スポット対応 DSRC ユニットに同梱の取扱書をご覧ください。

代表例として、以下のような情報が提供されます。

合流支援情報提供について

合流してくる車両の存在を、合流部の手前で音声や画面表示で案内します。



ポーン 左から合流車、注意

前方障害物情報提供について

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの進入前に音声や画面表示で案内します。



ポーン この先渋滞、追突注意

⚠警告

ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

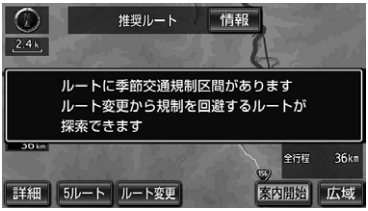
知識

- 以下のようなときは、ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内が行われない場合があります。
  - アンテナ付近に障害物があるとき
  - 大型車と並んで走行しているとき
  - 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
  - 低速度で走行しているとき
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - ITS スポットサービス（DSRC）路側無線装置が稼動していないとき
- 表示させている画面により、画面表示がされないことがあります。
- 音声や画面表示は実際の ITS スポットサービス（DSRC）路側無線装置から提供されるものと異なることがあります。
- ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内（合流支援情報提供および前方障害物情報提供等）の表示時間は調整することができません。
- ITS スポットサービス（DSRC）安全運転支援案内（合流支援情報提供および前方障害物情報提供等）情報については、「VICS について問い合わせをする」（→ P.211）をご覧ください。

2. 地図表示画面を設定する

季節規制区間を表示する

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが ▬▬ （橙色）で表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



- 季節規制メッセージ表示のする／しないを設定できます。（→ P.166）
- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
  ➡「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→ P.140）

知 識

- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



走行軌跡

地図表示中 → 表示変更 **→**
表示変更画面

1 **［走行軌跡表示］**にタッチ。



知 識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500 図 ～1/512 万図で表示することができます。

走行軌跡を消去する

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 **[走行軌跡解除]** にタッチ。



2 **[はい]** にタッチ。

知 識

- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

季節名所を表示する（シーズンレジャーランドマーク）

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。



内　容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

- シーズンレジャーランドマーク表示のする／しないを設定できます。（→ P.164）

知 識

- 地図データに情報のない名所は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

2. 地図表示画面を設定する

県境案内を表示する

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークが表示され、音声案内されます。



● 県境案内のする／しないを設定できます。（→ P.164）

知 識

● 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

ご当地グルメ施設を案内する

ご当地グルメ施設に近づくと、画面表示と音声で案内させることができます。



● ご当地グルメ近接案内のする／しないを設定できます。（→ P.164）

知 識

● コンテンツデータ（→ P.102）に情報のない施設では、ご当地グルメ近接案内は行われません。

画面切り替え時に動画表現をする

画面の切り替わるスイッチにタッチしたときや、画面外の にタッチしたとき、アニメーションのように表現されて画面を表示することができます。

● 画面切り替え時の動画表現のする／しないを設定できます。（→ P.167）

知 識

● 動画表現することのできない画面もあります。

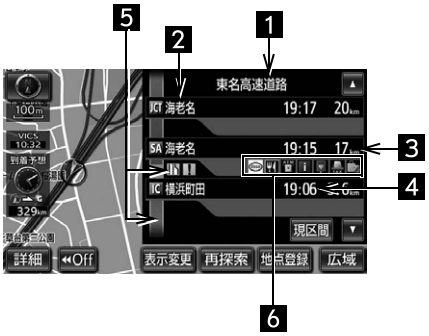
3. 高速道路・都市高速道路を表示する

ハイウェイモードについて

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速や有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

1 **[▲]**、**[▼]**または施設名称（IC・SA・PA）にタッチ。



- 選ばれる施設が切り替わります。
- 施設を選んだとき、**[現区間]**にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

表示		機能
1	道路名称表示	最寄りまたは選んだ施設の道路の名称を表示。
2	施設名称表示	施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
3	距離表示	現在地からの距離を表示。
4	通過予想時刻表示	通過予想時刻を表示。
5	VICS 記号・表示（→P.215）	VICS・交通情報を受信したとき表示。 •「VICS・交通情報の表示設定」（→ P.199）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
6	設備マーク表示	施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。 • ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 • 6 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

3. 高速道路・都市高速道路を表示する

記号	内容
ー※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
IC	スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）

※固有のロゴマークが表示されます。

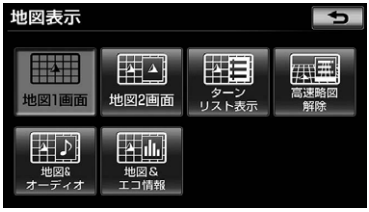
知 識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.128）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.89）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

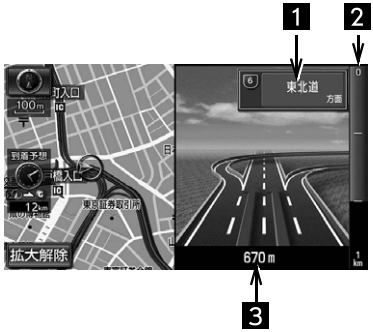
1 **［高速略図解除］**にタッチ。



- ハイウェイモードにもどすとき
  ➡ **［高速略図表示］**にタッチ。

高速分岐案内を表示する

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。



表示		機能
1	分岐点名称表示	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2	残距離表示	分岐点までの距離を表示。（分岐点に近づくとともに ■ が短くなります。）
3	残距離デジタル表示	分岐点までの距離が数字で表示されます。

知識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 以下のようなときは、高速分岐案内が行われない場合があります。
  - 目的地案内開始直後
  - 目的地周辺
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

高速分岐案内画面を解除する

1 **［拡大解除］**にタッチ。

- 高速分岐案内画面にもどすとき
  ➡ 画面外の ◮ にタッチ。

4. 音声の設定を変更する

音量設定を変更する

1 画面外の にタッチ。

2 **[音量設定]** にタッチ。



3 設定したい音量にタッチし、**[完了]** にタッチ。

● 音声を OFF にするとき
➡ **[消音]** にタッチ。

高速時、自動的に音量を大きくする

車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。(車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)

画面外の → 音量設定 → 音量設定画面

1 **[高速時の自動音量切替]** にタッチ。

2 **[完了]** にタッチ。

● 自動で 1 段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。

ハートフル音声を発声する

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力させることができます。

ハートフル音声の例

▶自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」

▶ナビゲーション画面が表示されるとき
「今日は○月○日○曜日です」

● ハートフル音声のする／しないを設定できます。(→ P.165)

知 識

● 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

5. 地図を呼び出す

地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

- 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。呼び出し方法の特徴については、表（→ P.92）をご覧ください。

目的地の設定のとき

画面外の ▶ → 目的地画面（→ P.111）



その他の方法 ≫ ≪ 戻る



目的地の追加のとき

ルート変更画面（→ P.134）→ 目的地・通過目的地の 追加 →
目的地追加画面（→ P.135）



その他の方法 ≫ ≪ 戻る



5. 地図を呼び出す

● 目的地の設定と追加画面では、つぎの表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	P.96
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	P.100
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	P.100
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	P.101
コンテンツ	専用サイトからダウンロードしたコンテンツデータを利用して検索した施設がある地点の地図を表示する。 • コンテンツデータを収録したSDメモリーカードを挿入しているときのみ（→ P.23）	P.102
WEB	車載機から直接インターネットWEB検索を行う。 • G-BOOK オンラインサービスを利用しているときのみ。（→ P.559）	—
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.145）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	P.104
G で設定	ドライブプランや G メモリを目的地に設定する。 • G-BOOK オンラインサービスを利用しているときのみ。（→ P.556）	—
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	P.105

項目（スイッチ）	機能	ページ
特別メモリに行く **[1]** / **[2]** / **[3]** / **[4]** / **[5]**	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.144） • 目的地の設定を行うときのみ。	—
特別メモリ周辺 **[1]** / **[2]** / **[3]** / **[4]** / **[5]**	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.144） • 目的地の追加を行うときのみ。	—
地点を受信	携帯電話を利用して、目的地情報を受信する。 • Bluetooth 携帯電話を車載機に登録しているときのみ。（→ P.482）	P.105
履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ。（→ P.141） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ。	P.106
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 • 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができる。（→ P.143） • 目的地の設定を行うときのみ。	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 • 自宅を登録しているときのみ。（→ P.143） • 目的地の追加を行うときのみ。	—

5. 地図を呼び出す

目的地の設定・追加以外のとき※

画面外の → メモリ地点登録編集 → 自宅 → 登録 → 自宅登録画面（→ P.143）

画面外の → メモリ地点登録編集 → 特別メモリ → 登録 → 特別メモリ登録画面（→ P.144）

画面外の → メモリ地点登録編集 → メモリ地点 → 登録 → メモリ地点登録画面（→ P.145）

画面外の → メモリ地点登録編集 → 迂回メモリ → 登録 → 迂回メモリ登録画面（→ P.147）

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定 → 販売店設定画面（→ P.172）



※画面はメモリ地点の登録時のものです。迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときも表示される項目は同じです。

● 目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、つぎの表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ。（→ P.141） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ。	P.106
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	P.96
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	P.100
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	P.100
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	P.101
WEB	車載機から直接インターネットWEB検索を行う。 • G-BOOK オンラインサービスを利用しているときのみ。（→ P.559）	—
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.145）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	P.104
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	P.105
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.144）	—

名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→ P.97）に表示された件数が多い場合は、エリア（→ P.98）・ジャンル（→ P.99）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知 識

- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称の読みで検索する

■ひらがな入力

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 名称 → 名称／読み検索画面

1 名称を入力し、**[検索]** にタッチ。



- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 漢字・カタカナ・英数字・記号で入力するとき
  ➡ **[漢字入力]** にタッチ。
  ・入力方法について
  ➡「名称の文字入力で検索する」（→ P.96）
- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.97）

名称の文字入力で検索する

名称読み入力に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。

- **[読み入力]** にタッチすると、入力していた文字は消去され、「ひらがな入力」（→ P.96）の画面にもどります。
- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 名称 → 漢字入力 → 名称／文字検索画面

■ひらがな・漢字入力

1 **[かな]** にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、**[変換]** にタッチ。



- 入力したままの状態で確定したいとき
  ➡ **[無変換]** にタッチ。

3 入力したい熟語にタッチ。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡ **[<]** または **[>]** にタッチ。
- そのままの状態でよいとき
  ➡ **[全確定]** にタッチ。

4 **[検索]** にタッチ。(**2**の画面)

- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→ P.97)

■カタカナ、英数字・記号入力

1 **[カナ]** または **[英数字]** にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、**[検索]** にタッチ。

▶カタカナ入力時



▶英数字・記号入力時



- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→ P.97)

全国リストから検索する

地図の呼び出し画面(→ P.91) → 名称 → (名称入力) → 検索 → 全国リスト画面

1 表示させる施設名称または地名にタッチ。



- 選択した施設の地図が表示されます。
- エリア(→ P.98)またはジャンル(→ P.99)を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗(チェーン店など)があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- まとめて表示されたリストにタッチしたとき
  ➡ 施設名称にタッチ。
  ・施設名称のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。**[ソート]** にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順※	ⓘから近い施設または地名の順
名称順	50 音順

※検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に表示できない場合があります。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 **［エリアで絞る］**にタッチ。

2 エリアの指定方法を選択する。



- 次の3 通りの方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項　目	ページ
住所	住所で絞り込む	P.98
地域	地域で絞り込む	P.99
周辺	周辺で絞り込む	P.99

■住所選択時

全国リスト画面（→ P.97）→ エリアで絞る → 住所 → 住所リスト画面

1 都道府県名にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡**［全エリア］**にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
  ➡**［○○全域］**にタッチ。

■地域選択時

全国リスト画面（→ P.97）→
エリアで絞る → 地域 →
地域リスト画面

1 地域名にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［全エリア］にタッチ。

■周辺選択時

全国リスト画面（→ P.97）→
エリアで絞る → 周辺 →
周辺リスト画面

1 ［現在地周辺］、［先程の地図］または［目的地周辺］にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［全エリア］にタッチ。
- 目的地を複数設定してある場合、
  ［目的地周辺］にタッチしたとき
  ➡ 目的地にタッチ。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 ［ジャンルで絞る］にタッチ。

2 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［全ジャンル］にタッチ。
- 地名を入力したときは、［その他］→［住所］の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

知識

- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→
住所 → 住所検索画面

1 都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。



- **[○○主要部]** にタッチすると、広域図が表示されます。

2 **[番地指定]** にタッチ。

3 番地を入力し、**[検索]** にタッチ。

- 入力した番地に、
  - ・該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
  - ・該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。
- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

施設で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→
施設 → 施設検索画面

1 施設のジャンルにタッチ。



- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ **[その他]** にタッチ。
- **[その他]** にタッチしたとき
  ➡ 施設のジャンルにタッチ。

2 都道府県名（路線名）にタッチ。

- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  [全国の○○] にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

3 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→
電話番号 → 電話番号検索画面

1 電話番号を入力し、**[検索]** にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号が以下のとき、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  - ・該当する施設がないとき
  - ・個人住宅などのとき
- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき
  ➡ 施設名称にタッチ。

知識

- 同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - ・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - ・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
  記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

コンテンツデータから地図を検索する

SD メモリーカードに収録している3種類（イベント情報、ご当地グルメ、ぐるなび／ホットペッパー）のコンテンツデータから施設を検索することができます。コンテンツデータは、パソコンの専用サイトからダウンロードします。

また、条件（→ P.103）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知 識

- パソコンの専用サイトから提供されたコンテンツデータについては、内容を 100%保証するものではありません。
- コンテンツデータのダウンロードサービスは、2015 年 4 月までご利用いただけます。
- 車載機で使用できるSDメモリーカードについては、「SD メモリーカードについて」（→ P.27）をご覧ください。SD スピードクラスについては、Class2 以上に対応しています。

コンテンツデータを準備する

1 パソコンの専用サイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）の案内にしたがってデータをダウンロードする。

2 データを SD メモリーカードにコピーする。

3 SD メモリーカードを車載機に挿入する。（→ P.23）

知 識

- ダウンロードしたデータをSDメモリーカードにコピーする際は、SD メモリーカードの ROOT フォルダに保存してください。

コンテンツリストから検索する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ コンテンツ → コンテンツ検索画面

1 コンテンツ名にタッチ。



- ジャンルやエリア、予算からリストに表示されている施設名称を絞り込むことができます。（→ P.103）

2 施設名称にタッチ。

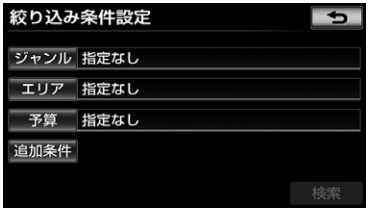
- **［情報］**にタッチすると、施設の詳しい情報が表示されます。

条件を指定して検索する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ コンテンツ → （コンテンツ選択） → コンテンツ名称画面

1 **[絞り込み]** にタッチ。

2 **[ジャンル]**、**[エリア]**、または **[予算]** にタッチ。



- 条件を追加したいとき
  ➡「検索条件を追加する」（→ P.103）

3 条件を指定する。

- 検索条件を解除したいとき
  ➡ **[指定解除]** にタッチ。

4 **[検索]** にタッチ。

5 施設名称にタッチ。

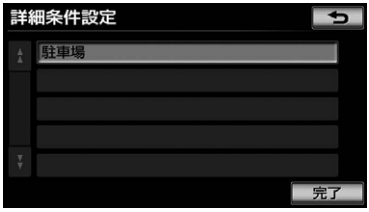
- **[情報]** にタッチすると、施設の詳しい情報が表示されます。

■検索条件を追加する

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ コンテンツ → （コンテンツ選択） → 絞り込み → 絞り込み条件設定画面

1 **[追加条件]** にタッチ。

2 追加したい条件を選択し、**[完了]** にタッチ。



ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ ジャンル → ジャンル検索画面

1 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチし、**[検索]** にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡ **[選択解除]** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

2 施設名称にタッチ。

- **[ソート]** にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	ⓘまたは⊕から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

- **[ルート沿い考慮]** にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→ P.76）

検索するエリアを変更する

施設を検索するエリアを変更することができます。

地図の呼び出し画面（→ P.91）→ ジャンル → ジャンル検索画面

1 **[エリア]** にタッチ。

2 施設を検索したい地域にタッチ。



- **[住所指定]** にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
  ・選択方法について
  ➡「住所で地図を検索する」（→P.100）手順 **1** へ。

3 **[セット]** にタッチ。

マップコードで地図を検索する

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

地図の呼び出し画面（→ P.91）→
マップコード → マップコード検索画面

1 マップコードを入力し、**[検索]** にタッチ。



● 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

知 識

● マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com
● マップコードは、メモリ地点を登録すると、地点編集画面に表示されます。（→ P.142）

携帯電話で地図を検索する

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

⚠警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

地図の呼び出し画面（→ P.91）→
地点を受信 → 地点を受信画面

1 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

知 識

- 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。(→ P.482)
- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー (→ P.484) に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 送信中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- 送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ (→ P.341) やハンズフリー (→ P.473) の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続できないことがあります。)
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

履歴で地図を検索する

地図の呼び出し画面 (→ P.91) → 履歴 → 履歴検索画面

1 希望の目的地履歴にタッチ。



- **[前回出発地]** にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

記録された目的地履歴を消去することができます。

1 **[履歴消去]** にタッチ。

2 地点名称にタッチ。

- すべての目的地を選択するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

知 識

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 「携帯電話で地図を検索する」(→ P.105) で設定した目的地は履歴に異なる名称で登録されていることがあります。

6. 検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ピンポイント検索されたとき



▶ピンポイント検索されなかったとき



知 識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。
- 携帯電話で地図を呼び出した場合、**[⮌]** が表示されません。

地図の位置を変更する

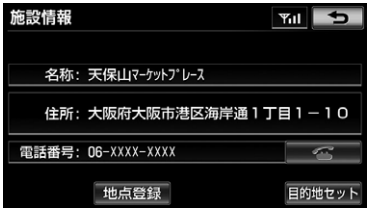
1 にタッチして、地図を動かす。

施設の内容を表示する

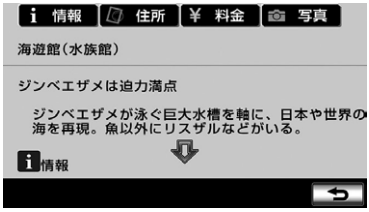
1 **[情報]** にタッチ。

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。

▶簡易情報表示



▶情報付き施設表示

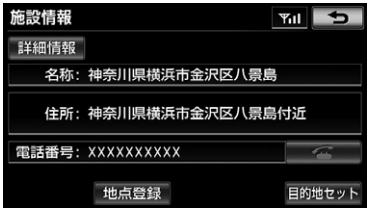


- 画面をスクロールするとき
  ➡ にタッチ。
- **[○○]（[住所]・[写真]** など）にタッチすると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

知 識

- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

▶携帯電話から受信した情報の施設表示



● 詳細な情報が表示したいとき
➡**［詳細情報］**にタッチ。

知 識

● 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 **［提携 P］**にタッチ。



● 提携駐車場のリストが表示されます。
● **［提携 P］**にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチ。

● 選択した駐車場の地図が表示されます。
● 専用駐車場は P （青色）、提携駐車場は P （緑色）で表示されます。

知 識

● 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
● 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
● 検索される駐車場は、設定した車両情報（→P.129）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。
(1)「名称で地図を検索する」（→P.96）のリスト画面で、地名にタッチしたとき
(2)「電話番号で地図を検索する」（→P.101）で、該当する施設がなかったとき

1 **［住所一覧］**にタッチ。



2 地名にタッチ。

● 選択した地名の地図が表示されます。
● 詳細がわからないとき
➡**［○○主要部］**にタッチし、広域図を表示。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。
(1)「住所一覧から検索する」(→P.108)で、該当する住所がなかったとき
(2)「住所で地図を検索する」(→P.100)で、該当する住所がなかったとき
- メッセージが表示されますので、**[了解]**にタッチしてください。

1 **[周辺住所]**にタッチ。



2 番地にタッチ。

1. 目的地案内

目的地案内について

目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

▶まずはじめに、

①**目的地を設定**します。

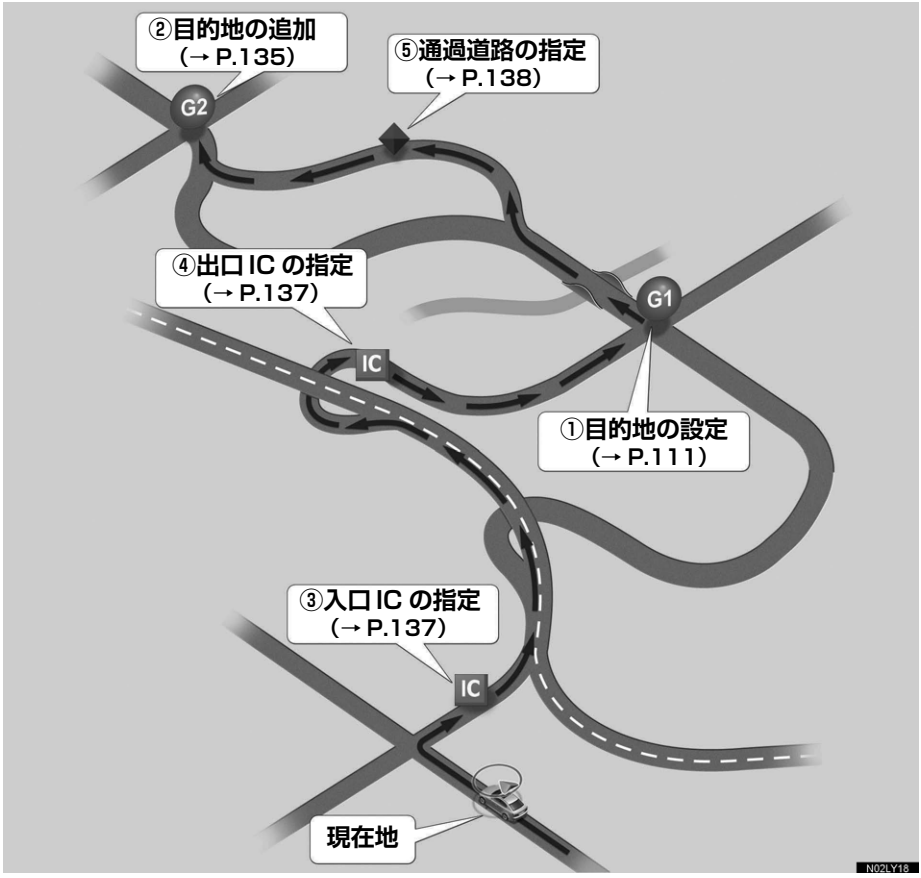
▶目的地をもう 1 カ所追加したいときは、

②**目的地の追加**をご覧ください。

▶希望のルートでなかったときは、

③**入口 IC の指定**・④**出口 IC の指定**・⑤**通過道路の指定**をご覧ください。

● ルート変更は、他にも方法があります。（→ P.134 ～ P.140）



2. 目的地を設定してルートを探索する

目的地の設定について

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（→ P.141）

目的地画面から目的地を設定する

1 画面外の ▶ にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。（→ P.91、P.107）



3 **[目的地セット]** にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ P.113）

- 設定した目的地を消去するとき
  ➡「目的地を消去する」（→ P.136）

- すでに目的地が設定されているとき
  ➡ 次のいずれかにタッチ。

[新規目的地]：新しく目的地を設定する

[追加目的地]：目的地を追加する※

※以降の設定方法について
➡「目的地を追加する」（→ P.135）手順 **4** へ。

- 「地図画面から目的地を設定する」（→ P.111）で目的地を設定した場合は、一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、**[目的地セット]** にタッチ。



2 ⌂ にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、**[目的地セット]** にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ P.113）

携帯電話から目的地を設定する

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、目的地を設定することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

⚠警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

1 画面外の G・INFO にタッチ。

- 情報画面や G-BOOK 画面が表示されたとき
  ➡ BT ナビ にタッチ。

2 **［地点を受信］**にタッチ。



3 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき
  ➡ **［中止］**にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

4 **［目的地セット］**にタッチ。

- ⊕の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.113)

知 識

- 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。(→ P.482)

自宅を目的地に設定する

画面外の ▶ → 目的地画面

1 **[自宅に帰る]** にタッチ。

自宅が登録されていないときは

1 **[自宅登録]** にタッチ。



2 自宅の登録方法を選択する。

- 次の3 通りの方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	P.106
住所指定	P.100

3 **[セット]** にタッチ。

4 **[自宅に帰る]** にタッチ。（目的地画面）

ルート探索について

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

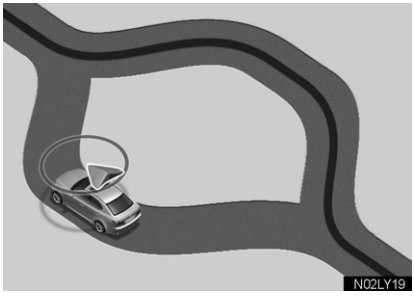
知識

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.132）を行ってください。

ルート学習について

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。

目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



● ルート学習のする／しないを設定できます。（→ P.166）

知 識

- ルート学習する区間に、一部でも幅5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- 学習した道が使われない場合もあります。
- 自車マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

ルート学習結果を消去する

画面外の → ナビ詳細設定 → ルート系設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[ルート学習結果の消去]** にタッチ。



2 **[はい]** にタッチ。

ルート検索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、画面外の ⓐ にタッチ、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→ P.121）

画面の表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。



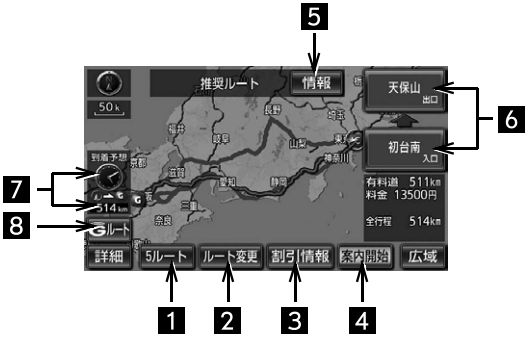
表　示		機　能
1	IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称が上に表示される。
2	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 （有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。）
3	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 （割引は考慮されません。また、有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。） • 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示する。
4	距離表示	目的地までの距離を表示する。
5	IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
6	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。（→ P.128） • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

2. 目的地を設定してルートを探索する

表　示		機　能
7	残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、次のことができます。



	スイッチ	機　能
1	**[5 ルート]** (→ P.119)	別のルートを表示して選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。
2	**[ルート変更]** (→ P.134)	ルート変更画面を表示する。
3	**[割引情報]** (→ P.619)	ETC 割引情報を表示する。 • G-BOOK を利用しているときに使用することができます。
4	**[案内開始]** 目的地案内中は、 **[案内に戻る]** (→ P.121)	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面にもどる。
5	**[情報]**（→ P.118）	案内道路情報を表示する。
6	**[IC 名称]**（→ P.137）	出入口 IC を指定する。
7	到着予想時刻・ 残距離表示 (→ P.131)	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。 （目的地を複数設定しているとき）

	スイッチ	機　能
8	[G ルート] ／ [元ルート] (→ P.613)	G-BOOKセンターから交通情報を入手してルート検索する。 • G-BOOK　を利用されているときに使用することができます。

知 識

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.129）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.128）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ P.131）

2. 目的地を設定してルートを探索する

ルートの表示について



● ルートの表示色は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
▶青色	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
▶白色	目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
▶水色	幅 5.5m 未満の道路表示 （→ P.118）
▶橙色	季節規制区間表示 （→ P.84）

■幅 5.5m 未満の道路表示

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。



知 識

● 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 **［情報］**にタッチ。

2 ルート情報画面が表示される。



● ETC 割引情報を表示したいとき
➡ **［割引情報］**にタッチ。（→ P.619）

● 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。

● 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
・ それぞれの地点の地図を表示するとき
➡ **［地図］**にタッチ。

● 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に⊙が表示されます。

知 識

- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（→ P.129）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.128）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5 つのルートを表示する

5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

1 **[5 ルート]** にタッチ。



- 5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。
- 燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。（→ P.176）

2 表示したいルート名称にタッチ。

- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内　容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の４つのルートとは別のルートで案内できます。

知 識

- 以下のときは、5 ルートを表示できません。
  - 目的地を複数設定しているとき
  - 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
  - 目的地案内開始後

5 つのルートの詳細情報を表示する

5 つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全ルート図表示画面（→ P.115）→ 5 ルート → 5 ルート表示画面

1 **［全行程一覧］**にタッチ。

2 全行程一覧表画面が表示される。



- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

知 識

- 料金は設定した車両情報（→ P.129）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（→ P.128）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 目的地案内の開始

目的地案内を開始する

全ルート図表示画面（→ P.115）

1 **[案内開始]** にタッチ。



● 全ルート図が表示されたあと、画面外の ⓐ にタッチ、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。



全ルート図表示画面（→ P.115）

1 **[案内開始]** に約 3 秒以上タッチ。

● デモを終了するとき

➡ 画面外の ⓐ にタッチ。

・ デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

知 識

● ルート探索終了後、目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内を中止する

1 画面外の ⊶ にタッチ。

2 **[案内中止]** にタッチ。



● 中止した目的地案内を再開するとき

➡ 画面外の ⊶ → **[案内再開]** の順にタッチ。

知 識

● 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

4. 目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

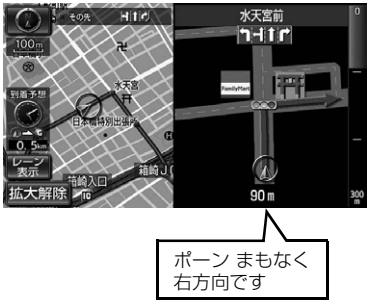
「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例

2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、熊本市、鹿児島市など）における片側 3 車線以上の道路を走行中に音声案内されます。※

※ 2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

■有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

■連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→ P.126）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン この先すぐに 左レーンに移動が必要です」

■幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■首都高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です。」

「右（左）側 1 車線へ移動が必要です。」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です。」

「この先、すぐに右（左）にレーン移動が必要です。」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時

車線変更禁止区間の端から 1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です。」

車線変更禁止区間の端から 500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です。」

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

■目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

- 画面外の ⓐ にタッチすると、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。（→ P.90）
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - ・信号機のある交差点を走行しているとき
  - ・分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ・分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき
  - ・2010 年 10 月時点の東京 23 区･政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）･中核市（宇都宮市、熊本市、鹿児島市など）以外※

  ※2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

- 細街路での音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.165）

知 識

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

- 他モードの音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.165）

知 識

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ P.124）または交差点拡大図（→ P.125）に切り替わります。また、ターンリスト図（→P.127）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図を表示する

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大 4 つまで表示させることができます。

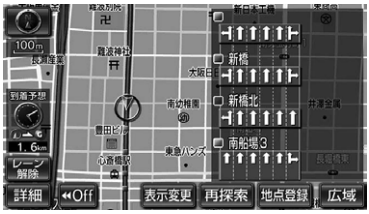
▶レーンリスト



知 識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.125）が自動的に表示されます。

▶高精度レーンリスト



知 識

- 実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側·左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。

■高精度レーンリストを表示できる地域について

2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、熊本市、鹿児島市など）における片側 3 車線以上の道路※

※ 2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。

■レーン（車線）リスト図表示を解除する

1 **[レーン解除]** にタッチ。



- レーンリスト図にもどすとき

  ➡ **[レーン表示]** にタッチ。

⚠警告

レーン案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

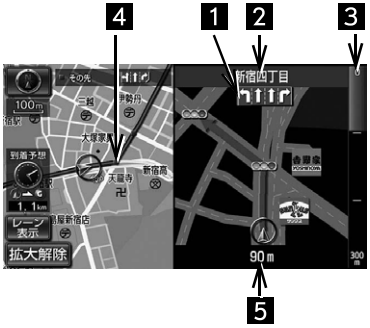
交差点拡大図を表示する

交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約 300m 以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

▶分岐しない交差点



▶分岐する交差点（交差点拡大図）



表示		機能
1	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。 • 走行を推奨する車線が青色で表示されます。
2	交差点名称表示	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3	残距離表示	交差点までの距離がバーで表示されます。 • 交差点に近づくとともに ■ が短くなります。
4	案内ポイント	通過・分岐する交差点に表示されます。
5	残距離デジタル表示	交差点までの距離が数字で表示されます。

知識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

4. 目的地への案内について

3D 交差点拡大図を表示する

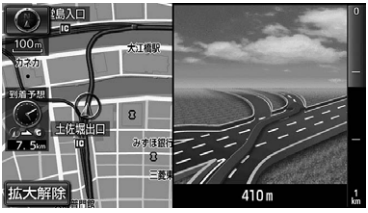
交差点拡大図を立体的（3D）に表示させることができます。



● 3D 交差点拡大図のする／しないを設定できます。（→ P.164）

連続車線変更を案内する

分岐する交差点までの距離が短く、複数車線変更が必要な場合に表示されます。



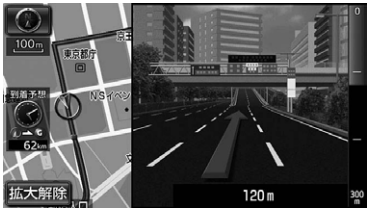
知識

● 地図データに情報のある地点で表示します。

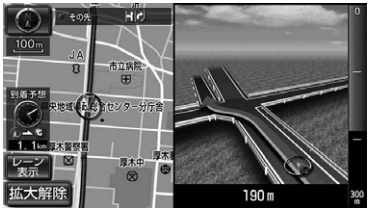
立体的な拡大図を表示する

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

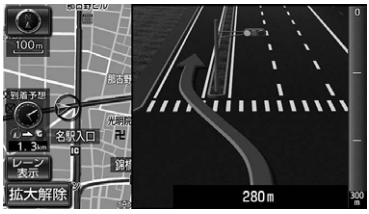
▶都市高速 IC 入口



▶立体交差点



▶側道案内



● 地図データに情報のある地点（都市高速IC入口、立体交差点、側道案内）で表示します。

拡大図表示を解除する

1 **［拡大解除］**にタッチ。

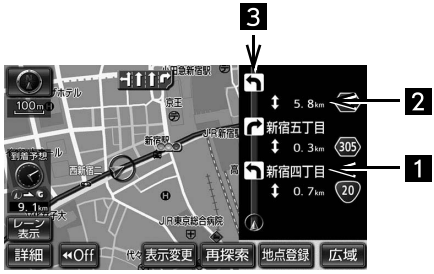
● 拡大図にもどすとき

➡ 画面外の ▲ にタッチ。

ターンリスト図を表示する

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

- ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.164)
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、**[表示変更]** からターンリスト図を表示することができます。



表示		機能
1	案内ポイント	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2	距離表示	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3	案内方向	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

知識

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.124）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.125）が自動的に表示されます。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

■ターンリスト図表示を解除する

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 **[ターンリスト解除]** にタッチ。



- ターンリスト図にもどすとき
  ➡ **[ターンリスト表示]** にタッチ。

4. 目的地への案内について

到着予想時刻を表示する

全ルート図表示画面（→ P.115）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

知 識

- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.128）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（ ）になります。

手動で平均車速の設定を変更する

- 次の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

表示	ページ
現在地画面の到着予想時刻	—
全ルート図表示画面の到着予想時刻	P.115
ハイウェイモードの通過予想時刻	P.87
ルート情報の通過予想時刻	P.118
全行程一覧表の所要時間	P.120

画面外の → ナビ詳細設定 → 案内表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **［到着予想時刻用速度設定］**にタッチ。



2 **［手動］**にタッチ。

- 自動で平均速度の設定を行うとき
  ➡ **［自動］**にタッチ。

3 それぞれの道路の速度を設定し、**[完了]** にタッチ。

- 速度を上げるときは **[>]**、下げるときは **[<]** にタッチ。
- **[初期状態]** にタッチすると、初期設定の状態（高速道路　80km/ h・有料道路 60km/ h・一般道路 30km/ h）にもどります。

4 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

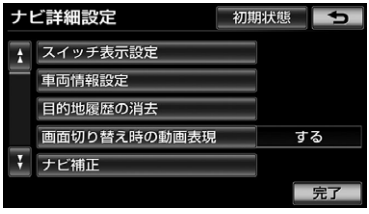
車両情報の設定をする

次の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場（→P.108）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

表示	ページ
全ルート図表示画面の料金案内	P.115
ルート情報の料金案内	P.118
全行程一覧表の料金案内	P.120

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 **[車両情報設定]** にタッチ。



2 **[全長]**、**[全幅]** または **[全高]** にタッチ。

[>]：寸法を大きくする
[<]：寸法を小さくする

3 **[ナンバー]** にタッチ。

- **[>]** または **[<]** にタッチして、ナンバープレートの分類番号を選択する。

4 **[完了]** にタッチ。

5 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

■ラジオアンテナの設定

1 **[モーターアンテナ車]** にタッチ。

- モーターアンテナ車に設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

2 **[了解]** にタッチ。

4. 目的地への案内について

⚠注 意

- お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。
- 車載機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するためにオーディオの電源を OFF にしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。
- アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

知 識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。
- ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定した場合、オーディオの電源をOFFにするとアンテナが下がるためFM多重放送の VICS 情報が受信できません。この場合、モーターアンテナ車の設定を解除します。
- **[初期状態]** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）にもどります。

フェリー航路の案内について

フェリーの航路は **------**（破線）で表示されます。



- フェリールート利用のする／しないを設定できます。（→ P.166）
- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

5. ルート案内中の操作

全ルート図を表示する

地図表示中 → 表示変更 **→**
表示変更画面

1 **[全ルート]** にタッチ。



- 全ルート図表示画面について
  ➡「ルート検索後の全ルート図表示について」(→ P.115)

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

1 **[広域]** または **[詳細]** にタッチ。

2 **[ ]** にタッチ。



知 識

- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、切り替えることができます。

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。



到着予想時刻・残距離表示

- 目的地が2 カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

知 識

- 状況により目的地までの表示が異なります。
  - 現在地がルート上にあるとき
    ➡ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
  - ルートからはずれたとき
    ➡ 目的地の方向と直線距離

6. ルートを再探索する

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索※します。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

※ 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

知 識

- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

再探索されるルートは、8 つの項目（探索条件）を選ぶことにより異なります。

画面外の → 現在地画面

1 **[再探索]** にタッチ。

2 再探索する項目にタッチ。



- **[次の 消去]** にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をすることができます。
- **[次の 解除]** にタッチすると現在地の次の通過道路、**[指定 解除]** にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をすることができます。
- 通常のルート探索では、スマートICを通らないルートが探索されます。
- **[スマート IC 考慮]** にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。
- **[G ルート探索]**・**[取得中止]** は、G-BOOK を利用されているときに使用することができます。詳しくは、「ルート案内中に手動で取得する」（→ P.613）をご覧ください。

項目（スイッチ）	機　能
推奨	現在地から次の目的地※3の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※3の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※3の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※3の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※3の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） • 目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 • 目的地案内開始前にはできません。
G ルート探索／取得中止	G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→ P.613）

※1 ルートからはずれたときは表示されません。

※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※3 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

知 識

- 「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**[有料優先]** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**[一般優先]** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

7. ルートを変更する

ルート変更画面を表示する

画面外の → 設定・編集画面
または全ルート図表示画面
(→ P.115)

1 **[ルート変更]** にタッチ。

2 ルート変更画面が表示される。



- ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	P.134
目的地の追加	P.135
目的地の並び替え	P.135
目的地の消去	P.136
出入口 IC の指定・解除	P.137
通過道路の指定	P.138
通過道路の修正	P.139
通過道路指定の解除	P.140
季節規制区間の迂回ルート探索	P.140

- **[探索開始]** にタッチすると、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- **[スマート IC 考慮]** にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

ルート変更画面（→ P.134）

1 **[探索条件変更]** にタッチ。

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチし、**[探索開始]** にタッチ。



知 識

- 探索条件の特徴について
  ➡「ルートの再探索方法を選ぶ」(→ P.132)
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

ルート変更画面（→ P.134）

1 目的地・通過目的地の **[追加]** にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。（→ P.91、P.107）



3 **[目的地セット]** にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が記号で表示されます。
- ここまで（**1** ～ **3**）の操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→ P.111）

4 目的地を設定する区間の **[設定]** にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

- さらに追加して目的地を設定するとき
➡ **[追加]** にタッチ。（**2** の画面へ）

知識

- 5カ所まで追加することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。（→ P.141）
- IC・通過道路（→ P.137）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地への順番を並び替える

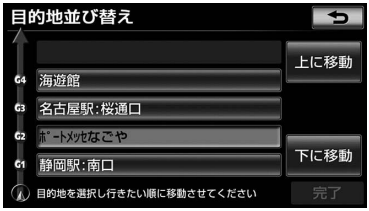
ルート変更画面（→ P.134）

1 目的地・通過目的地の **[並び替え]** にタッチ。

- IC・通過道路（→ P.137）を指定しているときは、メッセージが表示されます。**[はい]** にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

7. ルートを変更する

2 順番を変更したい目的地にタッチ。



- **[上に移動]**：選択した目的地を上に移動します。（順番は後ろに下がります。）
- **[下に移動]**：選択した目的地を下に移動します。（順番は前に上がります。）

3 **[完了]** にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

目的地を消去する

次の 3 通りの方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	P.136
目的地画面から消去する	P.137
地図画面から消去する	P.137

知 識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→ P.137）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面（→ P.134）

1 目的地・通過目的地の **[消去]** にタッチ。

- 1 カ所のみ設定されていたとき
➡ 手順 **4** へ。

2 消去したい目的地にタッチ。



- すべての目的地を選択するとき
➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

目的地画面から目的地を消去する

画面外の ▶ → 目的地画面

1 **[目的地消去]** にタッチ。



- 「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.136）手順 **2** へ。
- 1 カ所のみ設定されていたとき
  ➡「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.136）手順 **4** へ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 **[情報]** にタッチ。



3 **[消去]** にタッチ。

- 「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.136）手順 **4** へ。

出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

全ルート図表示画面（→ P.115）またはルート変更画面（→ P.134）

1 変更する IC 名称表示にタッチ。

2 次のいずれかの操作をする。

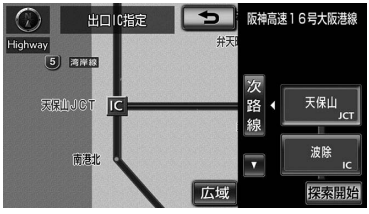
左画面で指定する

1 指定したいIC 付近に地図を動かし、**[探索開始]** にタッチ。

2 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

右画面で指定する

1 **[▲]**、**[▼]** または **[次路線]** にタッチして IC を切り替え、指定したい IC名称 →**[探索開始]**の順にタッチ。



- **[次路線]**は JCT があり分岐するときのみ表示されます。

2 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

知 識

● スマート IC(ETC 専用インターチェンジ)を選択することもできます。
このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

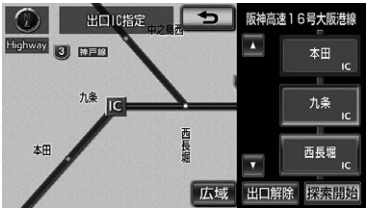
IC の指定を解除する

全ルート図表示画面（→ P.115）→
IC 名称表示 →
出口（入口）IC 指定画面

または

ルート変更画面（→ P.134）→
IC 名称表示 →
出口（入口）IC 指定画面

1 **[出口解除]** または **[入口解除]** にタッチ。



通過する道路を指定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知 識

● 2 カ所まで指定することができます。
● IC を指定しているとき（→ P.137）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面（→ P.134）

1 通過点（通過道路指定）の **[指定]** にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、**[通過道路セット]** にタッチ。



3 **[セット]** にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ **[次候補]** にタッチ。

4 目的地を複数設定しているとき、または IC·通過道路を指定しているとき
➡ 通過道路を指定する区間の **[設定]** にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**[次候補]** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

ルート変更画面（→ P.134）

1 通過点（通過道路指定）の **[修正]** にタッチ。

- 1 カ所のみ指定されていたとき
  ➡ 手順 **3** へ。

2 道路または地名にタッチ。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、**[通過道路セット]** にタッチ。

4 **[セット]** にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ **[次候補]** にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**[次候補]** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

7. ルートを変更する

通過する道路指定を解除する

ルート変更画面（→ P.134）

1 通過点（通過道路指定）の **[解除]** にタッチ。

● 1 カ所のみ指定されていたとき
➡ 手順 **3** へ。

2 道路または地名にタッチ。



● すべての通過道路指定を解除するとき
➡ **[全解除]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき
➡ **[探索開始]** にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

ルート変更画面（→ P.134）

1 季節規制区間の迂回ルート探索を開始するとき
➡ **[季節規制回避]** にタッチ。



● 季節規制区間を通るルートを探索させるとき
➡ **[季節規制通過]** にタッチ。

知 識

● **[季節規制回避]** または **[季節規制通過]** は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
● 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、**[季節規制回避]** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

8. 目的地履歴を消去する

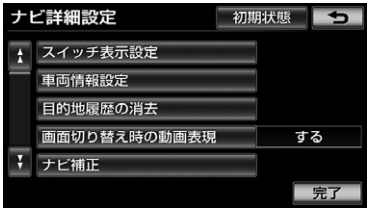
目的地履歴を消去する

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。

ナビ詳細設定画面で履歴を消去する

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 **[目的地履歴の消去]** にタッチ。



2 地点名称にタッチ。

- すべての目的地履歴を選択するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

- 地図呼び出し画面からも履歴を消去することができます。（→ P.106）

1. メモリ地点を登録する

地点の登録について

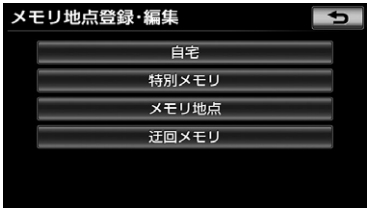
検索した地点を車載機に登録することができます。

地点を登録しておくと、

(1) 地図にマークで表示されます。

(2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。

(3) 目的地の設定のときなどに、メモリ地点に登録しておけば、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。
(→ P.91)



● 以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

項目		機能
1	自宅	自宅の登録と編集を行います。(→ P.143)
2	特別メモリ	特別メモリの登録と編集を行います。(→ P.144)
3	メモリ地点	メモリ地点の登録と編集を行います。(→ P.145)
4	迂回メモリ	迂回メモリの登録と編集を行います。(→ P.147)
5	メモリ地点移行	メモリ地点の読み込みや取出しを行います。(→ P.156)

知 識

● 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面 (地図画面) から登録するときを除く)

● 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同様に表示されることがあります。

● WEB 検索 (→ P.559) で登録した地点は車載機から移動することができません。(メモリ地点の送信や取り出しなど)

地点編集画面について

登録した地点の、名前・位置・電話番号などの情報が表示されます。

これらの情報は、登録後に追加・修正することが可能です。

▶自宅



▶特別メモリ



▶メモリ地点



▶迂回メモリ

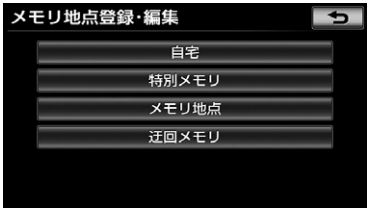


自宅を登録する

1 画面外の にタッチ。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。

3 **［自宅］**にタッチ。



4 **［登録］**にタッチ。

5 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
（→ P.91、P.107）

6 **［セット］**にタッチ。

7 **［完了］**にタッチ。

自宅を修正する

画面外の → **メモリ地点登録編集** → **自宅** → 自宅編集画面

1 **［修正］**にタッチ。

2 自宅編集画面で各項目を修正する。



● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	P.149
名称	P.150
地図への名称表示	P.150
名称読み	P.151
位置	P.151
電話番号	P.152

3 **［完了］**にタッチ。

1. メモリ地点を登録する

自宅を消去する

画面外の → メモリ地点登録編集 → 自宅 → 自宅編集画面

1 **[消去]** にタッチ。



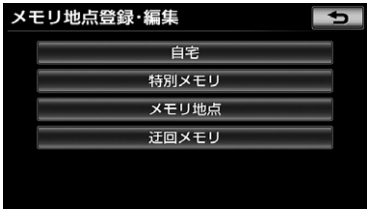
2 **[はい]** にタッチ。

特別メモリを登録する

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[特別メモリ]** にタッチ。



4 **[登録]** にタッチ。

5 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
(→P.91、P.107)

6 **[セット]** にタッチ。

7 未登録の番号にタッチ。

- 特別メモリを置き換えたいとき
  ➡ 置き換えたい特別メモリにタッチし、**[はい]** にタッチ。

8 **[完了]** にタッチ。

特別メモリを修正する

画面外の → メモリ地点登録編集 → 特別メモリ → 特別メモリ編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 修正したい特別メモリにタッチ。



3 特別メモリ編集画面で各項目を修正する。



● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	P.149
名称	P.150
地図への名称表示	P.150
名称読み	P.151
位置	P.151
電話番号	P.152

4 **[完了]** にタッチ。

特別メモリを消去する

画面外の → メモリ地点登録編集 → 特別メモリ → 特別メモリ編集画面

1 **[消去]** にタッチ。

2 消去したい特別メモリにタッチ。



● すべての特別メモリを選択するとき
➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

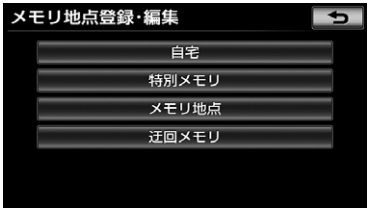
4 **[はい]** にタッチ。

メモリ地点を登録する

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[メモリ地点]** にタッチ。



4 **[登録]** にタッチ。

5 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
(→ P.91、P.107)

6 **[セット]** にタッチ。

7 **[完了]** にタッチ。

1. メモリ地点を登録する

メモリ地点を修正する

画面外の → [メモリ地点登録編集] → [メモリ地点] → メモリ地点編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 修正したいメモリ地点にタッチ。



- **[グループで絞る]** にタッチすると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。
  - ・絞り込みを解除したいとき
    ➡ **[絞り込み解除]** にタッチ。
- メモリ地点のリストは、以下の２種類の表示方法があります。**[ソート]** にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
[マーク順]	マークの種類別
[登録順]	メモリ地点の登録順

3 メモリ地点編集画面で各項目を修正する。



- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	P.149
名称	P.150
地図への名称表示	P.150
名称読み	P.151
位置	P.151
電話番号	P.152
グループ	P.154

4 **[完了]** にタッチ。

メモリ地点を消去する

画面外の → [メモリ地点登録編集] → [メモリ地点] → メモリ地点編集画面

1 **[消去]** にタッチ。

2 消去したいメモリ地点にタッチ。



- すべてのメモリ地点を選択するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

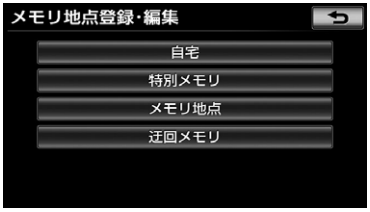
迂回メモリを登録する

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルート探索させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探索させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[迂回メモリ]** にタッチ。



4 **[登録]** にタッチ。

5 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
（→ P.91、P.107）

6 **[セット]** にタッチ。

7 迂回範囲を設定し、**[セット]** にタッチ。

[▲]：迂回範囲を広くする
[▼]：迂回範囲を狭くする

- **[▲]** と **[▼]** の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

8 **[完了]** にタッチ。

知 識

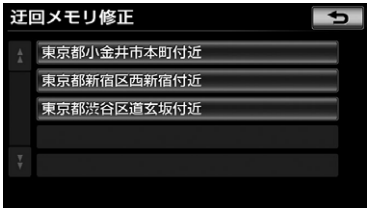
- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点の中心を道路上に設定してください。

迂回メモリを修正する

画面外の → メモリ地点登録編集 → 迂回メモリ → 迂回メモリ編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 修正したい迂回メモリにタッチ。



3 迂回メモリ編集画面で各項目を修正する。



● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
迂回メモリの有効 / 無効	P.152
名称	P.150
地図への名称表示	P.150
位置	P.151
迂回エリアの変更	P.153

● 迂回メモリ地点は専用のマークで表示され、マークを変更することはできません。

4 **[完了]** にタッチ。

迂回メモリを消去する

画面外の → **メモリ地点登録編集** → **迂回メモリ** → 迂回メモリ編集画面

1 **[消去]** にタッチ。

2 消去したい迂回メモリ地点にタッチ。



● 全ての迂回メモリを選択するとき
➡ **[全選択]** にタッチ。

3 **[消去]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

登録地点の情報を修正する

登録した自宅・特別メモリ・メモリ地点・迂回メモリは、地点編集画面から修正することができます。

マークを変更する

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[自宅]**、**[特別メモリ]** または **[メモリ地点]** にタッチ。

4 **[修正]** にタッチ。

- **[特別メモリ]** または **[メモリ地点]** にタッチしたとき
  ➡ マークを変更したい地点にタッチ。

5 **[マーク]** にタッチ。



6 マーク１、マーク２、マーク３ または **[音声付]** にタッチし、希望のマークを選ぶ。

- マークが不要なとき
  ➡ マーク３ の **[マーク無し]** にタッチ。

7 **[完了]** にタッチ。

■地点付近で音が鳴るようにする

音声付マークを設定した地点の約500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 地点編集画面の **[マーク]** にタッチ。

2 **[音声付]** にタッチし、希望の音を選択。



- 地点に近づいた時に鳴る音を確認するとき
  ➡ **[音確認]** にタッチ。

■設定した方向から地点に近づいたとき音が鳴るようにする

指定した方向から地点の約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 地点編集画面の **[マーク]** にタッチ。

2 **[音声付]** にタッチ。

3 **[方向付メモリ]** にタッチ。



1. メモリ地点を登録する

4 方向を指定し、**[セット]** にタッチ。

[ ]：反時計回り

[ ]：時計回り

名称を入力する

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[自宅]**、**[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチ。

4 **[修正]** にタッチ。

- **[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチしたとき
  ➡ 名称を入力したい地点にタッチ。

5 **[名称]** にタッチ。



- 迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

6 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力する。

- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

7 **[完了]** にタッチ。

名称を表示する

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[自宅]**、**[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチ。

4 **[修正]** にタッチ。

- **[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチしたとき
  ➡ 名称を表示したい地点にタッチ。

5 **[地図への名称表示]** にタッチ。



- 名称が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき
  ➡ **[地図への名称表示]** にタッチ。
- 迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

6 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。

1 画面外の にタッチ。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。

3 **［自宅］**、**［特別メモリ］**または**［メモリ地点］**にタッチ。

4 **［修正］**にタッチ。

- **［特別メモリ］**または**［メモリ地点］**にタッチしたとき
  ➡ 名称読みを入力したい地点にタッチ。

5 **［名称読み］**にタッチ。

6 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力する。



- 間違えたとき
  ➡ **［修正］**にタッチ。

7 **［完了］**にタッチ。

位置を修正する

1 画面外の にタッチ。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。

3 **［自宅］**、**［特別メモリ］**、**［メモリ地点］**または**［迂回メモリ］**にタッチ。

4 **［修正］**にタッチ。

- **［特別メモリ］**、**［メモリ地点］**または**［迂回メモリ］**にタッチしたとき
  ➡ 位置を修正したい地点にタッチ。

5 **［位置］**にタッチ。

- 迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

6 にタッチして地点の位置を修正し、**［セット］**にタッチ。



7 **［完了］**にタッチ。

- マップコードも、修正後の位置に変更されます。

1. メモリ地点を登録する

電話番号を入力する

1 画面外の にタッチ。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。

3 **［自宅］**、**［特別メモリ］**または**［メモリ地点］**にタッチ。

4 **［修正］**にタッチ。

- **［特別メモリ］**または**［メモリ地点］**にタッチしたとき
  ➡ 電話番号を入力したい地点にタッチ。

5 **［電話番号］**にタッチ。

6 電話番号を入力し、**［完了］**にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 間違えたとき
  ➡ **［修正］**にタッチ。

7 **［完了］**にタッチ。

- 電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。
（→ P.101）

迂回エリアの有効 / 無効を切り替える

1 画面外の にタッチ。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。

3 **［迂回メモリ］**にタッチ。

4 **［修正］**にタッチ。

5 有効 / 無効を切り替えたい迂回メモリにタッチ。

6 **［有効］**または**［無効］**にタッチ。

［有効］：迂回メモリを有効にする
［無効］：迂回メモリを無効にする



7 **［完了］**にタッチ。

迂回エリアの変更

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[迂回メモリ]** にタッチ。

4 **[修正]** にタッチ。

5 迂回範囲を修正したい迂回メモリにタッチ。

6 **[迂回エリア変更]** にタッチ。

7 迂回範囲を設定し、**[セット]** にタッチ。

[▲]：迂回範囲を広くする
[▼]：迂回範囲を狭くする



8 **[完了]** にタッチ。

グループで絞り込む

メモリ地点は、指定したグループで絞り込むことができます。

1 画面外の にタッチ。

2 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

3 **[メモリ地点]** にタッチ。

4 **[修正]** にタッチ。

- **[消去]** にタッチしても、同じ手順で絞り込みを行うことができます。

5 **[グループで絞る]** にタッチ。



6 絞り込みたいグループにタッチ。



- 絞り込みを解除したいとき
  ➡ **[絞り込み解除]** にタッチ。

- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。（→ P.91）

1. メモリ地点を登録する

グループを指定する

画面外の → メモリ地点登録編集 → メモリ地点 → メモリ地点編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 グループを指定したい地点にタッチ。

3 **[グループ]** にタッチ。

4 指定したいグループにタッチ。



- 新しいグループを作成したいとき
  ➡ **[新規グループ作成]** にタッチ。
- グループ名を修正したいとき
  ➡ **[グループ名修正]** にタッチ。
- グループを削除したいとき
  ➡ **[グループ削除]** にタッチ。
- グループ指定をしないとき
  ➡ **[グループなし]** にタッチ。

5 **[完了]** にタッチ。

グループを作成・修正する

画面外の → メモリ地点登録編集 → メモリ地点 → メモリ地点編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 グループを新規作成または修正したい地点にタッチ。

3 **[グループ]** にタッチ。

4 **[新規グループ作成]** にタッチ。

- グループ名を修正したいとき
  ➡ 修正したいグループ名にタッチして **[グループ名修正]** にタッチ。



5 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力する。

- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。

グループを削除する

画面外の → メモリ地点登録編集 → メモリ地点 → メモリ地点編集画面

1 **[修正]** にタッチ。

2 グループを編集したい地点にタッチ。

3 **[グループ]** にタッチ。

4 **[グループ削除]** にタッチ。

5 削除したいグループにタッチし、**[削除]** にタッチ。



- すべてのグループを選択するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。

6 **[はい]** にタッチ。

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする

メモリ地点の取り込みと取り出しについて

車載機で登録したメモリ地点を、取り出したり、取り込んだりすることができます。

車載機からメモリ地点を取り出すときには、パスワードの設定が必要になります。

知 識

- WEB 検索（→ P.559）で登録したメモリ地点は、取り出すことができません。

パスワードの設定

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

画面外の → **メモリ地点登録編集** → **メモリ地点の種類を選択** → **メモリ地点移行** → **メモリ地点移行画面**

1 パスワードの **[設定]** にタッチ。



2 数字4桁のパスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。



- すでにパスワードが設定されているとき
  ➡ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

3 もう一度パスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。

知 識

- 設定したパスワードは、SD メモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、車載機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

画面外の → **メモリ地点登録編集** → **メモリ地点の種類を選択** → **メモリ地点移行** → **メモリ地点移行画面**

1 パスワードの **[初期化]** にタッチ。



2 **[はい]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

メモリ地点の取り込み

メディアに保存したメモリ地点の情報を、車載機に取り込むことができます。

1 メモリ地点の情報を保管したメディアを挿入する。

2 画面外の にタッチ。

3 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

4 **[自宅]**、**[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチ。

5 **[メモリ地点移行]** にタッチ。



6 読み込みの **[SD]** または **[CD-R]** にタッチ。

7 パスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。



● 間違えたとき
➡ **[修正]** にタッチ。

8 **[はい]** にタッチ。

9 **[了解]** にタッチ。

知 識

- メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
- メモリ地点を移すと、車載機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SD メモリーカードや CD-R/RW に保存したメモリ地点、迂回メモリのデータに置き替えられます。
- SD　メモリーカードからメモリ地点を移すと、SD メモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SDメモリーカードの誤消去防止スイッチが LOCK の状態になっている場合、誤消去防止スイッチの LOCK を解除してから操作します。

メモリ地点の取り出し

車載機で登録したメモリ地点をSDメモリカードに保存することができます。

1 メモリ地点の情報を保管するSDメモリーカードを挿入する。

2 画面外の にタッチ。

3 **[メモリ地点登録編集]** にタッチ。

4 **[自宅]**、**[特別メモリ]**、**[メモリ地点]** または **[迂回メモリ]** にタッチ。

5 **[メモリ地点移行]** にタッチ。



6 保存の **[SD]** にタッチ。

7 パスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

8 **[はい]** にタッチ。

9 **[了解]** にタッチ。

- 登録している全てのメモリ地点が保存されます。

知識

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。（→ P.156）
- メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、車載機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SDメモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。
- 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- SD　メモリーカード、miniSD　カード、microSD カードのフォーマット（初期化）は、次のソフトを使用しフォーマットします。次のソフトでフォーマットしていないSD　メモリーカード、miniSD　カード、microSD カードで、SD 規格に準拠していない場合、車載機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic　SD　メモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0
- メモリ地点移行画面（**6**の画面）で画面外のスイッチを押しても、操作することができません。**[↩]** にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

1. 補正が必要なとき

補正について

地図上の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

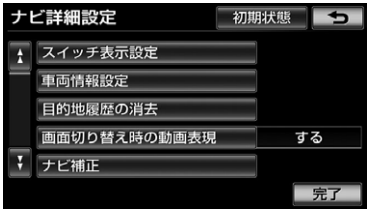
GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）とき、自車マークの位置と向いている方向を修正することができます。

画面外の → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 **［ナビ補正］**にタッチ。



2 **［現在地修正］**にタッチ。

3 にタッチして現在地を修正し、**［セット］**にタッチ。

4 方向を修正し、**［セット］**にタッチ。

［ ］：反時計まわり

［ ］：時計まわり

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

距離を補正する

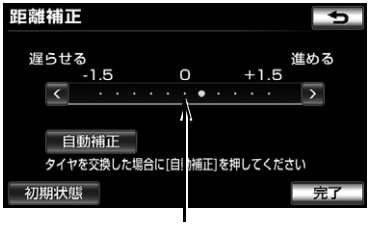
走行中、地図上の自車マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車マークの進み方を修正することができます。

画面外の → **ナビ詳細設定** → **その他** → **ナビ補正** → ナビ補正画面

1 **［距離補正］**にタッチ。

2 補正をし、**［完了］**にタッチ。

- 実際より遅く進むとき
  ➡ **［>］**（進める）にタッチ。
- 実際より早く進むとき
  ➡ **［<］**（遅らせる）にタッチ。



初期状態の位置

- **［自動補正］**にタッチすると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

1. 補正が必要なとき

● **[初期状態]** にタッチすると、自車マークを適切な位置に表示できるように自動で補正します。(●(黄色) の位置が初期状態 (0 の位置) にもどります。)

知 識

● タイヤ交換を行ったときや車載機を別のお車に取り付けたときは自動補正を行ってください。
● 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
● 自動補正モード中は、操作をすることはできません。

2. ナビの設定状態を記憶する

記憶しておくことができるナビの設定項目について

各種ナビ設定の設定状態を 3 パターンまで記憶させておくことができます。

● 次の設定項目を記憶することができます。

項目	ページ
地図向きの設定	P.67
地図表示モードの設定	P.69、P.71
地図表示縮尺の設定	P.66
周辺施設　走行中呼出ジャンルの設定	P.77
2 画面時の右画面の設定	P.69
音量設定	P.90
メンテナンス自動通知の設定	P.172
ナビ詳細設定一覧の設定※1	P.163
安全・快適走行設定一覧の設定	P.168
VICS・交通情報の表示設定	P.199
VICS 割込情報の表示設定	P.205
ETC の通知設定※2	P.467
渋滞増減予測の表示設定※3	P.616
後席ディスプレイの設定※4	P.233
画面モードの設定	P.259、P.315、P.337、P.339

※1 ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

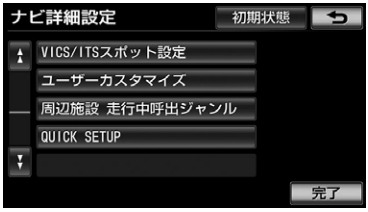
※2 ナビゲーション対応 ETC 車載器を接続しているときのみ。

※3 G-BOOK　オンラインサービスを利用されているときのみ。

※4 後席ディスプレイを接続しているときのみ。

画面外の → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 **[ユーザーカスタマイズ]** にタッチ。



2 **[記憶]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

● 手順 **2** ですでに記憶されている設定を選んだときは、**[はい]** にタッチすると上書きされます。

● 新規で記憶するとき

➡ ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力する。

記憶を呼び出して使う

ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ユーザーカスタマイズ →
ユーザーカスタマイズ画面

1 設定 1 ～ 3 のいずれかにタッチ。

設定した名称を変更する

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ユーザーカスタマイズ →
ユーザーカスタマイズ画面

1 **［名称変更］**にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードを使用して修正・入力をする。

各種ナビ設定の記憶を消去する

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ユーザーカスタマイズ →
ユーザーカスタマイズ画面

1 **［消去］**にタッチ。

2 **［はい］**にタッチ。

3. ナビ詳細設定一覧

ナビの詳細を設定する



1 画面外の にタッチ。

2 **［ナビ詳細設定］**にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

4 各項目を設定する。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。
  ・初期設定の状態にもどすとき
  ➡**［初期状態］**にタッチ。

5 **［完了］**にタッチ。

地図表示設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
地図表示設定	地図表示設定を変更する。	P.45
右画面設定	右画面の表示設定を変更する。	P.70
3D 地図表示設定	3D 表示したときの視点を変更する。	P.68
地図色設定	地図表示色を変更する。 **［ストレート］［ファイン］［ビジブル］［クリア］［カラフル］**	P.72
地図の文字サイズ変更	地図に表示される地名などの文字サイズを変更する。 **［大］［中］［小］**	P.68
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更する。 ［ ］［ ］［ ］［ ］［ ］	P.72
ビジュアルシティマップ表示	**［する］**　：ビジュアルシティマップを表示する。 **［しない］**：ビジュアルシティマップを表示しない。	P.77
周辺施設表示	地図上に表示する施設の記号を変更する。	P.75
立体ランドマーク表示	**［する］**　：立体ランドマークを表示する。 **［しない］**：立体ランドマークを表示しない。	P.77

項目（スイッチ）	機能	ページ
シーズンレジャーランドマーク表示	**【する】**：シーズンレジャーランドマークを表示する。 **【しない】**：シーズンレジャーランドマークを表示しない。	P.85

自動表示切替設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
ターンリスト自動表示	**【する】**：ターンリスト図を自動的に表示する。 **【しない】**：ターンリスト図を自動的に表示しない。	P.127
エコトライアル 2 画面自動表示	**【する】**：エコトライアル 2 画面を自動的に表示する。 **【しない】**：エコトライアル 2 画面を自動的に表示しない。	P.180
エコトライアル運転結果自動表示	**【する】**：エコトライアル運転結果を自動的に表示する。 **【しない】**：エコトライアル運転結果を自動的に表示しない。	P.180

案内表示設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
縮尺切替メッセージ表示	**【する】**：縮尺切替メッセージを表示する。 **【しない】**：縮尺切替メッセージを表示しない。	P.67
県境案内	**【する】**：県境案内をする。 **【しない】**：県境案内をしない。	P.86
3D 交差点拡大図	**【する】**：交差点拡大図を立体的（3D）に表示する。 **【しない】**：交差点拡大図を立体的（3D）に表示しない。	P.126
到着予想時刻用速度設定	**【自動】**：所要時間を計算する基準である平均車速を自動で設定する。 **【手動】**：平均車速を手動で設定する。	P.128
G情報マーク連動サービス※	**【する】**：サービスを利用する。 **【しない】**：サービスを利用しない。	P.621
ご当地グルメ近接案内	**【する】**：ご当地グルメ近接案内をする。 **【しない】**：ご当地グルメ近接案内をしない。	P.86

※ G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

音声設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
VICS 渋滞・ 規制音声自動発声	**［する］**　：VICS・交通情報を音声案内する。 **［しない］**：VICS・交通情報を音声案内しない。	P.201
細街路での音声案内※	**［する］**　：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をする。 **［しない］**：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をしない。	P.123
他モード時の案内	**［する］**　：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 **［しない］**：他モードに切り替えたとき、音声案内をしない。	P.123
ハートフル音声	**［する］**　：ハートフル音声を出力する。 **［しない］**：ハートフル音声を出力しない。	P.90
エコドライブ インフォメーション	**［する］**　：エコドライブのアドバイスを音声案内する。 **［しない］**：エコドライブのアドバイスを音声案内しない。	P.181

※ルート案内中に設定を変更するとルートの再探索が行われます。

ルート系設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
ルート学習	**【する】** ：ルート学習する。 **【しない】** ：ルート学習しない。	P.114
ルート学習結果の消去	ルート学習していたルートを消去する。	P.114
季節規制メッセージ表示	**【する】** ：季節規制メッセージを表示する。 **【しない】** ：季節規制メッセージを表示しない。	P.84
フェリールート利用	**【する】** ：フェリーを使用するルートを探索する。 **【しない】** ：フェリーを使用するルートを探索しない。	P.130
渋滞考慮探索※1	**【する】** ：渋滞を考慮してルート探索する。 **【しない】** ：渋滞を考慮してルート探索しない。	P.206
新旧ルート比較表示※1	**【する】** ：新旧ルートを比較表示する。 **【しない】** ：新旧ルートを比較表示しない。	P.207
プローブ交通情報自動取得※2	**【する】** ：プローブ交通情報を自動取得する。 **【しない】** ：プローブ交通情報を自動取得しない。	P.612

※1 ビーコンユニットを装着したとき、または G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

※2 G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

その他の設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
スイッチ表示設定	**[◀◀ Off]** にタッチしたときに表示させたいスイッチ類を変更する。	P.64
車両情報設定※	料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更する。	P.129
目的地履歴の消去	目的地履歴を消去する。	P.141
画面切り替えの動画表現	**[する]** ：画面切り替え時を動画で表現する。 **[しない]** ：画面切り替え時を動画で表現しない。	P.86
ナビ補正	現在地の修正または距離を補正する。	P.159
VICS/ITS スポット設定	VICS 、および ITS スポットサービス（DSRC）自動割込情報表示の設定、自動割込表示時間を変更する。	P.205
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定を記憶・呼び出し・消去する。	P.161
周辺施設　走行中呼出ジャンル	走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更する。	P.77
QUICK SETUP	QUICK SETUP の設定や設定した内容を修正する。	P.50

※目的地が設定されているときは操作することができません。

4. 安全・快適走行設定一覧

安全・快適走行の設定をする



1 画面外の にタッチ。

2 運転支援 にタッチ。

3 **［安全・快適走行設定］**にタッチ。

4 各項目を設定する。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。

5 **［完了］**にタッチ。

項目（スイッチ）	機能	ページ
一時停止案内	**［する］**　：一時停止案内をする。 **［しない］**：一時停止案内をしない。	P.78
逆走注意案内	**［する］**　：逆走注意案内をする。 **［しない］**：逆走注意案内をしない。	P.81
踏切案内	**［する］**　：踏切案内をする。 **［しない］**：踏切案内をしない。	P.79
合流案内	**［する］**　：合流案内をする。 **［しない］**：合流案内をしない。	P.79
ITS スポット安全運転支援案内※	**［する］**　：ITS スポットサービス（DSRC）による安全運転支援案内をする。 **［しない］**：ITS スポットサービス（DSRC）による安全運転支援案内をしない。	P.82
カーブ案内	**［する］**　：カーブ案内をする。 **［しない］**：カーブ案内をしない。	P.79
レーン案内	**［する］**　：レーン案内をする。 **［しない］**：レーン案内をしない。	P.79
事故多発地点案内	**［する］**　：事故多発地点案内をする。 **［しない］**：事故多発地点案内をしない。	P.80
学校存在案内	**［する］**　：学校存在案内をする。 **［しない］**：学校存在案内をしない。	P.82

※ ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したときに操作することができます。

5. メンテナンス機能について

メンテナンス機能とは

メンテナンス機能とは、GPS（→P.183）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などのイベント時期の案内を行う機能です。

知 識

- メンテナンス機能の内容・時期の設定については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期 / 距離を設定する

1 画面外の にタッチ。

2 メンテナンス にタッチ。

3 **[項目設定]** にタッチ。



4 設定する項目にタッチ。

- （任意入力項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→P.170）
- すでに設定されている任意入力項目にタッチしたときは、**5** の画面が表示されます。
- 未設定の項目は（白色）、すでに設定されている項目は（青色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示されます。

5 **[お知らせ日]** または **[お知らせ距離]** にタッチ。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

6 日付・距離を入力し、**[完了]** にタッチ。

- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。
- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、**[年]**・**[月]**・**[日]** にタッチして入力することができます。
  ・2 ～ 9 月と 4 ～ 9 日は **[月]**・**[日]** にタッチして入力する必要はありません。
  〈例〉2011 年 5 月 2 日と入力するとき **[1]**・**[1]**・**[0]**・**[5]**・**[0]**・**[2]** または **[1]**・**[1]**・**[5]**・**[2]**・**[日]** の順にタッチします。

7 **[完了]** にタッチ。

知 識

- メンテナンス時期の設定をしても、自動通知（メンテナンス案内）の設定をしないと、メンテナンス案内は行われません。（→P.172）

5. メンテナンス機能について

任意入力項目を設定する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 (任意入力項目) にタッチ。

2 設定するマークにタッチ。



3 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、**[完了]** にタッチ。



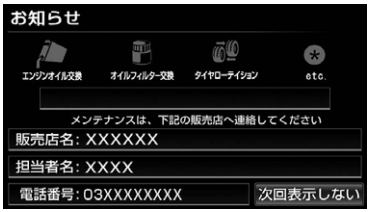
● 間違えたとき
➡ **[修正]** にタッチ。

4 お知らせ日、またはお知らせ距離を設定する。(→ P.169)

5 **[完了]** にタッチ。

メンテナンスの案内について

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される (立ち上がる) とき、同時に 4 つまで案内されます。



● メンテナンス案内の自動通知を設定できます。(→ P.172)

● 5 つ以上の項目があるときは、✱が表示されます。
・ 任意入力項目のときは、入力した名称を表示します。

● **[次回表示しない]** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンスの設定を変更する

メンテナンス設定を個別に消去する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 設定を消去する項目にタッチ。



2 **[設定消去]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

● すべて消去するとき
➡「メンテナンス設定をすべて消去する」（→ P.172）

メンテナンス設定を個別に更新する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 設定を更新する項目にタッチ。

2 **[自動更新]** にタッチ。



3 **[はい]** にタッチ。

● 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

4 **[完了]** にタッチ。（**2**の画面）

● すべて更新するとき
➡「メンテナンス設定をすべて更新する」（→ P.172）

知識

● 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

5. メンテナンス機能について

自動通知（メンテナンス案内）の設定をする

メンテナンス時期に案内が自動で通知されるよう設定することができます。

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 **[自動通知]** にタッチ。

● メンテナンス案内が自動通知されるときは、作動表示灯が点灯します。

メンテナンス設定をすべて消去する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 **[設定全消去]** にタッチ。

2 **[はい]** にタッチ。

● 個別に消去するとき
➡「メンテナンス設定を個別に消去する」（→ P.171）

メンテナンス設定をすべて更新する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 **[自動全更新]** にタッチ。

2 **[はい]** にタッチ。

● 個別に更新するとき
➡「メンテナンス設定を個別に更新する」（→ P.171）

販売店の設定をする

販売店を設定する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 **[販売店設定]** にタッチ。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→ P.91、P.107）

3 **[セット]** にタッチ。

- ⊕の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を検索する」（→ P.100）でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、地図が表示されたら、このまま地図を動かさずに **[セット]** にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

4 **[完了]** にタッチ。

販売店の情報を修正・入力する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定 →
販売店設定画面

1 修正・入力をする。



- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	P.150
スタッフ名前	P.150
位置	P.151
電話番号	P.152

- **[販売店に行く]** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

2 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

販売店を消去する

画面外の → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定 →
販売店設定画面

1 **[販売店の消去]** にタッチ。

2 **[はい]** にタッチ。

6. エコ機能

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。

また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集することができます。

知 識

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。
- 燃費が自動計算される車種の場合、エコ情報画面には**［区間燃費］**が表示（→ P.178）され、**［燃費履歴］**は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット（0km）されます。

1 画面外の **G・INFO** にタッチ。

- G-BOOK画面やBTナビ画面が表示されたとき
  ➡ **情報** にタッチ。

2 **［エコ情報］**にタッチ。

3 **［燃費履歴］**にタッチ。

4 **［データ入力］**にタッチ。

5 **［給油量入力］**にタッチ。

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、**［走行距離リセット］**→**［はい］**の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

6 給油量を入力し、**［完了］**にタッチ。



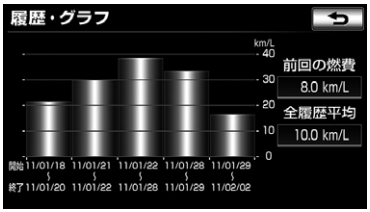
- 間違えたとき
  ➡**［修正］**にタッチ。

知 識

- 走行距離の表示は、0.0km から 999.9km になります。
- 入力できる給油量は、最大99.9L、最小0.1Lです。
- 小数点と小数点以下の数値を入力しないで**［完了］**にタッチしたときは、小数点以下の数値は 0 になります。

履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



画面外の G・INFO → （情報）→ エコ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 **[履歴・グラフ]** にタッチ。



- 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。
- 過去5回分の燃費がグラフで表示されます。

知識

- グラフの表示は、最大 40km/L になります。
- 数値の表示は、最大　　99.9km/L、最小 0.1km/L になります。

履歴の編集

計算された燃費は、履歴に最大 100 件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

画面外の G・INFO → （情報）→ エコ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 **[履歴一覧]** にタッチ。

2 編集したい履歴（期間）を選択する。



3 修正・入力をする。

- 前の履歴（期間）を表示したいとき
  ➡ **[◀◀前へ]** にタッチ。
- 次の履歴（期間）を表示したいとき
  ➡ **[次へ▶▶]** にタッチ。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
開始日の編集	P.169
終了日の編集	P.169
走行距離の編集	P.169
給油量の編集	P.174

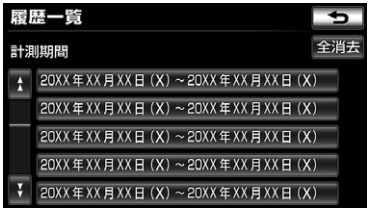
履歴の削除

履歴が 100 件をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な履歴を選択して消去することもできます。

画面外の G・INFO →（情報）→ エコ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 **［履歴一覧］**にタッチ。

2 削除したい履歴（期間）を選択する。



- 全ての履歴を消去したいとき
  ➡ **［全消去］**にタッチ。

3 **［本履歴を削除］**にタッチ。

4 **［はい］**にタッチ。

ルート案内時の燃費設定

燃費を設定すると、目的地を設定したときの５ルート同時表示のルートごとに燃料消費量を推定し、最もエコなルートにアイコンを表示することができます。



1 画面外の G・INFO にタッチ。

- G-BOOK画面やBTナビ画面が表示されたとき
  ➡ 情報 にタッチ。

2 **［エコ情報］**にタッチ。

3 **［燃費設定］**にタッチ。



4 **［一般道燃費］**または**［高速道路燃費］**にタッチ。

5 燃費を設定し、**[完了]** にタッチ。



- 燃費を上げたいとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- 燃費を下げたいとき
  ➡ **[<]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。(**4**の画面)

知 識

- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 入力できる燃費設定は、0.1km/L ～ 99.9km/L の範囲です。

エコ情報の表示

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。また、過去 20 分間の燃費を確認することもできます。

エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

■最新評価の表示

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 **[地図＆エコ情報]** にタッチ。



- エコ運転評価は 5 段階で表示されます。
- 評価に合わせて、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

知 識

- 評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

■評価履歴の表示

画面外の G・INFO → (情報) → エコ情報 → エコナビ情報画面

1 **[エコ運転評価履歴]** にタッチ。

- 今日と過去 9 回のエコ運転評価結果が、グラフで表示されます。評価は 1 日単位で記録されます。



● 評価履歴を消去したいとき
➡［履歴消去］→［はい］の順にタッチ。

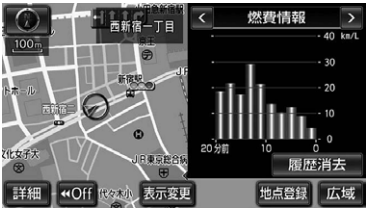
燃費情報の表示

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図＆エコ情報 → エコ運転評価画面

1 ［>］にタッチ。



● 過去20分間の燃費が2分単位のグラフで表示されます。



● 履歴グラフを消去したいとき
➡［履歴消去］→［はい］の順にタッチ。
● エコトライアル画面（→ P.180）を表示したいとき
➡［>］にタッチ。
● エコ運転評価画面に戻すとき
➡［<］にタッチ。

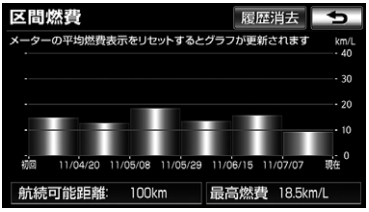
区間燃費の表示

メーターの燃費表示をリセットするごとの燃費情報を最大6個までグラフで表示します。

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ エコ情報 → エコナビ情報画面

1 ［区間燃費］にタッチ。

● 区間燃費画面が表示されます。



● 履歴を消去したいとき
➡［履歴消去］→［はい］の順にタッチ。
● 最高燃費とは、区間燃費の履歴を消去してから現在までの過去最高の区間燃費です。
● 航続可能距離は、メーターから通知された数値が表示されます。

知識

● 燃費が自動計算されない車種の場合、エコ情報画面には［燃費履歴］が表示（→P.174）され、［区間燃費］は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
● メーターの燃費表示や航続可能距離については、車両の取扱書をご覧ください。

エコトライアル機能を使用する

エコトライアルとは、ルートごとの燃費を計算して記録する機能です。各ルートの平均燃費や最高燃費を確認することで、環境にやさしい運転ができるようサポートします。

知 識

- エコトライアル機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ルートを登録する

エコトライアルに登録していないルートを設定して目的地に到着した場合、ルートと燃費がナビに仮登録されます。エコトライアルの対象ルートとして利用するためには、本登録が必要です。

- 仮登録できるルートは 1 件です。本登録をする前に、他のエコトライアルに登録していないルートを設定して目的地に到着した場合、新しいルートが仮登録されます。

画面外の G・INFO → （情報）→ エコ情報 → エコナビ情報画面

1 **［エコトライアル］**にタッチ。

2 **［新規登録］**にタッチ。

- 仮登録中のルートが表示されます。

3 **［はい］**にタッチ。



4 ルート名を編集し、**［完了］**にタッチ。



エコトライアルを開始する

登録してあるルート（→ P.179）と同じルートで目的地案内を開始すると、エコトライアル画面が表示されます。目的地に到着すると、運転結果画面が表示されます。

エコトライアル自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.164）

エコトライアル運転結果表示のする／しないを設定できます。（→ P.164）

■エコトライアル画面



- エコ運転評価画面を表示したいとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- 燃費情報画面（→ P.178）を表示したいとき
  ➡ **[<]** にタッチ。
- エコトライアル画面を解除するとき
  ➡ **[表示変更]** → **[地図表示]** → **[地図 1 画面]** の順にタッチ。

■運転結果画面



- 運転結果画面を解除するとき
  ➡ **[閉じる]** にタッチ。

知 識

- 出発地と最終目的地が一致した場合に、同じルートと判断します。通過目的地は対象になりません。
- 今回平均燃費の表示は、10 秒ごとに更新されます。

エコトライアル情報を表示する

画面外の **G・INFO** → （ **情報** ）→ **エコ情報** → **エコトライアル** → **エコトライアル画面**

1 **[情報]** にタッチ。

2 情報を表示したいルートを選択する。

- エコトライアル情報画面が表示されます。



■ルート名を変更する

1 **[編集]** にタッチ。

2 ルート名を編集し、**[完了]** にタッチ。

■表示内容を切り替える

1 **[前回]**、**[最高]** または **[累計]** にタッチ。

- 選択した項目に合わせて、平均燃費・走行時間・距離の表示が切り替わります。

ルートを消去する

画面外の G・INFO → （情報）→ エコ情報 → エコトライアル → エコトライアル画面

1 **[消去]** にタッチ。

2 消去したいルートを選択し、**[消去]** にタッチ。



- すべてのルートを消去するとき
  ➡ **[全選択]** → **[消去]** の順にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

エコドライブインフォメーションの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

＜エコドライブインフォメーション音声の例＞

- 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
- エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
- 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

エコドライブインフォメーションをする／しないを設定できます。
（→ P.165）

知識

- エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ハートフル音声（→ P.90）とエコドライブインフォメーションの音声が重複した場合、ハートフル音声が優先されます。その場合、エコドライブインフォメーションは、次回エンジンスイッチを ACC、または ON にしたときに発話されます。

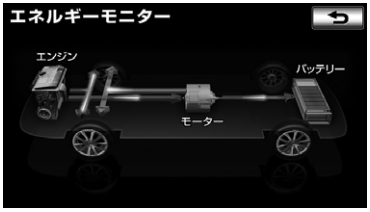
エネルギーモニターの表示

ハイブリッドシステムの状態を、画面に表示することができます。

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ エコ情報 → エコナビ情報画面

1 **［エネルギーモニター］**にタッチ。

● エネルギーモニター画面が表示されます。



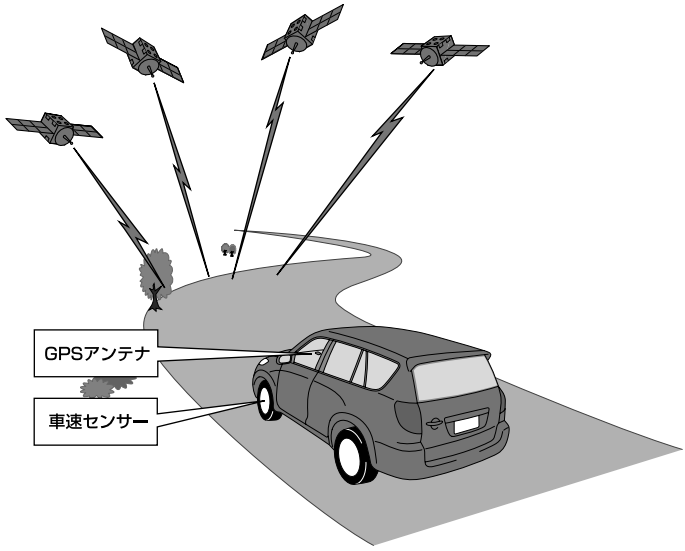
知 識

● エネルギーモニター表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

7. GPS について

GPS とは

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



cmcAJ011

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。

この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

8. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**[自宅周辺]** にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（→ P.143）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 **[1]** ～ **[5]** または特別メモリに行く **[1]** ～ **[5]** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。 （→ P.144）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	**[はい]** にタッチしたあと、地図を道路付近に移動して、**[セット]** にタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、**[いいえ]** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	

8. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原　因	処　置
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→ P.145）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400 カ所・G メモリ地点 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 （→ P.146）
セットで◆を乗降 IC に設定します 次候補で別の出入口を探します	指定した IC に出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、**[セット]** にタッチしてください。 希望の出口（入口）でないときは、**[次候補]** にタッチしてください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、**[はい]** にタッチしてください。 指定をやめるとき、**[いいえ]** にタッチしてください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ [高速道路、有料道路など]	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、**[設定する]** にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、**[他の道路]** にタッチしてください。
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、**[はい]** にタッチしてください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、**[いいえ]** にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。 自車マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(→ P.63)
GPS　マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(→ P.121)
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。(→ P.90)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
車両のエンジンスイッチを ACC または ON にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(→ P.41)
実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている。 (自車マークがずれている。)	人工衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→ P.159)

ナビの精度について

次のようなときは、故障ではありません。

知 識

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→P.159）

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が４輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- ルーフキャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

8. 知っておいていただきたいこと

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、この GPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知 識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、次の方法で更新することができます。

- 全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

- 差分更新：通信または CD-R/DVD-R を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド」（→ P.592）をご覧ください。

知 識

- 全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

地図データの情報を見る

ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報は、使用データ画面で確認できます。

画面外の → **地図更新** → 地図更新画面

1 **[使用データ]** にタッチ。



知 識

- 使用データ画面に表示される**[地図更新]**は、全更新（→ P.191）時に使用するスイッチです。
  全更新については、お買い上げの販売店にご相談ください。

地図データベースについて

●いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（測量法 第 30 条に基づく成果使用承認 平 22 業使第 427-001 号）
この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 06-052T）
©2007 財団法人 日本デジタル地図協会
©アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD. &
（株）トヨタマップマスター &（株）昭文社

■交通規制データの出典について

● この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先について

● このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点について

● 地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■統計交通情報について

● 統計交通情報データは、JARTIC/VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■G ルート探索について

● G ルート探索は、JARTIC/VICS の情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索について

● 渋滞考慮探索は、JARTIC/VICS の情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にアイシン・エィ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■周辺迂回路探索について

● 周辺迂回路探索は、道路交通センサス、株式会社 昭文社提供データを基にアイシン・エィ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）について

● 渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ＿＿ の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



● 地図の縮尺の切り替えについて
➡「地図縮尺を切り替える」（→ P.66）

スケール表示	縮 尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

● 1/2500 図は市街図表示（→ P.72）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・表示について

表 示	内 容
（紫色）	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）
	国道、主要道、都道府県道、その他の道路
	トンネルまたは整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

知 識

● ビジュアルシティマップ表示（→ P.77）にすると、道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。
● 道路の表示色は地図の表示色（→ P.72）の設定によって異なります。

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	IC（インターチェンジ）
SA	SA（サービスエリア）
PA	PA（パーキングエリア）
IC	スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など

記号	内容
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ダイハツ販売会社
	ネッツ店
L&F	トヨタ L & F

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

1. 地図について

知 識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

1. VICS・交通情報の表示について

VICS・交通情報を表示する

地図上に VICS・交通情報（VICS 記号・表示）を表示することができます。（→ P.215）

VICS・交通情報の表示例

▶通常の地図



▶ハイウェイモード



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	（赤色）	（橙色）	（水色）
統計情報	（赤色）	（橙色）	（水色）

● VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

現況情報について

現況情報は次の情報です。

■現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報

■現況交通情報

▶G-BOOK オンラインサービス 利用時
G-BOOK センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報（→ P.611）

■統計情報

過去の交通情報を統計処理した情報

1. VICS・交通情報の表示について

知 識

- 統計情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。
- 現況交通情報は、Gルート探索（→ P.611）すると取得することができます。
- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ P.592）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 車両情報の設定で、モーターアンテナ車の設定を ON に設定している場合、オーディオが OFF のときは VICS 情報を受信することができません。（→ P.129）

タイムスタンプについて

タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力することができます。（→ P.201）



タイムスタンプ

時刻表示について

知 識

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、**[- - : - -]** の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が **[- - : - -]** になります。
- エンジンスイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは、**[- - : - -]** の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）に現況情報があると色がかわります。

スイッチ	内容
赤色（ 8:00 ）	渋滞情報
橙色（ 8:00 ）	混雑情報
黄色（ 8:00 ）	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知 識

- 現況 VICS 情報･現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況VICS情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。



知 識

- VICS 記号によっては、内容が表示されない VICS 記号もあります。

VICS・交通情報の表示設定

VICS・交通情報を表示する

地図表示中 → 表示変更 **→**
表示変更画面

1 **[VICS・交通情報]** にタッチ。



2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

スイッチ	内容
[全て]	高速道路・一般道路に表示
[高速道のみ]	高速道路のみに表示
[一般道のみ] ※	一般道路のみに表示
[非表示]	交通情報を表示しない

※ ハイウェイモード（→ P.87）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

● VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

地図表示中 → 表示変更 **→**
VICS・交通情報 **→**
VICS・交通情報画面

1 **[表示設定]** にタッチ。



2 表示する VICS･交通情報を選択し、**[完了]** にタッチ。

スイッチ	内容
[渋滞・混雑] ※	渋滞・混雑している道路の表示
[空き道] ※	空いている道路の表示
[規制情報]	事象・規制がある道路の表示
[駐車場]	駐車場情報の表示

※ 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

● 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

2. VICS・交通情報を活用する

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

■VICS 表示がある地点

「およそ 1km 先 渋滞があります」

■VICS 記号のある地点

「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

音声案内はあくまでも参考としてください。

● 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ P.165）

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

1 タイムスタンプにタッチ。



タイムスタンプ

- 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがスイッチになり操作することができます。

知 識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプがタッチスイッチになっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

画面外の G・INFO →（情報）→ 情報画面

1 **[VICS]** にタッチ。



2 **[FM 図形]** または **[FM 文字]** にタッチ。

3 情報の番号（**[1]**・**[2]**・**[3]** …）にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ **[文字]** または **[図形]** にタッチ。

4 **[▲]**、**[▼]** または **[自動送り]** にタッチ。

- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るとき
  ➡ **[▲]** または **[▼]** にタッチ。
- **[自動送り]** にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
  走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するとき
  ➡ **[停止]** にタッチ。
- 自動送り中に **[▲]** または **[▼]** にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ **[文字]** または **[図形]** にタッチ。
- **[目次]** にタッチすると、**3** の画面が表示されます。

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

▶販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したとき

ビーコンからの現況VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

知 識

- ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信されたときは、割込情報が表示されます。

割込情報の表示例



割込情報を切り替えるとき

1 **［▲］**または**［▼］**にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡**［文字］**または**［図形］**にタッチ。
- **［表示消］**にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
  表示時間は調整することができます。
  （→ P.205）

知 識

- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ITS スポット対応 DSRC ユニット★ 装着時に追加で受けられる割込情報

- ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着している場合、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。
- 画面内容はあくまでも参考です。本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- ITS スポット対応 DSRC ユニットについては、ITS スポット対応 DSRC ユニットに同梱の取扱書をご覧ください。

■前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を画面と音声、または音声で案内します。



ピッ この先、約 2km 霞ヶ関トンネル内の状況です。



ピッ 現在の首都高速４号線上り方向の情報をお知らせします。・・・・・

■電子標識情報提供サービス

標識の画像を表示することで、自動車専用道路などへ入ったことを案内します。



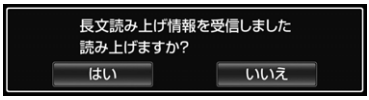
■長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。
「現在の首都高速４号線上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

★印はオプションです。

2. VICS・交通情報を活用する

読上げ情報を案内するとき



1 **[はい]** にタッチ。

- 読上げ中、**[中止]** にタッチすると、読上げを中止します。
- 読上げ情報は、2　回読上げると終了します。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
- 再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」(→ P.204)をご覧ください。

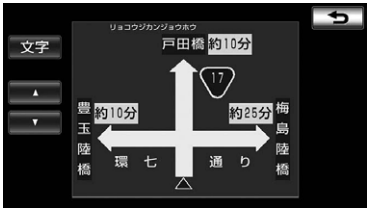
割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ VICS → VICS 画面

1 VICS呼出、またはITSスポット呼出の **[割込情報]** にタッチ。

2 **[▲]** または **[▼]** にタッチして、割込情報を切り替える。



- 画面は、図形情報を使用しています。文字情報（ITS スポット呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。
- VICS 呼出 : 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ **[文字]** または **[図形]** にタッチ。
- ITS スポット呼出 : 表示情報または読上げ情報に切り替えるとき
  ➡ **[表示情報]** または **[読上げ情報]** にタッチ。

知 識

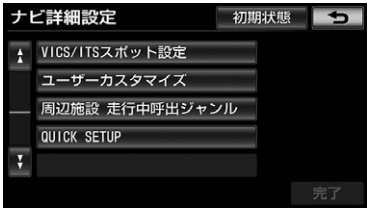
- 提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示させることができません。
- ITSスポット呼出の**[割込情報]**はITSスポット対応 DSRC ユニットを装着している場合に表示されます。

割込情報の表示設定を変更する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

画面外の → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 **[VICS/ITS スポット設定]** にタッチ。



2 割込設定をし、**[完了]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

自動割込を設定する

自動割込のする／しないを設定できます。

1 各項目の **[する]** または **[しない]** にタッチ。

割込設定	内容
VICS 注意警戒情報自動割込	注意警戒情報の表示
VICS 文字情報自動割込	文字情報の表示
VICS 図形情報自動割込	図形情報の表示
ITSスポット表示情報自動割込	ITS スポットサービス（DSRC）情報の表示
ITSスポット読上げ情報自動割込	ITS スポットサービス（DSRC）読上げ情報（長文読上げ情報）確認画面の表示

2 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

自動割込表示時間を調整する

割込情報の表示時間を調整できます。

1 **[自動割込みの表示時間]** にタッチ。

- 長くするとき ➡ **[+]** にタッチ。
- 短くするとき ➡ **[−]** にタッチ。

2 **[完了]** にタッチ。

ITS スポットサービス（DSRC）走行情報アップリンクの設定を変更する

ITS スポットサービス（DSRC）走行情報アップリンクのする／しないを設定できます。

1 **［する］**または **［しない］**にタッチ。

知 識

- ITS スポット走行情報アップリンクを「する」に設定した場合、走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ITS スポット対応 DSRC ユニットを通じて、ITS スポットサービス（DSRC）の路側無線装置へ送ることができます。
- 詳しくは、「道路管理者等からのお知らせとお願い」（→ P.213）をご覧ください。

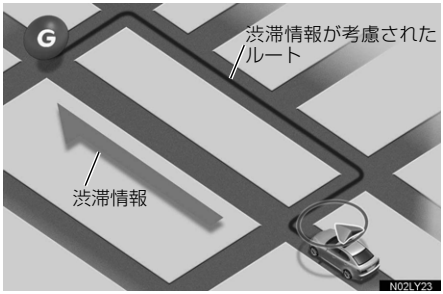
渋滞を考慮して探索する

▶販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したとき

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。

▶G-BOOK オンラインサービス利用時

- 渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。（→ P.611）



知 識

- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

■渋滞考慮探索の設定を変更する

渋滞考慮探索のする／しないを設定できます。

画面外の → **［ナビ詳細設定］** → **［ルート系設定］** → **ナビ詳細設定画面**

1 **［渋滞考慮探索］**にタッチ。



2 **［する］**または **［しない］**にタッチ。

3 **［完了］**にタッチ。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコン※または G-BOOK センターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

※ ビーコンを受信するには販売店装着オプションのビーコンユニットが必要です。



● 新旧ルート比較表示（→ P.207）を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。

新ルートで案内するとき

1 **[新ルート]** にタッチ。

● 約 10 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

元ルートで案内するとき

1 **[元ルート]** または **[⮌]** にタッチ。

新旧ルート比較表示の設定を変更する

新旧ルート比較表示のする／しないを設定できます。

画面外の → **[ナビ詳細設定]** → **[ルート系設定]** → **ナビ詳細設定画面**

1 **[新旧ルート比較表示]** にタッチ。



2 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

知 識

● 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ P.206）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。

● 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ P.199）に関わらず渋滞情報が表示されます。
ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→ P.198）

3. VICS 放送局を選択する

放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

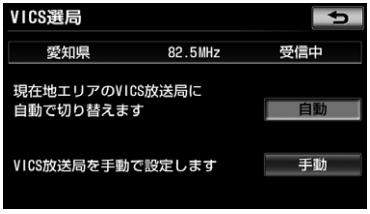
画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 **[VICS/ITS スポット設定]** にタッチ。

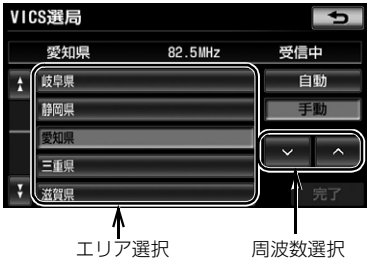
2 **[VICS 選局]** にタッチ。

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶自動選択時



▶手動選択時



- 通常は、「自動」にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、「手動」で放送局または放送エリアを選択してください。

知 識

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

画面外の → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ITS スポット設定 → VICS 選局 → VICS 選局画面

1 **[自動]** にタッチ。

手動で放送局を選択する

▶エリア選択
選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶周波数選択
選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

画面外の → **ナビ詳細設定** → **その他** → **VICS/ITS スポット設定** → **VICS 選局** → VICS 選局画面

1 **[手動]** にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、**[∧]** または **[∨]** にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

- 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 **[完了]** にタッチ。

4. VICS の概要について

VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人日本デジタル道路地図協会・財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1. お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を財団法人道路交通情報通信システムセンター、社団法人新交通管理システム協会および財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。
2. お客様は、財団法人道路交通情報通信システムセンター、社団法人新交通管理システム協会および財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS について問い合わせをする

トヨタ販売店への問い合わせについて

- VICS 車載機、ITS スポット対応 DSRC ユニットの調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

サービス・サポート・センターへの問い合わせについて

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- ITS スポット安全運転支援案内に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

サービス・サポート・センター
電話番号（受け付け時間…9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
0570ー 00ー 8831（全国共通）※
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
FAX 番号（受け付け時間…24 時間）
03ー 3562ー 1719（全国共通）

4. VICS の概要について

知 識

- VICS については、以下のホームページでもご覧いただけます。
  URL: http://www.vics.or.jp/
- ITS スポットサービス（DSRC）については、以下のホームページでもご覧いただけます。
  URL: http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

道路管理者等からのお知らせとお願い

■ITS スポットサービス（DSRC）アップリンク機能※1を用いたプローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者等」と言います。）は、ITS スポット対応DSRCユニット※2からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

多くの方々からプローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みに活用することも予定しています。

プローブ情報の収集にご理解とご協力をお願いします。

※1： ITS スポットサービス（DSRC）路側無線装置に情報を送信する ITS スポット対応 DSRC ユニットの機能。

※2： 狭域通信（DSRC）を利用し、路側無線装置と通信を行うことで、これを利用した様々なサービスを受けることが可能なユニット。

1. プローブ情報

(1)ここで「プローブ情報」とは、ITS スポット対応 DSRC ユニットに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者等が管理する路側無線装置等※3と無線通信を行うことにより ITS スポット対応 DSRC ユニットから収集される情報を言います。

※3： 道路管理者等が管理する路側無線装置及び道路管理者等とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する路側無線装置を言います。

2. プローブ情報の利用目的

(1)道路管理者等は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※4

※4： 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ITS スポット対応 DSRC ユニット利用者やドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ITS スポット対応 DSRC ユニット利用者やドライバーに情報提供することが考えられます。

(2)道路管理者等は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1)道路管理者等は、道路管理者等が管理する路側無線装置※3によって、プローブ情報を収集する場合があります。収集する情報は次のとおりです。なお、これらの情報に特定の車両又は個人を容易に識別できる情報は含まれていません。

- ITS スポット対応 DSRC ユニット、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等）
- 車両に関する情報※5
- 走行位置の履歴※6
- 急な車両の動きの履歴（急ブレーキ、急ハンドル等で車両の動きに急な変化があった場合にのみ、位置、加速度等が保存されます。）※6

※5： ユニットのセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の４桁の一連番号は含まれません。（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）

※6： 走行開始地点などの個人情報にかかわる情報を、履歴から特定できない仕組みがカーナビゲーションに施されています。

(2)道路管理者等は、プローブ情報から車両又は個人を特定することはありません。

(3)ITS スポット対応 DSRC ユニット利用者は、ITS スポット対応 DSRC ユニットと連動したカーナビゲーションの設定により、(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者等への提供の可否を選択することができます。※7 選択の方法については、「ITS スポットサービス（DSRC）走行情報アップリンクの設定を変更する」（→ P.206）をご覧ください。

※7： カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションでは選択できない場合があります。カーナビゲーションと連動していない ITS スポット対応 DSRC ユニットからは、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴は提供されません。

(4)ITS スポット対応 DSRC ユニット利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1)道路管理者等は、2．(1) の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、道路管理者等、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2)道路管理者等は、ITS スポット対応 DSRC ユニット、路側無線装置等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3)道路管理者等は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

VICS 記号・表示について

表 示	道路の種類
(黒色) ※	通行止めの区間
(赤色)	渋滞している道路
(橙色)	混雑している道路
(水色)	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記 号	駐車場・SA・PA 情報
(青色)	駐車場（空車）
(橙色)	駐車場（混雑）
(赤色)	駐車場（満車）
(黒色)	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
(青色)	SA・PA（空車）
(橙色)	SA・PA（混雑）
(赤色)	SA・PA（満車）
(黒色)	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記 号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
(青色)	注意
(黒色)	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨

記 号	規制情報
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

知 識

- 表示される記号･表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

1. 携帯連携について

携帯連携とは

携帯電話で表示している地点情報を車載機へ送信したり、車載機で設定されている現在地や目的地の地点情報を携帯電話へ送信することができる機能です。

⚠警告

- 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知識

- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。
- データの送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- データの送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（→P.341）やハンズフリー（→P.473）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。）

情報を携帯電話へ送信する

現在地の地点情報を車載機から携帯電話へ送信することができます。目的地が設定されている場合は、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

- 各携帯電話会社へのお問い合わせ
- 携帯電話のパンフレット
- 専用カタログ
- トヨタのホームページ

1 画面外の G・INFO にタッチ。

- 情報画面や G-BOOK 画面が表示されたとき
  ➡ BT ナビ にタッチ。

2 **［地点を送信］**にタッチ。



3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- 携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行います。

4 **[送信]** にタッチ。



- 通信を中止したいとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。
- 位置情報を送信するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。

知 識

- ハンズフリー（→ P.473）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- WEB 検索（→ P.559）で登録した地点情報は、送信することができません。

情報を車載機へ送信する

車載機に登録されている携帯電話で表示している地点情報を、携帯電話から本機へ送信することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

- 各携帯電話会社へのお問い合わせ
- 携帯電話のパンフレット
- 専用カタログ
- トヨタのホームページ

画面外の G・INFO **→** （BT ナビ）**→** BT ナビ画面

1 **[地点を受信]** にタッチ。



2 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（→ P.107）

知 識

- 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ P.482）
- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（→ P.473）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。

MEMO

3

オーディオ&ビジュアル

1 はじめに

1. 基本操作をする 223
- 操作スイッチ 223
- 電源を ON する /OFF する 224
- 音量を調節する 224
- 操作画面を表示する 224
- モードを切り替える 224
- 音の設定をする 225
- 後席ディスプレイ接続時の設定をする 233

2 ラジオを聞く

1. ラジオを操作する 236
- ラジオを聞く 236
- 放送局を選ぶ 237
- 放送局を記憶する 237
- エリアスイッチについて 239
- 交通情報放送を受信する 239

3 DVDプレーヤーを操作する

1. 音楽CDを聞く 240
- CD を聞く 241
- 再生を一時停止する 241
- 聞きたい曲を選ぶ 241
- 早送り、早戻しする 242
- 同じ曲を繰り返し聞く 242
- 曲の順番をランダムに聞く 242

2. MP3/WMAディスクを聞く 243
- MP3/WMA ディスクを再生する 244
- 再生を一時停止する 244
- 聞きたいフォルダを選ぶ 244
- 聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 245
- 早送り、早戻しする 245
- 同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 245
- 同じフォルダを繰り返し聞く 246
- フォルダの中からランダムに聞く 246
- 全フォルダの中からランダムに聞く 246
- MP3/WMA について 247

3. DVD（DVDビデオ、DVD-VR）を見る 251
- DVD を再生する 253
- 映像を一時停止する 254
- 映像を止める 254
- 早送り、早戻しする 255
- スロー再生する 255
- 静止画を切り替える 255
- 見たい場所を選ぶ 255
- メニュー画面を操作する 256
- 音声を切り替える 256
- 字幕を切り替える 257
- アングルを切り替える 257
- 音声モードを切り替える 258
- 再生モードを切り替える 258
- ディスクで指定された位置まで戻って見る 258
- 画面モードを切り替える 259
- 画質を調整する 259
- プレーヤーの設定をする 259

4. 知っておいていただきたいこと 266
DVD ビデオ再生中の操作について 266
DVD ビデオについて 266

4 SDメモリーカードについて

1. SDオーディオを操作する 271
SD オーディオを聞く 272
再生を一時停止する 272
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 272
プレイリストを切り替える 272
早送り、早戻しする 273
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 273
同じプレイリストを繰り返し聞く 273
プレイリストの中からランダムに聞く 273
全プレイリストの中からランダムに聞く 274
セキュア AAC/ セキュア MP3 について 274

5 HDDオーディオについて

1. お使いになる前に 275
HDD オーディオの概要 275
データベースについて 275
データベースのバージョンを確認する 278
データベースを更新する 278
2. HDDオーディオに録音する 279
録音についての注意 279
録音する 279
録音を中止する 280
録音の設定を変更する 280
3. HDDオーディオを聞く 282
HDD オーディオを再生する 283
聞きたいアルバムを選ぶ 283
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 285
早送り、早戻しする 285
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 285
同じアルバムを繰り返し聞く 286
アルバムの中からランダムに聞く 286
全アルバムの中からランダムに聞く 286
4. HDDオーディオを編集する 287
サウンドライブラリ編集メニュー画面について 287
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する 288
マイベストを編集する 288
アルバム情報を編集する 291
アルバムを削除する 294
曲（トラック）を削除する 295
HDD 空き容量を確認する（詳細情報の表示） 296

6 デジタルテレビを見る

1. 地上デジタルテレビの操作について 297
miniB-CAS カードについて 299
miniB-CAS カードの出し入れ 300
初回起動時の設定をする 301
地上デジタルテレビを見る 303
チャンネルを選ぶ 304
番組を選ぶ 304
プリセットモードを切り替える 305
テレビ放送の受信方法を設定する 306
放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 307
EPG(電子番組表) を見る 308
データ放送を見る 310
データ放送を操作する 310
画面表示・音声を切り替える 312
緊急警報放送（EWS) について 315
初期設定をする 315

2. 知っておいていただきたいこと 320
こんなメッセージが表示されたとき 320
故障とお考えになる前に 321

7 USBについて

1. はじめに 322

2. USBメモリを操作する 324
再生する 324
聞きたいフォルダ（アルバム）を選ぶ 324
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 325
早送り、早戻しする 325
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 325
同じフォルダを繰り返し聞く 326
フォルダの中からランダムに聞く 326
全フォルダの中からランダムに聞く 326
USB メモリについて 327
MP3/WMA について 327

8 iPodについて

1. はじめに 329

2. iPodを操作する 331
再生する 331
プレイモードを選ぶ 332
再生したいファイルを選ぶ 332
早送り、早戻しする 333
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 334
アルバムの中からランダムに聞く 334
全アルバムの中からランダムに聞く 334
iPod について 335

3. iPodの設定を変更する..... 336
カバーアート表示の設定を変更する..... 336
ビデオ音声入力の設定を変更する..... 336
画質を調整する..... 336
画面モードを切り替える..... 337

9 VTR

1. VTRの操作..... 338
VTR を再生する..... 339
VTR モードを切り替える..... 339
画面モードを切り替える..... 339
画質を調整する..... 340

10 Bluetoothオーディオを聞く

1. はじめに..... 341
Bluetooth オーディオについて..... 341
各種表示について..... 342
Bluetooth 機器使用上の注意事項について..... 344

2. Bluetoothオーディオを操作する..... 345
Bluetooth オーディオを聞く..... 346
一時停止する..... 346
聞きたいアルバムを選ぶ..... 347
聞きたい曲（トラック）を選ぶ..... 347
早送り、早戻しする..... 348
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く..... 348
同じアルバムを繰り返し聞く..... 348
アルバムの中からランダムに聞く..... 349
全アルバムの中からランダムに聞く..... 349

3. Bluetoothオーディオの設定を変更する..... 350
ポータブル機を登録する..... 350
ポータブル機を接続する..... 352
使用するポータブル機を選択する..... 354
ポータブル機の詳細情報を表示する..... 356
車載機の Bluetooth 設定を変更する..... 358
ポータブル機の登録を削除する..... 359

11 後席ディスプレイ

1. リモコンでの操作..... 360
後席ディスプレイについて..... 360
オーディオ共通の操作をする..... 361
再生中の曲を操作する..... 363
ラジオ・デジタルテレビを操作する..... 364
DVD プレーヤーを操作する..... 365
iPod の映像を操作する..... 367

1. 基本操作をする

操作スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のとき使用できます。

オーディオ操作画面



1. 基本操作をする

電源を ON する /OFF する

1 画面外の ♪ にタッチし続ける。

- スイッチにタッチし続けるごとに、電源が ON と OFF に切り替わります。

知 識

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調節する

1 画面外の ＋ または － にタッチ。

- 大きくするとき ➡ ＋ にタッチ。
- 小さくするとき ➡ － にタッチ。

- 画面外の ＋ または － にタッチし続けると音量が変わり続けます。

⚠注 意

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

操作画面を表示する

オーディオやデジタルテレビの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

1 画面外の ♪ にタッチ。

- 選択されているモードの操作画面が表示されます。

- 操作画面を表示したとき、約 20 秒以上操作しないと自動的に操作画面を表示する前の画面に戻りますが、自動的に画面が切り替わらないように設定することもできます。（→ P.44）

モードを切り替える

パネルスイッチで切り替える

操作画面を表示しているとき、画面外のパネルスイッチで選択することができます。

1 画面外の ♪ にタッチ。

- スイッチにタッチするごとに、以下の順にモードが切り替わります。
  AM→FM→DISC→HDD→USB（iPod）→ BT → VTR → TV → SD → AM

タッチスイッチで切り替える

操作画面を表示しているとき、画面内のタッチスイッチで選択することができます。

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 希望のモードを選択する。



- 【➡】または【⬅】にタッチして、切り替えたいオーディオモードのスイッチを表示させます。

スイッチ	内容
AM	AM ラジオを受信する
FM	FM ラジオを受信する
DISC	CDまたはDVDを再生する
HDD	HDD オーディオを再生する
USB（iPod）	USB メモリを再生する（iPod を再生する）
BT	ポータブルオーディオプレーヤーを再生する
VTR	VTR 機器を再生する
TV	デジタルテレビを受信する
SD	SD メモリーカードを再生する

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - ・ メディアが挿入されていないとき（DVD プレーヤーモード、SD オーディオモード）
  - ・ 再生するデータのない（録音されていない）とき（HDD オーディオモード）
  - ・ USB　メモリが販売店装着オプションの iPod対応USB/VTRアダプターに接続されていないとき（USB メモリモード）
- iPod は iPod が販売店装着オプションの iPod対応USB/VTRアダプターに接続されていないと表示されません。
- VTR は販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが接続されていないと表示されません。

音の設定をする

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 **[音設定]** にタッチ。

- QUICK SETUP で車種の設定（→ P.50）をしていない場合、メッセージが表示されて車種選択画面が表示されます。
  ➡「車種の設定」（→ P.232）手順 **2** へ

3 各項目を設定する。



機能	ページ
サラウンドシステムの設定(EUPHONY)	P.226
CSE（Clear Sound Effector）の設定	P.227
CSE・BASS の設定	P.228
音の到達時間の補正（TIME CORRECTION）	P.229
音量バランスの調整（FAD BAL）	P.230
パラメトリックイコライザの設定（P.EQ）	P.230
車種の設定	P.232

4 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

知識

- EUPHONY、CSE、CSE・BASS では、再生するオーディオモードごとに音質を設定、記憶することができます。
- 走行中は、EUPHONY、CSE、CSE・BASS、TIME CORRECTION の設定をすることができません。
- 後席ディスプレイの設定（→ P.233）で後席のオーディオモードを「前席以外」以外を選択した場合、すべて設定できなくなります。

サラウンドシステムを設定する（EUPHONY）

EUPHONY を設定し、CD や iPod のステレオ音源を再生すると、自分の周囲でミュージシャンが演奏しているような臨場感をお楽しみいただけます。また、DVD 映画再生の場合には、台詞の定位感、迫力がある立体的な効果音を充分にお楽しみいただけます。EUPHONY は、オーディオモードごとに記憶されます。オーディオモードを切り替えると、自動で EUPHONY の設定も切り替わります。

- EUPHONY（ユーフォニー）とは、「美しい音の響きを楽しむ」という基本コンセプトのもと、最新音響技術を駆使して実現したDiMAGIC社の画期的な音場再生方式です。残響や音響効果など、ステレオソースの左右信号間に存在するわずかな音の違いを適応フィルタによって最大限に引き出し、音場の臨場感を演出します。長時間聴いても疲れにくい音質が特徴で、長距離のドライブにも最適なサラウンドです。

EUPHONY™ AUTOMOBILE およびロゴは株式会社 DiMAGIC の商標です。

EUPHONY AUTOMOBILE

■EUPHONY の設定

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[EUPHONY]** にタッチ。

- オーディオモードに合わせたモードが設定されます。
- EUPHONY が作動中のときは、タッチスイッチの色が変わります。
- 解除するとき ➡ 再度 **[EUPHONY]** にタッチ。

■モードの変更

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 EUPHONY の **[設定]** にタッチ。

2 モードにタッチ。



- あらかじめ設定されているモード（メーカー初期設定）は次のとおりです。

スイッチ	初期設定されているオーディオモード	特性
[EMOTION]	-	華やかさがあるサウンド
[SYMPHONY]	DISC（CD、MP3・WMA）、HDD オーディオ、Bluetooth オーディオ、SD、USB、iPod	程よいバランスが取れたサウンド
[AMBIENT]	-	明るさのあるサウンド
[CINEMA]	DISC（DVD）	DVD映画再生に適したサウンド
[BROADCAST]	デジタルテレビ、AM、FM、VTR	デジタルテレビ、ラジオ音声に適したサウンド
[OFF]	交通情報	通常のステレオサウンド

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

CSE（Clear Sound Effector）を設定する

原音から各メディアに録音するとき、通常人間の耳に聴こえない音域が圧縮されます。CSE はその圧縮された音域をできるだけ原音にもどして再生するため車室内で聴きやすく、迫力あるサウンドを楽しむことができます。また、ラジオやテレビなどの音声はよりクリアに再生するため、リアルで明瞭な音声を楽しむことができます。

■CSE の設定

画面外の ♪ →[音設定] → 音設定画面

1 **[CSE]** にタッチ。

- メーカー初期値（補正値 **[2]** ）で CSE が設定されます。
- CSE が作動中のときは、タッチスイッチの色が変わります。
- 解除するとき ➡ 再度 **[CSE]** にタッチ。

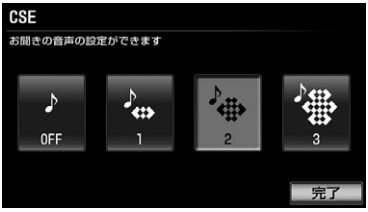
■補正値の変更

お好みにより、CSE の補正値を変更することができます。

画面外の ♪ →[音設定] → 音設定画面

1 CSE の **[設定]** にタッチ。

2 **[1]**、**[2]** または **[3]** にタッチ。



- 現在、お聞きになっているオーディオモードのみ解除したいとき ➡ **[OFF]** にタッチ。

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

知 識

- EUPHONY が設定されているときは、CSE の設定は可能ですが、CSE 補正値の変更はできません。EUPHONY 専用の CSE 設定値がオーディオモードごとに設定されています。
- AM ラジオ、デジタルテレビ、VTR モードのときは補正レベル 3 に対応していません。

CSE・BASS を設定する

CSE で、圧縮された音域を擬似的に再現しても、音の低域部分（約 200Hz 以下の低音、重低音）は走行ノイズなどにより、不足がちになります。CSE･BASSは不足がちな音の低域部分を調整することができます。

● CSE・BASS の特長

CSE 設定時に、従来のトーンコントロールではできなかった低音の音質（音のしまり／立ち上がり／減退）を調整することができます。

DYNAMICS: 低音の立ち上がり/減退とレベルを調整

HARDNESS: 低音のしまる音 / 広がる音とレベルを調整

■CSE・BASS の設定

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[BASS]** にタッチ。

- メーカー初期値（DYNAMICS：センター値、HARDNESS：センター値）で CSE・BASS が設定されます。
- CSE・BASS が作動中のときは、タッチスイッチの色が変わります。
- 解除するとき ➡ 再度 **[BASS]** にタッチ。

知 識

- EUPHONY が設定されているときは、CSE・BASS の設定はできません。
- CSE の設定を解除すると、自動で CSE・BASS の設定も解除されます。

■BASS レベルの設定

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 BASS の **[設定]** にタッチ。

2 レベルにタッチ。



- DYNAMICS: 低域楽器の迫力感

レベル	低域の音量	低域の音質
LIGHT	小さくなる	立ち上がり／減退が弱くなる
HEAVY	大きくなる	立ち上がり／減退が強くなる

- HAEDNESS: 低域楽器の質感（存在感）

レベル	低域の音量	低域の音質
SOFT	小さくなる	広がる（楽器の質感が弱くなる）
HARD	大きくなる	しまる（楽器の質感が強くなる）

音の到達時間を補正する（TIME CORRECTION）

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

■TIME CORRECTION を設定する

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[TIME CORRECTION]** にタッチ。

- TIME CORRECTION が設定されます。
- TIME CORRECTION が作動中のときは、タッチスイッチの色が変わります。
- 解除するとき ➡ 再度 **[TIME CORRECTION]** にタッチ。

■TIME CORRECTION を調整する

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[TIME CORRECTION]** にタッチ。

2 各スピーカーの **[<]** または **[>]** にタッチ。



- リスニングポジションまでの到達時間を調整することができます。
  - **[>]**：到達時間が遅れる。
  - **[<]**：到達時間が早くなる。

● 距離で調整するとき
➡ **[距離表示]** にタッチ。
・**[>]**：リスニングポジションから離れる。
・**[<]**：リスニングポジションに近づける。
● 設定を解除するとき ➡ **[初期状態]** にタッチ。

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

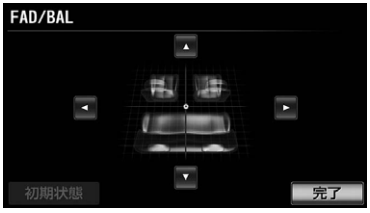
音量バランスを調整する（FAD/BAL）

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[FAD/BAL]** にタッチ。

2 **[▲]**、**[▼]**、**[◀]** または **[▶]** にタッチ。



3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

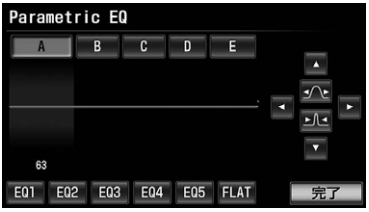
パラメトリックイコライザを設定する（P.EQ）

車室内では音が乱反射し、周波数特性に特定の高低差が生まれます。パラメトリックイコライザは、中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[PEQ]** にタッチ。

2 イコライザを設定する。



● イコライザカーブを選択するとき
➡「イコライザカーブの選択」(→P.230)
● イコライザカーブを調整するとき
➡「イコライザカーブの調整」(→P.231)

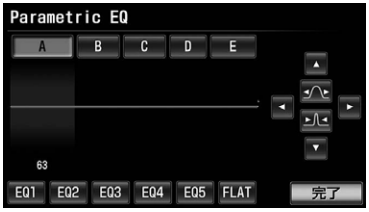
3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

■イコライザカーブの選択

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定することができます。

画面外の ♪ →音設定 →PEQ →
PARAMETRIC EQ 画面

1 **[EQ1]**～**[EQ5]**のいずれかにタッチ。



- 選択された音質モードのイコライザカーブ（緑色）が表示されます。
- あらかじめ設定されている音質モードは次のとおりです。

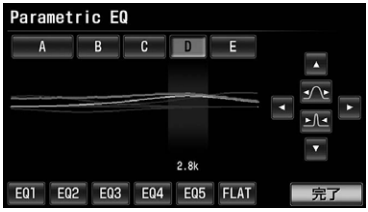
スイッチ	音質モード
[EQ1]	POPS
[EQ2]	ROCK
[EQ3]	JAZZ
[EQ4]	CLASSIC
[EQ5]	VOCAL
[FLAT]	音質補正なし

■イコライザカーブの調整

イコライザカーブの中心周波数、レベル、Q カーブ（帯域幅）をそれぞれ任意に調整することができます。

画面外の ♪ →音設定 →PEQ →
PARAMETRIC EQ 画面

1 **[A]** ～ **[E]** のいずれかにタッチして、バンドを選択する。



2 **[▶]** または **[◀]** にタッチして、中心周波数を設定する。

- **[▶]**：中心周波数を高くする。
- **[◀]**：中心周波数を低くする。
- 各バンドで設定できる中心周波数は次のとおりです。

バンド	中心周波数（Hz）
A	40、50、63、85、100
B	140、170、220、300、400
C	500、600、800、1k、1.3k
D	1.7k、2.2k、2.8k、3.5k、4.5k
E	6k、7.5k、10k、12k、15k

3 **[▲]** または **[▼]** にタッチして、レベルを調整する。

- **[▲]**：レベルを上げる。
- **[▼]**：レベルを下げる。

4 **[ ]** または **[ ]** にタッチして、Q カーブを調整する。

- **[ ]**：Q カーブ（帯域幅）を広くする。
- **[ ]**：Q カーブ（帯域幅）を狭くする。

5 各バンドごとに、手順 **1** ～ **4** の操作を繰り返す。

● 調整したイコライザカーブを記憶するとき
➡ **[EQ1]** ～ **[EQ5]** のいずれかに“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。

■イコライザカーブのリセット

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）に戻すことができます。

画面外の ♪ →音設定 →PEQ → PARAMETRIC EQ 画面

1 **[FLAT]** に“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。

車種の設定

車載機は、その車種の音響特性に合わせて調整されたデータが車種ごとに保存されています。車種を選択するだけで、その車種に最適な音響空間を創り出すことができます。

● 車載機に保存されていない車種については、調整データをダウンロードして、車載機に取り込むことができます。
（→ P.233）

画面外の ♪ →音設定 → 音設定画面

1 **[車種設定]** にタッチ。

2 車種にタッチ。

● **[その他の車種]** にタッチすると、BODY TYPE 設定画面が表示されます。
・設定の方法については「BODY　TYPE の設定」（→ P.232）をご覧ください。

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

■BODY TYPE の設定

1 車の形状にタッチ。

2 フロントスピーカーサイズにタッチ。

● スピーカーサイズについては「スピーカー一覧」（→ P.645）をご覧ください。

3 ツイーターの有無にタッチ。

● ツイーターの有無などについておわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

4 リアスピーカータイプにタッチ。

● リアスピーカーの有無などについておわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

5 シートタイプにタッチ。

● 皮製の生地が使われている場合
➡ **[LEATHER]** にタッチ。
● 皮製以外の生地が使われている場合
➡ **[MOQUETTE]** にタッチ。

6 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

■車載機に保存されていない車種について

車載機に保存されていない車種については、調整データをダウンロードして、SD メモリーカードで車載機に取り込むことができます。

1 パソコンの専用サイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）の案内にしたがってデータをダウンロードする。

2 データを SD メモリーカードにコピーする。

3 SD メモリーカードを車載機に挿入する。（→ P.23）

4 オーディオ操作画面（→ P.224）で **[音設定]** → **[車種設定]** の順にタッチ。

5 車種にタッチ。

6 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

● 車載機のハードディスクに車種情報が保存されます。

知 識

● ダウンロードした調整データをSDメモリーカードに保存する際は、SD メモリーカードの ROOT フォルダに保存してください。

後席ディスプレイ接続時の設定をする

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続すると、前席側（車載機）と後席側（後席ディスプレイ）で違ったオーディオモードを楽しめるように設定したり、後席の音量を調整することができます。

後席設定画面を表示する

オーディオ操作画面表示中（→ P.223）

1 **[後席設定]** にタッチ。



● 後席設定画面から次の設定をすることができます。

項目	ページ
オーディオモードの選択	（→ P.233）
音量の調整	（→ P.234）
後席ディスプレイの ON/OFF	（→ P.235）

後席側のオーディオモードを選択する

後席側のオーディオモードを選択することができます。

後席設定画面表示中（→ P.233）

1 **［前席連動］**、**［DVD］**、**［TV］**、**［iPod Video］**または**［VTR］**にタッチ。

- タッチしたオーディオモードを後席ディスプレイで視聴することができます。
- 後席側のオーディオモードを選択すると、前席側の音声は、フロントスピーカーから出力され、後席側の音声は、リヤスピーカーから出力されます。
- 前席側と同じオーディオモードを視聴するとき
  ➡**［前席連動］**にタッチ。
- 前席側のオーディオモードにより、選択できる後席側のオーディオモードは次のとおりです。

前席側のオーディオモード	後席側で選択できるオーディオモード
AUDIO OFF	選択できません
ラジオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
DISC（DVD）	選択できません
DISC（CD）	TV、iPod Video、VTR
DISC（MP3/WMA）	TV、iPod Video、VTR
HDD オーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
SD オーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
Bluetooth オーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
テレビ	選択できません
iPod (Video)	選択できません
iPod（音楽ファイル）※	DVD、TV、VTR
VTR	選択できません
USB	DVD、TV、VTR

※ ビデオファイルが収録されたiPodが接続されている場合は、後席側のオーディオモードを選択できません。

知 識

- 後席側のオーディオモードを選択すると、BODY TYPE以外の音質の設定値は初期値になり、設定することができません。**［前席連動］**にタッチすると、もとの設定値に戻ります。

後席側の音量を調整する

後席側の音量を調整することができます。

後席設定画面表示中（→ P.233）

1 **［▲］**または**［▼］**にタッチ。

- 大きくするとき ➡ **［▲］**にタッチ。
- 小さくするとき ➡ **［▼］**にタッチ。

後席側の映像・音声を ON/OFF する

後席側の映像や音声を車載機側で ON/OFF することができます。

後席設定画面表示中（→ P.233）

1 **[ON]** または **[OFF]** にタッチ。

- タッチするごとに、後席側の映像や音声が ON/OFF します。

1. ラジオを操作する

ラジオを聞いているときに、画面外の ♪ にタッチすると、操作画面が表示されます。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知 識

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

ラジオを聞く

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 AM または FM にタッチ。

知 識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

放送局を選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

- プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいとき
  ➡「放送局を記憶する」（→ P.237）

手動で選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- 周波数を高い方へ選択するとき
  ➡ ≪ にタッチ。
- 周波数を低い方へ選択するとき
  ➡ ≫ にタッチ。

自動で選ぶ

受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

1 画面外の ≪ または ≫ に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

- 周波数を高い方へ選択するとき
  ➡ ≪ にタッチ。
- 周波数を低い方へ選択するとき
  ➡ ≫ にタッチ。
  ・途中で止めるとき ➡ 再度スイッチにタッチ。

知識

- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局することができます。
自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局を記憶させておくと便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

手動で放送局を記憶する

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→ P.237）

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。
旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 **[AUTO]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- 周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[AUTO]** にタッチ。

AUTO スイッチで記憶させた周波数を変更する

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→ P.237）

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

知識

- 自動で周波数を記憶させても、**[AUTO]** にタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。
- 受信感度の良い周波数を低い順に 6 局まで自動的に記憶します。受信周波数が 6 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、画面外の ⌃⌃ または ⌄⌄ スイッチで選択し、記憶させた周波数と **[AUTO]** スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- **[AUTO]** スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示させることができます。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)
旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 **[エリア]** にタッチ。

- 画面に「エリア .P」の表示が出ます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[エリア]** にタッチ。

知 識

- プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
- AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 **[交通情報]** にタッチ。

- 解除するとき ➡ オーディオモードスイッチにタッチ。

記憶されている周波数を変更する

ラジオ操作画面表示中（→ P.236）

1 AM 放送を選択する。（→ P.236）

2 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→ P.237）

3 **[交通情報]** に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

知 識

- 初期設定では 1620kHz にセットしてあります。
- **[交通情報]** にタッチして、ラジオを受信しているときは、画面外の ≪ または ≫ スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

1. 音楽 CD を聞く

CD を聞いているときに、画面外の ♪ にタッチすると、CD 操作画面が表示されます。

● エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知 識

● 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

CD を聞く

CD が挿入されていないとき

1 CD を挿入する。（→ P.23）

CD が挿入されているとき

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 DISC にタッチ。

- **［録音開始］**にタッチすると、現在再生中の CD を HDD オーディオに録音します。（→ P.279）
- CD を再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。（→ P.279）

知 識

- 再生しているCDにアーティスト名などの情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。
- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

再生を一時停止する

CD 操作画面表示中（→ P.240）

1 ［ ⏸ ］にタッチ。

- 再生を再開するとき ➡ ［▶］にタッチ。

聞きたい曲を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ⌃⌃ または ⌄⌄ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ⌃⌃ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ⌄⌄ にタッチ。

操作画面で選ぶ

CD 操作画面表示中（→ P.240）

1 ［>］または［<］にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ［>］にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ［<］にタッチ。

リスト画面で選ぶ

CD 操作画面表示中（→ P.240）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。



録音済みアイコン

知 識

- ハードディスクに録音されている曲には録音済みアイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ≫ にタッチし続ける。
  ・希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ P.240）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。

曲の順番をランダムに聞く

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ P.240）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。

2. MP3/WMA ディスクを聞く

MP3/WMA ディスクを聞いているときに、画面外の ♪ にタッチすると、MP3/WMA 操作画面が表示されます。

● エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知 識

● 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

MP3/WMA ディスクを再生する

ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。(→ P.23)

ディスクが挿入されているとき

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 DISC にタッチ。

知 識

- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

再生を一時停止する

MP3/WMA 操作画面表示中
(→ P.243)

1 **[⏸]** にタッチ。

- 再生を再開するとき ➡ **[▶]** にタッチ。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中
(→ P.243)

1 フォルダ名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

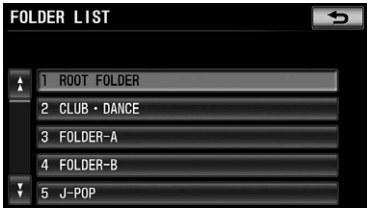
- うしろにあるとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中
(→ P.243)

1 フォルダ名にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。



聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ≫ にタッチ。

操作画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 曲名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

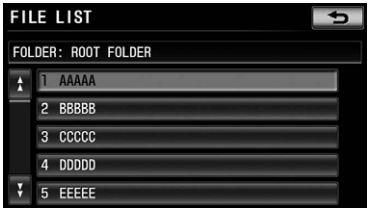
- うしろにあるとき ➡ **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき ➡ **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。



早送り、早戻しする

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ≫ にタッチし続ける。
  ・希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RPT]** に2回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT ⟶ FLD.RPT ⟶ 消灯

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 **[RPT]** に2回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「FLD.RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT ⟶ FLD.RPT ⟶ 消灯

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ FLD.RAND ⟶ 消灯

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中
（→ P.243）

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「FLD.RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ FLD.RAND ⟶ 消灯

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能な MP3 ファイルの規格について

■対応規格

MP3（MPEG1　LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）

■対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3：32、44.1、48（kHz）

MPEG2　LAYER3：16、22.05、24（kHz）

MPEG2.5 LAYER3：8、11.025、12（kHz）

■対応ビットレート

MPEG1 LAYER3：32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）

MPEG2 LAYER3：8、32、64、80、96、112、128、144、160（kbps）

MPEG2.5 LAYER3：8、32、64、80、96、112、128、144、160（kbps）、VBR（Variable Bit Rate）

※フリーフォーマットには対応していません。

※サンプリング周波数 48 kHz のときはビットレート 32 kbps 未満には対応していません。

■対応チャンネルモード

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能な WMA ファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver.7、8、9

■対応サンプリング周波数

22.05、32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

32、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）

※可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。

※サンプリング周波数 48　kHz、ビットレート 48 kbps の組み合わせで記録された WMA ファイルは、再生することができません。

■対応チャンネルモード

ステレオ、モノラル

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 の ID3 タグに対応しています。(文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します。)

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMA の再生に使用できるメディアは CD-ROM および CD-R、CD-RW です。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ディスクフォーマット：CD-ROM Mode1：CD-ROM XA Mode2 Form1
- ファイルフォーマット：ISO9660 レベル 1、レベル 2（ ROMEO、JOLIET ）

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8 階層
- 最大フォルダ名文字数

項目	内容
ISO9660 レベル 1	半角 8 文字 (英数字：ASCII コード)
ISO9660 レベル 2	半角 24 文字 (英数字：ASCII コード)

項目	内容
拡張フォーマットROMEO形式	半角 24 文字※1 （英数字：ASCII コード 日本語：S-JIS コード）
拡張フォーマットJOLIET形式	半角 24 文字※2 （英数字：ASCII コード 日本語：unicode）

※ 1 ISO09660 準拠部のみ

※ 2 区切り文字 “.” 含む

- 最大ファイル名文字数

項目	内容
ISO9660 レベル 1	半角 8+3 文字 （英数字:ASCII コード）
ISO9660 レベル 2	半角 24 文字 （英数字:ASCII コード）
拡張フォーマットROMEO形式	半角 24 文字 （英数字：ASCII コード 日本語：S-JIS コード）
拡張フォーマットJOLIET形式	半角 24 文字 （英数字：ASCII コード 日本語：unicode）

※区切り文字 “.” + 拡張子含む

- 最大フォルダ数：225
- ディスク内最大ファイル数：999

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMA ファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3 または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

> ⚠注意
>
> - MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

2. MP3/WMA ディスクを聞く

知 識

- CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。）
- パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCD などで作成したディスクには対応していません。）
- MP3/WMA　ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
- Microsoft、Windows、
  Windows Media は、
  米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

この項目では、DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）・DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）の操作方法を説明しています。

DVD を操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。
- 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に ⃠ が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

- エンジンスイッチがACCまたはONのときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）
- ディスクの映像が表示されないとき ➡ 画面外の ♪ にタッチ。（→ P.253）

知 識

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

操作画面について

ディスクを再生しているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の ♪ にタッチ、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。



- **[全画面]** にタッチすると映像を全画面で表示します。
- **[メニュー]**、**[トップメニュー]**、**[選択]** は、DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

各種切替画面について

操作画面で、**[各種切替]** にタッチすると表示されます。
[全画面] にタッチすると映像を全画面で表示します。

▶DVD ビデオ再生時



DVD を再生する

ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。（→ P.23）

ディスクが挿入されているとき

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 DISC にタッチ。

知 識

- ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときに DVD モードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

メニュー画面が表示されたとき

▶DVD ビデオ

1 **[⬇]**、**[⬆]**、**[⬅]** または **[➡]** にタッチして、メニュー項目を選択し、**[決定]** にタッチ。

▶メニュー表示の画面例



- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

知 識

- オートスタートの設定（→ P.262）がされているときは、走行を開始すると自動的に再生されます。
- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（画面は一例です。）

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

暗証番号入力画面が表示されたとき

▶DVD ビデオ

1 暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。



● 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

● 暗証番号については「視聴制限レベルを設定する」（→ P.262）をご覧ください。

⚠ 警 告

● DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

知 識

● ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。

● ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。

● メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。

映像を一時停止する

DVD 操作画面表示中（→ P.252）

1 **[⏸]** にタッチ。

● 通常再生するとき ➡ **[▶]** にタッチ。

映像を止める

DVD 操作画面表示中（→ P.252）

1 **[■]** にタッチ。

● 通常再生するとき ➡ **[▶]** にタッチ。

早送り、早戻しする

操作画面で操作する

DVD 操作画面表示中（→ P.252）

1 **[⏭]** または **[⏮]** にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ **[⏭]** にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ **[⏮]** にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

画面外のスイッチで操作する

▶DVD ビデオ

1 画面外の ⏫ または ⏬ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ⏫ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ⏬ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

DVD 操作画面表示中（→ P.252）

1 **[⏸]** にタッチ。

2 **[⏭]** にタッチ。

- スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

静止画を切り替える

▶DVD-VR

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[ページ送り]** にタッチ。

見たい場所を選ぶ

タイトルを選ぶ

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[サーチ]** にタッチ。

2 タイトル番号を入力する。



- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

チャプターを選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ≫ にタッチ。

知識

- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

プログラム（プレイリスト）を選ぶ

▶DVD-VR

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ ≪ にタッチし続ける。
- 前にあるとき
  ➡ ≫ にタッチし続ける。

知識

- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

メニュー画面を操作する

▶DVD ビデオ
ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

DVD 操作画面表示中（→ P.252）

1 **[メニュー]** または **[トップメニュー]** にタッチ。

- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡ **[選択]** にタッチ。

2 **[⬇]**、**[⬆]**、**[⬅]** または **[➡]** にタッチして、メニュー項目を選択し、**[決定]** にタッチ。

▶メニュー表示の画面例



- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

知識

- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（上の画面は一例です。）

音声を切り替える

音声が複数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[音声]** にタッチ。

2 **[音声切替]** にタッチ。



- タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

知 識

- 現在選択中の音声はDVDビデオ再生時のみ表示されます。

字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 **[字幕]** にタッチ。

2 **[字幕切替]** にタッチ。



- タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。
- **[字幕消し]** にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。
- 再び表示するとき
  ➡ 再度 **[字幕消し]** にタッチ。

知 識

- **[字幕消し]**および現在選択中の字幕はDVDビデオ再生時のみ表示されます。

アングルを切り替える

▶DVD ビデオ
複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ P.261）が表示されます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 **[アングル]** にタッチ。

2 **[アングル切替]** にタッチ。



- タッチするごとに、アングルが切り替わります。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

音声モードを切り替える

▶DVD-VR
音声多重で収録されているディスクの場合、主音声 / 副音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[主 / 副]** にタッチ。

● タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声 ⟶ 副音声 ⟶ 主・副音声

再生モードを切り替える

▶DVD-VR
ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[再生モード]** にタッチ。

2 **[プレイリスト]** にタッチ。



● プログラムを再生するとき
➡ **[プログラム]** にタッチ。

知 識
● ディスク内にプレイリストがないときは **[再生モード]** は表示されません。

ディスクで指定された位置まで戻って見る

▶DVD ビデオ
ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[リターン]** にタッチ。

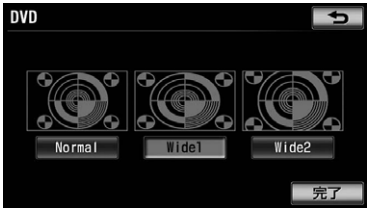
知 識
● ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

画面モードを切り替える

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[Wide]** にタッチ。

2 **[Normal]**、**[Wide 1]** または **[Wide 2]** にタッチ。



3 **[完了]** にタッチ。

● 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.43）をご覧ください。

画質を調整する

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[画質調整]** にタッチ。

● 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.41）をご覧ください。

プレーヤーの設定をする

あらかじめお好みの設定にしておけば、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → 各種切替画面

1 **[DVD 初期設定]** にタッチ。

2 各項目を設定する。

▶初期設定画面



項目	ページ
音声言語の設定※	P.260
字幕言語の設定※	P.260
ソフトメニュー言語の設定※	P.261
マルチアングルマーク表示の設定※	P.261
視聴制限レベルの設定※	P.262
オートスタートの設定※	P.262
映像出力切替の設定	P.262

※ DVD-VR には反映されません。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

- **[初期状態]** にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。（→ P.265）

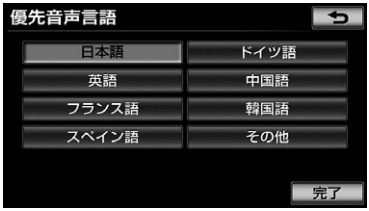
音声言語を設定する

▶DVD ビデオ
優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 **[音声]** にタッチ。

2 出力させる音声言語にタッチ。



- **[その他]** にタッチしたとき
  ➡「言語コードを入力する」（→ P.263）

3 **[完了]** にタッチ。

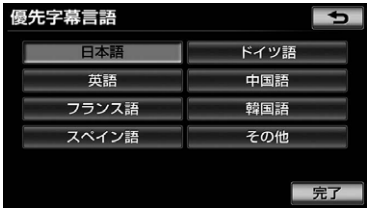
字幕言語を設定する

▶DVD ビデオ
優先して表示したい字幕の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 **[字幕]** にタッチ。

2 表示させる字幕言語にタッチ。



- **[その他]** にタッチしたとき
  ➡「言語コードを入力する」（→ P.263）

3 **[完了]** にタッチ。

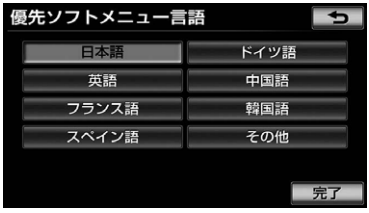
ソフトメニュー言語を設定する

▶DVD ビデオ
ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → DVD 初期設定 →
初期設定画面

1 **[ソフトメニュー]** にタッチ。

2 表示させるソフトメニュー言語にタッチ。

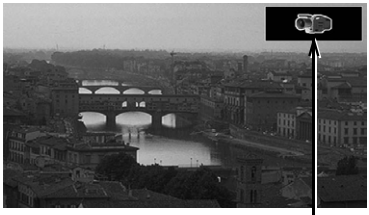


- **[その他]** にタッチしたとき
  ➡「言語コードを入力する」（→ P.263）

3 **[完了]** にタッチ。

マルチアングルマーク表示の設定をする

▶DVD ビデオ
マルチアングル（→ P.269）で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。



DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → DVD 初期設定 →
初期設定画面

1 **[マルチアングルマーク]** にタッチ。



2 **[表示]** または **[非表示]** にタッチ。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

視聴制限レベルを設定する

▶DVD ビデオ

● 視聴制限レベル（→ P.269）の設定をすることができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 **[視聴制限]** にタッチ。

2 暗証番号を入力する。



- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

4 設定したい視聴制限レベルにタッチ。

5 **[完了]** にタッチ。

● 暗証番号入力時、**[修正]** に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタートの設定をする

▶DVD ビデオ
メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生するように設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 **[オートスタート]** にタッチ。

2 **[ON]** または **[OFF]** にタッチ。

知 識

● ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。

映像出力切替の設定をする

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 **[映像出力切替]** にタッチ。

● タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

2 **[16：9（ワイド）]**、**[4：3（レターボックス）]** または **[4：3（パンスキャン）]** にタッチ。

16：9 （ワイド）	通常のワイドサイズで表示されます。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、左右両端が黒表示、または左右に伸びて表示されます。
4：3 （レターボックス）	上下両端が黒く表示された映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。
4：3 （パンスキャン）	左右両端がカットされた映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

知 識

- 後席ディスプレイなどの別のディスプレイを接続した場合、車載機で設定した画面サイズにより、後席ディスプレイで表示されるサイズは異なります。

注 意

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

言語コードを入力する

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、**[その他]** にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→ [各種切替] → [DVD 初期設定] → [音声]（[字幕]、[ソフトメニュー]）→ [その他] → 言語コード入力画面

1 言語コードを入力する。

▶「字幕言語」のコード入力画面



- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

2 **[完了]** にタッチ。

3. DVD（DVD ビデオ、DVD-VR）を見る

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブハジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

プレーヤーの設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態にもどすことができます。

DVD 操作画面（→ P.252）→
各種切替 → DVD 初期設定 →
初期設定画面

1 **［初期状態］**にタッチ。

2 **［はい］**にタッチ。

- 視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。

4. 知っておいていただきたいこと

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
"Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

Manufactured under license under U.S. Patent #' s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0 Channel and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

DVD ビデオ再生中の操作について

DVD ビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。
  NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生させることができません。
- ドルビー／ DTS は 2ch 対応です。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。

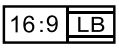
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、この DVD プレーヤーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意　味
NTSC		カラーテレビの方式。
		音声のトラック数。 • 数字が収録されている音声数。
		字幕の言語数。 • 数字が収録されている言語数。
		アングルの数。 • 数字が収録されているアングル数。
		選択することができる画面モード。 •「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
		再生可能な地域番号。 • ALL は全世界向け、数字は地域番号。（「2」は日本を示します。）

4. 知っておいていただきたいこと

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

DVD ビデオ

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

- ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD ビデオの用語

より正しく有効に DVD ビデオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- レベル 1：子ども向けのディスクのみを再生させることができます。（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 2 ～ 7：子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8：すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ P.267）

音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・パックド PCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハーch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

4. 知っておいていただきたいこと

■DTS

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をする事ができます。

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽CDでは44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit、DVD オーディオでは 44.1kHz ／ 16bit ～ 192kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

1. SD オーディオを操作する

本機は、SD メモリーカードに記録された音楽ファイル（セキュア AAC、セキュア MP3）を再生することができます。

SD オーディオを聞いているときに、画面外の ♪ にタッチすると、操作画面が表示されます。

● エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知 識

● 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

SD オーディオを聞く

1 SD メモリーカードを車載機に挿入する。(→ P.23)

2 画面外の ♪ にタッチ。

3 SD にタッチ。

再生を一時停止する

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 [⏸] にタッチ。

● 再生を再開するとき ➡ [▶] にタッチ。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ⏫ または ⏬ にタッチ。

● うしろにあるとき ➡ ⏫ にタッチ。

● 前にあるとき ➡ ⏬ にタッチ。

操作画面で選ぶ

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 曲名の [>] または [<] にタッチ。

● うしろにあるとき ➡ [>] にタッチ。

● 前にあるとき ➡ [<] にタッチ。

リスト画面で選ぶ

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

プレイリスト画面で選ぶ

SD-JukeBox で作成したプレイリストを表示して、選ぶことができます。

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 プレイリスト名にタッチ。

2 聞きたいプレイリストにタッチ。

3 聞きたい曲にタッチ。

4 [OK] にタッチ。

プレイリストを切り替える

SD-JukeBox で作成したプレイリストを切り替えることができます。

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 プレイリスト名の [>] または [<] にタッチ。

● うしろにあるとき ➡ [>] にタッチ。

● 前にあるとき ➡ [<] にタッチ。

早送り、早戻しする

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき➡ ≫ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

SD 操作画面表示中（→ P.271）

選択している曲を繰り返し再生することができます。

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RPT]** に2回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT ⟶ P.RPT ⟶ 消灯

同じプレイリストを繰り返し聞く

選択しているプレイリストを繰り返し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 **[RPT]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「P.RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RPT]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT ⟶ P.RPT ⟶ 消灯

プレイリストの中からランダムに聞く

選択しているプレイリストの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** に2回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ P.RAND ⟶ 消灯

全プレイリストの中からランダムに聞く

全プレイリストの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ P.271）

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「P.RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ P.RAND ⟶ 消灯

セキュア AAC/ セキュア MP3 について

使用できるセキュア AAC/ セキュア MP3 にはファイルの規格や変換ソフトなどの制限があります。セキュア AAC/ セキュア MP3 ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能なセキュア AAC の規格について

■対応規格

セキュア AAC

■対応サンプリング周波数

16、22.05、24、32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

32 ～ 144（kbps）

再生可能なセキュア MP3 の規格について

■対応規格

セキュア MP3

■対応サンプリング周波数

16、22.05、24、32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

32 ～ 192（kbps）

※VBR（可変ビットレート）に対応しています。

推奨ソフトについて

■推奨エンコーダー

Panasonic製　SD-JukeBox V5以降

■対応データ形式

Panasonic製　SD－Jukebox V5の出力形式に準拠します。

知 識

- セキュアAACおよびセキュアMP3をSDメモリーカードに書き込むには、専用の SD カードリーダーライターが必要になります。
- SD-JukeBox 操作方法および SD メモリーカード の音楽ファイルの記録については、各ソフトの取扱説明書を参照してください。

1. お使いになる前に

HDD オーディオの概要

音楽 CD を内蔵のハードディスクに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出し再生することができます。

- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、音楽 CD などをデジタル録音した CD-R などから録音することはできません。
- HDD オーディオには、最大 9999 曲※録音することができます。（1 曲約 5 分換算）

※ 録音時間や録音音質、ハードディスクの空き容量によって、9999 曲録音できないことがあります。
より多くの曲を録音するには、次の操作をする必要があります。
・録音音質を「普通」に設定して録音する。（→ P.280）

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote®メディアデータベースについて

- 音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。
- Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

知 識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenote®メディアデータベースのご利用について

- 本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。
  お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
  お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
  Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

データベースのバージョンを確認する

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を表示することができます。

画面外の G・INFO → （情報）→ データ管理 → データ管理画面

1 **［バージョン情報］**にタッチ。



データベースを更新する

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。新譜のタイトル情報がハードディスクに収録されているデータベースにないときに、更新を行ってください。Gracenote メディアデータベースの更新時期やデータの提供については、下記のダウンロードサイトをご覧ください。

● ダウンロードサイト： http://toyota.jp/dop/navi/update/cddb.html

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。

画面外の G・INFO → （情報）→ データ管理 → データ管理画面

1 更新データが書き込まれたSDメモリーカードまたは CD-R/RW を挿入する。（→ P.23）

2 **［SD で更新］**または **［CD で更新］**にタッチ。

3 **［はい］**にタッチ。

- データベースの更新を開始します。
- 更新中は本機の操作をしたり、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。

4 更新が終わったら、SD メモリーカードまたは CD-R/RW を取り出す。（→ P.24）

知 識

- CD の録音中は、データベースの更新を行えません。
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

2. HDD オーディオに録音する

録音についての注意

知 識

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音する

1 録音したい CD を挿入する。（→ P.23）

2 画面外の ♪ にタッチ。

3 **[録音開始]** にタッチ。



- 再生している CD の録音を開始します。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。（→ P.281）

2 録音したい CD を挿入する。

- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。（→ P.281）

2 録音したい CD を挿入する。（→ P.23）

3 画面外の ♪ にタッチ。

4 **[録音開始]** にタッチ。



5 録音したい曲にタッチ。

- 走行中は曲を選択することはできません。
- リストにあるすべての曲を録音するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **[全解除]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。

録音を中止する

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 **［録音停止］**にタッチ。



知 識

- 通常の速さで再生しながら、最大４倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「● REC」と表示されます。
- 録音中は、**[RPT]**、**[RAND]**、曲名の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しもできません。
  選曲は、録音済みの曲に対して操作できます。
- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしたとき
  - オーディオの電源を OFF にしたとき
  - CD を取り出したとき
  - 録音した曲数が 9999 曲になったとき
  - HDD の容量がいっぱいになったとき
- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

録音の設定を変更する

CD の再生と同時に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 画面外の ⊂⊃ にタッチ。

2 オーディオ にタッチ。



3 **［CD ⇒ HDD 録音設定］**にタッチ。

4 録音音質、録音方法を選択します。

5 設定が終わったら、**［完了］**にタッチ。

録音音質を切り替える

画面外の ⊂⊃ → オーディオ → CD ⇒ HDD 録音設定 → CD 録音設定画面

1 **［録音音質］**にタッチ。

2 **［高音質］**または**［普通］**にタッチ。

［高音質］：高音質
［普通］：標準音質

自動録音を設定する

画面外の → オーディオ →
CD ⇒ HDD 録音設定 →
CD 録音設定画面

1 **［自動録音］**にタッチ。

2 **［する］**または**［しない］**にタッチ。

曲を選んで録音を設定する

画面外の → オーディオ →
CD ⇒ HDD 録音設定 →
CD 録音設定画面

1 自動録音を「しない」に設定する。
（→ P.281）

2 **［選んで録音］**にタッチ。

3 **［する］**または**［しない］**にタッチ。

知 識

- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

3. HDD オーディオを聞く

HDD オーディオを聞いているときに、画面外の ♪ にタッチすると、HDD オーディオ操作画面が表示されます。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知識

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

HDD オーディオを再生する

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 HDD にタッチ。

知 識

- 録音したCDの情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2…と表示されます。

聞きたいアルバムを選ぶ

操作画面で選ぶ

HDD オーディオ操作画面表示中
(→ P.282)

1 アルバム名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

HDD オーディオ操作画面表示中
(→ P.282)

1 アルバム名にタッチ。

2 アルバムリスト画面で、聞きたいアルバムを選択する。

▶録音日順のリスト画面



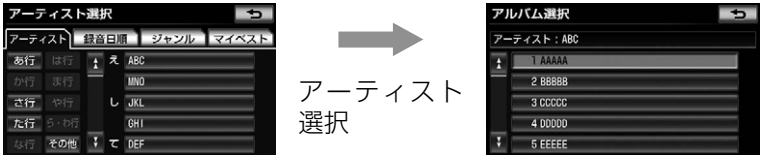
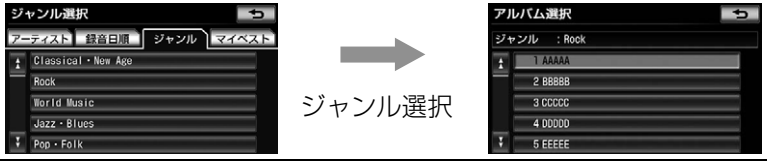
3 トラックリスト画面で、聞きたいトラックを選択する。

4 **[完了]** にタッチ。

3. HDD オーディオを聞く

■アルバムリスト画面について

アルバムリストはアーティストやジャンルでグループ分けして表示したり、録音日順に表示することができます。また、お気に入りの楽曲集を作成しているときはマイベストから表示、選択します。

	アルバムリスト画面
アーティスト	
録音日順	
ジャンル	
マイベスト	

知識

- **マイベスト** は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→ P.288）
- アルバムはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（**アーティスト**、**録音日順**、**ジャンル**）を変更すると再生順が変わります。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ≫ にタッチ。

操作画面で選ぶ

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 曲名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき ➡ **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。



音飛び録音アイコン

知識

- 録音中に音飛びが発生したときはそのトラックの録音をやり直しますが、再び音飛びが発生したときはそのままの状態で録音されます。音飛び状態のまま録音されたトラックには、音飛び録音アイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ≫ にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → ALB.RPT → 消灯

同じアルバムを繰り返し聞く

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 **[RPT]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し「ALB.RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT ⟶ ALB.RPT ⟶ 消灯

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度**[RAND]**に2回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ ALB.RAND ⟶ 消灯

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

HDD オーディオ操作画面表示中
（→ P.282）

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ ALB.RAND ⟶ 消灯

4. HDD オーディオを編集する

HDD オーディオに録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

HDDオーディオの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 画面外の にタッチ。

2 オーディオ にタッチ。



3 **[サウンドライブラリ編集]** にタッチ。

▶サウンドライブラリ編集メニュー画面



● サウンドライブラリ編集メニュー画面から以下のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	P.288
マイベストの編集	P.288
·トラックの追加	P.289
·トラックの並び替え	P.290
·トラックの削除	P.290
·マイベストの削除	P.290
マイベストの名称修正	P.288
アルバム情報の編集	P.291
·アルバムタイトル、アルバム読み修正	P.291
·アーティスト名、アーティスト読み修正	P.292
·ジャンル修正	P.293
·トラックタイトル、トラック読み修正	P.293
·タイトル情報の再取得	P.293
·トラックの削除	P.295
アルバムの削除	P.294
HDD 詳細情報の表示	P.296

知識

● 走行中および録音中は、HDD オーディオの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

お気に入りの曲を集めた楽曲集（マイベスト）を作成することができます。作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → **サウンドライブラリ編集メニュー画面**

1 マイベストの **[新規作成]** にタッチ。

2 マイベストの名称を入力する。



● ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **[完了]** にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

● アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
・ 録音日順のリストから選択するとき
➡ **録音日順** にタッチ。
・ ジャンルで絞り込み選択するとき
➡ **ジャンル** にタッチ。
・ マイベストから選択するとき
➡ **マイベスト** にタッチ。

5 登録したい曲の含まれているアルバムを選択する。

6 登録したい曲にタッチ。

● リストにあるすべての曲を登録するとき
➡ **[全選択]** にタッチ。
● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。
● すべての選択を解除するとき
➡ **[全解除]** にタッチ。

7 **[登録]** にタッチ。

8 **[完了]** にタッチ。

● 続けて曲を追加するとき
➡ **[追加]** にタッチ。（手順 **4** へ）
・ 同様の手順で追加できます。

知 識

● 同じ名称は重複して登録できません。
● マイベストは 999 個作成できます。また、1つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

マイベストの名称を修正したり、曲の追加や順番の並べ替え、削除をすることができます。また、マイベスト自体を削除することができます。

マイベストの名称を修正する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → **サウンドライブラリ編集メニュー画面**

1 マイベストの **[名称修正]** にタッチ。

2 修正したいマイベストにタッチ。



3 名称を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

4 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの **[編集]** にタッチ。

2 曲を追加したいマイベストにタッチ。



3 **[トラックを追加]** にタッチ。

4 追加したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
  - 録音日順のリストから選択するとき
    ➡ **録音日順** にタッチ。
  - ジャンルで絞り込み選択するとき
    ➡ **ジャンル** にタッチ。
  - マイベストから選択するとき
    ➡ **マイベスト** にタッチ。

5 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。

6 追加したい曲にタッチ。

- すべての曲を追加するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **[全解除]** にタッチ。

7 **[登録]** にタッチ。

8 **[完了]** にタッチ。

- 続けて曲を追加するとき
  ➡ **[追加]** にタッチ。（手順 **4** へ）
- 同様の手順で追加できます。

知 識

- 1つのマイベストには99曲まで登録できます。

4. HDD オーディオを編集する

曲を並べ替える

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの **[編集]** にタッチ。

2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。



3 **[トラックを並び替え]** にタッチ。

4 移動したい曲にタッチ。

5 移動したい場所の **[挿入]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。

曲を削除する

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの **[編集]** にタッチ。

2 消去したい曲の含まれているマイベストにタッチ。



3 **[トラックを削除]** にタッチ。

4 削除したい曲にタッチ。

- すべての曲を削除するとき
  ➡ **[全選択]** にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **[全解除]** にタッチ。

5 **[削除]** にタッチ。

6 **[はい]** にタッチ。

マイベストを削除する

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの **[編集]** にタッチ。

2 消去したいマイベストにタッチ。



3 **[このマイベストを削除]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの **[修正]** にタッチ。

2 編集したいアルバムのアーティストを選択する。



- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
  - ・録音日順のリストから選択するとき
    ➡ **録音日順** にタッチ。
  - ・ジャンルで絞り込み選択するとき
    ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 編集したいアルバムを選択する。

▶アルバム修正画面



アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →
アルバムの **修正** **→ アルバムを選択 →**
アルバム修正画面

1 **[アルバム]** または **[アルバム読み]** にタッチ。

2 アルバムまたはアルバム読みを入力する。



- ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **[完了]** にタッチ。

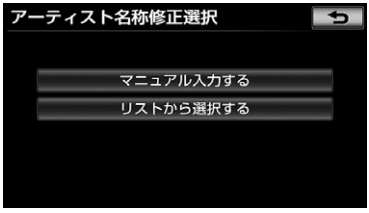
知 識
● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を変更する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → アルバムの **修正** → アルバムを選択 → **アルバム修正画面**

1 **[アルバムアーティスト]** にタッチ。

2 編集方法を選択する。



■マニュアル入力するときは

1 **[マニュアル入力する]** にタッチ。

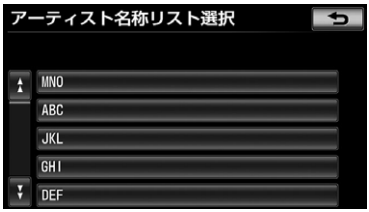
2 アーティスト名を入力する。
● ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **[完了]** にタッチ。

■リストから選ぶときは

1 **[リストから選択する]** にタッチ。

2 アーティスト名にタッチ。



知 識
● リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

アーティスト読みを変更する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → アルバムの **修正** → アルバムを選択 → **アルバム修正画面**

1 **[アルバムアーティスト読み]** にタッチ。

2 アーティスト読みを入力する。



● ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **[完了]** にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム修正画面

1 **[ジャンル]** にタッチ。

2 ジャンルにタッチ。



3 **[完了]** にタッチ。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム修正画面

1 **[トラック名を修正]** にタッチ。

2 修正したいトラックにタッチ。



3 **[トラック]** または **[トラック読み]** にタッチ。

4 トラックまたはトラック読みを入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

5 **[完了]** にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム修正画面

4. HDD オーディオを編集する

1 **[HDD で検索]** にタッチ。



● CD タイトル検索画面が表示されます。

● **[Gで検索]**は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。(→ P.622)

2 複数候補があるときは、タイトルにタッチ。

● CD タイトル検索画面が表示されます。

3 **[登録]** にタッチ。

知 識

● 再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

● CD タイトル検索画面は、CD タイトルを検索しているときに表示されます。



・ 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。

・ 中止するとき ➡ **[中止]** にタッチ。

アルバムを削除する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → **サウンドライブラリ編集メニュー画面**

1 アルバムの **[削除]** にタッチ。

2 削除したいアルバムのアーティストを選択する。



- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
  - ・録音日順のリストから選択するとき
    ➡ **録音日順** にタッチ。
  - ・ジャンルで絞り込み選択するとき
    ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 削除したいアルバムを選択する。

4 **［このアルバムを削除］**にタッチ。

5 **［はい］**にタッチ。

知 識

- 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

曲（トラック）を削除する

画面外の → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの **［削除］**にタッチ。

2 削除したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。



- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
  - ・録音日順のリストから選択するとき
    ➡ **録音日順** にタッチ。
  - ・ジャンルで絞り込み選択するとき
    ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。

4 **［トラックを削除］**にタッチ。

5 削除したい曲にタッチ。

- すべての曲を削除するとき
  ➡ **［全選択］**にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **［全解除］**にタッチ。

6 **［削除］**にタッチ。

7 **［はい］**にタッチ。

知 識

- 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

HDD 空き容量を確認する（詳細情報の表示）

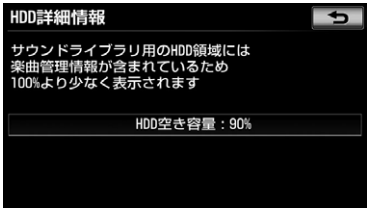
データベースのバージョン情報や HDD の空き容量を確認することができます。

画面外の → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 **[HDD 詳細情報]** にタッチ。

- HDD 詳細情報画面が表示されます。

▶HDD 詳細情報画面



1. 地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と放送局リスト画面から行います。
目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- エンジンスイッチがACCまたはONのときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）
- 地上デジタルテレビ放送が表示されないとき ➡ 画面外の ♪ にタッチ。（→ P.303）

知 識

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や放送局リスト画面が表示されていないときでも操作することができます。
- デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

搭載ブラウザについて

本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser DTV Profile BML Edition を搭載しています。

ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

1. 地上デジタルテレビの操作について

操作画面について

地上デジタルテレビをご覧になっているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の ♪ にタッチ、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。



● **［全画面］**または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

■アンテナインジケータについて

電波の受信状態を表示します。

表示	
レベル	受信不可　受信状態が悪い ◄――► 受信状態が良い

放送局リスト画面について

操作画面で、**[放送局リスト]** にタッチすると表示されます。



- 放送局名は車載機内のデータを使用して表示しています。データと実際の受信状態が一致しない場合、放送を受信できても放送局名が表示されないことがあります。また、放送局名を表示できても放送を受信できない場合があります。

- **[番組表]** にタッチすると、受信している番組の情報が表示されます。(→ P.308)

知 識

- プリセットスイッチにチャンネルを記憶した地域から移動した場合に、放送局名とチャンネル番号が一致しない場合があります。

miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ず miniB-CAS カードを車載機に挿入してください。(→ P.300)

- miniB-CAS カードの動作確認について
  ➡「miniB-CAS　カードの動作確認をする」(→ P.319)

取り扱いについての注意

より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを車載機に正しく挿入してください。
- miniB-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。（ワンセグ放送は視聴することができます。）
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC（集積回路）部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。

- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、miniB-CAS カードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

miniB-CAS カードの破棄について

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。

車載機を破棄するなど、miniB-CAS カードが必要なくなったときは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して返却手続きをしてください。

電話番号　0570-000-250

受付時間　AM10:00 ～ PM8:00
（年中無休）

miniB-CAS カードの出し入れ

⚠警 告

- miniB-CAS　カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

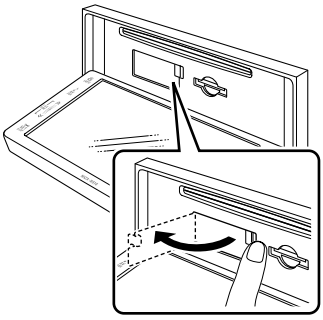
⚠注 意

- miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
- miniB-CAS カードは、奥に突き当たるまで差し込んで、ツメでロックしてください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- miniB-CAS カードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
- miniB-CAS　カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。
- ご使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

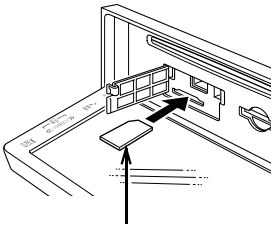
miniB-CAS カードの入れかた

1 ディスプレイを開ける。（→ P.23）

2 カバーを開ける。



3 miniB-CAS　カードスロットに miniB-CAS カードを挿入しカバーを閉じる。



miniB-CAS カードはラベル貼付面を上、IC 側を下にしてください。

4 ディスプレイを閉じる。(→ P.23)

- miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。(→ P.319)

miniB-CAS カードの出しかた

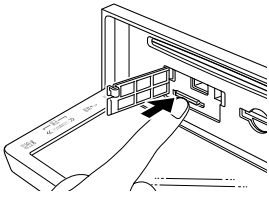
1 ディスプレイを開ける。(→ P.24)

2 エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする。

3 カバーを開ける。

4 miniB-CASカードを軽く押して(1回)、ゆっくりと miniB-CAS カードを引き出す。

- miniB-CAS カードは水平方向に引き出します。



5 カバーを閉じる。

6 エンジンスイッチを　ACC　または ON にして、ディスプレイを閉じる。(→ P.24)

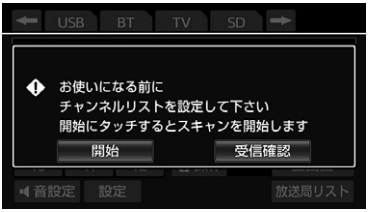
初回起動時の設定をする

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 TV にタッチ。

3 **[開始]** にタッチ。

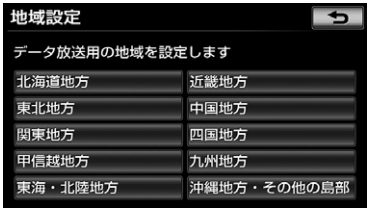


4 郵便番号を入力し、**[次へ]** にタッチ。



- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

5 地域を選択する。

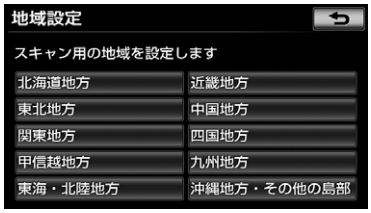


- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
  ➡ **[沖縄地方・その他の島部]** にタッチ。

6 都道府県を選択し、**[次へ]** にタッチ。



7 地域を選択する。



8 都道府県を選択し、**[スキャン]** にタッチ。



- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。

9 **[OK]** にタッチ。

- 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。

10 **[完了]** にタッチ。

知識

- プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。（→ P.317）
- 受信する地域により、放送局を表示するまで約５分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。（→ P.317）

地上デジタルテレビを見る

1 画面外の ♪ にタッチ。

2 TV にタッチ。

知識

- 車載機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  この関係の主な例を次に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
  - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
  また、双方向通信には対応していません。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch　を AAC 方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送していることがあります。車載機は AAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席で地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。

チャンネルを選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→P.298）または放送局リスト画面表示中（→P.299）

1 希望のチャンネルが記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

- プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルを変更したいとき
  ➡「プリセットスイッチの内容を変更する」（→P.317）

手動で選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- チャンネルを大きい方へ選択するとき
  ➡ ≪ にタッチ。
- チャンネルを小さい方へ選択するとき
  ➡ ≫ にタッチ。

放送局リストから選ぶ

放送局リスト画面表示中(→P.299)

1 見たい放送局にタッチ。

番組を選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→P.298）

1 **[放送局リスト]** にタッチ。

2 見たい放送局を選択し、**[サービスリスト]** にタッチ。

3 見たい番組にタッチ。

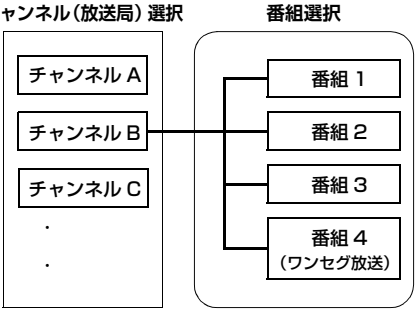


- 選択している番組の映像が画面右側に表示されます。

4 **[全画面]** にタッチ。

知 識

- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- 受信モードが自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。（→ P.306）
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
  違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



プリセットモードを切り替える

プリセットモードには、ホーム、トラベル、エリアの3種類があり、それぞれのプリセットモードごとにチャンネルを記憶／表示することができます。

- デジタルテレビ操作画面に選択したプリセットモード名が表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→ P.298）

1 **[設定]** にタッチ。

2 **[プリセットモード設定]** にタッチ。

3 プリセットモードを選択する。



- **[トラベル]** 選択後に選局を始めたいとき
  ➡“ピッ”と音がするまで **[スキャン]** にタッチし続ける。



- 選局完了後、**[OK]** にタッチすると、プリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。

ホーム	ホームプリセットで記憶したチャンネル（→ P.316）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
トラベル	旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。
エリア	自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

テレビ放送の受信方法を設定する

地上デジタルテレビ放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.298）

1 **[設定]** にタッチ。

2 **[地デジ・ワンセグ受信設定]** にタッチ。

3 希望の受信方法を選択する。



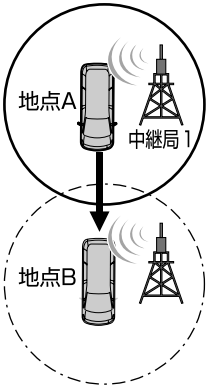
自動切替	通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）が受信可能になると、自動でもとに戻ります。
地デジ	周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）のみ受信します。
ワンセグ	周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。

知 識

- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信方法を自動切替にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

放送局（系列局／中継局）サーチを設定する

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



知 識

- 放送局のサーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→ P.298）

1 **[設定]** にタッチ。

2 **[放送局サーチ設定]** にタッチ。

3 設定方法を選択する。



系列局 ＋ 中継局	受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
中継局	受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
OFF	放送局のサーチを行いません。

知 識

- 放送局のサーチ中、後席ディスプレイに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- プリセットモードで「エリア」を選択（→ P.306）しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。
- 系列局を受信した場合、切り替わった番組がご覧になっていた番組と異なることがあります。

EPG(電子番組表) を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→ P.298）

1 **[放送局リスト]** にタッチ。

2 **[番組表]** にタッチ。



- TV 番組表画面（テーブル表示）が表示されます。



- 番組数が多くて表示できない場合は、メッセージ画面が表示されます。**[リスト画面]** にタッチすると、TV 番組表画面（リスト表示）が表示されます。

▶TV 番組表画面（リスト表示）



知 識

- TV 番組表画面からお好みの地上デジタルテレビ映像（番組）に切り替えることはできません。

見たい番組を探す（別の番組表に切り替える）

表示している番組表を別の番組表に切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 放送局リスト → 番組表 →
番組表画面

■サービスを切り替える

▶選択しているチャンネルで複数の番組が放送されている場合

1 **[サービス切替]** にタッチ。

■日付を切り替える

1 日付切り替えスイッチの **[>]** または **[<]** にタッチ。

- 翌日の番組表を表示するとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- 前日の番組表を表示するとき
  ➡ **[<]** にタッチ。

■時間帯を切り替える

1 **[∨]** または **[∧]** にタッチ。

- 次の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡ **[∨]** にタッチ。
- 前の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡ **[∧]** にタッチ。

■チャンネルを切り替える

1 ｃｈの **[>]** または **[<]** にタッチ。

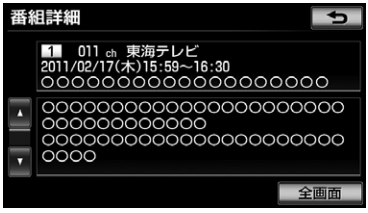
- ｃｈを大きい方へ選択するとき
  ➡ **[>]** にタッチ。
- ｃｈを小さい方へ選択するとき
  ➡ **[<]** にタッチ。

番組の情報を見る

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 放送局リスト → 番組表 →
番組表画面

1 情報が見たい番組にタッチ。

- 番組の情報が表示されます。



データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.298）

1 **[d 操作]** にタッチ。

2 **[d]** にタッチ。



● データ放送画面が表示されます。

知識

● 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
● データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に d が表示されます。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知識

● データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
● データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングなどに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組がありますが、本機は対応していません。

データ放送操作画面を表示する

データ放送を操作するときは、データ放送操作画面を表示して行います。

データ放送画面表示中（→ P.310）

1 画面外の ♪ または映像（画面）にタッチ。

2 **[d 操作]** にタッチ。



● データ放送操作画面が表示されます。
● スイッチを消すとき
➡ **[消去]** にタッチ。

● データ放送画面を解除するとき
➡ [d] にタッチ。

色ボタン、カーソルで操作する

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

データ放送画面表示中（→ P.310）

1 画面外の ♪ または映像（画面）にタッチ。

2 **[d 操作]** にタッチ。



3 色ボタンまたはカーソル（ **[△]**、**[▽]**、**[◁]** または **[▷]**）にタッチ。



● **[移動]** にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。

4 カーソル（**[△]**、**[▽]**、**[◁]** または **[▷]** ）を操作して選択するときは、**[決定]** にタッチ。

10 キー（テンキー）で操作する

数字を入力するときに使用します。

データ放送操作画面表示中
（→ P.310）

1 **[10 キー]** にタッチ。

2 数字を入力する。



● **[移動]** にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。

3 **[決定]** にタッチ。

● 色ボタン・カーソルを表示したいとき
➡ **[操作]** にタッチ。

前の画面に戻る

データ放送画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻したいときに使用します。

データ放送操作画面表示中
（→ P.310）

1 **[戻る]** にタッチ。

画面表示・音声を切り替える

ご覧になっている番組が提供している映像・音声・字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→ P.298）

1 **[設定]** にタッチ。

2 **[各種切替]** にタッチ。

● 各種切替画面が表示されます。



映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

各種切替画面表示中
（→ P.312）

1 **[映像]** にタッチ。



● タッチするごとに、映像および映像表示が切り替わります。

知 識

● 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

各種切替画面表示中（→ P.312）

1 **[音声]** にタッチ。



- タッチするごとに、音声および音声表示が切り替わります。

音声多重放送の音声モードを切り替える

各種切替画面表示中（→ P.312）

1 **[主／副]** にタッチ。

- タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主／副音声

知識

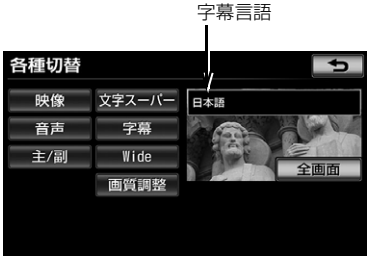
- 副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声がひんぱんに切り替わることがあります。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が複数の字幕を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

各種切替画面表示中（→ P.312）

1 **[字幕]** にタッチ。



● タッチするごとに、字幕および字幕言語が以下の順に切り替わります。

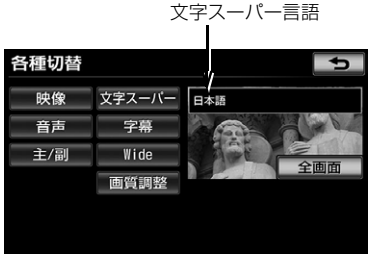
字幕 OFF → 第 1 言語 → 第2言語

文字スーパーを切り替える

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。

各種切替画面表示中（→ P.312）

1 **[文字スーパー]** にタッチ。



● タッチするごとに、文字スーパーが以下の順に切り替わります。

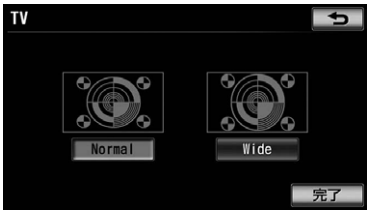
OFF → 第 1 言語 → 第2言語

画面モードを切り替える

各種操作画面表示中（→ P.312）

1 **[Wide]** にタッチ。

2 **[Normal]** または **[Wide]** にタッチ。



● 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.43）をご覧ください。Wideモードについては、「ワイド1画モード（Wide1）」（→ P.43）をご覧ください。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送　(EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

初期設定をする

各種機能設定やメールの閲覧などを行うことができます。

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ **設定** → 設定画面

1 **［初期設定］** にタッチ。



● 初期設定画面が表示されます。

▶初期設定画面



● 初期設定画面から以下の項目を設定することができます。

項目	ページ
ホームプリセットの設定	（→ P.316）
居住地域の登録	（→ P.317）
メールの閲覧	（→ P.318）
miniB-CAS カードの情報の閲覧	（→ P.318）
miniB-CAS カードの動作テスト	（→ P.319）

ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの２種類があります。

知 識

- 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。

■初期スキャンをする

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 **[ホームプリセット設定]** にタッチ。



2 **[初期スキャン]** にタッチ。



3 地域を選択する。

4 都道府県を選択し、**[スキャン]** にタッチ。

- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。

5 **[OK]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。（**2** の画面）

■追加スキャンをする

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 [ホームプリセット設定] にタッチ。



2 [追加スキャン] に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。
- 受信を中止したいとき
  ➡ [中止] にタッチ。

3 [OK] にタッチ。

4 [完了] にタッチ。

■プリセットスイッチの内容を変更する

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 [ホームプリセット設定] にタッチ。



2 変更したいプリセットスイッチを選択する。



3 記憶したい放送局を選択し、[完了] にタッチ。

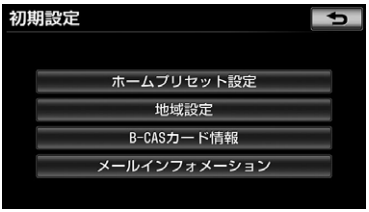
- うしろの放送局を選択するとき
  ➡ [>] にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき
  ➡ [<] にタッチ。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 **[地域設定]** にタッチ。



2 郵便番号を入力し、**[次へ]** にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

3 地域を選択する。

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
  ➡ **[沖縄地方・その他]** にタッチ。

4 都道府県を選択し、**[完了]** にタッチ。

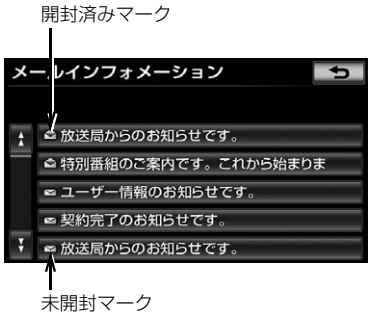
受信したメールを見る

放送局から受信したメールを見ることができます。

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 **[メールインフォメーション]** にタッチ。

2 見たいメールにタッチ。



- メール詳細画面が表示されます。

知 識

- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示します。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）
- メールを見たかどうかは、開封済みマーク、未開封マークの表示で確認することができます。

miniB-CAS カードの情報を見る

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

1 **[B-CAS カード情報]** にタッチ。

- IC カード情報画面が表示されます。

miniB-CAS カードの動作確認をする

デジタルテレビ操作画面（→ P.298）
→ 設定 → 初期設定 → 初期設定画面

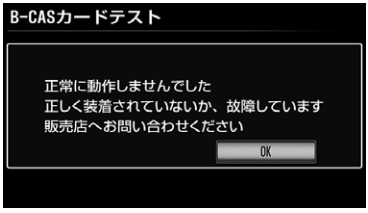
1 [B-CAS カード情報] にタッチ。

2 [カードテスト] にタッチ。



3 [OK] にタッチ。

▶異常時の画面



知 識

● 異常を検出したときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

2. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています 販売店へお問い合わせ下さい	miniB-CAS カードの動作確認（→ P.319）で、異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	お買い上げの販売店で点検を受けてください。
IC カードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	お買い上げの販売店で点検を受けてください。
	miniB-CAS カードを挿入していないため。（エラーコード：A1FF）	miniB-CAS カードを挿入してください。
	使用できない　miniB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード：A1FF、A102）	
	miniB-CAS カードを交換する必要があるため。（エラーコード:6400）	miniB-CAS カードを交換してください。
	miniB-CAS　カード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。（エラーコード:A104）	
	有効な条件を満たしていない miniB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード：EC01、EC02）	
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン（→ P.316）、またはプリセットモードの切り替え（→ P.305）をしてください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

故障とお考えになる前に

● ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表に基づき、まず確認してください。

症　状	考えられること	処　置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.224）
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→ P.303） 受信できる場所に移動してください。

知 識

● 処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

1. はじめに

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した USB メモリを再生することができます。

再生しているときに、画面外の ♪ にタッチすると、USB メモリ操作画面が表示されます。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



★印はオプションです。

⚠注 意

- 車載機で USB メモリを使用しているときに USB メモリのデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
- USB メモリを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリが接続されているときに、USB メモリの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- USB メモリの差込口に USB メモリ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- USB モード中は、USB メモリを取りはずさないでください。USB メモリ内のデータが破損するおそれがあります。
- グローブボックス内などで USB メモリを直接接続した場合、USB メモリ本体と車内部分が干渉し、USB メモリが破損するおそれがあります。その場合は、同梱の USB メモリ接続用ケーブルを使用してください。

知 識

- USB を車載機に接続するときは、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプター以外は使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダ、外付けのハードディスク、USB 端子付オーディオポータブル機には対応していません。
- USB メモリ以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。

2. USB メモリを操作する

再生する

1 USB メモリを接続する。

- USB メモリの接続・取りはずし方法の詳細は、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 画面外の ♪ にタッチ。

3 USB にタッチ。

知識

- 車載機と USB メモリを接続しても、自動で USB モードに切り替わりません。
- 車載機に USB メモリを接続すると、車載機で表示されるリストの順番が USB メモリと異なることがあります。
- USB モード中に USB 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB　メモリが接続されている状態で、他モードより USB モードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリ（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

聞きたいフォルダ（アルバム）を選ぶ

操作画面で選ぶ

USB メモリ操作画面表示中
（→ P.322）

1 フォルダ（アルバム）名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ フォルダ（アルバム）名の **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ フォルダ（アルバム）名の **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

USB メモリ操作画面表示中
（→ P.322）

1 フォルダ（アルバム）名にタッチ。

2 フォルダ選択画面で、聞きたいフォルダを選択する。

- 聞きたいフォルダは、以下の方法で選択することもできます。
  ・アーティストのリストから選択するとき
  ➡ アーティスト にタッチ。
  ・アルバムのリストから選択するとき
  ➡ アルバム にタッチ。

3 ファイル選択画面で、聞きたいファイルを選択する。

4 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 選択したフォルダの中がさらにフォルダの場合、そのフォルダの選曲リスト画面が表示されます。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ ≫ にタッチ。

操作画面で選ぶ

USB メモリ操作画面表示中
（→ P.322）

1 ファイル（トラック）名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ ファイル（トラック）名の**[>]**にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ ファイル（トラック）名の**[<]**にタッチ。

リスト画面で選ぶ

USB メモリ操作画面表示中
（→ P.322）

1 ファイル（トラック）名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

早送り、早戻しする

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき➡ ≫ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

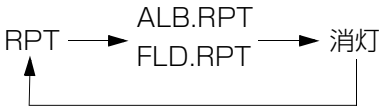
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

USB メモリ操作画面表示中
（→ P.322）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RPT]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



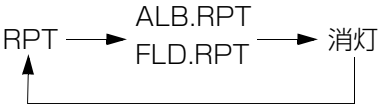
同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

USB メモリ操作画面表示中
(→ P.322)

1 **[RPT]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RPT」または「FLD.RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



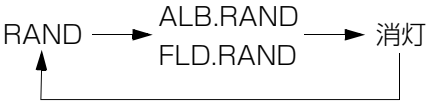
フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB メモリ操作画面表示中
(→ P.322)

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



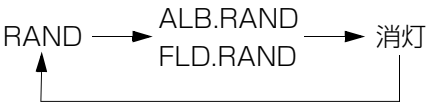
全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB メモリ操作画面表示中
(→ P.322)

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RAND」または「FLD.RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



USB メモリについて

使用できる USB メモリのフォーマットは下記のとおりです。

- USB コミュニケーションフォーマット：USB 1.1
- ファイルフォーマット： FAT 16/32(Windows®)
- 通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ数：255（ルート含む）
- 最大ファイル数：999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

MP3 ファイルの規格について

■対応規格

MP3（MPEG1 AUDIO LAYER 3、MPEG2 AUDIO LAYER3）

■対応サンプリング周波数

MPEG1 AUDIO LAYER 3 ：32、44.1、48（kHz）

MPEG2 AUDIO LAYER3 ：16、22.05、24（kHz）

■対応ビットレート

MPEG1 AUDIO LAYER3 ：32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）

MPEG2 AUDIO LAYER3 ：8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160（kbps）

WMA ファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver. 7、8、9

■対応サンプリング周波数

32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

WMA Ver. 7、8 :5、6、8、10、12、16、20、22、32、40、48、64、80、96、128、160、192 (kbps)、VBR (Variable Bit Rate)

WMA Ver. 9 :5、6、8、10、12、16、20、22、32、40、48、63、64、80、95、96、127、128、160、191、192、256、320 (kbps)、VBR (Variable Bit Rate)

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3 の ID3 タグに対応しています。(文字数は ID3Ver.1.0、1.1 に準拠します。)

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMA　ファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されている USB メモリを接続すると、最初に USB メモリ内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

USB メモリ内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3 または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

⚠注 意

- MP3/WMA　以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

知 識

- MP3/WMA　ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. はじめに

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した iPod を再生することができます。

再生しているときに、画面外の ♪ にタッチすると、表示されます。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



- iPod ビデオ再生時に **【全画面】** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

★印はオプションです。

⚠警告

● 安全のため、運転者は運転中に iPod を操作しないでください。

⚠注意

● 車載機で iPod を使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
● iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
● iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
● iPod 端末の差込口に iPod 端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
● iPod モード中は、iPod を取りはずさないでください。iPod 内のデータが破損するおそれがあります。

知識

● iPod を車載機に接続するときは、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプター以外は使用しないでください。正しく動作しない場合があります。

各種切替画面について

▶iPod ビデオ

操作画面で、**[各種切替]** にタッチすると表示されます。

[全画面] にタッチすると映像を全画面で表示します。

▶iPod ビデオ再生時



2. iPod を操作する

再生する

1 iPod を接続する。

- iPod　の接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。
- iPod の電源が入らない場合は、電源を入れます。

2 画面外の ♪ にタッチ。

3 iPod にタッチ。

知識

- 車載機と iPod を接続しても、自動で iPod モードに切り替わりません。
- iPodを車載機に接続している間はiPodによる操作をすることができません。
- iPod の電源を OFF にしたまま接続すると、充電済マークが表示されることがあります。
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、接続した iPod のバッテリが充電されます。ただし、電池残量により iPod が起動するまでに時間がかかる場合があります。
- iPod が操作不能になった場合、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱説明書を参照してください。
- iPod と販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが正しく接続されていないと、iPod の電源が ON にならない場合や車載機に認識されない場合があります。この場合は、一度 iPod を取りはずし、再度接続してください。
- iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod 保護のため、iPod を取りはずさないでください。
- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたファイルから再生されます。

プレイモードを選ぶ

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）、または iPod ビデオ操作画面表示中（→ P.330）

1 **[ビデオ]** または **[ミュージック]** にタッチ。

▶iPod ミュージック操作画面



▶iPod ビデオ操作画面



再生したいファイルを選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ≫ にタッチ。

操作画面で選ぶ

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）

1 トラック名の **[>]** または **[<]** にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ トラック名の **[>]** にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ トラック名の **[<]** にタッチ。

リスト画面で選ぶ

▶iPod ミュージック再生時

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）

1 トラック名にタッチ。

2 聞きたい曲（トラック）にタッチ。

▶iPod ビデオ再生時

iPod ビデオ操作画面表示中（→ P.330）

1 ファイル名にタッチ。

2 見たいファイルにタッチ。

選択リスト画面で選ぶ

▶iPod ミュージック再生時

iPod ミュージック操作画面表示中
（→ P.329）

1 **[選曲]** にタッチ。

2 カテゴリ選択リスト画面で、プレイモードを選択する。

▶iPod ビデオ再生時

iPod ビデオ操作画面表示中
（→ P.330）

1 フォルダ（アルバム）名にタッチ。

2 カテゴリ選択リスト画面で、プレイモードを選択する。

知 識

- カテゴリは iPod 本体に登録されているもののみ表示されます。

早送り、早戻しする

画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき➡≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき➡≫ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

操作画面で操作する

iPod ビデオ 操作画面表示中
（→ P.330）

1 **[▶▶]** または **[◀◀]** にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ **[▶▶]** にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ **[◀◀]** にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ ALB.RAND ⟶ 消灯

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPod ミュージック操作画面表示中（→ P.329）

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB. RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND ⟶ ALB.RAND ⟶ 消灯

iPod について

本機で使用できる互換性確認済みの iPod のモデル、世代、およびその世代の中でのソフトウェアバージョンについては、お買い上げの販売店または http://toyota.jp./ で確認ください。

使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. iPod の設定を変更する

カバーアート表示の設定を変更する

収録されている音楽ファイルにカバーアート（ジャケット写真）のデータが収録されている場合、カバーアートを表示するかしないかを選択できます。

1 画面外の にタッチ。

2 オーディオ にタッチ。

3 **[iPod 設定]** にタッチ。

4 **[カバーアート表示]** にタッチ。



5 **[する]** または **[しない]** にタッチ。

6 **[完了]** にタッチ。

ビデオ音声入力の設定を変更する

ビデオ音声入力の設定を変更することができます。

画面外の → オーディオ → iPod 設定 → iPod 設定画面

1 **[ビデオ音声入力]** にタッチ。



2 **[USB]** または **[VTR]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

画質を調整する

iPod ビデオ操作画面（→ P.330）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 **[画質調整]** にタッチ。

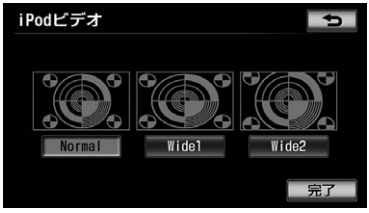
- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.41）をご覧ください。

画面モードを切り替える

iPod ビデオ操作画面（→ P.330）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 [Wide] にタッチ。

2 [Normal]、[Wide 1]または[Wide 2] にタッチ。



3 [完了] にタッチ。

● 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.43）をご覧ください。

1. VTR の操作

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターで市販の VTR 機器を接続すると、VTR の映像をご覧になれます。

接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

VTR 機器を再生しているときに、画面外の ♪ にタッチ、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると、VTR 操作画面が表示されます。

- エンジンスイッチがACC、またはONで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ VTR の映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみ聞くことができます。)



- **[全画面]** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

★印はオプションです。

VTR を再生する

1 iPod 対応 USB/VTR アダプターに VTR 機器の出力ケーブルを接続する。

- VTR 機器の接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 接続した機器の電源を入れる。

3 画面外の ♪ にタッチ。

4 VTR にタッチ。

知識

- 接続する VTR 機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。

VTR モードを切り替える

2 つの VTR 機器を同時に接続しているときに映像を切り替えることができます。

VTR 操作画面表示中（→ P.338）

1 **[VTR1]** または **[VTR2]** にタッチ。

- iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続した VTR 機器の映像を見るとき
  ➡ **[VTR1]** にタッチ。
- 販売店装着オプションのドライブレコーダーに保存された映像を見るとき
  ➡ **[VTR2]** にタッチ。

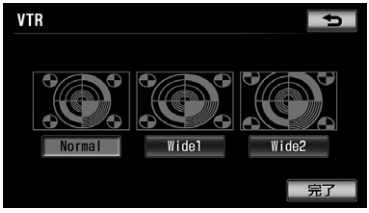
画面モードを切り替える

VTR 操作画面表示中（→ P.338）

1 **[各種切替]** にタッチ。

2 **[Wide]** にタッチ。

3 **[Normal]**、**[Wide 1]** または **[Wide 2]** にタッチ。



4 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.43）をご覧ください。

画質を調整する

VTR 操作画面表示中（→ P.338）

1 **[各種切替]** にタッチ。

2 **[画質調整]** にタッチ。



- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.41）をご覧ください。

1. はじめに

Bluetooth オーディオについて

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を車載機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

本システムに接続するポータブル機は、次の仕様に対応している必要があります。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または http://toyota.jp/ でご確認ください。

対応 Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.1+EDR を推奨）

対応 Profile

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  Ver.1.0 以上（Ver.1.2 推奨）
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）
  Ver.1.4 を推奨

Bluetooth® は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。

Bluetooth ワードマークとロゴは Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

⚠警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

⚠注 意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 車載機で Bluetooth オーディオを使用しているときにポータブル機のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

知 識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

各種表示について

電池残量表示について

ポータブル機の電池残量の目安を表示します。



表示				
残量	無	少	◄――►	多

知 識

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
- 外部電源が接続されているときは残量表示は で表示されます。

Bluetooth 接続状態表示について

ポータブル機の Bluetooth 接続状態を表示します。



表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。点が 3 つ表示される位置まで、ポータブル機を移動してご使用ください。
	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。(→ P.354) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.350)

知識

- Bluetooth 通信用のアンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示の点の数が少なくなることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - ディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - 金属製のものに接したり、覆われているとき
- ポータブル機を使用するときは、点が 3 つ表示されるように、ポータブル機の場所を移動させてください。
- ポータブル機を接続しても充電されません。

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  （上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
  この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
  変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
  想定与干渉距離は 10m 以下です。
  この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ハンズフリーと同時に使用するとき

知 識

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  - ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

2. Bluetooth オーディオを操作する

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。（→ P.350）

Bluetooth オーディオモードを選択しているときに、画面外の ♪ にタッチすると、Bluetooth オーディオ操作画面が表示されます。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。



知 識

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

操作画面について

接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示やアルバム名、トラック名の［>］や［<］などのスイッチが表示されない画面が表示されることがあります。



Bluetooth オーディオを聞く

1 車載機にポータブル機を登録する。（→ P.350）

2 画面外の ♪ にタッチ。

3 BT にタッチ。

知 識

- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - ・ 車載機で操作できない。
  - ・ 動作や音量が異なる。
  - ・ 車載機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - ・ 再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。（→ P.353）
- 車載機との接続状態によっては、車載機で操作できない場合があります。そのときは、接続状態表示が良好であることを確認してから再度操作してください。（→ P.343）

一時停止する

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 ［❚❚］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。

知 識

- 接続した機器によっては、一時停止時に［❚❚］にタッチすることで、再生する場合があります。また、再生中に［▶］にタッチすることで、一時停止する場合があります。

聞きたいアルバムを選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 アルバム名の［>］または［<］にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ アルバム名の［>］にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ アルバム名の［<］にタッチ。

知 識

- 接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチ。

- うしろにあるとき ➡ ≪ にタッチ。
- 前にあるとき ➡ ≫ にタッチ。

操作画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 曲名の［>］または［<］にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ トラック名の［>］にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ トラック名の［<］にタッチ。

知 識

- 接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

トラックリスト画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

アルバムリスト画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 アルバム名にタッチ。

2 聞きたい曲が表示されるまでフォルダまたは曲にタッチ。

- フォルダのリストには、■ が表示されます。

3 聞きたい曲にタッチ。

知識

- 接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

早送り、早戻しする

▶対応ポータブル機接続時

1 画面外の ≪ または ≫ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ≪ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ≫ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- 接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。
  この場合、再度画面外の ≪ または ≫ にタッチすることで、再生が再開されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

▶対応ポータブル機接続時

選択している曲を繰り返し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[RPT]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RPT]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → ALB.RPT → 消灯

同じアルバムを繰り返し聞く

▶対応ポータブル機接続時

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[RPT]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RPT」が表示されます。
- 解除するとき
  ➡ 再度 **[RPT]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → ALB.RPT → 消灯

アルバムの中からランダムに聞く

▶対応ポータブル機接続時
選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
- 解除するとき ➡ **[RAND]** に 2 回タッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

全アルバムの中からランダムに聞く

▶対応ポータブル機接続時
全アルバムの中からランダム（無作為）に選択し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[RAND]** に 2 回タッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RAND」が表示されます。
- 解除するとき
  ➡ 再度 **[RAND]** にタッチ。
- タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

3. Bluetooth オーディオの設定を変更する

ポータブル機を登録する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。

次のいずれかの方法で登録することができます。

- 操作画面からの登録
- 設定・編集画面からの登録

操作画面で登録する

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[接続]** にタッチ。

- すでに他のポータブル機が登録されているときは、ポータブル機接続画面が表示されます。**[新規登録]** にタッチすると、手順 **3** の画面が表示されます。

2 **[はい]** にタッチ。

3 ポータブル機を登録する。



- 他のポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよろしければ、「はい」にタッチします。
- すでに5 台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。
- ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ **[中止]** にタッチ。

4 登録が完了したとき
➡ メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

- 使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。

設定・編集画面で登録する

1 画面外の にタッチ。

2 Bluetooth にタッチ。



3 **[機器登録]** にタッチ。

4 **[新規登録]** にタッチ。

5 ポータブル機を登録する。



- 他のポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、**［はい］**にタッチします。
- すでに５台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。
- ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。

6 登録が完了したとき
➡ メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

- 使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。

知 識

- ポータブル機によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.358）
- 登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。
- ポータブル機は、車載機に最大５台まで登録することができます。
- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポータブル機でパスキー入力できないとき

- 操作スイッチがないなど、パスキーを入力することのできないポータブル機の場合は、あらかじめ車載機のパスキーをポータブル機のパスキーに変更し １ ～ ４ の操作を行ってください。
- パスキーの変更について
  ➡「車載機の Bluetooth 設定を変更する」（→ P.358）

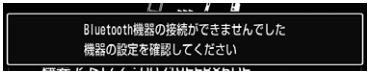
知 識

- ポータブル機のパスキーについては、ポータブル機に添付の取扱説明書をご確認ください。
- 一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用するポータブル機として選択されます。
- パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.358）
- 登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。

3. Bluetooth オーディオの設定を変更する

接続失敗画面が表示されたとき

●「接続ができませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ポータブル機を接続する

ポータブル機の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知 識

● ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にするたびに、車載機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

画面外の → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** → **Bluetooth オーディオ設定画面**

1 **［自動接続］**にタッチし、**［する］**にタッチ。



● 解除するとき ➡ **［しない］**にタッチ。

● Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示させることができます。（→ P.354）
使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内



● 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

● ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

知 識

- Bluetooth　接続状態表示でも確認できます。(→ P.343)
- 「接続方法を変更する」(→ P.357) で「ポータブル機から接続」に設定している場合は、自動 Bluetooth 接続の設定はできません。
- 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) から ACC または ON にした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  - 自動接続しない。
    この場合、手動で接続してください。
    (→ P.353)
  - エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになる。
    この場合、ポータブル機本体で照明をOFF に設定してください。
    (設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。)
  - 「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

- 自動接続を開始して約 15 秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。
- 自動接続動作は約 60 秒行います。
  その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
  (→ P.353)

手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続 OFF　　状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中 (→ P.345)

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 **[接続]** にタッチ。



3 接続したいポータブル機を選択しタッチ。

- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知 識

- ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

3. Bluetooth オーディオの設定を変更する

Bluetooth 接続確認を表示する

Bluetooth 接続されると、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → Bluetooth 設定画面

1 **［ポータブル機の接続確認表示］**にタッチ。

2 **［する］**にタッチ。

● 解除するとき
➡ **［しない］**にタッチ。

3 **［完了］**にタッチ。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.357）は、ポータブル機を操作して接続します。



● ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
● 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

● 再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.353）
ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

● 再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
・手動で接続する（→ P.353）
・改めてポータブル機を選択する（→ P.354）

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

● ポータブル機の登録について
➡「ポータブル機を登録する」（→P.350）

操作画面で選択する

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.345）

1 **[接続]** にタッチ。

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機を選択する。



- 選択中のポータブル機は、作動表示灯が点灯します。
- Bluetooth　　接続中のポータブル機は、Bluetooth マークが表示されます。
- Bluetooth 接続中のポータブル機がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、**[はい]** にタッチします。

設定・編集画面で選択する

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 設定画面

1 **[ポータブル機接続]** にタッチ。



2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機を選択する。



- 選択中のポータブル機は、作動表示灯が点灯します。
- Bluetooth　　接続中のポータブル機は、Bluetooth マークが表示されます。
- Bluetooth 接続中のポータブル機がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、**[はい]** にタッチします。

知識

- ポータブル機は車載機に最大 5 台まで登録することができますが車載機で使用できるのはポータブル機選択で選択されたポータブル機のみです。

■ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→P.357）は、ポータブル機を操作して接続します。



- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ **[中止]** にタッチ。

ポータブル機の詳細情報を表示する

車載機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、車載機との接続方法を変更することができます。

- 情報は、次の項目が表示されます。

機器名称： 車載機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。

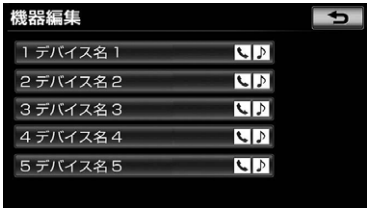
機器アドレス： 機器固有のアドレスで、変更することはできません。

対応プロファイル： ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

接続方法： ポータブル機と車載機との接続方法で、「車載機から接続」と「ポータブル機から接続」を切り替えることができます。

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 編集 → 電話機編集画面

1 詳細情報を表示したいポータブル機を選択しタッチ。



2 各項目を確認する。



- この画面で、以下の変更を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	P.357
接続方法の変更	P.357

3 確認および変更が終わったら、**[完了]** にタッチ。

ポータブル機の名称を変更する

車載機に表示されるポータブル機の名称を、任意の名称に変更することができます。

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 編集 → 名称を変更したいポータブル機器名称 → 電話機詳細情報画面

1 **[機器名称]** にタッチ。



2 名称を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 車載機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

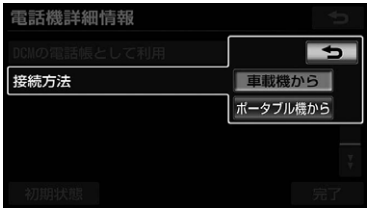
接続方法を変更する

車載機にポータブル機を接続するときの方法を選択することができます。

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 編集 → 接続方法を変更したいポータブル機器名称 → 電話機詳細情報画面

1 **[接続方法]** にタッチ。

2 **[車載機から]** または **[ポータブル機から]** にタッチ。



3 **[完了]** にタッチ。

知 識

- 「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。
  接続方法についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「自動で接続する」(→ P.352) で「する」にしていても自動接続は行いません。

車載機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

● 情報は、次の項目が表示されます。

機器名称：Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。

パスキー：ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

機器アドレス：車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。

機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

対応プロファイル：ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

● 機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 **[機器名称]** または **[パスキー]** にタッチ。



● この画面で Bluetooth 設定情報が確認できます。

2 各項目を変更する。

▶機器名称
ソフトウェアキーボードで入力する。

▶パスキー
4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**[完了]** にタッチ。

● 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

知 識

● 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。
パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

Bluetooth 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 **[初期状態]** にタッチ。

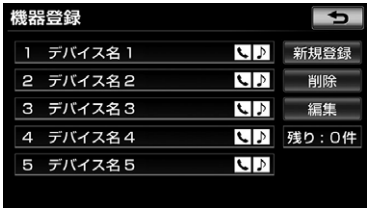


2 **[はい]** にタッチ。

ポータブル機の登録を削除する

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 機器登録画面

1 **[削除]** にタッチ。



2 削除するポータブル機を選択し、**[削除]** にタッチ。

3 **[はい]** にタッチ。

- 削除するポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**[はい]** にタッチします。

1. リモコンでの操作

後席ディスプレイについて

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、車載機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

後席ディスプレイは、走行中、停車中に関わらず映像をご覧になることができます。

後席ディスプレイに付属のリモコンで映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。詳しい説明や、後席ディスプレイ本体の取り扱いについては後席ディスプレイ取扱書をご覧ください。

■後席ディスプレイに表示される画面

車載機に次の画面が表示されている場合、後席ディスプレイにも同じ画面が表示されます。

- デジタルテレビ
- DVD
- VTR
- iPod Video

その他のオーディオの画面が表示されている場合、黒い画面が表示されます。

⚠警 告

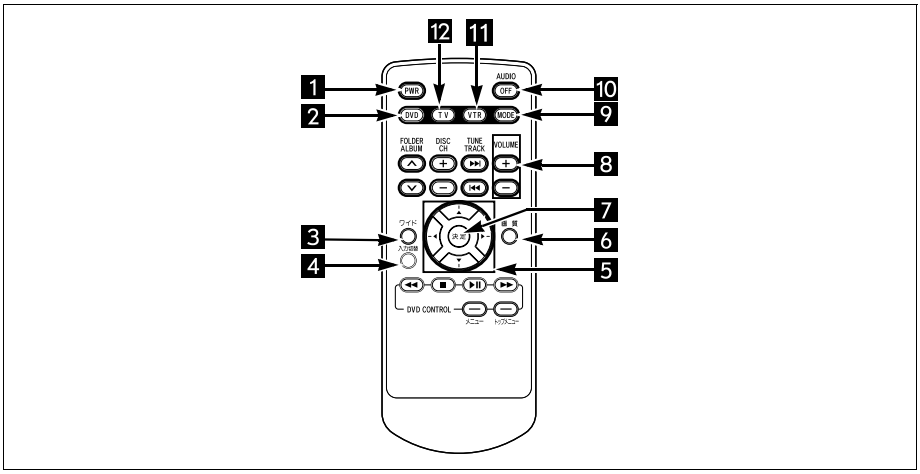
- 事故防止のため、リモコンの電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注 意

- リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
- リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
- リモコンを分解しないでください。
- リモコンの電池を交換する場合、＋極と－極を必ず正しい向きにして取り付けてください。

★印はオプションです。

オーディオ共通の操作をする



スイッチ	機　能
1 電源スイッチ	押すごとに、後席ディスプレイの電源の ON/OFF が切り替わります。
	1 秒以上押し続けると、車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にしたときの後席ディスプレイ作動を設定することができます。1 秒以上押し続けるごとに、OFF START ※1 と LAST　START ※2 が切り替わります。
2 ディスクモード切り替えスイッチ	押すと、DVD プレーヤーに切り替わります。
3 ワイドモード切り替えスイッチ	押すごとに、後席ディスプレイのワイドモードが、ノーマル、ワイド 1、ワイド 2、ワイド 3 の順に切り替わります。※3
	1 秒以上押し続けるごとに、後席ディスプレイの背面にあるインジケータ表示の ON/OFF が切り替わります。※4
4 入力切り替えスイッチ※4	押すごとに、後席ディスプレイの画面モードの入力 1/ 入力 2 が切り替わります。
5 項目選択スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、明るさやコントラストなどの調整項目が切り替わります。
6 画質調整スイッチ	オーディオが DVD やデジタルテレビ、VTR の場合、または後席ディスプレイの画面モードが入力 2 ※4 の場合、押すと、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。
	1 秒以上押すごとに、オートディマー機能の ON/OFF が切り替わります。※5

1. リモコンでの操作

スイッチ	機　能
7 項目決定スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、調整内容が決定されます。
	後席ディスプレイのワイドモードを切り替えた場合、押すと、選択したモードに決定されます。
8 音量スイッチ	押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。押し続けると音量が連続して変わります。
	後席ディスプレイの画面モードが入力 2 の場合、後席ディスプレイの音量が変わります。このとき、オーディオの音量は変わりません。※4
9 オーディオモード切り替えスイッチ	スイッチを押すごとに、次の順に切り替わります。 FM →（DVD プレーヤー）→（HDD オーディオ）→（iPod/USB）→（Bluetooth オーディオ）→（VTR）→（デジタルテレビ）→（SD オーディオ）→ AM → FM ※6
	ラジオ、デジタルテレビ、VTR では、1 秒以上押し続けると、ミュートします。 再度、1 秒以上押し続けると、ミュートが解除されます。 ラジオ、デジタルテレビ、VTR 以外では、再生中に 1 秒以上押し続けると、一時停止します。 再度、1 秒以上押し続けると、再生されます。
10 オーディオ OFF スイッチ	押すと、オーディオの電源が OFF になります。
11 VTR切り替えスイッチ	押すと、VTR に切り替わります。※7
12 TV 切り替えスイッチ	押すと、デジタルテレビに切り替わります。

※1 電源 OFF の状態

※2 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にする直前の状態

※3 オーディオが DVD、または VTR の場合のみ

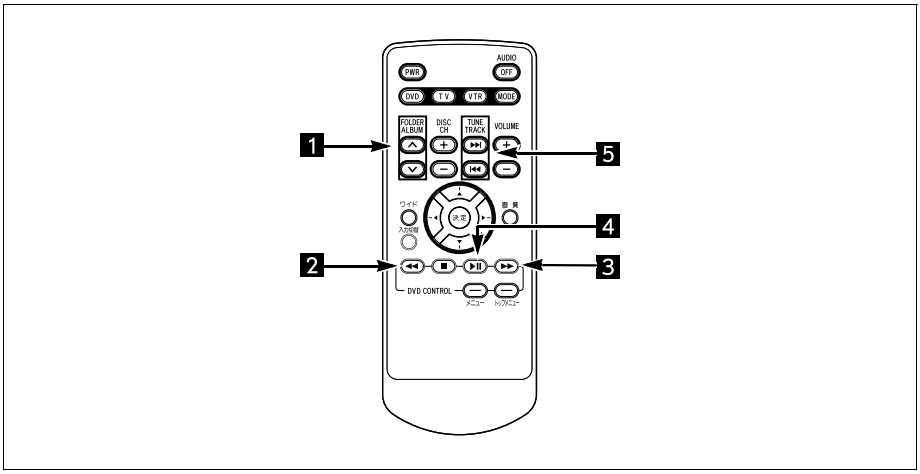
※4 8 型後席ディスプレイのみ

※5 9 型後席ディスプレイのみ

※6 再生、または視聴できない場合は切り替わりません。

※7 VTR1 と VTR2 との切り替えはできません。

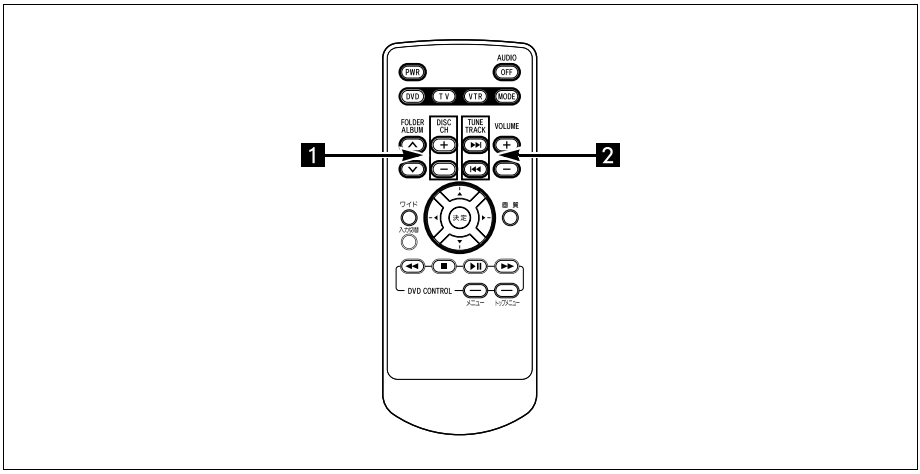
再生中の曲を操作する



スイッチ	機　能
1 ※**フォルダ / アルバム切り替えスイッチ(上側)**	押すと、次のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
1 ※**フォルダ / アルバム切り替えスイッチ(下側)**	押すと、前のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
2 **早戻しスイッチ**	押し続けている間、曲が早戻しされます。
3 **早送りスイッチ**	押し続けている間、曲が早送りされます。
4 **一時停止 / 再生スイッチ**	再生中に押すと、曲が一時停止します。 一時停止中に押すと、曲が再生されます。
5 **選曲スイッチ(上側)**	押すと、次の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。
5 **選曲スイッチ(下側)**	押すと、曲の頭出し、連続で押すと、前の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早戻しされます。

※ MP3/WMA、HDD オーディオ、iPod、USB メモリ、Bluetooth オーディオ、SD メモリーカードを再生している場合のみ

ラジオ・デジタルテレビを操作する



スイッチ	機　能
1 放送局 / チャンネル切り替えスイッチ	押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局やチャンネルを順に呼び出します。
2 周波数切り替えスイッチ※1	押すごとに、1 ステップずつ周波数が切り替わります。 1 秒以上押し続けると、自動選局を開始します。
2 チャンネル切り替えスイッチ※2	押すと、プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを順に呼び出します。

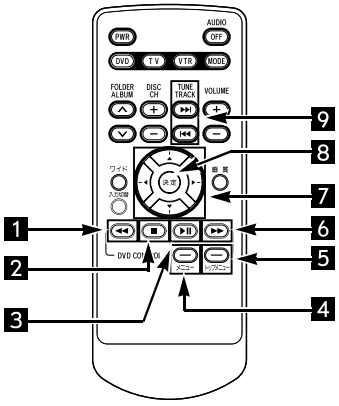
※1 ラジオの場合

※2 デジタルテレビをご覧の場合

知 識

- 放送局やチャンネルを切り替える場合、あらかじめプリセットスイッチに記憶します。その場合、本体側で操作します。（→ P.237、P.316）
- ラジオの放送局を自動受信する場合、受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

DVD プレーヤーを操作する



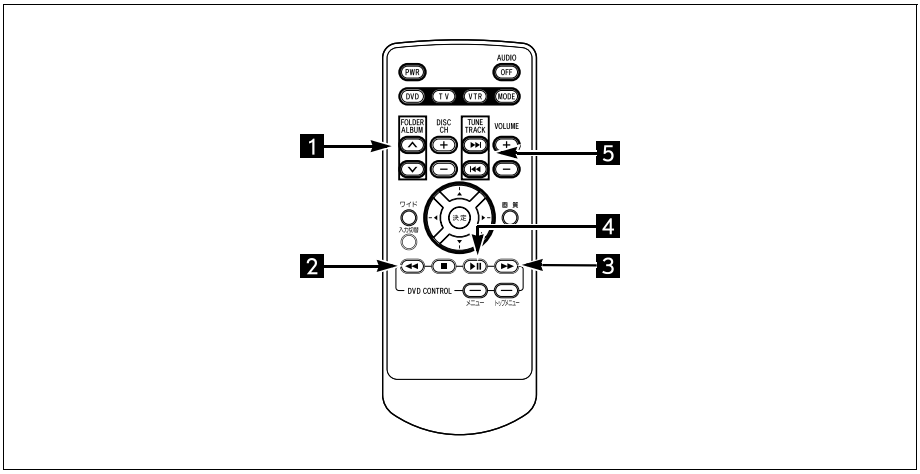
スイッチ	機　能
1 早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
2 停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
3 一時停止 / 再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 一時停止中に押すと、映像が再生されます。
4 メニュースイッチ	押すと、DVD メニューが表示されます。
5 トップメニュースイッチ	押すと、DVD トップメニューが表示されます。
6 早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
7 項目選択スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで項目が選択されます。
8 項目決定スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで選択した項目が決定されます。
9 チャプター切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
9 チャプター切り替えスイッチ（下側）	押すと、チャプターの頭出し、連続で押すと前のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。

1. リモコンでの操作

知 識

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容に従って再生されるため、操作したとおりに機能しないことがあります。

iPod の映像を操作する



スイッチ	機　能
1 フォルダ切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のフォルダに切り替わり、フォルダ内の先頭の映像から再生されます。
1 フォルダ切り替えスイッチ（下側）	押すと、前のフォルダに切り替わり、フォルダ内の先頭の映像から再生されます。
2 早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
3 早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
4 一時停止 / 再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 一時停止中に押すと、映像が再生されます。
5 ファイル切り替えスイッチ（上側）	押すと、次の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
5 ファイル切り替えスイッチ（下側）	押すと、映像の頭出し、連続で押すと、前の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。

MEMO

4

音声操作システム

1 音声操作システムを使う前に

1. はじめに 370
   音声操作システムについて 370
2. 各部の名称 371
   音声入力マイク 371
   音声入力スイッチ 371
   音声操作画面について 371

2 基本操作について

1. 基本操作を覚える 372
   メニュー画面の種類について 372
   音声認識モードを開始する 372
   音声認識モードを中止する 373

3 代表的な音声操作

1. 音声操作の使用例 374
   使用例の見方 374
   自宅を目的地に設定する 374
   色々な方法で目的地を設定する 375
   その他の方法で検索する 376
   My リクエストを使う 379
   HDD オーディオの楽曲を検索する 380
   電話をかける 381

4 音声認識コマンド一覧

1. 音声認識コマンド一覧 383
   音声認識コマンド一覧について 383
   音声認識コマンド一覧 384

1. はじめに

音声操作システムについて

販売店装着オプションの音声操作システム（音声入力マイク＆音声入力スイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどの操作を行うことができます。

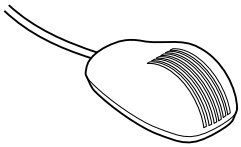
- 音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
  - ・音声操作を開始するときは、必ず音声入力スイッチを短く押してください。
  - ・“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
  - ・ハッキリと発声してください。
  - ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
  - ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
  - ・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
  - ・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

★印はオプションです。

2. 各部の名称

音声入力マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。



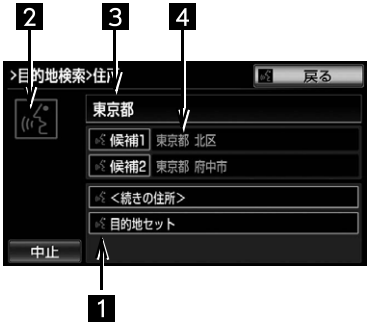
音声入力スイッチ

音声認識モードを開始／中止するときに使用します。



音声操作画面について





表示		内容
1	コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ緑色で表示される。
2	認識中アイコン	音声認識中に緑色で表示される。
3	認識結果	認識結果が表示される。
4	候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。

1. 基本操作を覚える

メニュー画面の種類について

メニュー画面には、メインメニュー画面とガイドメニュー画面があります。

メインメニュー画面について

音声入力スイッチを押すと最初に表示される画面です。よく使われるコマンドが表示されます。ここに表示されないコマンドは、ガイドメニューから操作してください。



- コマンドの表示を切り替えたいとき
  ➡**「ページ切替」**と発声する、または**［ページ切替］**にタッチ。
- ガイドメニュー画面を表示したいとき
  ➡**「ガイドメニュー」**と発声する、または**［ガイドメニュー］**にタッチ。

知 識

- G-BOOK のデータ受信ができないなど使用できないコマンドは灰色になり、操作できないことがあります。

ガイドメニュー画面について

希望のコマンドがメインメニュー画面にない場合、ガイドメニュー画面に表示されたコマンドから操作してください。操作できるコマンドは、コマンドリスト（→ P.384）にあるコマンドです。



知 識

- G-BOOK のデータ受信ができないなど使用できないコマンドは灰色になり、操作できないことがあります。

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

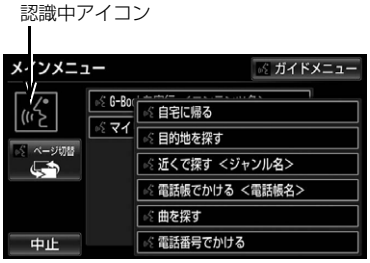
1 音声入力スイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

- 音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」、「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。



2 認識中アイコンが緑色に変わったら、希望のコマンドを発声する。

● <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。



● コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知 識

● 音声入力スイッチを押した後の音声ガイドは、状況などにより異なる音声ガイドが出力されることがあります。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をします。

● 発声したコマンドと異なる認識結果のとき
➡**「いいえ」**と発声し、「音声認識モードを開始する」（→ P.373）手順 **2** へ。

● 候補に希望の結果が表示されているとき
➡**「候補 1」**または**「候補 2」**と発声する。

● 候補に希望の結果が表示されていないとき、候補が表示されないとき
➡**「戻る」**と発声する、または**［戻る］**にタッチし、「音声認識モードを開始する」（→ P.373）手順 **2** へ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。（→ P.375）

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

● コマンドを２回連続で認識できなかったとき

この場合、音声入力スイッチを押すと再開できます。

ヘルプ機能を使用する

音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

● コマンドの読み方や発声例を知りたいとき
➡**「ヘルプ」**と発声する。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に音声入力スイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

● 音声入力スイッチを押し続ける。

● コマンドリストに「中止」が表示されているとき
➡**［中止］**にタッチ。

1. 音声操作の使用例

使用例の見方

ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。
ここで紹介するのは、主にメインメニュー画面から連続して音声操作をする場合の例です。

● 文中の表記は次のようになっています。

(○○○) : スイッチの操作

「○○○」: 車載機から出力される音声ガイド

＜○○○＞: 車載機から出力される操作音

「○○○」: 発声するコマンド

● 説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」(→ P.384) をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様 : (音声入力スイッチを押す)

車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」

車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞

お客様 : **「自宅に帰る」**



車載機 :「自宅に帰る」

車載機 :「よろしければ、はいとお話しください」

お客様 : **「はい」**

車載機 :「はい」

● 以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

知 識

● 自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。(→ P.143)

色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。
ここでは代表して、「住所で探す」から設定する場合を説明します。

● 検索できる住所は、画面操作の住所検索（→ P.100）から検索できる住所です。

例）「東京都文京区後楽一丁目 1ー2」を目的地に設定します。

お客様 :（音声入力スイッチを押す）
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「目的地を探す」**



車載機 :「目的地を探す」
車載機 :「検索方法をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「住所で探す」**
車載機 :「住所で探す」
車載機 :「住所を都道府県からお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「東京都」**
車載機 :「東京都」
車載機 :「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「文京区」**
車載機 :「文京区」
車載機 :「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「後楽」**
車載機 :「後楽」
車載機 :「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「一丁目」**
車載機 :「一丁目」
車載機 :「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「1ー2」**
車載機 :「1ー2」
車載機 :「よろしければ、目的地セットとお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「目的地セット」**
車載機 :「目的地セット」
車載機 :「よろしければ、はいとお話しください」
お客様 :**「はい」**
車載機 :「はい」

● 以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

知 識

- コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。
  - 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
  - 郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
  - 「ー」は**「の」**または**「はいふん」**と発声してください。

地図を表示する

住所で検索中、地点が特定できないときは、最後に発声した地名の広域図を表示します。

コマンドを言いなおす

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

- 都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合
  ➡**「東京都文京区」**と都道府県名から言いなおす。
- 都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合
  ➡**「文京区」**と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した目的地の条件により、設定方法を選択する必要があります。

知 識

- 音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

■すでに目的地が設定されているとき

- 検索結果を一番手前の目的地として追加します。

知 識

- 目的地は最大5カ所まで設定できます。すでに 5 カ所目的地が設定されているときは、「すべての目的地を削除します。よろしいですか？」と音声ガイドが出力されます。

その他の方法で検索する

検索方法を発声するときに次のコマンドを発声すると、希望の方法で検索できます。
操作方法は「住所で探す」と同様です。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 コマンド	機能
▶施設名で探す **「施設で探す」**	施設名から目的地を検索する（→ P.377）
▶電話番号で探す **「電話番号で探す」**	電話番号から目的地を検索する（→ P.378）
▶最寄の施設で探す **「近くで探す」**	最寄の施設から目的地を検索する（→ P.378）
▶メモリ地点で探す **「メモリ地点で探す」**	メモリ地点から目的地を検索する（→ P.93）

施設名で探す

- 検索できる施設は、画面操作の施設検索（→ P.100）から検索できる施設です。
- 原則として**「都道府県名＋施設名」**を発声します。
  - ・都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。
- 次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

▶販売店、レンタリース、ジェームス※

系列名＋店名

例）トヨタ＋△△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

▶駅

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

▶高速 IC・SA・PA、有料 IC

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

知識

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、**「東京ディズニーランド」**と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。
- 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。
  - ・「立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク）」（→ P.77）
  - ・「施設で地図を検索する」（→ P.100）
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

1. 音声操作の使用例

電話番号で探す

数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

- 例)「03 − 1234 − 5678」を発声する場合
  - ・一度にすべて発声するとき
    「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
  - ・分けて発声するとき
    「ゼロ、サン」＋**「イチ、ニ、サン、ヨン」**＋**「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」**
- 市内局番については、桁読みで発声することができます。
  - ・例)「03 − 1234 − 5678」の市内局番を桁読みで発声する場合
    「センニヒャクサンジュウヨン」

知 識

- 「−」は**「の」**または**「はいふん」**と発声しても、省略してもかまいません。

最寄の施設を目的地に設定する

施設を最大 5 件まで検索し、目的地に設定できます。

- ジャンルを選択するときは、**「ジャンル名」**または**「番号」**を発声します。

例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

お客様 :（音声入力スイッチを押す）
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「近くで探す」**



車載機 :「近くで探す」
車載機 :「ジャンル名をお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「コンビニ」**
車載機 :「コンビニエンスストア」
車載機 :「施設の番号を選択してお話しください」、「またはルート沿いで探すとお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「2」**
車載機 :「2」
車載機 :「よろしければ、はいとお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「はい」**
車載機 :「はい」

- 以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

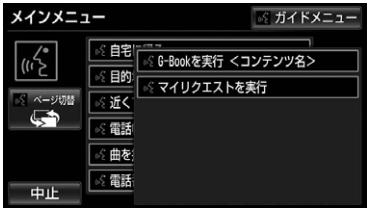
My リクエストを使う

▶G-BOOK オンラインサービス利用時
My リクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

- コンテンツを選択するときは、**「コンテンツ名」**を発声します。

例)「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様 :（音声入力スイッチを押す）
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「マイリクエストを実行」**



車載機 :「マイリクエストを実行」
車載機 :「表示されているコンテンツ名をお話しください」＜ピッ＞
お客様 : **「道路交通情報一般道」**
車載機 :「道路交通情報一般道」

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次の操作を行います。

1 **［▲］**または**［▼］**にタッチ。

2 **「コンテンツ名」**を発声する。

HDD オーディオの楽曲を検索する

HDD オーディオ内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

- アーティスト名とアルバム名は、HDD オーディオ画面で表示される読みを発声します。
  - ・アーティスト名：アーティスト読み
  - ・アルバム名：アルバム読み

例） ○○○（アーティスト名）の曲を再生します。

ここでは「アーティストで再生」と「(アーティスト名）」を発声する場合で説明します。

お客様：（音声入力スイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞

お客様：**「アーティストで再生」**※1



車載機：「アーティストで再生」

車載機：「アーティスト名をお話しください」＜ピッ＞

お客様：**「○○○（アーティスト名）」**

車載機：「○○○（アーティスト名）」

車載機：「よろしければ、はいとお話しください」 ＜ピッ＞

お客様：**「はい」**※2

以上で、選択したアーティストの曲が再生されます。

「アーティストで再生」と「(アーティスト名)」を続けて発声する

- ※1で**「アーティスト “○○○（アーティスト名)”」**と発声してください。

複数の候補が表示されたとき

- ※2で再生したい候補の番号、または**「再生」**と発声してください。

知 識

- アーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、アルバムの名称と読みが異なることがあります。
  この場合、HDD オーディオ画面で表示されるアーティスト名、アルバム名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。
  HDD オーディオ画面で、それぞれの読みをご確認ください。
- HDD オーディオ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
  - ・「タイトル情報を再取得する」(→ P.293) の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。
  - ・「アーティスト読みを変更する」(→ P.292) の操作で、希望の読みに変更する。
  - ・「アルバムタイトル、アルバム読みを変更する」(→ P.291) の操作で、希望の読みに変更する。
- 認識対象となるアーティスト名、またはアルバム名が 1500 件を超えると、楽曲の検索ができないため、手動で操作してください。(→ P.283)
- 楽曲の検索ができない場合、「曲を探す」と表示されます。

電話をかける

電話帳に登録した名称や電話番号を発声して、電話をかけることができます。

電話番号でかける

- 電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」（→ P.378）と同様です。

例）「03ー 1234ー 5678」に電話をかけます。

お客様 :（音声入力スイッチを押す）
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「電話番号でかける」**



車載機 :「電話番号でかける」
車載機 :「電話番号を市外局番からお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「03 − 1234 − 5678」**
車載機 :「03 − 1234 − 5678」
車載機 :「続きの番号、または発信とお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「発信」**
車載機 :「発信」

電話帳でかける

- 発信できる電話番号は、電話帳（→ P.504）に登録してある電話番号のうち、名称読み（→ P.507）の設定をしてある電話番号です。

お客様 :（音声入力スイッチを押す）
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「電話帳でかける」**※1



車載機 :「電話帳でかける」
車載機 :「電話帳に登録されている名称をお話しください」＜ピッ＞
お客様 :**「○○○（登録した名称読み）」**
車載機 :「発信とお話しください」※2
お客様 :**「発信」**
車載機 :「発信」

以上で、選択した電話帳データの電話番号に発信します。

「電話帳でかける」と「(電話帳名)」を続けて発声する

- ※1 で**「電話帳でかける“○○○（電話帳名)”」**と発声してください。

1. 音声操作の使用例

複数の候補が表示されたとき

- ※2で再生したい候補の番号、または**「発信」**と発声してください。

知識

- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

1. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧について

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

●「音声認識モードを開始する」（→ P.372）の手順で、コマンドを発声します。

知 識

- 表ではすべてのコマンドを紹介しています。
- メインメニュー画面に表示されないコマンドを認識させるには、まずガイドメニュー画面の表示コマンドを発声し、希望のコマンドを表示させてください。
- 使用できないコマンドは表示が灰色になり、操作できません。

音声認識コマンド一覧

メインメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する。
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する。
近くで探す＋（ジャンル名）	ちかくでさがす	希望の（ジャンル名）のうち、より近いところを探す。
電話帳でかける＋（電話帳名）	でんわちょうでかける	（電話帳名）の電話にかける。
アーティスト＋（アーティスト名）	あーてぃすと	（アーティスト名）から音楽を再生する。
アルバム＋（アルバム名）	あるばむ	（アルバム名）から音楽を再生する。
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する。
メモリ地点で探す＋（メモリ地点名）	めもりちてんでさがす	（メモリ地点名）へのルートを表示する。
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける。
G-BOOK を実行＋（コンテンツ名）	じーぶっくをじっこう	G-BOOK サービスの（コンテンツ名）を実行する。
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する。

ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する。
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する。
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する。
電話をかける	でんわをかける	通話コマンドを表示する。
G-BOOK を使う	じーぶっくをつかう	G-BOOK コマンドを表示する。

▶メニュー画面切替コマンド

コマンド名称	認識語	動作
メインメニュー	めいんめにゅー	メインメニュー画面を表示する。
ガイドメニュー	がいどめにゅー	ガイドメニュー画面を表示する。
ページ切替	ぺーじきりかえ	コマンドの表示を切り替える。

▶検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
候補○	こうほ○／こーほ○	候補○を選択する。
検索	けんさく	検索を開始する。

▶目的地設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
目的地セット	もくてきちせっと	目的地に設定する。
はい	はい	発声内容を決定する。
いいえ	いいえ	発声内容を取り消す。

▶ルート検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する。
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する。
施設で探す※	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する。
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する。
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する。

※「ジェームス」、「トヨタ販売店」などの施設名称がコマンドとして利用できます。

1. 音声認識コマンド一覧

▶オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
アルバムで再生	あるばむでさいせい	アルバム名から音楽を再生する。
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	アーティスト名から音楽を再生する。

▶通話コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話帳でかける＋(電話帳名)	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける。
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける。

▶G-BOOK コマンド

コマンド名称	認識語	動作
G-BOOK を実行＋(コンテンツ名)	じーぶっくをじっこう	G-BOOK サービスのコンテンツを実行する※。
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する。

※ G-BOOK センターから設定されたコマンドを利用できます。

▶その他のコマンド

コマンド名称	認識語	動作
戻る	もどる	1つ前の表示に切り替える。
ヘルプ	へるぷ	詳しい操作方法を説明する。

目的地設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
目的地セット	もくてきちせっと	目的地に設定する。

周辺施設表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
検索	けんさく	検索を開始する。
ルート沿いで探す	るーとぞいでさがす	検索対象をルート沿いの施設に設定する。

オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○ （アーティスト名）	○○○ （アーティスト名）	○○○を選択する。
○○○ （アルバム名）	○○○ （アルバム名）	○○○を選択する。
再生	さいせい	再生を開始する。

ハンズフリー操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話番号	でんわばんごう	電話番号を入力する。
電話帳	でんわちょう	電話帳に登録されている名称読みから選択する。
発信	はっしん	入力されている番号に発信する。

G-BOOK コマンド

G-BOOK センターから設定されたコマンドを利用できます。

MEMO

5

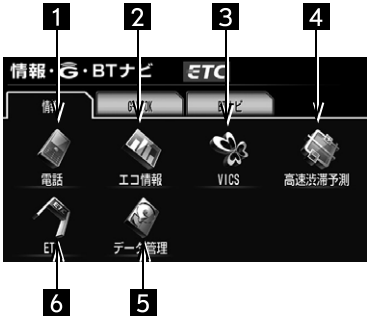
情報

1 情報について

1. 情報・G・BTナビ（情報）について 390
情報・G・BT ナビ（情報）を表示する 390
2. 交通ナビ関連情報について 391
交通ナビ関連情報を表示する 391

1. 情報・G・BT ナビ（情報）について

情報・G・BT ナビ（情報）を表示する



1 画面外の **G・INFO** にタッチ。

- G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
  ➡ **情報** にタッチ。

- 情報画面から次の操作を行うことができます。

表示順序／項目（スイッチ）		機　能	ページ
1	電話	交通・ナビ関連情報の表示	P.391
		ハンズフリー画面の表示	P.491
2	エコ情報	エコ情報の表示	P.174
3	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	P.202
		割込情報（VICS/ITS スポット）の表示※1	P.202
4	高速渋滞予測※2	渋滞予測情報の表示	P.614
5	データ管理	データ管理画面の表示	P.278
6	ETC※3	ETC 画面の表示	P.465

※1 販売店装着オプションのビーコンユニット、または ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したときのみ操作することができます。

※2 G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

※3 販売店装着オプションのナビ連動の　ETC　システムを取りつけたときのみ表示されます。ETC システムを取りつけていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

2. 交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているメモリ地点（→ P.142）や設定されている目的地（→ P.111）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

画面外の G・INFO → （情報）→ 情報画面

1 **［電話］**にタッチ。

2 **［交通ナビ］**にタッチ。



3 項目にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
  ➡ **［目的地］**にタッチすると、名称と電話番号を表示する。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

［JAF］または［道路交通情報センター］の情報を表示する

1 都道府県名 → 施設名称の順にタッチ。

［メモリ地点］の情報を表示する

1 メモリ地点にタッチ。

- 地図を表示するとき
  ➡ **［地図］**にタッチ。
- リストの並べ方をかえるとき
  ➡「メモリ地点を修正する」（→ P.146）手順 **2** へ。

［目的地］の情報を表示する

- 目的地が複数設定されているとき
  ➡ 目的地名称にタッチ。

MEMO

6

周辺モニター

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニターとは..... 395

2. ガイド画面の出し方 396
ガイド画面の出し方 396

3. ガイド方法の選び方 397
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき 397
縦列駐車時に使用するとき..... 398

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）..... 399
画面の見方..... 399
操作のしかた..... 401

5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）..... 403
画面の見方..... 403
操作のしかた..... 404

6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）..... 405
車の動きと画面・音声案内の流れ 405
操作のしかた..... 407

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）..... 413
画面の見方..... 413
操作のしかた..... 414

8. バックガイドモニターの設定..... 415
バックガイドモニター設定画面の表示 415
縦列ガイドの音量設定 415
はじめのコツの表示設定..... 415

9. バックガイドモニターについての注意点..... 416
運転時の注意 416
画面に映る範囲 417
カメラ..... 418
画面と実際の路面との誤差 418
立体物が近くにあるとき 419
バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは 420
バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは 421

2 マルチビューバックガイドモニター

1. マルチビューバックガイドモニターとは 422

2. カメラの視点切替方法..... 423
画面の見方 423
視点の切り替え方..... 424

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点..... 425
運転時の注意 425
画面に映る範囲 426
カメラ..... 428

3 バックモニター

1. バックモニターとは 429
2. 操作のしかた 430
   - 操作のしかた 430
   - 画面の見方 430
   - ガイド線表示の設定 431
3. バックモニターについての注意点 432
   - 運転時の注意 432
   - 画面に映る範囲 433
   - カメラ 434
   - 画面と実際の路面との誤差 435

4 ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステム

1. ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムとは 436
2. 操作のしかた 437
   - 画面の出し方 437
   - 画面の切り替え方 438
3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点 440
   - 運転時の注意 440
   - 画面に映る範囲 441
   - カメラ 443

5 マルチアングル全周囲モニター

1. マルチアングル全周囲モニターとは 445
2. フロントモード 446
   - 画面の出し方 446
   - 画面の見方 446
   - 視点の切り替え方 446
3. バックモード 447
   - 画面の出し方 447
   - 画面の見方 447
   - 視点の切り替え方 448
4. 回転表示モード 449
   - 画面の出し方 449
5. マルチアングル全周囲モニターの設定 450
   - マルチアングル全周囲モニターの設定 450
   - 便利な使い方 452
6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点 454
   - 運転時の注意 454
   - 画面に映る範囲 455
   - カメラ 459

1. バックガイドモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線や音声案内で、駐車時の後退操作を補助する装置です。バックガイドモニターは、以下の 2 通りの駐車方法について補助します。

- 車庫入れのような並列駐車。進路表示モードか駐車ガイド線表示モードを使います。
- 路側などに止める縦列駐車。縦列ガイドモードか駐車ガイド線表示モードを使います。

※ 車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

- バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ P.416）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ P.418）

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

2. ガイド画面の出し方

ガイド画面の出し方

1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

● 解除するとき➡シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

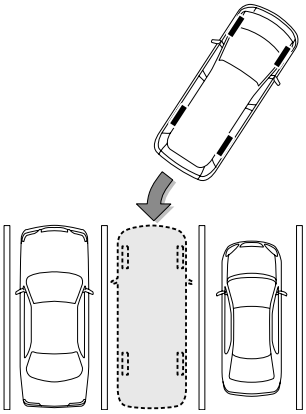
知 識

● シフトレバーを Ⓡ にしていても、画面外の Ⓐ ・ ♪ など各モードのスイッチにタッチすると、タッチしたスイッチのモード画面に切り替わります。

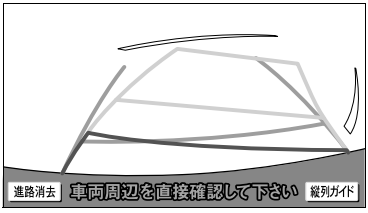
3. ガイド方法の選び方

並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

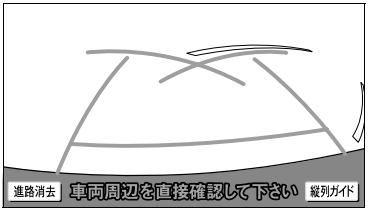


■進路表示モード（→ P.399）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→ P.403）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

モードの切り替え方

1 画面外の にタッチ。

2 運転支援 にタッチ。

3 **[BGM 設定]** にタッチ。



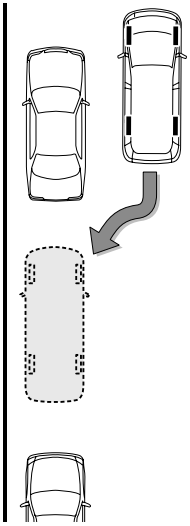
4 **[駐車ガイド線表示]** にタッチ。

5 **[する]** または **[しない]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

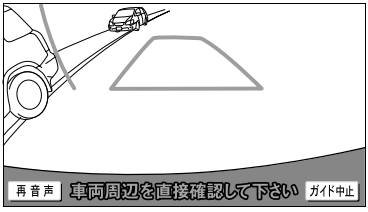
- 駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
  ➡ **[する]** にタッチ。
- 進路表示モードに切り替えるとき
  ➡ **[しない]** にタッチ。

縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

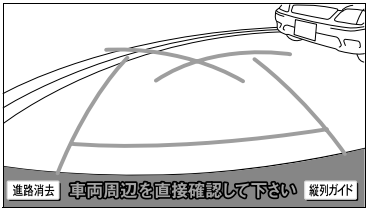


■縦列ガイドモード（→P.405）



画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→P.413）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替え方

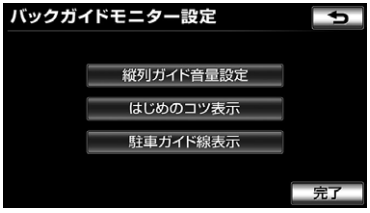
■縦列ガイドモードへの切り替え

1 **[縦列ガイド]** にタッチ。

■駐車ガイド線表示モードへの切り替え

画面外の → 運転支援 → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

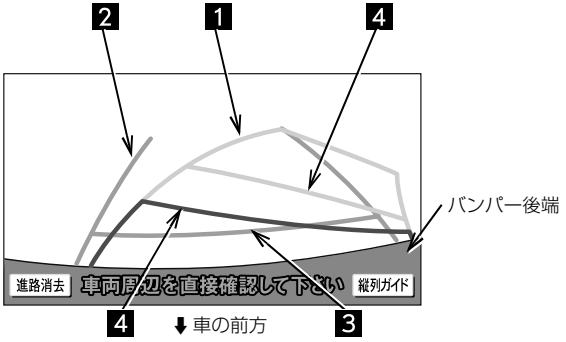
1 **[駐車ガイド線表示]** にタッチ。



2 **[する]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 予想進路線（黄色）	車が後退していく進路の目安を示す。 • ハンドル操作と連動します。
2 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示しています。 • ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
3 距離目安線（緑色 約 0.5m 先）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • 約 0.5m 先を示します。
4 距離目安線（赤色 約 0.5m 先）（黄色 約 1m 先）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 • それぞれの中心位置で、約 0.5m 先(赤色)・約 1m 先(黄色)を示します。 • ハンドルがまっすぐ(直進状態)になっていないときは誤差が生じます。上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5m 先、黄色：約 1m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

⚠警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

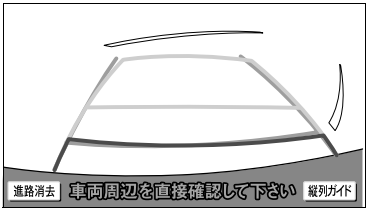
- **［進路消去］**にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される**［進路表示］**にタッチします。

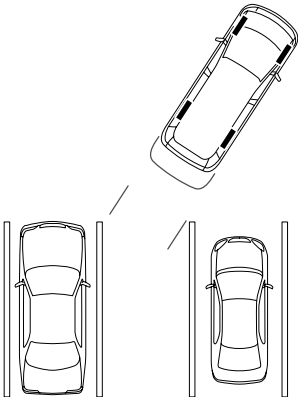
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

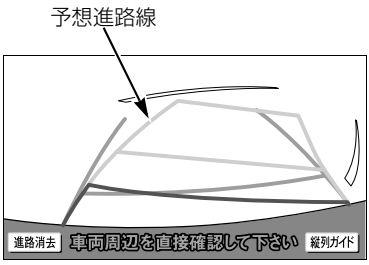
1 進路表示モードにする。(→P.397)

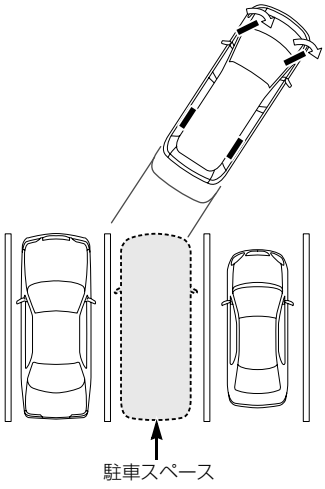
2 シフトレバーを Ⓡ にする。





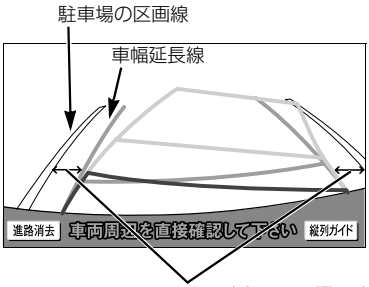
3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。

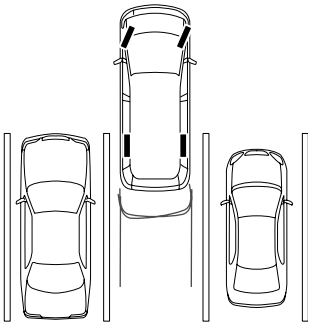




4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。

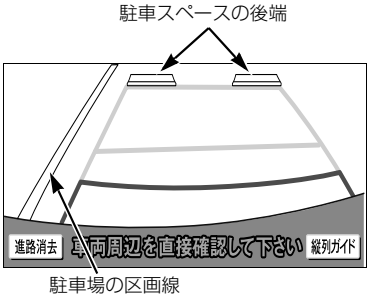




5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

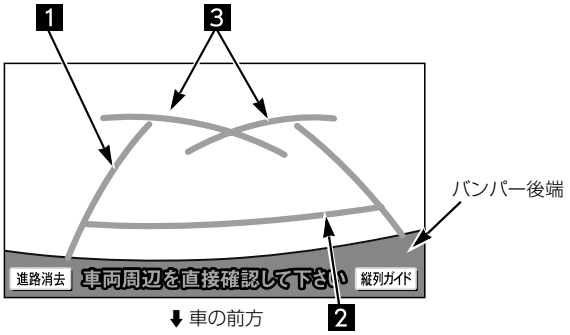
知識

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
  - 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
  - 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 **車幅延長線（緑色）**	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示しています。
2 **距離目安線 約 0.5m 先（緑色）**	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • 約 0.5m 先を示します。
3 **駐車ガイド線（緑色）**	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

- **［進路消去］**にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される**［進路表示］**にタッチします。

5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

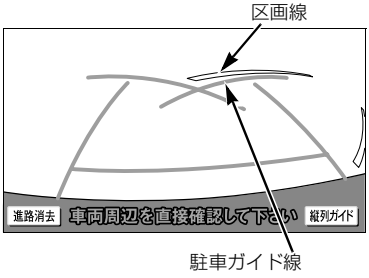
操作のしかた

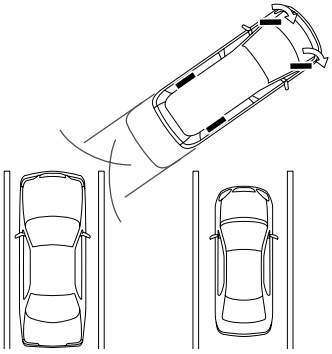
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ P.397）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。





知識

- 画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

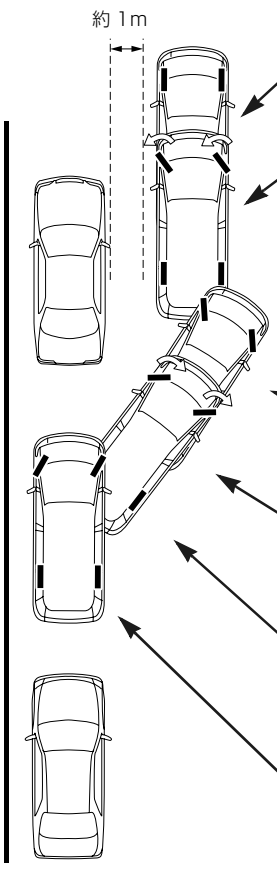
4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1m の位置で止まる。

緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。
（画面①）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。
（画面②）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。
（画面④）

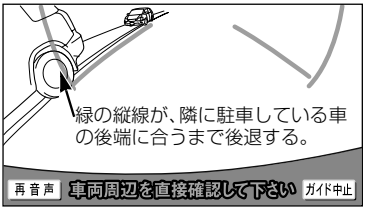
ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

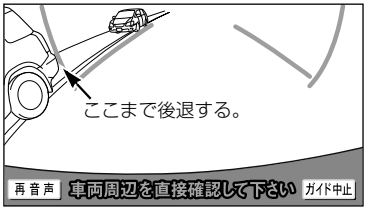
6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

■画面・音声案内の流れ

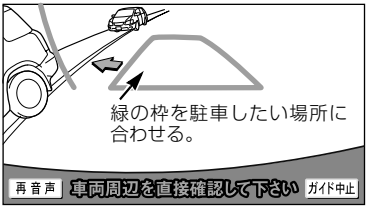
画面①



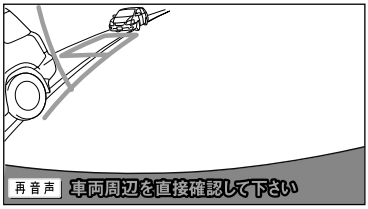
音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」



画面②

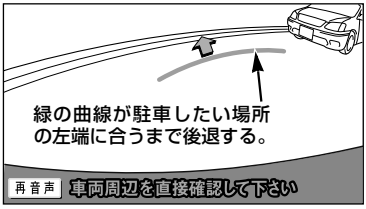


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

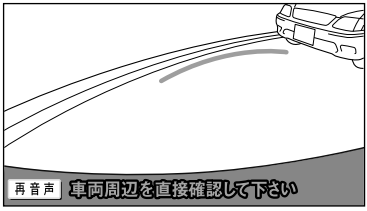


音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

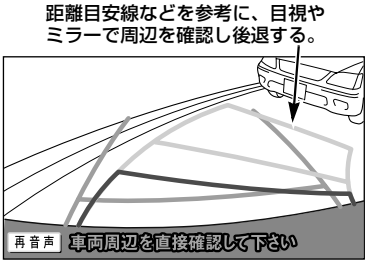


画面④



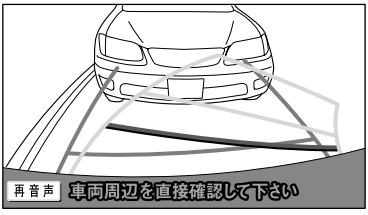
音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

画面⑤



音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面⑥



音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

⚠警告

- カーブや坂道など平坦･まっすぐではない道路では正しく表示されないため､使わないでください。
- ハンドル操作は､必ず車を止めた状態で行ってください。

知識

- ガイドを中止したいときは、**[ガイド中止]**にタッチすると、最初（シフトレバーを Ⓡ にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**[再音声]**にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

操作のしかた

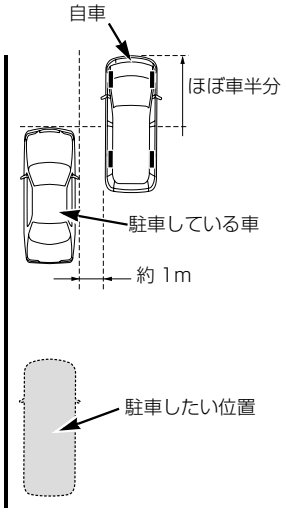
以下の手順は､左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。

右側の駐車スペースに駐車するときは､ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- マルチビューバックガイドモニターを接続しているとき
  ➡ カメラの視点を標準画面に切り替えます。（→ P.424）

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

- 前後の位置は､駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

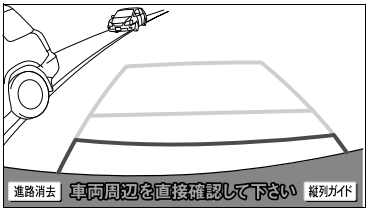


2 シフトレバーを Ⓡ にする。

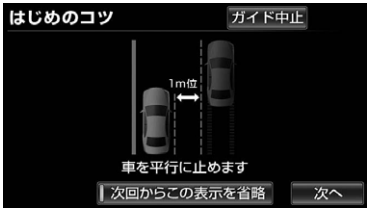
6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

3 車の位置を確認し、**[縦列ガイド]** にタッチ。

- 画面で、駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。
  映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。

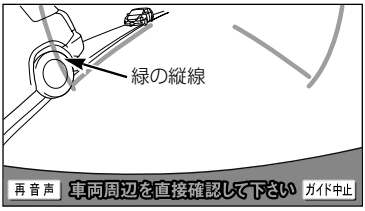


4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、**[次へ]** にタッチ。



- 前の画面に戻るとき
  ➡ **[ガイド中止]** にタッチ。
- この画面を表示させないようにするとき
  ➡ **[次回からこの表示を省略]** にタッチ。
- この画面を再度表示させるとき
  ➡「はじめのコツの表示設定」（→ P.415）

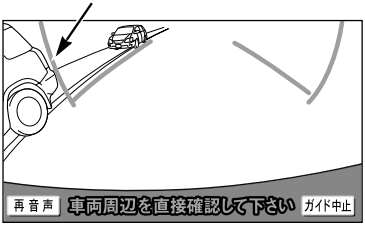
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。

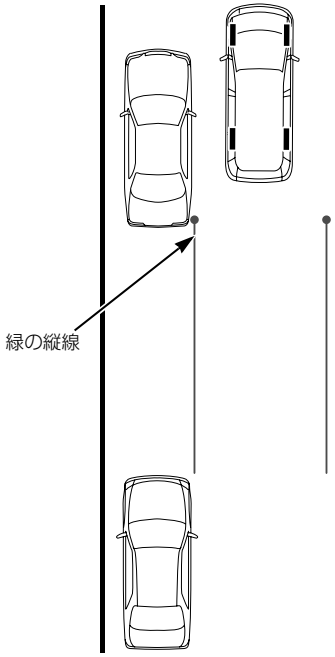


音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

▼

車をここまで後退させる

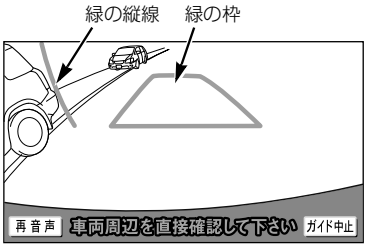




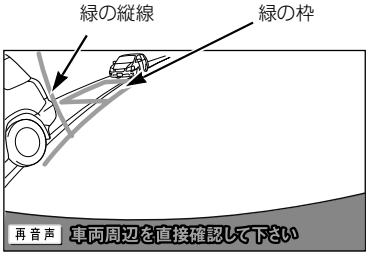
知識

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。
  その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- シフトレバーを R 以外にしても、約 10 秒以内に R にもどせば、この画面にもどります。

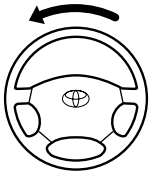
6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。

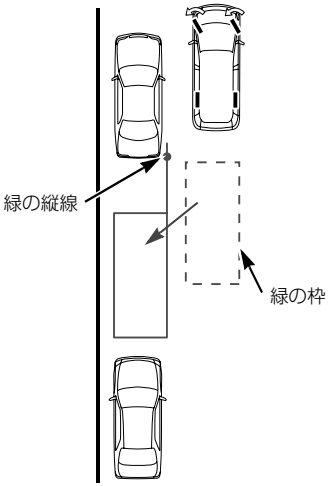


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」



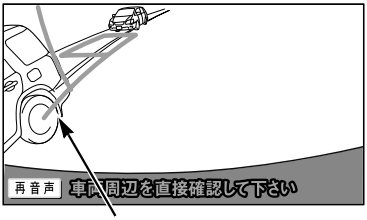
6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）



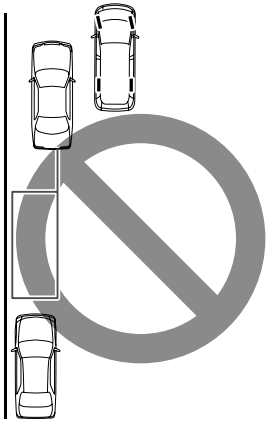


⚠注 意

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

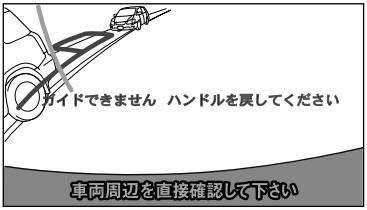


延長線がタイヤにかかっている

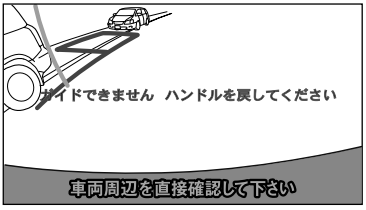


知 識

● 枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



● 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。



7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

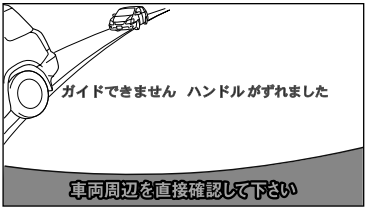
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠注 意

● 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

知 識

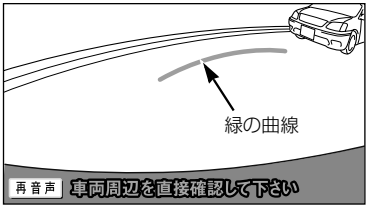
● 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。
その場合は、シフトレバーを Ⓡ 以外にしてから、再度 Ⓡ にして最初からやりなおしてください。



● ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
● 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

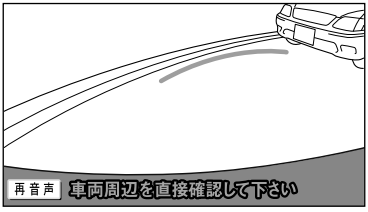
6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

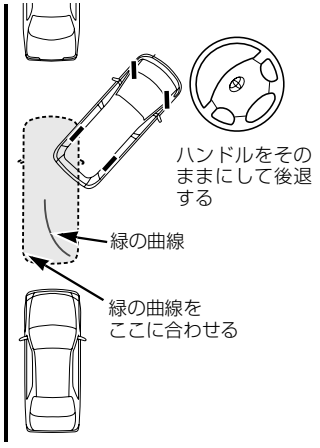
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

▼





知識

- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

- 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠注意

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

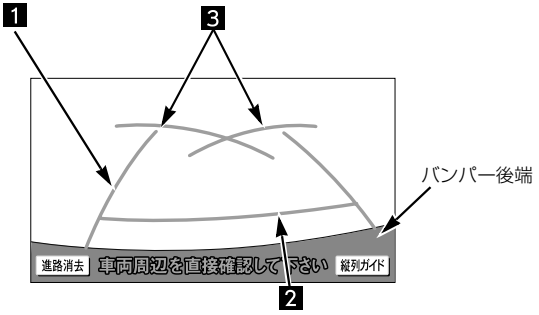
11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどす。
距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

- 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約 0.5m 先（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • 約 0.5m 先を示します。
3 駐車ガイド線（緑色）	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

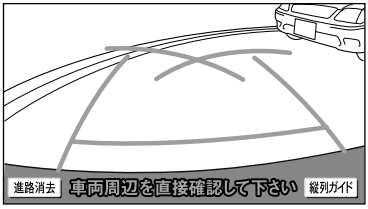
操作のしかた

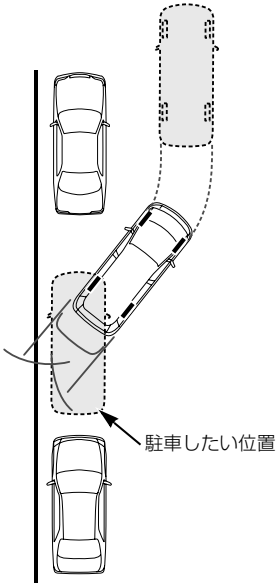
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ P.397）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。

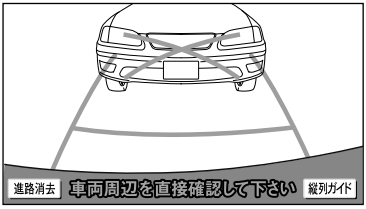




4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

> ⚠注 意
>
> ● 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終える。



8. バックガイドモニターの設定

バックガイドモニター設定画面の表示

1 画面外の にタッチ。

2 運転支援 にタッチ。

3 **[BGM 設定]** にタッチ。



4 設定する項目を選択する。

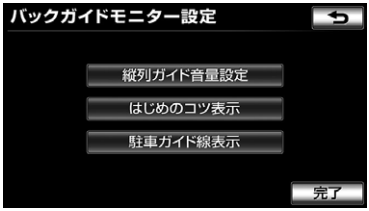
● 次の項目を設定できます。

項　目	ページ
縦列ガイド音量設定	P.415
はじめのコツ表示	P.415
駐車ガイド線表示	P.397、P.398

縦列ガイドの音量設定

画面外の → **運転支援** → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

1 **[縦列ガイド音量設定]** にタッチ。



2 設定したい音量にタッチし、**[完了]** にタッチ。

● 音声を OFF にするとき
➡ **[消音]** にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード（→ P.405）に「はじめのコツ」を表示することができます。

画面外の → **運転支援** → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

1 **[はじめのコツ表示]** にタッチ。

2 **[する]** または **[しない]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

9. バックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠警告

- バックガイドモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
  また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

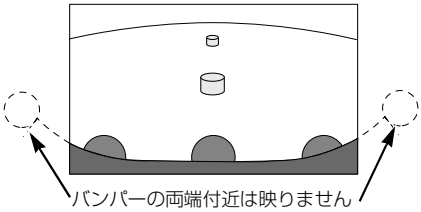
⚠注意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）。

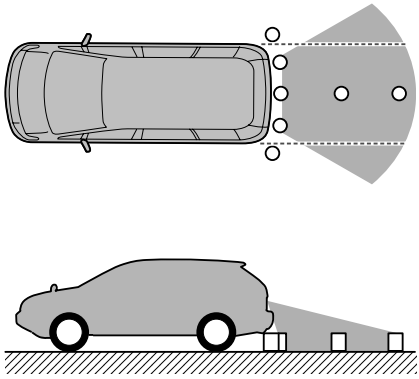
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ P.40）

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注 意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

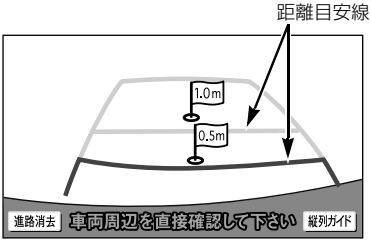
知 識

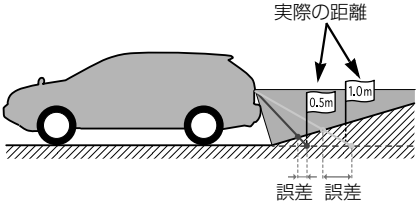
- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

■急な上り坂が後方にあるとき

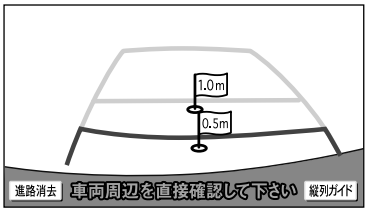


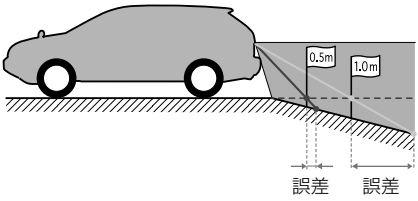


実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

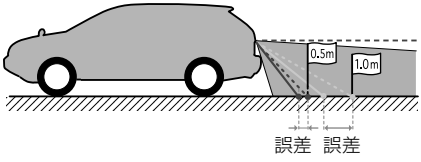




実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

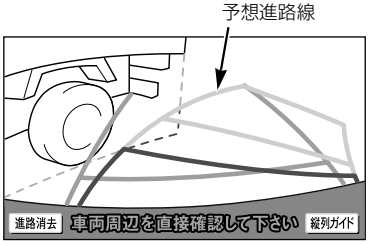
立体物が近くにあるとき

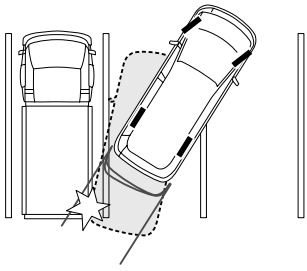
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。

張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

■予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



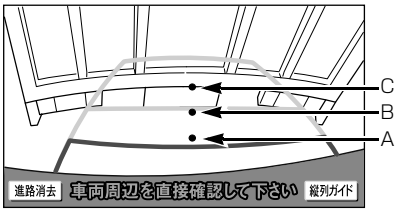


画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

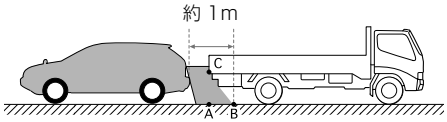
このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



A、B、C の位置



画面では、距離目安線により約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

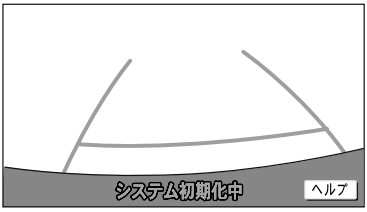
画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは

以下の場合には、必ず初期化作業を行ってください。

- バッテリーを脱着したとき
- シフトレバーを Ⓡ にして、システム初期化中画面が表示されたとき（バッテリー能力の低下など）

システム初期化中画面



■初期化作業

次のいずれかの操作をします。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約 5 分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。

⚠注 意

- 上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、販売店で点検を受けてください。

知 識

● システム初期化中画面で、**[ヘルプ]** にタッチすると、操作方法を表示させることができます。

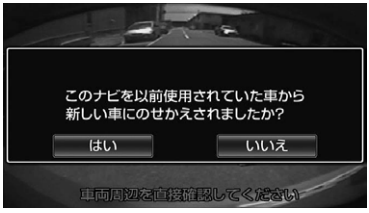


画面に表示された操作をして、通常の画面にもどれば設定終了です。
システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
[了解] にタッチすると、もとの画面にもどります。

バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や車載機を載せ替えた場合、チェンジレバーを Ⓡ にすると確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ず販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 **[はい]** または **[いいえ]** にタッチ。



● 車載機を載せ替えたとき
➡ **[はい]** にタッチ。
● 車載機を載せ替えていないとき
➡ **[いいえ]** にタッチ。
● **[はい]** にタッチしたとき
➡ 次に表示される画面で **[OK]** にタッチ。

1. マルチビューバックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターはバックガイドモニターの機能を使用できる他、カメラの映像を次の３つの視点で表示することができます。

- 標準画面…バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドビュー…標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー＋トップビュー…ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

基本的な操作方法や注意点については「バックガイドモニター」(→P.395～P.421）をご覧ください。

※ 車種により、マルチビューバックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

知識

- ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。(→P.399)

⚠警告

- マルチビューバックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。(→P.425)
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→P.418)

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

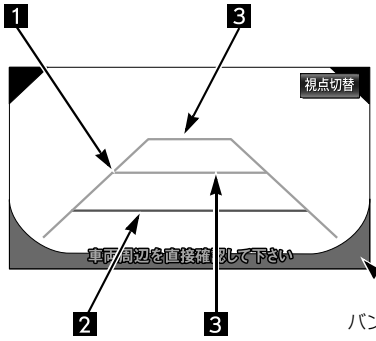
2. カメラの視点切替方法

画面の見方

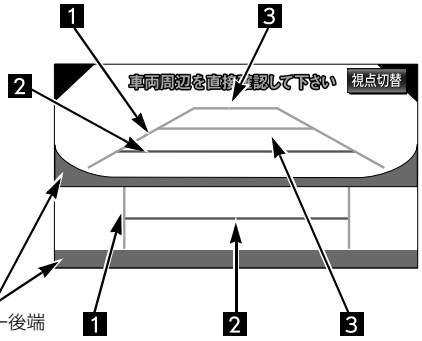
＜標準画面＞

バックガイドモニターの「画面の見方」（→ P.399、P.403）をご覧ください。

＜ワイドビュー＞



＜ワイドビュー＋トップビュー＞



バンパー後端

⬇車の前方

表示	内容
1 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • 約 0.5m 先を示します。
3 駐車ガイド線（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • 約 1m 先（1 本目）・約 2.7m 先（2 本目）を示します。

⚠警 告

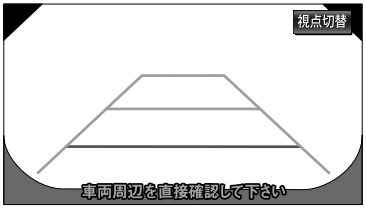
- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

2. カメラの視点切替方法

視点の切り替え方

1 シフトレバーを Ⓡ にする。

2 **［視点切替］**にタッチ。



- タッチするごとに、標準画面→ワイドビュー→ワイドビュー＋トップビューと切り替わります。

知 識

- 縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠警告

- マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・坂道など平坦でない道路
- マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。
  また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

⚠注意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）。

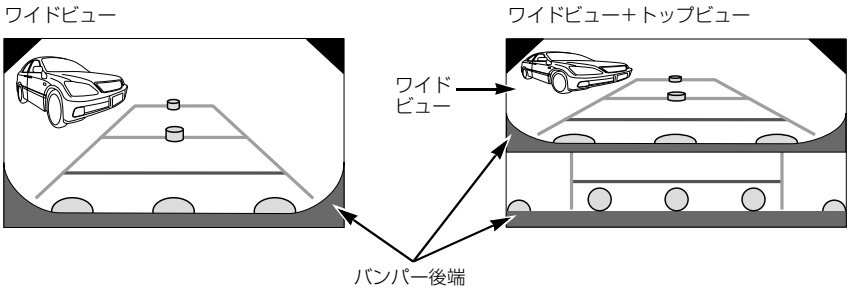
画面に映る範囲

＜標準画面＞

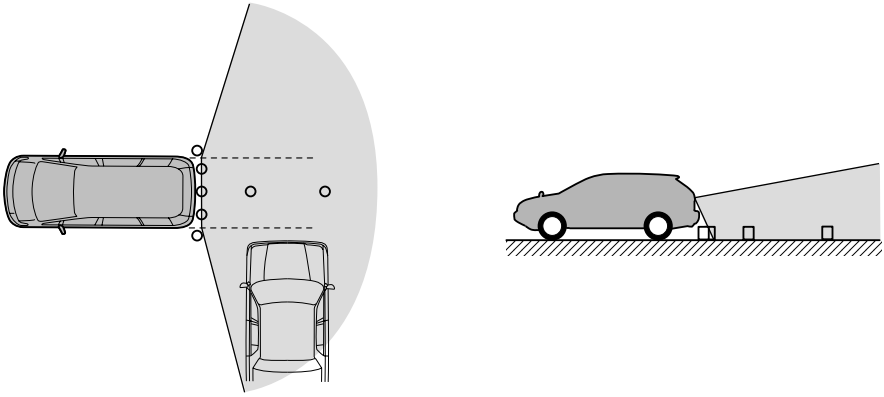
バックガイドモニターの「画面に映る範囲」（→ P.417）をご覧ください。

＜ワイドビュー＞

■画面

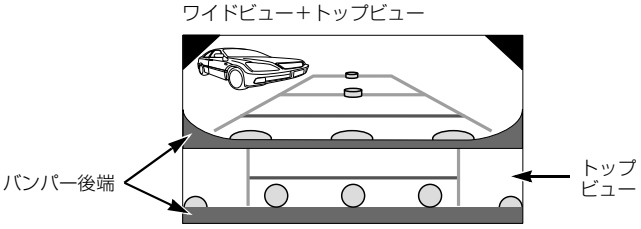


■映る範囲

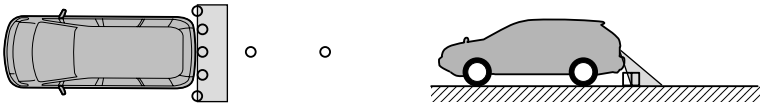


<トップビュー>

■画面



■映る範囲



知 識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ（夜間など）
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - ・バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ P.40）

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注 意

- マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知 識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

1. バックモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線で駐車時の後退操作を補助する装置です。

※ 車種により、バックモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

- バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ P.432）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ P.434）

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

2. 操作のしかた

操作のしかた

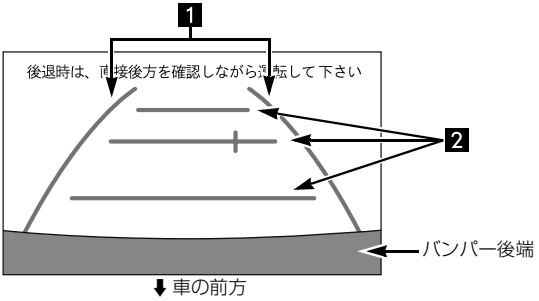
1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

- 解除するとき
  ➡ シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

知 識

- シフトレバーを Ⓡ にしていても、画面外の ⓐ ・ ♪ など各モードのスイッチにタッチすると、タッチしたスイッチのモード画面に切り替わります。

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線（黄色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 • ハンドル操作と連動しません。 • 約 0.5m 先(1 本目)･約 1m 先(2 本目)･約 2m 先(3 本目)を示します。

⚠警 告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知 識

- ガイド線は表示する／しないを設定できます。(→ P.431)

ガイド線表示の設定

後方の映像にガイド線を表示する / しないを設定できます。

バックモニター映像表示中
(→ P.430)

1 画面外の に1秒以上タッチし続ける。

2 **[ガイド ON]** または **[ガイド OFF]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

3. バックモニターについての注意点

運転時の注意

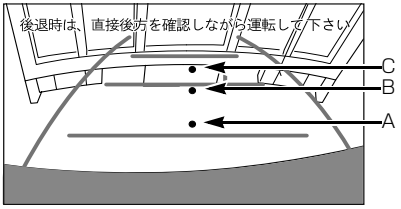
⚠警告

- バックモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

画面に映る範囲

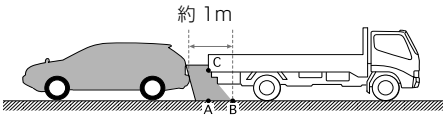
バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲

＜ A、B、C の位置＞



距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

画面では、距離目安線により約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

知識

- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- シフトレバーを R にした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・ 暗いところ（夜間など）
  - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- バックモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ P.40）
- 後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

3. バックモニターについての注意点

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注 意

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ・ カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - ・ カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - ・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - ・ カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - ・ スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

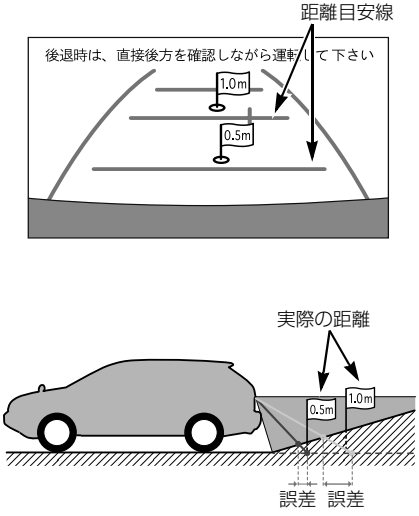
知 識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

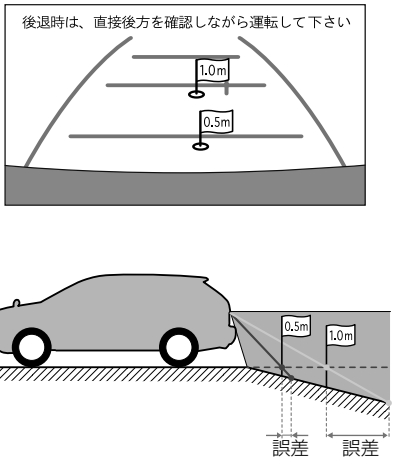
■急な上り坂が後方にあるとき



実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき



実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

1. ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムとは

車両周辺の映像をモニター画面に映し出すことができます。

- ブラインドコーナーモニター…車両前方直下、または見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。
- 左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※ 車種により、ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

- 必ず車の前方や左右の安全を直接確認しながら運転してください。(→ P.440)
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

知識

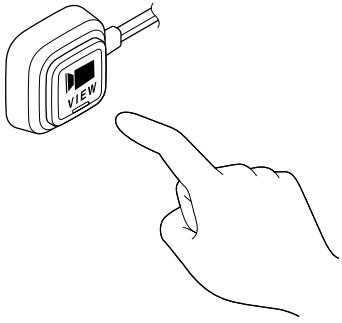
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

2. 操作のしかた

画面の出し方

1 エンジンスイッチがONで車速が約12km/h 未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押す。



画面の解除

次の場合は、映像が解除されます。

- 走行を開始し、車速が約 12km/h 以上になったとき
- カメラ映像呼び出しボタンを押したとき※1
- シフトレバーを R にしたとき※2
- 画面外の 🚗 など各モードのスイッチにタッチしたとき

※1 優先表示に設定されている画面を表示しているとき
➡ 2回押す。

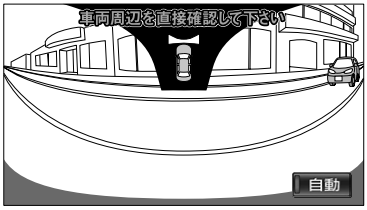
※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを接続していないとき
➡ サイドモニター画面は解除されません。

自動表示設定

車速やエンジンスイッチの位置によって自動的にカメラ映像の画面に切り替わるように設定することができます。

周辺の映像表示中（→ P.437）

1 **[自動]** にタッチ。



- タッチするごとに、自動で表示する条件が切り替わり、条件によって作動表示灯の色が変わります。

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して 10km/h 以下になったとき
橙色	エンジンスイッチをONにしたとき
無灯	自動表示しない

知 識

- シフトレバーが R のとき、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、自動表示設定は同じになります。異なる設定にすることはできません。

優先表示設定

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、優先して表示する画面を選ぶことができます。

1 画面外の にタッチ。

2 運転支援 にタッチ。

3 **[カメラ表示優先設定]** にタッチ。



4 **[ブラインドコーナーモニター]** または **[サイドモニターシステム]** にタッチし、 **[完了]** にタッチ。

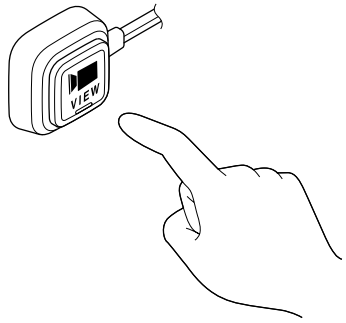
画面の切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムの切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、映像を切り替えることができます。

周辺の映像表示中（→ P.437）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。

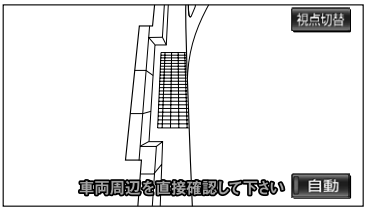


サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え方

サイドモニターシステムはVIEW AとVIEW Bの2つの表示範囲に切り替えることができます。

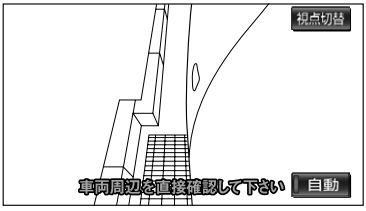
< VIEW A >

車両左前方の映像を、左側中心で表示します。



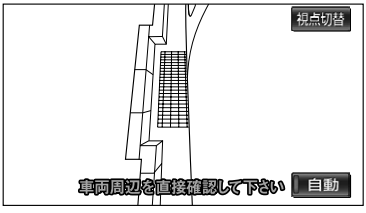
< VIEW B >

車両左前方の映像を、前方中心で表示します。



サイドモニターシステムの映像表示中（→ P.438）

1 **[視点切替]** にタッチ。



- タッチするごとに、VIEW AとVIEW Bが切り替わります。

3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

運転時の注意

⚠警告

- ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを過信しないでください。
  運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - ドアミラーを格納したとき
  - 助手席側ドアが完全に閉まっていないとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

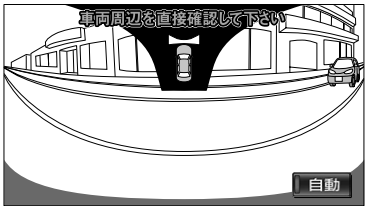
3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

画面に映る範囲

＜ブラインドコーナーモニター＞

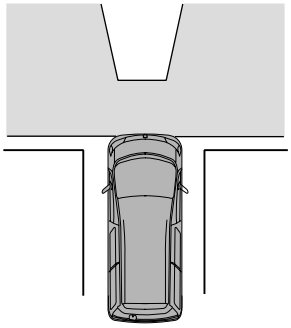
車両の左右前方が映ります。

■画面

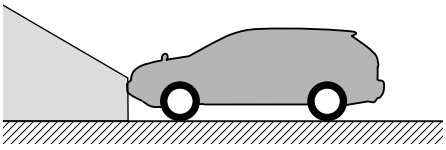


■映る範囲

左右方向



上下方向



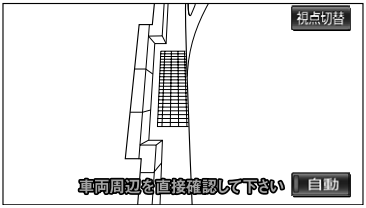
＜サイドモニターシステム＞

車両の左前方が映ります。

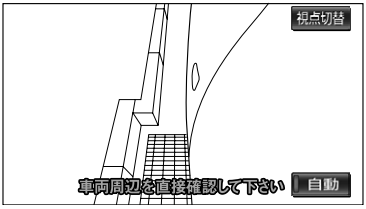
- VIEW A…左側中心に表示します。
- VIEW B…前方中心に表示します。

■画面

VIEW A

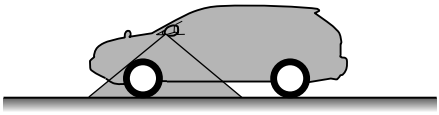


VIEW B

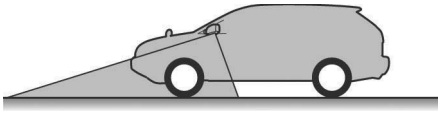


■映る範囲

VIEW A



VIEW B



3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

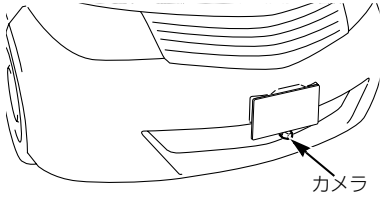
知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
- ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
  - 雨の日など湿度が高いときは、カメラが曇ることがあります。
  - 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
  - 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
  - 画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。
- ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムの画質調整の方法は、ナビゲーション操作画面の調整と同じです。（→ P.40）

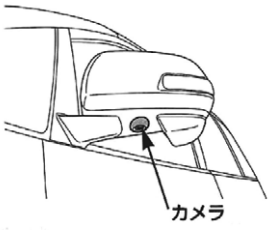
3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

カメラ

＜ブラインドコーナーモニター＞



＜サイドモニターシステム＞



⚠注 意

● ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして、急激な温度変化を与えないでください。
- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

3. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

知 識

● カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

1. マルチアングル全周囲モニターとは

マルチアングル全周囲モニターは車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を次の 3 つのモードで表示することができます。

- フロントモード…車両前方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- バックモード…車両後方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- 回転表示モード…車両周辺の映像を回転表示することができます。
  車両後方の映像については「バックガイドモニター」（→ P.395 ～ P.421）をご覧ください。

※ 車種により、マルチアングル全周囲モニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

- 必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ P.454）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ P.457）

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

2. フロントモード

画面の出し方

1 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーが Ⓡ 以外の状態であることを確認する。

2 フロントモード表示条件設定（→ P.451）で設定した切り替え方で操作する。

● フロントモード優先表示画面設定（→ P.451）で設定した画面に切り替わります。

画面の見方

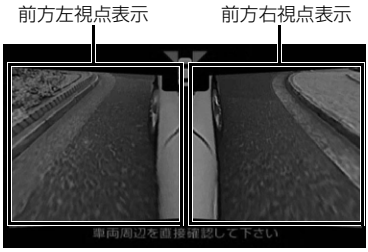
＜全周囲＋前方表示画面＞



＜前方表示画面＞



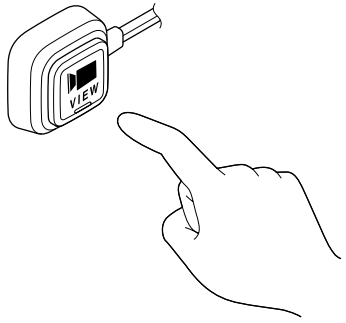
＜前方左右表示画面＞



視点の切り替え方

フロントモード表示中（→ P.446）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。



● 押すごとに、視点を切り替えることができます。
例えば、フロントモード優先表示画面の設定（→ P.451）を「サイド」に設定しているとき、全周囲＋前方表示画面→前方表示画面→ナビゲーション画面→前方左右表示画面の順に切り替わります。
・車速が 12km/h 以上になったとき
➡ もとの画面に戻ります。

知 識

● 車速が 12km/h 以上のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと前方左右表示画面が表示されます。

3. バックモード

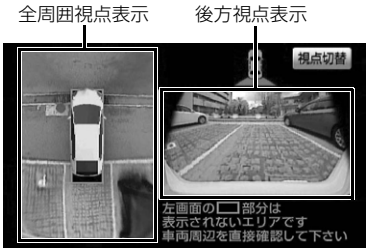
画面の出し方

1 ドアミラーが開いている状態であることを確認し、シフトレバーを Ⓡ にする。

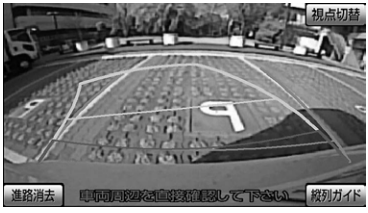
- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。
  ・後方左右表示画面を表示させるとき
  ➡ ドラミラーを格納する。

画面の見方

＜全周囲＋後方表示画面＞



＜後方表示画面（標準）＞
(→ P.399 ～ P.403)

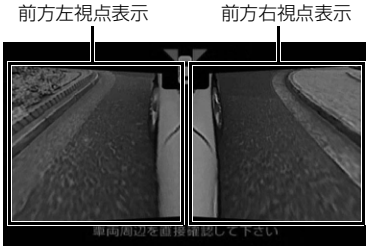


＜後方表示画面（ワイド）＞(→ P.423)

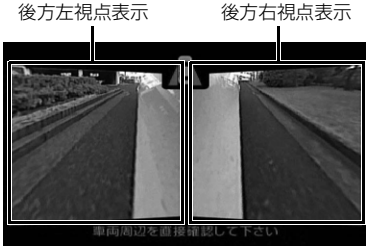


※後方表示画面（ワイド）などの画面で、カメラの一部が映り込む現象（ケラレ）が生じることがありますが、故障ではありません。

＜前方左右表示画面＞



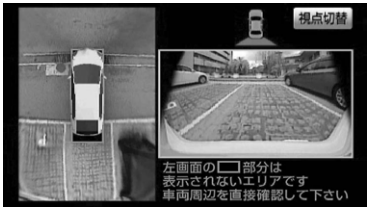
＜後方左右表示画面＞



視点の切り替え方

バックモード表示中（→ P.447）

1 **［視点切替］**にタッチ。



- タッチするごとに、視点を切り替えることができます。
  全周囲＋後方表示画面→後方表示画面（標準）→後方表示画面（ワイド）の順に切り替わります。
  ・後方表示画面（標準）で縦列ガイドモードにするとき
  ➡「バックガイドモニター」(→P.405)

2 車速が 10km/h 未満でカメラ映像呼び出しボタンを押す。

- ドアミラーが開いているとき
  ➡ 前方左右表示画面が表示されます。
- ドアミラーが閉じているとき
  ➡ 後方左右表示画面が表示されます。
- 車速が 12km/h 以上になる、または再度カメラ映像呼び出しボタンを押す
  ➡ 後方表示画面に切り替わります。
- シフトレバーを Ⓡ 以外にしたとき
  ➡ もとの画面に戻ります。

4. 回転表示モード

初期状態では、エンジンスイッチがACCまたはONのとき、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像が回転表示されます。(→ P.450)



画面の出し方

1 車両が停止していることを確認する。

2 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーが Ⓡ 以外の状態であることを確認する。

3 カメラ映像呼び出しボタンを1秒以上押す。

- 車速が 1km/h 以上になったとき
  ➡ もとの画面に戻ります。
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき
  ➡ バックモードの画面に切り替わります。

5. マルチアングル全周囲モニターの設定

マルチアングル全周囲モニターの設定

マルチアングル全周囲モニター設定画面の表示

1 画面外の にタッチ。

2 運転支援 にタッチ。

3 **[全周囲モニター設定]** にタッチ。



4 設定する項目を選択する。

● 次の項目を設定できます。

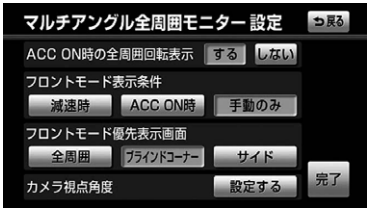
項　目	ページ
ACC ON 時の全周囲回転表示	P.450
フロントモード表示条件	P.451
フロントモード優先表示画面	P.451
カメラ視点角度	P.452

ACC ON 時の全周囲回転表示設定

エンジンスイッチを ACC または ON にすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像を回転表示させることができます。

画面外の → 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定

1 **[する]** または **[しない]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。



知 識

● フロントモード表示条件（→　P.451）を「ACC ON 時」に設定していると、エンジンスイッチを ACC または ON にしたときオープニング画面が表示された後にフロントモードの画面が表示されます。全周囲回転表示を設定することはできません。

● 車両のドアミラーが閉じていると、全周囲回転表示画面は表示されません。

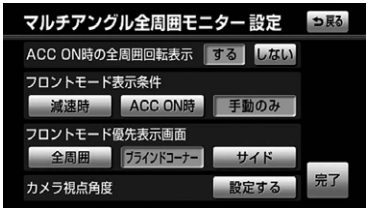
5. マルチアングル全周囲モニターの設定

フロントモード表示条件設定

フロントモードへの切り替え方を設定できます。

画面外の → 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定

1 **[減速時]**、**[ACC ON 時]** または **[手動のみ]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。



- **[減速時]**…車速が 10km/h 未満になったとき、フロントモードに切り替わります。
- **[ACC ON時]**…エンジンスイッチをACCまたは ON にしたとき、フロントモードに切り替わります。
- **[手動のみ]** …カメラ映像呼び出しボタンを押したとき、フロントモードに切り替わります。

知 識

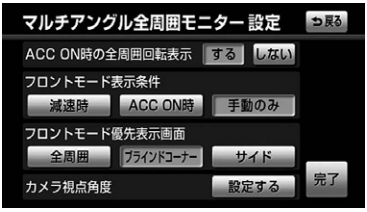
- 「ACC ON 時」に設定しているとき、車速が 12km/h 以上になり、もとの画面にもどった後で、再度減速しても自動で切り替わりません。

フロントモード優先表示画面設定

フロントモードに切り替えたときに、はじめに表示される画面を設定できます。

画面外の → 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定

1 **[全周囲]**、**[ブラインドコーナー]** または **[サイド]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。



- **[全周囲]** …全周囲＋前方表示画面が表示されます。
- **[ブラインドコーナー]** …前方表示画面が表示されます。
- **[サイド]** …前方左右表示画面が表示されます。

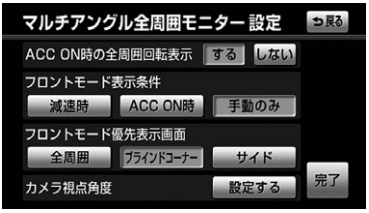
5. マルチアングル全周囲モニターの設定

カメラ視点角度設定

車両周辺の映像を回転表示させるときのカメラの視点角度を設定することができます。

画面外の → 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定

1 **[設定する]** にタッチ。

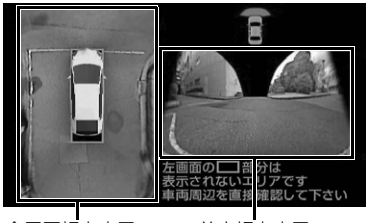


2 **[◤]** または **[◥]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

便利な使い方

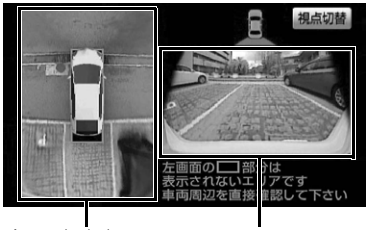
駐車時などに車両のシフトレバーの Ⓡ と Ⓓ を連続して切り替えるとき、画面の全周囲視点表示を固定して、前方視点表示と後方視点表示のみをシフトレバーに連動して切り替えることができます。

＜シフトレバーが Ⓓ＞



全周囲視点表示　前方視点表示

＜シフトレバーが Ⓡ＞

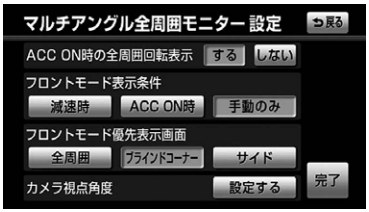


全周囲視点表示　後方視点表示

画面外の → 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定

5. マルチアングル全周囲モニターの設定

1 フロントモード表示条件の**［減速時］**、フロントモード優先表示画面の**［全周囲］**にタッチし、**［完了］**にタッチ。



2 シフトレバーを Ⓡ にする。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

3 全周囲＋後方表示画面に切り替わるまで**［視点切替］**にタッチ。

6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点

運転時の注意

⚠警告

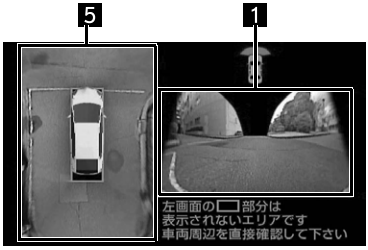
- マルチアングル全周囲モニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 車両のドアミラーを格納した状態で使用しないでください（車両の後方左右を表示する場合を除く）。適切な範囲を映すことができません。

画面に映る範囲

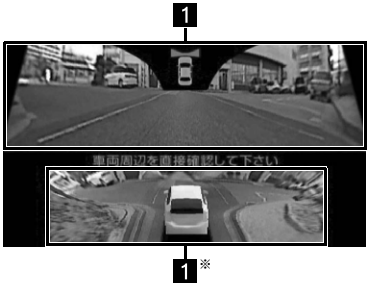
■画面

<フロントモード>

全周囲＋前方視点表示

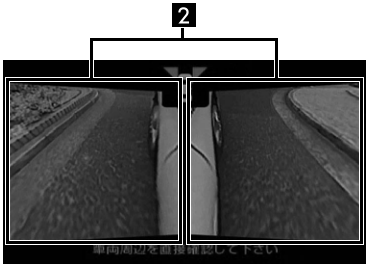


前方表示画面



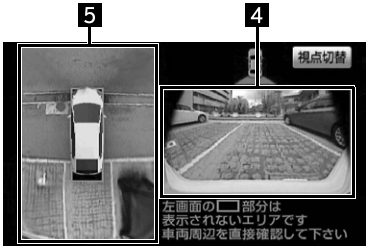
※車両の後方上部から前方を見る視点

前方左右表示画面

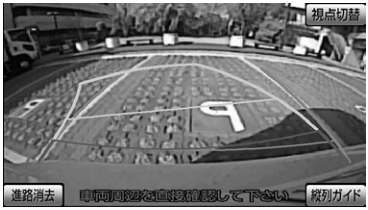


<バックモード>

全周囲＋後方表示画面



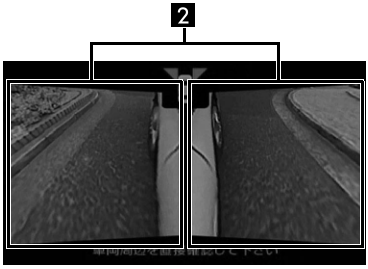
後方表示画面（標準）（→ P.417）



後方表示画面（ワイド）（→ P.426）

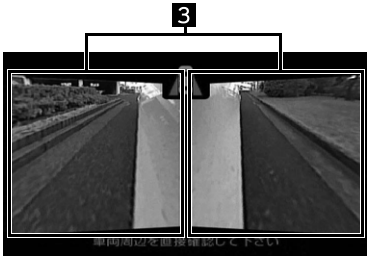


前方左右表示画面



6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点

後方左右表示画面

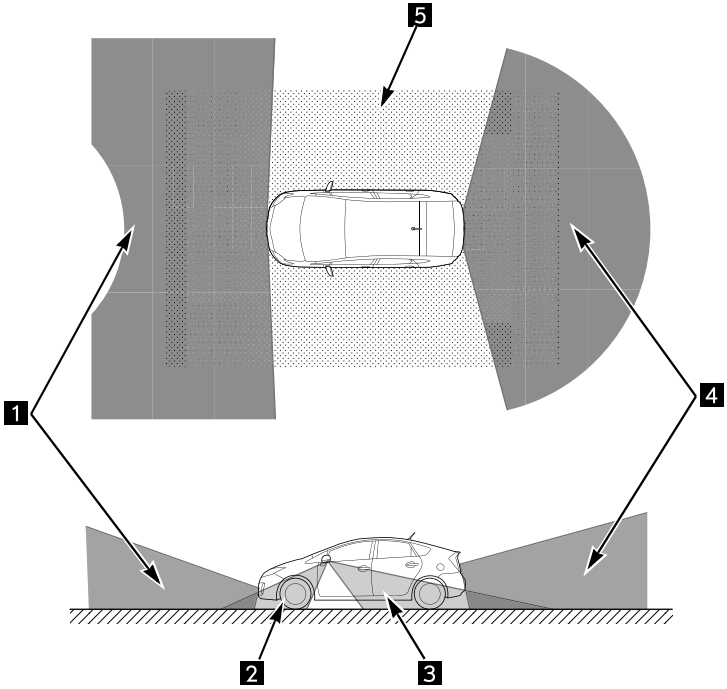


＜回転表示モード＞

回転表示画面※



※4 つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲を表示します。



番号	視点表示
1	前方視点表示
2	前方左右視点表示
3	後方左右視点表示
4	後方視点表示
5	全周囲視点表示

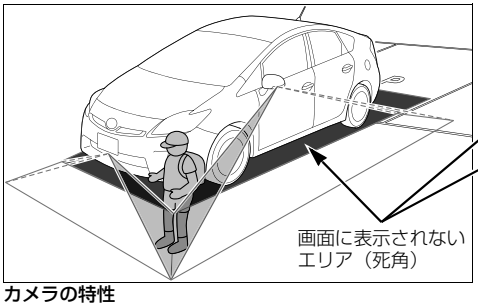
※上記は表示範囲を正確に示しているものではありません。

6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点

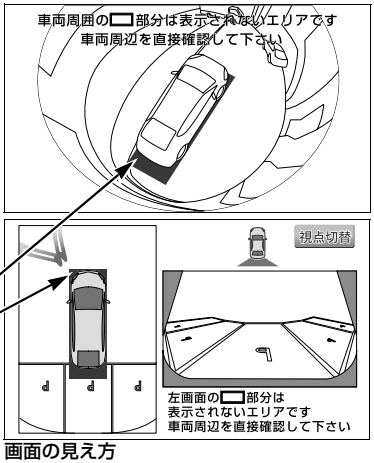
⚠注 意

● 本機能は、車両に取り付けられた4つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲が見えるようにしています。次のマルチアングル全周囲モニターの特性をご理解のうえ使用してください。

- カメラ取付け位置より上部にある物体は映し出されません。
- 車両を上から見た映像や後方から見た映像も映像処理により表現しているため、実際の映像と異なる場合があります。（例えば人物などの立体物が寝ているように映る、距離感が実際とは異なるなどの現象が生じます。）
- 車両の四隅の映像は、人物などの立体物が二重に見えます。
- 車両の四隅および車両付近に死角があり、画面に表示されないエリアがあります。（下図参照）
- 画面に表示される車両は、コンピューター処理しているため、実際の車両と異なります。
- 画面に表示される車両は、実際の形状より大きく表示されるため、車両付近の物体が車両と接触しているように見える場合があります。



カメラの特性



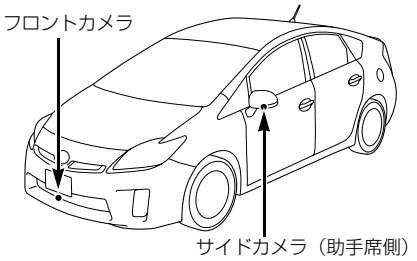
画面の見え方

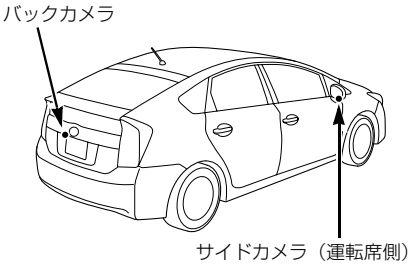
6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点

知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- マルチアングル全周囲モニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- 車両後方の映像を表示する場合、バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- 広範囲の映像を切り出し、引き伸ばして全周囲画像に処理しているため、画面モードによって部分的に解像度が落ちる場合があります。
- 夜間のサイドカメラ映像は赤外光照明によって周辺を照らすため、昼間の色や明るさとは異なって見えることがあります。例えば赤外光を吸収しやすい物（水たまりなど）は黒く、反射しやすい物（植物の葉など）は白っぽく見えるなどの現象が生じます。
- マルチアングル全周囲モニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ P.40）

カメラ





⚠注 意

● マルチアングル全周囲モニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。

・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。

・ カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

・ カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。

・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。

・ カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。

・ スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

6. マルチアングル全周囲モニターについての注意点

知識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- サイドカメラには夜間照明（赤外光照明）機能があり、夜間の視認性を確保するために赤外光を遮断しない構造になっています。そのため、昼間の太陽光に含まれる赤外光によって、画面の映像が実際の見え方と異なる場合があります。（例えば、映像の色が薄くなったり変色して見えるなどの現象が生じます。）

7

ETC システム／ ITS スポットサービス（DSRC）

※販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ITS スポット対応 DSRC ユニットを取りつけたときに使用することができます。

1 ETC システム

1. ETC システムについて 462
   - ETC システムの概要..... 462
   - ETC を利用する前に..... 463
   - ETC カードの有効期限案内について 464

2. ETC 画面の使い方 465
   - ETC 画面の表示 465
   - ETC 割込表示 465
   - ETC マーク表示 466
   - 履歴表示..... 466
   - 統一エラーコードの表示..... 466
   - ETC 登録情報の表示..... 467
   - ETC の通知設定 467

3. エラーコードについて 468
   - 統一エラーコード一覧 468

2 ITSスポットサービス（DSRC）

1. ITSスポット対応 DSRCユニットについて..... 470
   - ご利用の前に 470
   - ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について 470
   - ITS スポット 画面の使い方 470
   - エラーコードについて 470

本書では、販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ITS スポット対応 DSRC ユニットが装着された車両の画面での操作のみを説明しています。ETC 車載器や ITS スポット対応 DSRC ユニット本体の操作については、ETC 車載器または ITS スポット対応 DSRC ユニットに添付の取扱書をご覧ください。

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

★印はオプションです。

ETC を利用する前に

ETC システムを利用する際には、次の点に注意してください。

⚠警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットの操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。
- 以下のとき、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ・ETC カードが挿入されていないとき
  - ・ETC カードの有効期限が切れているとき
  - ・ETC レーンへの進入速度が速すぎるとき

⚠注意

- その他、ETC ユニットを用いたサービス（スマート IC など）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前

⚠警告

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

ETC カードを挿入した後

⚠警告

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットに挿入されていることと、ETC ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前での ETC カードの挿入はエラーの原因となる場合があります。

料金所を通過するときは

⚠警告

- ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
- ETC レーンに設置されている開閉バーは、ETC ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

1. ETC システムについて

ETC カードの有効期限案内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

- ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC または ON にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠注 意

- 本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

知 識

- 通知設定画面の ETC 音声案内（→ P.467）を「しない」に設定していても、ETC カードの有効期限は案内されます。

2. ETC 画面の使い方

ETC 画面の表示

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ 情報画面

1 [ETC] にタッチ。



2 ETC 画面が表示される。



ETC カードメッセージ

現在の ETC システムの状態が表示されます。

メッセージ	状　態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC システムに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットがセットアップされました。
ITS スポット通信中	ITS　スポットサービス（DSRC）通信中のため、ETC システムが利用できません。
カード挿入済み ETC レーン通行不可	ETC カード以外のカードが挿入されているため、ETC システムが利用できません。

ETC 割込表示

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。



- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC マーク表示

ETC カードを挿入すると、スタート画面に ETC マークが表示されます。



- ETC マーク表示は、ETC ゲートを通過できることを表してはいません。また、有効期限切れのカードを挿入しても表示されます。

履歴表示

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ ETC → ETC 画面

1 **[履歴情報表示]** にタッチ。

2 履歴表示を切り替える。

[最新]：最新の履歴にもどる

[詳細]：利用区間を表示する



⚠警告

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETCレーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードの表示

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

画面外の G・INFO → （ 情報 ）→ ETC → ETC 画面

エラー発生時、**[登録情報表示]** にタッチ。

ETC 登録情報の表示

お客様の車の ETC ユニットに登録された情報が表示されます。

画面外の G・INFO →（情報）→ ETC → ETC 画面

1 **［登録情報表示］**にタッチ。

- エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定

1 画面外の にタッチ。

2 ETC にタッチ。

3 **［通知設定］**にタッチ。



4 各項目の**［する］**または**［しない］**にタッチし、**［完了］**にタッチ。

次の設定を変更することができます。

項　目	内　容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」（→ P.465）
ETC 音声案内	ETC システムを利用するときに、音声を出力する。
ACC オン時警告表示	エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告する。
ACC オン時警告音声案内	エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告する。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを ACC から OFF（LOCK）にしたとき、カードの抜き忘れを ETC ユニットからの音声で警告する。なお、ETC ユニットの音声案内を中止（音量 0）に設定した場合は、「ピー」とブザー音のみで警告する。

- 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。
  ETC 画面の**［登録情報表示］**で確認してください。（→ P.466）

3. エラーコードについて

統一エラーコード一覧

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」または「ポーン ETC ゲートを通過できません」
画面表示：「ETC カードが挿入されていません〔01〕」または「ETC ゲートを通過できません〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
01	ETC カード挿入異常	• ETC カードが通信時に挿入されていない • ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	• ETC カードへの読出し、書込みエラー • ETC カードと ETC ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 読出し中、書込み中カードのイジェクト	**[ETC カード挿入時]** 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。 **[ETC ゲート通過前]** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **[ETC ゲート通過後]** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC/ 一般 共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETC カード異常	• ETC カードが故障している • IC カード以外のカードが挿入され、通信しない • ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
04	ETC ユニット故障	自己診断結果により、ETC ユニットが故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
05	ETC カード情報の異常	• ETC カードとの認証エラー • ETC カード以外の IC カードが挿入 • 認証中　ETC カードのイジェクト • 未セットアップ状態での　ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
06	ETC　ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC ユニットからブザー音のみが出力されます。
  ・通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.467）を「しない」に設定したとき
  ・ナビゲーションの音量設定画面（→ P.90）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔07〕と通知されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・**【登録情報表示】**で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。
  この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン　ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

1. ITS スポット対応 DSRC ユニットについて

ご利用の前に

各サービスをご利用される前に、ITS スポット対応 DSRC ユニットのセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、お買い上げの販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）

ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について

ITS スポット対応 DSRC ユニットは、ETC システム（自動料金支払いシステム）と、新たに ITS スポット 安全運転支援等の ITS スポットサービス（DSRC）に対応しています。各サービスの概要、取り扱いについては、各ページを参照してください。

なお、今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。



提供サービス		サービス内容	ページ
ETC		自動料金支払い機能	P.462
ITS スポットサービス（DSRC）	ITS スポット 安全運転支援情報	合流支援情報提供（音声、図形表示）	P.82
		前方障害物情報提供（音声、図形表示）	
	道路交通情報	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）	P.203
		電子標識情報提供（図形表示）	
		長文読み上げ情報（音声）	
		ITS スポット 走行情報アップリンク	P.206

ITS スポット 画面の使い方

- 表示される画面の使い方などについては、「ETC 画面の使い方」（→ P.465）をご覧ください。

エラーコードについて

- エラーコードなどについては、「エラーコードについて」（→ P.468）をご覧ください。

8

ハンズフリーを使う

1 お使いになる前に

1. ハンズフリーとは 473
   Bluetooth 携帯電話について 474
   ハンズフリーが使用できないとき 474
2. 各部の名称について 476
3. 音声について 477
4. 各種表示について 478
   受信レベル表示 478
   電池残量表示 478
   Bluetooth 接続状態表示 479
5. お車を手放すとき 480
6. Bluetooth機器使用上の注意事項 481
   Bluetooth オーディオと同時に使用するとき 481

2 ハンズフリーの基本操作

1. ハンズフリーの準備をする 482
   ハンズフリーの設定をする 482
   携帯電話を登録する 482
   携帯電話を接続する 484
   Bluetooth 接続の再接続について 485
2. 電話をかける 487
   ダイヤル発信する 487
   電話を切る 488
3. 電話を受ける 489
   電話を受ける 489
4. 通話中に操作する 490
   通話中に 10 キー入力する 490
   通話を終了する 490

3 ハンズフリーの便利な使い方

1. 色々な方法で電話をかける 491
   はじめにおこなうこと 491
   電話帳から発信する 492
   履歴から発信する 493
   ワンタッチで発信する 495
   音声認識で発信する 496
   ナビ画面から発信する 496
   携帯電話本体から発信する 497
2. 着信中画面で電話を受ける 498
   電話を保留する（応答保留） 498
   着信音量を調整する 498
3. 通話中画面で操作する 499
   受話音量を調整する 499
   送話音をミュート（消音）する 499
   通話を転送する 500
   割込通話を操作する 500
4. 簡易画面で操作する 501
   簡易画面での操作について 501

4 ハンズフリーの設定を変更する

1. 設定・編集画面を表示する..... 502
   電話の設定・編集をする 502
   Bluetooth の設定・編集をする..... 502

2. 音の設定を変更する 503
   音設定画面を表示する 503

3. 電話帳を編集する 504
   電話帳について 504
   電話帳を編集する 504
   携帯電話の電話帳データを転送する..... 505
   電話帳に新規データを追加する..... 507
   電話帳のデータを修正する..... 508
   電話帳のデータを削除する..... 509
   ワンタッチダイヤルを登録する..... 510
   ワンタッチダイヤルを削除する..... 510
   履歴のデータを削除する 512

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する 513
   電話詳細設定画面を表示する 513
   着信割り込みを表示する..... 513
   電話帳転送の完了を表示する 514
   履歴転送の完了を表示する 514
   着信時画像を表示する..... 514
   着信時画像の回転を設定する 515
   電話詳細設定を初期化する 515

5. Bluetoothの設定を変更する 516
   Bluetooth の設定について..... 516
   携帯電話を登録する..... 516
   Bluetooth 電話機の登録を削除する 516
   使用する携帯電話を選択する 517
   電話機詳細情報を表示する 518
   車載機の Bluetooth 情報を編集する 520
   自動で電話機を接続する..... 521
   ACC ON 時の Bluetooth 接続確認を案内する..... 521

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1. ハンズフリーとは

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を車載機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、**携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.1+EDR 以上を推奨）

対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0 以上
- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1
- PBAP（Phone Book Access Profile）Ver.1.0

Bluetooth®

Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。

Bluetooth ワードマークとロゴは Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

⚠警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、車載機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットやカバンに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

⚠注 意

- Bluetooth 携帯電話を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
  - ・通話エリア外のとき
  - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  - ・緊急通報中のとき
  - ・携帯電話から電話帳データを転送中のとき
  - ・携帯電話がダイヤルロックされているとき
  - ・データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
  - ・携帯電話が故障しているとき
  - ・携帯電話が車載機に接続されていないとき
  - ・携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
  - ・携帯電話の電源が OFF のとき
  - ・携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
  - ・車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は車載機のBluetooth接続状態表示が表示されません。）
  - ・その他、携帯電話自体が使えないとき

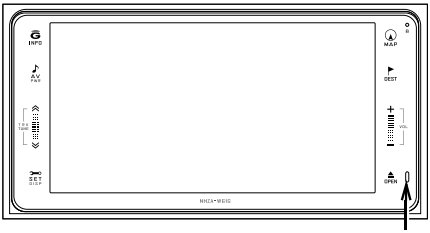
知 識

- 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ・ ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - ・ 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

2. 各部の名称について

車載機

画面に表示されるスイッチを操作することで、ハンズフリーのさまざまな機能の操作をすることができます。



マイク

車載機に内蔵されています。
通話時に使用します。

知 識

- 販売店装着オプションの音声入力マイクを接続した場合は、内蔵されているマイクを使用せずに、音声入力マイクを使用します。（→ P.371）

3. 音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

知 識

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  - 通話相手の音声が車外にもれる。
  - 通話相手側にエコーが聞こえる。
- 音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - 悪路走行時
  - 高速走行時
  - 窓を開けているとき
  - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - エアコンのファンの音が大きいとき
  - 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

4. 各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- 「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth接続してからご利用ください。



表示	圏外			
レベル	圏外	弱	◄――►	強

電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。



表示				
残量	無	少	◄――►	多

Bluetooth 接続状態表示

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示



表示	接続状態
	Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。点が 3 つ表示される位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話がBluetooth接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P.517) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.482)

知識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
  次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示の点の数が少なくなることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    (携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
  - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

  Bluetooth 携帯電話を使用するときは、点が 3 つ表示されるように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

5. お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.46）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

- ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
  - ・電話帳データ
  - ・発信履歴および着信履歴
  - ・ワンタッチダイヤル
  - ・Bluetooth 電話機の登録情報
  - ・ハンズフリー関連の設定・編集項目

6. Bluetooth 機器使用上の注意事項

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  （上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

  この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

  万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
  変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
  想定与干渉距離は 10m 以下です。

  この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
  - ・携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ・ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

- ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話を設定します。

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、まず次の手順で車載機に登録をすることが必要です。

- 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。（→ P.350）

画面外の → **Bluetooth** → **Bluetooth 設定編集画面**

1 **［機器登録］**にタッチ。



2 **［新規登録］**にタッチ。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3 Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。

4 接続が完了したとき

➡ メッセージが表示され、携帯電話の登録が完了する。

知識

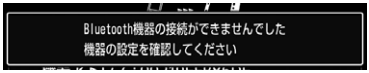
- 携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.520）
- 携帯電話は、車載機に最大５台まで登録することができます。
- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で利用するとき

● 携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定をしてください。（→ P.623）

接続失敗画面が表示されたとき

●「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



知識

● 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
● 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
● HFP に対応していない携帯電話は、車載機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP、PBAP のみのサービスは利用できません。
● 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
● Bluetooth オーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetooth オーディオの音声が途切れることがあります。
● 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、車載機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知 識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。
- 電話帳自動転送（→ P.506）と履歴自動転送（→ P.506）の設定を「する」に設定している場合、携帯電話を接続するたびに、電話帳データと履歴のデータが自動で転送されます。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の電話機自動接続（→ P.521）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にするたびに、車載機は選択されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認案内

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内（→ P.521）で「する」を選択しているときは、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.479）

知 識

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）から ACC または ON にした後、初めて携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
  （ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
  （設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

■自動接続できなかった場合

自動接続動作は約 60 秒行います。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.485)

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

ダイヤル画面表示中（→ P.491）

1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 **[接続]** にタッチ。



3 使用する携帯電話にタッチ。

4 Bluetooth 接続画面が表示される。



● 中止するとき ➡ **[中止]** にタッチ。

5 再びダイヤル画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

● 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

知識

● 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を約 60 秒、自動的に行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

知識

● 自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。

● 60 秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.485)

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

● 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	P.485
改めて携帯電話を選択する	P.517

2. 電話をかける

ダイヤル発信する

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明します。
電話番号を入力して電話をかけることができます。

● その他の電話のかけ方について
➡「はじめにおこなうこと」(→P.491)

知 識

- ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10 キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。
- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- Bluetooth携帯電話は、車載機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→ P.482)
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。

1 停車中に画面外の **G・INFO** にタッチ。

- G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
  ➡ **情報** にタッチ。

2 **[電話]** にタッチ。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
  [はい] にタッチすると、携帯電話の登録(→ P.482) を開始します。

3 電話番号を入力する。



- 最後の 1 桁を消去するとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。
- 最後の 1 桁から続けて消去するとき
  ➡ **[修正]** にタッチし続ける。

4 **[ ]** にタッチ。

5 発信できたとき

- 発信中画面が表示される。
- 発信音が出力された後、呼出音が出力されます。

6 相手が電話に出たとき

- 通話中画面が表示され、通話を開始する。

2. 電話をかける

知 識

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  - ・ 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
  - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「通話中に 10 キー入力する」（→ P.490）をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

電話を切る

- 次のいずれかの操作をする。
  - ・ 発信中または通話中画面で【☎】にタッチ。
  - ・ 携帯電話本体で電話を切る。

知 識

- 電話が切れるとナビ画面に戻ります。

3. 電話を受ける

電話を受ける

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。(→ P.501)

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。



2 [ ] にタッチ。

知識

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
  - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
  - 機種によっては、着信音については、
    ①車両のスピーカーから聞こえる
    ②携帯電話から聞こえる
    ③両方から聞こえる
    など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が出力できないときは、車載機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
  - 着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、車載機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
  - Bluetooth　オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、電話帳データに画像情報があると電話番号と共に画像が表示されます。

4. 通話中に操作する

通話中に 10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ P.501）

ハンズフリー通話中

1 **［トーン］**にタッチ。



2 スイッチにタッチして入力する。

● **［ ］**にタッチすると、電話が切れます。

知 識

● 走行中は 10 キーが灰色になり、操作できません。

通話を終了する

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ P.501）

● 次のいずれかの操作をする。

・通話中画面で **［ ］**にタッチする。
・携帯電話本体で電話を切る。

1. 色々な方法で電話をかける

はじめにおこなうこと

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

ダイヤル画面を表示する

- 停車中に、画面外の **G・INFO** →（**情報**）→ **【電話】** の順にタッチ。
- 走行中は、10 キーが灰色になり、操作できません。

▶ダイヤル画面



- この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	P.487
電話帳発信	車載機の電話帳から電話をかける	P.492
履歴発信	発信履歴または着信履歴から電話をかける	P.493
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	P.495

- その他、次の方法で電話をかけることもできます。

発信方法	内容	ページ
音声認識発信	音声認識で電話をかける	P.496
ナビからの発信	ナビまたは G-BOOK のデータから電話をかける	P.496

知識

- ハンズフリーで使用する携帯電話の場合は、データ通信中に電話をかけようとすると、メッセージが表示されます。
  データ通信を終了しても良い場合は、**【はい】** にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**【いいえ】** にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

電話帳から発信する

あらかじめ電話番号を車載機の電話帳に登録しておくことにより（→P.504）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→P.491）

1 **［電話帳］**にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
  - PBAP に対応していない携帯電話の場合、**［編集］**にタッチすると、電話帳編集画面（→ P.507）が表示されます。**［転送］**にタッチすると、電話帳転送画面（→P.505）が表示されます。
  - PBAP　に対応している携帯電話の場合、**［はい］**にタッチすると電話帳転送が行われます。

2 希望の通話相手にタッチ。



ショートカットスイッチ

- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  ［その他］：英数字ショートカット
  ［50 音］：50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例）**［ABC］**を 2 回タッチすると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 電話番号が複数登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。

- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、電話帳データに画像情報があると電話番号と共に画像が表示されます。

4 **[ ]** にタッチ。

履歴から発信する

発信履歴または着信履歴に登録されている電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→ P.491）

1 **[履歴]** にタッチ。



2 必要に応じて、**全履歴**、**着信履歴** または **発信履歴** にタッチ。

▶全履歴画面



▶着信履歴画面



1. 色々な方法で電話をかける

▶発信履歴画面



3 希望の通話相手にタッチ。

4 [ ] にタッチ。

知 識

- 過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大 10 件記憶しています。
- それぞれの履歴が 10 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
- 着信および着信拒否、不在着信、発信の電話番号に、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 車載機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も発信履歴に登録されます。
    名称読みのみ登録されているときは、名称読みが発信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 車載機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も着信履歴に登録されます。
    名称読みのみ登録されているときは、名称読みが着信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - 相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されます。

履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、それぞれ全削除できます。

- 履歴データはそれぞれ個別に削除することもできます。（→ P.512）

ダイヤル画面（→ P.491）→ 履歴 →
全履歴 、着信履歴 または 発信履歴 →
全履歴画面、発信履歴画面または着信履歴画面

1 **[削除]** にタッチ。

2 **[全選択]** にタッチ。



3 **[削除]** にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.46）

ワンタッチで発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（→ P.510）、簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

ダイヤル画面表示中（→ P.491）

1 **[ワンタッチダイヤル]** にタッチ。

2 希望の電話番号にタッチ。



- 選択した電話番号に発信されます。
- ページを切り替えるとき
  ➡ ワンタッチ１ 、ワンタッチ２ または ワンタッチ３ にタッチ。

知 識

- **[機能]** にタッチすると、ワンタッチダイヤルの登録・削除ができます。（→ P.510）

走行中に電話をかける場合

- 走行中は、10 キーなどが灰色になり、操作できません。ワンタッチ発信を使用してください。

音声認識で発信する

音声認識で電話をかけることができます。

- 音声認識発信のしかたについて
  ➡「電話をかける」（→ P.381）

音声認識発信を中止する

「音声認識モードを中止する」（→ P.373）の方法で、音声認識発信を中止できます。

知 識

- 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- 音声認識発信は走行中でも使用できます。
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
  この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する

ナビ画面で［ ］または**［電話をかける］**が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 ［ ］または**［電話をかける］**が表示されている画面を表示する。

2 ［ ］または**［電話をかける］**にタッチ。



ダイヤル画面の［交通ナビ］の使い方

- ダイヤル画面で**［交通ナビ］**にタッチすると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。
  （→ P.391）



携帯電話本体から発信する

車載機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

● 画面外の **G・INFO** → （情報）→ **［電話］**の順にタッチ。

● 画面スイッチを使用したいとき
➡ 通話転送の操作をする。（→ P.500）

⚠警告

● 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知識

● 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  ・ 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  ・ 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
● 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

2. 着信中画面で電話を受ける

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

知 識

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。（→ P.501）

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、**[☎]** にタッチ。



- 応答保留を解除して通話するとき
  ➡ **[☎]** にタッチ。
- 応答保留中に音量を調整するとき
  ➡ **[−]** または **[+]** にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ **[☎]** にタッチ。

知 識

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。

着信音量を調整する

- 着信中、**[−]** または **[+]** にタッチ。

知 識

- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信を拒否する

着信中画面で、着信拒否できます。
携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

- **[☎]** にタッチし続ける。
- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

(1)受話音量の調整

(2)送話音のミュート

(3)通話の転送

(4)割込通話

▶通話中画面



知 識

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。(→ P.501)
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
  - 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
  - ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
    なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチが ACC または ON であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.500)

受話音量を調整する

- 通話中、**[−]** または **[+]** にタッチ。

送話音をミュート(消音)する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。
(この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。)

1 **[ミュート]** にタッチ。



- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除するとき
  ➡ 再度 **[ミュート]** にタッチ。

3. 通話中画面で操作する

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、車載機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

画面で操作する

1 通話中画面で、**［電話機通話］**または**［ハンズフリー通話］**にタッチ。

知 識

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、スイッチでの操作ができます。

知 識

- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで車載機には通話中画面が表示されます。

割込通話を操作する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話（キャッチホン）で両者と通話することができます。

- 電話会社と割込通話（キャッチホン）の契約をしている必要があります。
- 携帯電話がHFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。

割込通話を使用する

通話中に第三者から着信が入った場合、着信メッセージが表示されます。

1 ［ ］にタッチ。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。
- ［ ］にタッチする度に通話相手が切り替わります。

割込通話を拒否する

1 ［ ］にタッチ。

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

4. 簡易画面で操作する

簡易画面での操作について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

知 識

- 電話が切れる、または電話を切ると、簡易表示画面や TEL 音声画面は解除されます。

簡易表示画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（→P.513）で「簡易」を選択しているときに表示されます。



TEL 音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。



1. 設定・編集画面を表示する

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から、電話の各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 画面外の にタッチ。

2 電話 にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目の設定ができます。

▶設定・編集画面



項目／内容	ページ
▶音設定 ハンズフリー各音の音量調整・設定	P.503
▶電話帳設定 電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 発信履歴・着信履歴の削除	P.504
▶電話詳細設定 ハンズフリー画面の設定	P.513

Bluetooth の設定・編集をする

設定・編集画面から、Bluetooth の各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 画面外の にタッチ。

2 Bluetooth にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目の設定ができます。

▶設定・編集画面



項目／内容	ページ
▶機器登録 携帯電話の登録・削除、詳細設定	P.516
▶電話機接続 使用する携帯電話の選択	P.517
▶Bluetooth 詳細設定 Bluetooth 自動接続の設定 Bluetooth の詳細設定	P.520

2. 音の設定を変更する

音設定画面を表示する

画面外の → 電話 → 設定・編集画面

1 **[音設定]** にタッチ。



2 各設定をする。

項目	ページ
受話音量調整	P.503
着信音量調整	P.503
音量設定の初期化	P.503

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

受話音量を調整する

通話相手の音声の音量を調整することができます。

1 **[受話音量]** にタッチ。

2 **[−]** または **[+]** にタッチして調整し、**[完了]** にタッチ。

知 識

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 車速が約 80ｋm/h 以上の高速走行時になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がります。（車速が約 70ｋm/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）この設定は解除することができます。（→ P.90）

着信音量を調整する

1 **[着信音量]** にタッチ。

2 **[−]** または **[+]** にタッチして調整し、**[完了]** にタッチ。

知 識

- 着信音量は、着信中画面でも調整できます。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 音設定画面で、**[初期状態]** にタッチし、**[はい]** にタッチ。

3. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

(1)携帯電話に登録してある電話帳を車載機の電話帳に転送する。（→ P.505）

(2)車載機の電話帳に新規登録する。（→ P.507）

(3)発信履歴または着信履歴から登録する。（→ P.507）

また、登録したデータは、車載機で編集することができます。

知 識

- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、1000 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。
- この電話帳は、1 名につき最大 3 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

電話帳を編集する

画面外の → **電話** → 設定・編集画面

1 **［電話帳設定］**にタッチ。



2 電話帳の編集をする。

機能	ページ
電話帳データの転送	P.505
電話帳データの新規追加	P.507
電話帳データの修正	P.508
電話帳データの削除	P.509
ワンタッチダイヤルの登録	P.510
ワンタッチダイヤルの削除	P.510
全履歴・着信履歴・発信履歴の削除	P.512

携帯電話の電話帳データを転送する

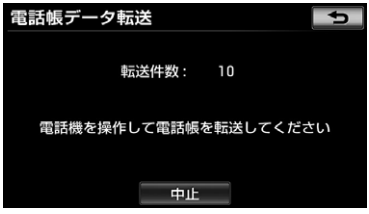
携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **［電話帳編集］**にタッチ。

2 **［転送］**にタッチ。

- PBAP　に対応していない携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。
  - ・電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。
    ［上書き］：現在のデータに上書きする
    ［追加］：現在のデータに追加する



  - ・携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。
  - ・転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
  - ・中止するとき
    ➡**［中止］**にタッチ。

- PBAP　に対応している携帯電話の場合、**［電話帳転送］**にタッチすると電話帳転送が行われます。



  - ・中止するとき
    ➡**［中止］**にタッチ。

3 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどる。

知 識

- 転送するときは、エンジンを始動した状態で行ってください。
- **この機能は、OPP に対応していない携帯電話では使用できません。**また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

データ通信中に電話帳データを転送する

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡**［はい］**にタッチ。
- 通信を継続するとき
  ➡**［いいえ］**にタッチ。
  - ・**［いいえ］**にタッチした場合は、データ通信終了後にやり直します。

3. 電話帳を編集する

電話帳データを自動転送する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

1 **[電話帳編集]** にタッチ。

2 **[転送]** にタッチ。

3 **[電話帳自動転送]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

4 **[完了]** にタッチ。

履歴のデータを自動転送する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の履歴データを自動転送することができます。

1 **[電話帳編集]** にタッチ。

2 **[転送]** にタッチ。

3 **[履歴自動転送]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

4 **[完了]** にタッチ。

転送失敗画面が表示されたとき



● 転送操作を最初からやり直してください。

知 識

● 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
- 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 4 件以上の電話番号が登録されている場合、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
- 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
- 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- 車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・ 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - ・ 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - ・ 電話帳データ転送中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンを始動して、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。
  - ・ 車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
  - ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 車載機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth　オーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳に新規データを追加する

車載機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、名称読み、電話番号（最大 3 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

画面外の → **電話** → **電話帳設定** → **電話帳設定画面**

1 **［電話帳編集］**にタッチ。

2 **［新規追加］**にタッチ。



3 各項目を編集する。（→ P.508）

3. 電話帳を編集する

● 履歴内容画面（→ P.493）からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

[新規登録] にタッチ。



● PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、新規データを追加することはできません。

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は名称、名称読み、電話番号、アイコンの順で編集することができます。

電話番号は 1 名につき最大 3 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、**[完了]** にタッチ。

2 名称読みを入力し、**[完了]** にタッチ。

3 電話番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

4 登録したいアイコンにタッチ。

5 **[いいえ]** にタッチ。

● 他の電話番号を続けて登録するとき
➡ **[はい]** にタッチ。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[電話帳編集]** にタッチ。

2 **[編集]** にタッチ。



3 修正したいデータにタッチ。

4 各項目のスイッチにタッチして編集する。（→ P.509）

5 **[完了]** にタッチ。

知識

● PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、電話帳データを修正することはできません。

名称、名称読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

1 編集する項目（**[名称]**、**[名称読み]**）にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力する。

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号 1 ～ 3 にそれぞれ 1 件ずつ登録でき、1 名につき最大 3 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 **[電話番号 1]**、**[電話番号 2]** または **[電話番号 3]** にタッチ。

2 電話番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.46）

知 識

- PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳自動転送」設定されている場合、削除することはできません。

電話帳のデータを個別に削除する

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[電話帳編集]** にタッチ。

2 **[削除]** にタッチ。

3 削除したいデータを選択しタッチ。



4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

電話帳のデータをすべて削除する

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[電話帳編集]** にタッチ。

3. 電話帳を編集する

2 **[削除]** にタッチ。

3 **[全選択]** にタッチ。



4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大 18 件までワンタッチダイヤルに登録することができます。

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

画面外の → **電話** → **電話帳設定** → **電話帳設定画面**

1 **[ワンタッチダイヤル編集]** にタッチ。

2 **[登録]** にタッチ。



3 登録したいデータにタッチ。

4 登録したい電話番号にタッチ。

5 登録したいスイッチにタッチ。

- ページを切り替えるとき
  - ➡ **ワンタッチ 1** 、**ワンタッチ 2** または **ワンタッチ 3** にタッチ。

6 登録済みのスイッチを選択したとき
- ➡ 置き換えてもよいときは **[はい]** にタッチ。

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの 1 ～ 18 は、個別に選択して削除できます。

全削除すると、18 件すべてが削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[ワンタッチダイヤル編集]** にタッチ。

2 **[削除]** にタッチ。



3 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

ワンタッチダイヤルをすべて削除する

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[ワンタッチダイヤル編集]** にタッチ。

2 **[削除]** にタッチ。



3 **[全選択]** にタッチ。

4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

履歴のデータを削除する

履歴データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

- 履歴データを全削除したいとき
  ➡ 履歴を削除する。(→ P.495)

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.46)

履歴のデータを個別に削除する

画面外の → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳設定画面

1 **[履歴削除]** にタッチ。

2 **[全履歴削除]**、**[着信履歴削除]** または **[発信履歴削除]** にタッチ。

3 削除したいデータを選択しタッチ。

4 **[削除]** にタッチ。

5 **[はい]** にタッチ。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

電話詳細設定画面を表示する

画面外の → 電話 → 設定・編集画面

1 **[電話詳細設定]** にタッチ。



2 各設定をする。

項目	ページ
着信割り込み表示	P.513
電話帳転送時の完了表示	P.514
履歴転送時の完了表示	P.514
着信時画像表示	P.514
着信時画像の回転設定	P.515
電話詳細設定の初期化	P.515

3 **[完了]** にタッチ。

着信割り込みを表示する

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

▶簡易表示



画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[着信割込み表示]** にタッチ。

2 **[全画面]** または **[簡易]** にタッチ。

[全画面] :着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、画面のスイッチで操作ができます。

[簡易] :着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、画面のスイッチで操作ができます。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

電話帳転送の完了を表示する

PBAP に対応している携帯電話とBluetooth 接続後、電話帳データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[電話帳転送確認表示]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

● 解除するとき
➡ **[しない]** にタッチ。

知 識

● 電話帳の自動転送は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

履歴転送の完了を表示する

PBAP に対応している携帯電話とBluetooth 接続後、履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[履歴の転送確認表示]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

● 解除するとき
➡ **[しない]** にタッチ。

知 識

● 履歴の自動転送は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

着信時画像を表示する

PBAP に対応している携帯電話で電話帳データに画像情報がある場合に、着信時に画像を表示するかしないかを選択できます。

画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[着信時の画像表示]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

● 解除するとき
➡ **[しない]** にタッチ。

知 識

● 着信時画像表示は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

着信時画像の回転を設定する

PBAP に対応している携帯電話で着信時画像を表示するに設定している場合、画像の方向を変更できます。

画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[画像回転]** にタッチし、使用したい方向にタッチ。

知 識

- 着信時画像の回転設定は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

電話詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の → 電話 → 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **[初期状態]** にタッチ。



5. Bluetooth の設定を変更する

Bluetooth の設定について

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	P.516
通信機器の選択	P.517
ポータブル機の選択	P.519
車載機のBluetooth設定の変更	P.520

携帯電話を登録する

●「携帯電話を登録する」（→ P.482）をご覧ください。

Bluetooth 電話機の登録を削除する

機器登録は、個別に選択して削除、または全削除ができます。

機器登録を個別に削除する

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 機器登録画面

1 **［削除］**にタッチ。

● 電話機の詳細情報を確認するとき
➡ **［編集］**にタッチ。（→ P.518）

2 削除したい携帯電話を選択し、**［削除］**にタッチ。

3 **［はい］**にタッチ。

データ通信中に電話機の登録を削除する

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

● 通信を終了するとき
➡ **［はい］**にタッチ。
● 通信を継続するとき
➡ **［いいえ］**にタッチ。
・**［いいえ］**にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **2** からやり直します。

知 識

● 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

機器登録をすべて削除する

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 機器登録画面

1 **［削除］**にタッチ。

2 **［全選択］**にタッチ。

3 **［削除］**にタッチ。

4 **［はい］**にタッチ。

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。

複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択します。

● 携帯電話の登録について
➡「携帯電話を登録する」（→ P.482）

画面外の → **Bluetooth** → **設定・編集画面**

1 **［電話機接続］**にタッチ。



2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。



● 選択中の携帯電話は、作動表示灯が点灯します。
● Bluetooth　　接続中の携帯電話は、Bluetooth マークが表示されます。
● 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**［はい］**にタッチします。
● 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

知 識

● 携帯電話は車載機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機接続で選択された携帯電話のみです。
● Bluetooth オーディオ再生中に電話機接続をした場合、音声が途切れることがあります。

データ通信中に通信機器を選択する

データ通信中に電話機接続をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ **[はい]** にタッチ。
- 通信を継続するとき
  ➡ **[いいえ]** にタッチ。
  ・**[いいえ]** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度手順 **3** からやり直します。

知 識

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報では、車載機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。

- 情報は、次の項目が表示されます。

項目	内容
機器名称	車載機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

画面外の → **Bluetooth** → **機器登録** → **機器登録画面**

1 **[編集]** にタッチ。

2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチ。



3 各項目を確認する。

- この画面で、次の操作を行うことができます。
  ・機器名称の変更（→ P.519）
  ・Bluetooth　　オーディオとの接続方法（Bluetooth オーディオ使用時）（→ P.519）

携帯電話の名称を変更する

車載機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。

知 識

- 車載機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 編集 → (名称変更したい電話機) → 電話機詳細情報画面

1 **[機器名称]** にタッチ。



2 ソフトウェアキーボードで入力する。

3 **[完了]** にタッチ。

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する

Bluetooth オーディオとの接続を車載機側からするか、Bluetooth オーディオからするかを設定することができます。

画面外の → Bluetooth → 機器登録 → 編集 → (接続したい Bluetooth オーディオ) → 電話機詳細情報画面

1 **[接続方法]** にタッチし、**[車載機から]** にタッチ。

- Bluetooth オーディオから接続するとき
  ➡ **[ポータブル機から]** にタッチ。

2 **[完了]** にタッチ。

車載機の Bluetooth 情報を編集する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

● Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー	携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	車載機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 各項目を確認する。



● この画面で、次の操作を行うことができます。
- 機器名称の変更（→ P.520）
- パスキーの変更（→ P.521）
- 電話機自動接続の設定（→ P.521）
- 携帯電話接続確認表示の設定（→ P.521）
- Bluetooth オーディオ接続確認表示の設定（→ P.354）

車載機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称を、任意の名称に変更することができます。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 **[機器名称]** にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、**[完了]** にタッチ。

知 識

- 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ P.357）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

パスキーを変更する

パスキーは 4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

画面外の → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** → **車載機詳細設定画面**

1 **［パスキー］**にタッチ。

2 4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**［完了］**にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ **［修正］**にタッチ。
- パスキーは Bluetooth オーディオ設定のパスキー（→ P.358）と別の数字を設定することができます。

自動で電話機を接続する

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

画面外の → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** → **車載機詳細設定画面**

1 **［自動接続］**にタッチし、**［する］**にタッチ。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき ➡ **［しない］**にタッチ。

ACC ON 時の Bluetooth 接続確認を案内する

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に案内するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認案内



5. Bluetooth の設定を変更する

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 **[電話機の接続確認案内]** にタッチし、**[する]** にタッチ。

● 解除するとき ➡ **[しない]** にタッチ。

車載機の Bluetooth 情報を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定 → 車載機詳細設定画面

1 **[初期状態]** にタッチ。



2 **[はい]** にタッチ。

9

G-BOOK オンラインサービス

1 はじめに

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと 526
   - 安全に利用するため注意いただきたいこと 526
   - 通信機器について 526

2 G-BOOKとは

1. G-BOOKオンラインサービスとは 531
   - G-BOOKオンラインサービスとは 531
   - G-BOOK の通信方法 531
   - 主なサービス 533

3 G-BOOKを使うための準備

1. 利用手続きをする 535
   - 利用手続きをする 535
   - 利用開始操作をする 537
2. 各種手続きについて 541
   - 継続方法を変更する 541
   - 有料コンテンツのご利用について 542
   - 解約手続きについて 543
   - 解約手続きをする 544
   - お車を手放す際にすること 544
   - 非アクセス登録をする 544

4 G-BOOKトップ画面

1. G-BOOKトップ画面 545
   - G-BOOK 画面の使い方 545

5 G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー）

1. G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー） 546
   - メインメニュー画面の使い方 546

6 よく使う情報を登録する（Myリクエスト）

1. よく使う情報を登録する（Myリクエスト） 548
   - My リクエストについて 548
   - My リクエスト画面で操作する 548
   - My リクエストを使う 551
   - 音声認識でリクエストをする 552
   - My リクエストの編集をする 553

7 お気に入りのスポットを登録する（Gメモリ地点）

1. Gメモリ地点 554
   - G メモリ地点について 554
   - G メモリ地点を登録する 554
   - G メモリ地点を表示する 554

8 G-BOOKで目的地を探す

1. Gで設定 556
   - G で設定について 556
   - G で設定画面を表示する 556
2. WEB検索 559
   - WEB 検索で目的地を設定する 559

9 地図画面から使う

1. 地図画面から使う 560
地図画面から使う 560

10 画面操作の説明

1. ブラウザ 561
ブラウザ画面で操作する 561

2. G情報マーク 566
G 情報マークを表示する 566
施設の情報を表示する 566
G 情報マークを非表示にする 567

11 パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

1. パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 568
パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 568

12 サービスの使い方

1. ヘルプネット 570
ヘルプネットについて 570
各部の名称とはたらき 572
安全のために 572
サービス開始操作をする 575
緊急通報をする 576
保守点検について 579
自動保守点検について 579
手動で保守点検を実施する 580
利用登録の更新 583
緊急通報できない場合について 584
故障とお考えになる前に 587

2. オペレーターサービス 588
オペレーターサービスについて 588
オペレーターサービスを購入する 589
オペレーターサービスを使う 589
手動で情報を取得する 591

3. マップオンデマンド（差分更新） 592
マップオンデマンドについて 592
差分更新と全更新について 592
差分更新サービス期間と費用 593
更新方法について 593
更新エリアと更新対象について 595
地図更新画面を表示する 596
地図更新画面の使い方 596
地図更新中の操作について 597
携帯電話で更新する 597
通信モジュール（DCM）で更新する 599
CD-R/DVD-R で更新する 600
更新日を確認する 602
知っておいていただきたいこと 603
故障とお考えになる前に 604

4. ドライブプラン 605
ドライブプランを利用する 605

5. G-Security 606
G-Security について 606
初期設定を確認・変更する 607
オートアラーム作動を通知する 609
エンジン始動を通知する 610
車両の位置を追跡する 610
警備員を派遣する 610

6. Gルート探索（プローブ情報付）..... 611
Gルート探索をする（プローブ情報付）..... 611
プローブコミュニケーション交通情報とは..... 611
Gルート探索の利用方法..... 612
Gルート探索を自動で取得する..... 612
目的地設定時に手動で取得する..... 613

7. 渋滞予測..... 614
渋滞予測情報を表示する..... 614

8. 周辺情報..... 618
周辺情報について..... 618
周辺情報を設定する..... 618
周辺情報を取得する..... 618

9. ETC割引情報..... 619
ETC割引情報を表示する..... 619

10.G-駐車場..... 620
G-駐車場について..... 620

11.CDタイトル情報取得..... 622
タイトル情報を取得する..... 622

13 各種登録・設定

1. G-BOOK詳細設定..... 623
通信設定を変更する..... 623
サポートアドレスについて..... 626
携帯電話を追加する..... 627
通信ロックを使う..... 628
暗証番号を変更する..... 630

2. プライバシー設定..... 632
設定・編集画面を表示する..... 632
プライバシー設定を変更する..... 632

3. 契約内容・契約者情報の確認・変更..... 633
契約内容・契約者情報の確認・変更..... 633

14 こんなメッセージが表示されたときは

1. こんなメッセージが表示されたときは..... 634
こんなメッセージが表示されたときは..... 634

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。
通信モジュール（DCM）使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。
なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される**【切断】**については、通信モジュール（DCM）使用時は表示されません。

※本書で使用しているコンテンツの画面は、実際の画面と異なることがあります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

安全に利用するため注意いただきたいこと

G-BOOK オンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠警告

● 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

● 走行中に G-BOOK オンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

通信機器について

G-BOOK オンラインサービスは、Bluetooth 携帯電話※または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

● 接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

サービス	G-BOOK オンラインサービス データ通信／ ヘルプネットとオペレーターサービスの音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	Bluetooth 携帯電話※	Bluetooth 携帯電話※
G-BOOK mX Pro	通信モジュール（DCM）	Bluetooth 携帯電話※

※本機で動作確認済みの Bluetooth 携帯電話については、G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

Bluetooth 携帯電話を使用するときの留意事項

● Bluetooth 携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

・Bluetooth 携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth 携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→ P.482)

・Bluetooth 携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。

・Bluetooth 携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約 1 分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。

・Bluetooth 携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOK センターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。

・Bluetooth 携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。

・Bluetooth 携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。

・通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。

・お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。

・通信料金はお客様のご負担になります。

・データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。

・G-BOOK オンラインサービスを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
G-BOOK オンラインサービス利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。

・G-BOOK オンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
この場合は、電話機を操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。(→ P.488)

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

通信モジュール（DCM）を利用するときの留意事項

▶通信モジュール（DCM）使用時

- 通信方式は、株式会社 NTT ドコモの W-CDMA 方式の携帯電話と同一です。
  FOMA　　サービスエリアでは、最大 7.2Mbpsデータ通信サービスがご利用いただけます。同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- G-BOOK オンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、次のような通信環境が整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・地下駐車場にいるとき
  - ・山奥などの通信圏外にいるとき
  - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。
通信アンテナの位置は、販売店でご確認ください。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOK オンラインサービスが使用できなくなります。
  （その場合には事前にご連絡します。）

知 識

- データ通信に関する通信料金は G-BOOK 利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

⚠ 警 告

- 植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから 22cm 以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOK オンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
  データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

本製品には、電気通信事業法第 56 条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定をうけた以下の設備が組込まれております。

・機器名称：FOMA TM02-KY、
認証番号：AD11-0014001

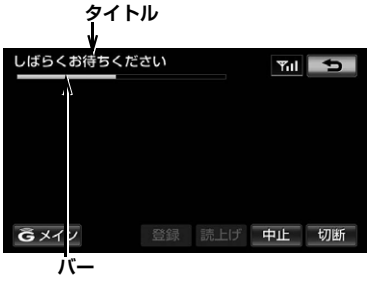
本製品には、電波法第 38 条の 24 第1項の規定に基づく認証を受けた以下の設備が組込まれております。

・機器名称：FOMA TM02-KY、
認証番号：005XYAA0301
005MWAA0236

通信機器共通留意事項

ここでは、各通信機器に共通の留意事項がまとめてあります。

- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。
  また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
  ・走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。



知識

- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ P.183）に車を移動し、画面外の [A] にタッチして地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。



1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。



- 携帯電話接続時の表示は、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

▶通信モジュール（DCM）使用時

表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外　弱 ◄――► 強				

▶携帯電話使用時

表示	圏外				
レベル	圏外　弱 ◄――► 強				

- 使用する携帯電話が Bluetooth 接続されていないときは、「未接続」が表示されます。

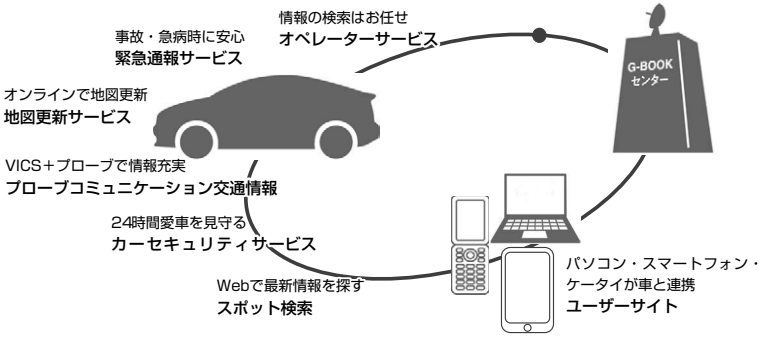
知 識

- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

1. G-BOOK オンラインサービスとは

G-BOOK オンラインサービスとは

本機に通信機器を接続することで、「安心・快適・便利」な車向け情報サービスをご利用いただけます。



G-BOOK の通信方法

G-BOOK の通信方法には２種類あります。

Bluetooth 対応携帯電話を使う

▶G-BOOK mX



G-BOOK に対応した Bluetooth 携帯電話が必要です。

- 「動作確認済み携帯電話」を G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。
- 通信費はお客様負担です。
- カーナビ向け通信が定額になる料金プラン※にご加入の場合、地図更新を自動で行う設定が可能です。

※カーナビ通信料定額プラン

・au：カーナビ用料金オプション

・Softbank：カーナビプラン

・ドコモには2011年5月現在カーナビ通信料定額プランはありません。最新の情報は各通信事業者にお問い合わせください。

サービスにより Web 登録が必要です。（詳細→ P.535）

通信モジュール（DCM）を使う

▶G-BOOK mX Pro



車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。

- ご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。
  通信費は G-BOOK mX Pro 利用料金に含まれます。
  利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

主なサービス

△：有料オプション

主なサービス	G-BOOK mX ※1 通信機： Bluetooth 対応携帯電話	G-BOOK mX Pro 通信機： 通信モジュール（DCM）
緊急通報サービス **ヘルプネット**	○ Web 登録 ※2	○
ナビ操作をサポート **オペレーターサービス**	△ Web 登録	○
地図更新サービス **マップオンデマンド**	○	○
パソコンや携帯電話と連携 **ドライブプラン**	○ Web 登録 ※3	○
カーセキュリティサービス **G-Security**	×	○
最適ルートの探索 **G ルート探索（プローブ情報付）**	○	○
ルート上の渋滞を予測 **渋滞予測**	○	○
ルート上や目的地周辺の情報サービス **周辺情報**	○	○
選択ルートの割引率表示 **ETC 割引情報**	○	○
満空情報付の駐車場情報 **G- 駐車場**	○	○
ドライブに役立つ情報コンテンツ **G-BOOK.com**	一部サービス ○ Web 登録	○
最新の楽曲情報をダウンロード **CD タイトル情報取得**	○	○

※1 通信にかかる費用はお客様のご負担となります。
※2 ヘルプネットサービス開始操作後ご利用いただけます。なお、ご利用には2年ごとに登録情報の更新が必要です。
※3 GAZOO 会員登録でも利用可能です。

1. G-BOOK オンラインサービスとは

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
	通信機： Bluetooth 対応携帯電話	**通信機： 通信モジュール（DCM）**
利用料金	基本料無料 オペレーターサービス有料 ※2	初年度無料 ※1 2 年目以降有料 ※2
必要な手続き	Web 登録 マーク利用の場合 Web 登録 * ドライブプランは GAZOO 会員登録でも利用可能	G-BOOK 利用申込書ご提出 または Web 登録

※1 初年度無料期間中は、G-BOOK 利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。
初年度無料期間：初度登録日より初回の 12 カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

※2 利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

● 掲載の情報は、2011 年 5 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

最新のサービスは G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

1. 利用手続きをする

利用手続きをする

G-BOOK mX の場合

Web 登録が必要なサービス（ヘルプネット、オペレーターサービスなど）を使いたい

左記サービスを使わない

パソコンサイトまたは携帯サイトで



Web 登録
パソコンサイト
http://g-book.com/
携帯サイト

＜用意するもの＞
・車検証
・メールアドレス
（パソコンまたは携帯電話）

契約 ID 取得

携帯電話とナビで



携帯電話を登録する（→ P.482）

使用する携帯電話の通信設定をする（→ P.623）
＊「カーナビ通信料定額プラン」加入時はここで登録します

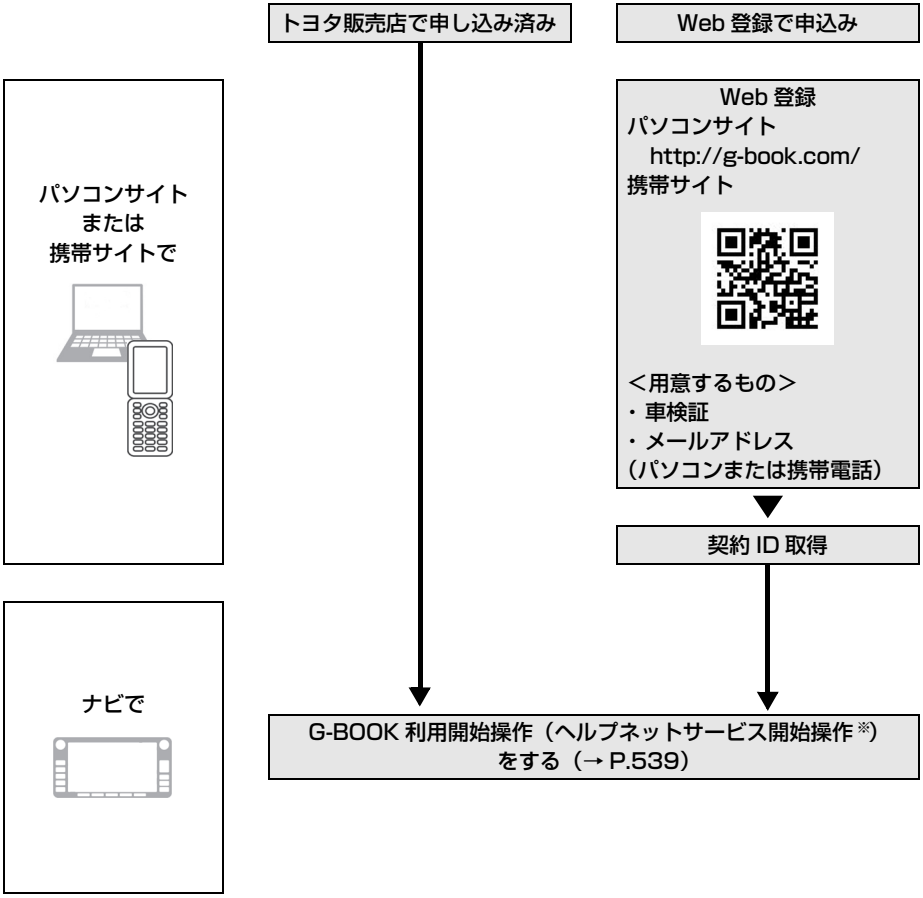
G-BOOK 利用開始操作をする（→ P.537）

ヘルプネット
サービス開始操作※をする
（→ P.575）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. 利用手続きをする

G-BOOK mX Pro の場合



- 初年度無料期間中は、G-BOOK 利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。

  初年度無料期間：初度登録日より初回の 12 カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
  利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。
該当のページをご覧の上、手続きを行ってください。

- 利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

G-BOOK mX
Web 登録をしない場合 → P.537

G-BOOK mX
Web 登録をした場合 → P.538

G-BOOK mX Pro の場合 → P.539

G-BOOK mX Web 登録をしない場合

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[メインメニュー]** にタッチ。



2 **[G-BOOK.com]** にタッチ。



3 **[利用開始する]** にタッチ。



4 サービス内容、利用規約などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

5 利用開始操作完了画面が表示されたら完了です。

知 識

- メインメニュー画面に 6 個のアイコンが表示されていれば、利用開始操作は正常に完了しています。



G-BOOK mX Web 登録をした場合

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[メインメニュー]** にタッチ。



2 **[G-BOOK.com]** にタッチ。



3 **[利用開始する（Web 登録済の方）]** にタッチ。



4 契約 ID 照会画面が表示される。ID とパスワードを入力し、**[決定]** にタッチ。



- IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。

5 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作する。

6 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら **[はい]** にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→ P.575）を行う。

- ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

7 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

- サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

知 識

● 情報・G・BT ナビ画面に **[HELPNET]** が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。



G-BOOK mX Pro の場合

画面外の **G・INFO** →（ **G-BOOK** ）→ **G-BOOK 画面**

1 **[メインメニュー]** にタッチ。



2 **[G-BOOK.com]** にタッチ。



3 申し込み方法により、次の画面が表示される。

● 申込書で申し込みの方
➡ 本人確認の画面が表示される。
画面の指示にしたがって、確認・操作する。

● Web 登録で申し込みの方
➡ 契約 ID 照会画面が表示される場合、ID とパスワードを入力し、**[決定]** にタッチ。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

● G 暗証番号の設定をしていない方
➡ G 暗証番号の設定が表示される。
画面の指示にしたがって、確認・操作する。

5 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら **[はい]** にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→ P.575）を行う。

● ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

6 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

● サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. 利用手続きをする

知 識

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
- 情報・G・BT ナビ画面に **[HELPNET]** が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. 各種手続きについて

継続方法を変更する

▶G-BOOK mX Pro 利用時

G-BOOK mX Pro は、年単位で契約更新となります。

契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。

次の手順で、本機から契約の継続／停止の手続きができます。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー → ユーザー画面

1 **[会員情報 / 利用契約変更・解約]** にタッチ。



2 **[利用契約の確認・変更]** にタッチ。



3 **[利用契約内容の変更]** にタッチ。



4 G 暗証番号入力画面が表示される。
G暗証番号を入力し、**[決定]** にタッチ。

5 利用契約の変更画面が表示される。

- 自動継続に変更したい場合
  ➡ **[G-BOOK 利用継続処理]** にタッチ。
- 自動継続を停止したい場合
  ➡ **[自動継続停止]** にタッチ。



6 G-BOOK 利用契約の確認画面が表示される。
内容を確認し、**[決定]** にタッチ。

知 識

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。
- 自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
- 利用契約の継続／停止はG-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）からも手続きができます。

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mX の場合、有料コンテンツの利用には Web 登録が必要です。

有料コンテンツを購入・解約する

G-BOOK 有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。
また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

- 有料コンテンツを購入する際は、画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー → ユーザー画面

1 **[コンテンツ購入履歴／解約]** にタッチ。

2 **[コンテンツ契約内容の確認]** にタッチ。

3 G 暗証番号を入力し、解約する。

知 識

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-BOOK オンラインサービスを解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜車載機で解約する場合＞
解約手続きをする→ P.544

↓

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする→ P.46

解約しないで車を手放したときなど

↓

G-BOOK サポートセンターに連絡して解約する
G-BOOK サポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120ー 104ー 370
受付時間 9:00 ～ 18:00
（年中無休）

⚠注 意

● 本機に保存した情報は、本機で個人情報の初期化を行わないと消去されません。
お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

知 識

● G-BOOK 契約 ID は、解約手続き後、GAZOO 会員 ID として利用できます。

解約手続きをする

G-BOOK オンラインサービスを解約するときは、次の手順で実施してください。

1 画面外の にタッチ。

2 G-BOOK にタッチ。

3 **[G-BOOK 詳細設定]** にタッチ。



4 **[契約解除]** にタッチ。



5 画面の指示にしたがって操作する。

- ユーザー画面からでも解約手続きができます。

知 識

- G-BOOK オンラインサービスの利用開始ができないように設定したい場合は、「非アクセス登録」をしてください。(→ P.544)

お車を手放す際にすること

- 解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。
  お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きおよび個人情報の初期化（→ P.46）を実施してください。

非アクセス登録をする

- G-BOOK オンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。
  オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。
  申請書を提出していただくと、利用開始操作をできないように設定します。
  ・G-BOOK オンラインサービスを利用中のお客様は、申請書を提出する前に解約手続きを行ってください。
- 再び G-BOOK オンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOK サポートセンター
全国共通・フリーコール
0800ー 123ー 0016
受付時間　9:00 ～ 18:00
年中無休

1. G-BOOK トップ画面

G-BOOK 画面の使い方

G-BOOK 画面から、G-BOOK オンラインサービスの各アプリケーションを起動することができます。

1 画面外の G・INFO にタッチ。

- 情報画面や BT ナビ画面が表示されたとき ➡ G-BOOK にタッチ。



- この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機　能
1	メインメニュースイッチ	メインメニュー画面（→ P.546）を表示する。
2	My リクエストスイッチ	My リクエスト画面（→ P.548）を表示する。
3	ドライブプランスイッチ	ドライブプランをダウンロードする。（→ P.605）
4	HELPNET スイッチ※	ヘルプネットの緊急通報（→ P.576）を行う。 ● ヘルプネットサービス開始操作後に表示されます。（→ P.575）
5	オペレータースイッチ	オペレーターサービスを利用する。（→ P.588）
6	地図更新スイッチ	地図更新画面（→ P.596）を表示する。
7	情報確認スイッチ	オペレーターサービスで取得した情報を確認する。（→ P.591）

※ 情報画面や BT ナビ画面でも表示されます。

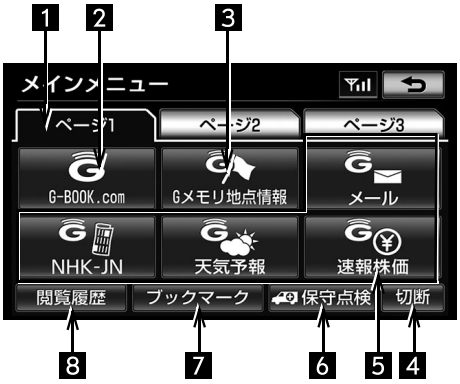
1. G-BOOK.com で情報をさがす（メインメニュー）

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOK オンラインサービスのアプリケーションを起動するメニューです。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **［メインメニュー］**にタッチ。



スイッチ		機　能
1	ページ切り替えタブ	ページを切り替える。
2	G-BOOK.com スイッチ	G-BOOK センターに接続し、ブラウザ画面（→ P.561）を表示する。 • G-BOOK.com コンテンツが閲覧できます。
3	G メモリ地点情報スイッチ	G メモリ地点情報のリスト画面を表示する。（→ P.554） • G メモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→ P.146、P.146）
4	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 • 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。
5	G-BOOK センターから配信されるスイッチ	タッチすると該当のコンテンツを起動する。 • ご利用のサービス（G-BOOK mX Web登録なし/G-BOOK mX Web 登録あり /G-BOOK mX Pro）により、表示されるスイッチは異なります。
6	保守点検スイッチ	ヘルプネットの手動保守点検を実施する。（→ P.580）

スイッチ		機　能
7	ブックマークスイッチ	ブックマーク画面を表示する。
8	閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面を表示する。

知 識

● G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

1. よく使う情報を登録する（My リクエスト）

My リクエストについて

My リクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

（1）G-BOOK mX を Web 登録してご利用の方、および G-BOOK mX Pro をご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。

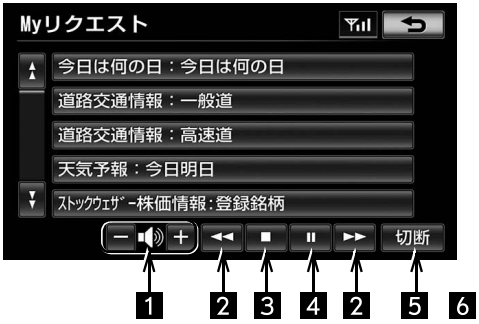
（2）G-BOOK mX を Web 登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。

操作は、My リクエスト画面から行う方法と、音声認識で行う方法があります。

My リクエスト画面で操作する

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[My リクエスト]** にタッチ。



スイッチ		機　能
1	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 **[−]**：小さくする **[+]**：大きくする
2	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 **[◀◀]**：読み上げ中の項目の先頭からはじめる **[▶▶]**：次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ **[◀◀]** にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
3	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。

1. よく使う情報を登録する（My リクエスト）

スイッチ		機　能
4	ポーズ／再開スイッチ	**[▮▮]**：コンテンツの読み上げを一時停止する （読み上げ中に表示） **[▶]**：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
5	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 • 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。
6	中止スイッチ ▶通信モジュール（DCM）使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を中止する。

知識

● G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

1. よく使う情報を登録する（My リクエスト）

本機のスイッチで操作する



スイッチ		機　能
1	PWR スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。
2	TRK･TUNE スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≪ にタッチ。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≫ にタッチ。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≪ にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
3	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋ にタッチ。 • 小さくするとき ➡ － にタッチ。

My リクエストを使う

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ My リクエスト → My リクエスト画面

1 リクエストしたいコンテンツにタッチ。



- 走行中はリストを動かすことができません。2 ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。（→ P.552）

2 ナビ画面に切り替わる。



- データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

知 識

- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、My リクエスト画面を表示させて行います。（→ P.548）

知 識

- コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。
  状況によって、次のようになります。
  - 運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
  - ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
- コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。
  なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
- コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
- リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（→ P.564）に関係なく行われます。

1. よく使う情報を登録する（My リクエスト）

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチ。



- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。

2 **［情報］**にタッチ。



- ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。

- リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます。（→ P.567）

ドライブプランを利用する

My リクエストからもドライブプランを利用できます。

1 設定したいドライブプランにタッチ。



- 情報取得後の操作について
  ➡「ドライブプランを利用する」（→ P.556）

音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

- リクエストのしかたについて
  ➡「My リクエストを使う」（→ P.379）

知 識

- リクエストしたあとの操作については、My リクエスト画面のスイッチでリクエストした場合と同様です。

My リクエストの編集をする

My リクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。

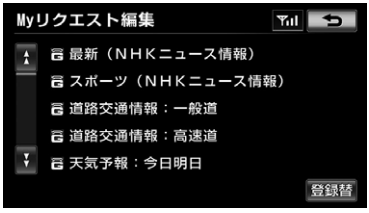
G-BOOK mX をWeb 登録してご利用の方、および G-BOOK mX Pro をご利用の方のみ操作できます。

画面外の → G-BOOK → 設定・編集画面

1 **[My リクエスト編集]** にタッチ。



2 **[登録替]** にタッチ。



3 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録する。



1. G メモリ地点

G メモリ地点について

G-BOOK.com で検索したスポットを「G メモリ地点」として本機に登録できます。また、G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイト、スマートフォンで登録した G メモリも「G メモリ地点」にダウンロードできます。

G メモリ地点を登録する

G メモリ地点を登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

本機で検索したスポットを登録する

1 本機でG-BOOK.comコンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で **[G メモリ]** にタッチ。



G メモリを本機に登録する

- 「G メモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。（→ P.558）

G メモリ地点を表示する

Gメモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ メインメニュー → メインメニュー画面

1 **[G メモリ地点情報]** にタッチ。



2 G メモリ地点名称にタッチ。



3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com　コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

- G メモリ地点に登録すると、目的地設定の「メモリ地点」にも登録されます。目的地設定のメモリ地点から呼び出せばG-BOOK センターに接続せずそのまま目的地設定ができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- G　メモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。
  詳しくは、「地点の登録について」をご覧ください。（→ P.142）

知 識

- 同一の G メモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

1. G で設定

G で設定について

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで作成したドライブプランやGメモリを、本機で利用することができます。

- G　　で設定では追加目的地の設定（→ P.135）はできません。G で設定を行うと、設定されていた目的地に新しく設定した目的地が上書きされます。「G メモリ地点」に登録済み（→ P.554）の G メモリであれば、目的地画面の **[メモリ地点]** から追加目的地の設定ができます。

G で設定画面を表示する

1 画面外の ▶ にタッチ。

2 **[G で設定]** にタッチ。



- G で設定画面から、次の機能を利用できます。

項目	ページ
ドライブプラン（My ルート）	P.556
G メモリ	P.557
G-BLOG	P.557
G メモリ一括ダウンロード	P.558

ドライブプランを利用する

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

画面外の ▶ → G で設定 →
G で設定画面

1 **[ドライブプラン（My ルート）]** にタッチ。



2 設定したいドライブプランにタッチ。



3 **[はい]** にタッチ。



4 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G メモリを利用する

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで登録した G メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

画面外の ▶ → Gで設定 → Gで設定画面

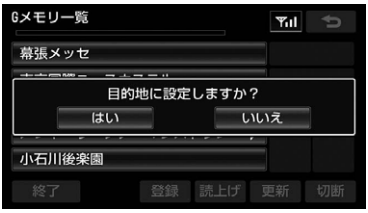
1 [Gメモリ] にタッチ。



2 目的地に設定したいGメモリにタッチ。



3 [はい] にタッチ。



4 目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G-BLOG を利用する

GAZOO.com のユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

画面外の ▶ → Gで設定 → Gで設定画面

1 [G-BLOG] にタッチ。



2 目的に合わせて検索する。



3 画面の指示にしたがって操作する。

G メモリを一括ダウンロードする

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで登録したGメモリを一度本機に一括ダウンロードすると、次からは G-BOOK センターに接続しなくてもナビのメモリ地点（G メモリ地点）として常に利用することができます。

画面外の ▶ → Gで設定 **→**
Gで設定画面

1 **[G メモリー括ダウンロード]** にタッチ。



2 ダウンロード完了の画面が表示される。

- G メモリ地点として利用できます。
  ➡「G メモリ地点」（→ P.554）

2. WEB 検索

WEB 検索で目的地を設定する

本機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 画面外の ▶ にタッチ。

2 **[WEB]** にタッチ。

3 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、**[検索]** にタッチ。

- ソフトウェアキーボードの使用方法は、「入力画面の各スイッチを使う」(→P.30) をご覧ください。
- **[検索エンジン]** にタッチすると、「Yahoo! JAPAN」と「Google」を切り替えることができます。
- **[エリア]** にタッチすると、検索エリアを変更することができます。



- 検索結果の地図画面が表示され、施設アイコンが表示されます。

4 **[目的地セット]** にタッチ。

- 目的地を設定する画面が表示されます。(→ P.111)

5 **[目的地セット]** にタッチ。

知 識

- 1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

検索エンジンを変更する

WEB 検索で使用する検索エンジンを変更することができます。

1 画面外の ▶ にタッチ。

2 **[WEB]** にタッチ。

3 **[検索エンジン]** にタッチ。

4 変更したい検索エンジンにタッチ。



- **[利用案内]** にタッチすると、各検索エンジンの利用規約を確認することができます。
  初めてご利用する際は、必ず利用規約をご確認ください。

5 **[完了]** にタッチ。

1. 地図画面から使う

地図画面から使う

地図画面から G-BOOK オンラインサービスの各コンテンツをご利用いただけます。

1 目的地を設定する。（→ P.111）



- この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機能
1	G ルートスイッチ	G ルート探索（→ P.611）を利用する
2	割引情報スイッチ	ETC 割引情報（→ P.619）を表示する

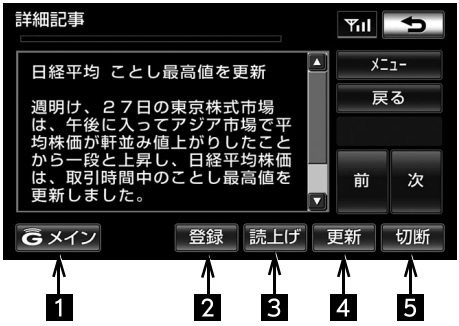
1. ブラウザ

ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。
ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。



スイッチ		機　能
1	Gメイン／終了スイッチ	**[G メイン]**：メインメニュー画面にもどる **[終了]**：ブラウザ画面を終了してブラウザ表示前の画面にもどる
2	登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録する。
3	読上げスイッチ	読み上げを開始する。 • 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 • 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→ P.564）

1. ブラウザ

スイッチ		機　能
4	更新／中止スイッチ※	**[更新]**：コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） **[中止]**：コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）
5	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 • 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。

※ コンテンツの読み込み中に **[中止]** にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
・**[更新]** にタッチして、コンテンツを再取得する。
・**[⮌]** にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知 識

- 各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。
- G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



スイッチ		機　能
1	G メインスイッチ	メインメニュー画面にもどる。
2	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 **[−]**：小さくする **[+]**：大きくする
3	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 **[◀◀]**：読み上げ中の項目の先頭からはじめる **[▶▶]**：次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ **[◀◀]** にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
4	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。
5	ポーズ／再開スイッチ	**[▮▮]**：コンテンツの読み上げを一時停止する （読み上げ中に表示） **[▶]**：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
6	切断スイッチ ▶ 携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 • 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。

知 識

● G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

画面外の → G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 **［ブラウザ自動読上げ］**にタッチ。



2 **［する］**にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ **［しない］**にタッチ。

本機のスイッチで操作する



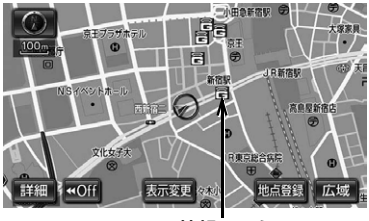
スイッチ		機　能
1	PWR スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。
2	TRK・TUNE スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≪ にタッチ。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≫ にタッチ。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ≪ にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
3	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋ にタッチ。 • 小さくするとき ➡ － にタッチ。

2. G 情報マーク

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。

情報を取得すると自動で地図に表示されます。



G 情報マーク

施設の情報を表示する

地図上にG情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 G 情報マークにタッチ。



2 **［情報］**にタッチ。



3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com　コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

G 情報マークを非表示にする

G 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 **[表示変更]** にタッチ。



2 **[周辺施設]** にタッチ。



3 **[G 情報マーク表示]** にタッチ。



- 地図画面の G 情報マークが非表示になります。

1. パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

G-BOOK はパソコンや携帯電話・スマートフォンからも情報確認や各種設定ができます。

便利にご利用いただける主なコンテンツ

- G-Security の設定確認や変更※
- スポット検索
- ドライブプラン
- マイカーインフォメーション
- E メールデリバー

※G-BOOK mX Pro 契約が必要です。

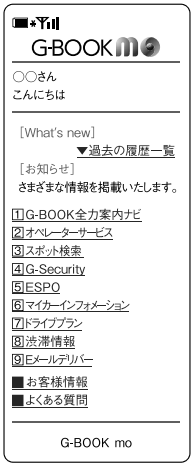
▶パソコンでの操作
URL → http://g-book.com/

G-BOOK のパソコンサイトに
アクセスする
▼
[ログイン] をクリック
▼
ID とパスワードを入力
▼
ユーザーサイトが表示されます。



▶携帯電話
・ URL → http://mo.g-book.com/
・ QR コード→

G-BOOK mo のトップページに
アクセスする
▼
[ログインする] を選択
▼
ID とパスワードを入力
▼
[ログイン] を選択
▼
ユーザーサイトが表示されます。



知 識

- 「かんたんログイン」を設定しておくと、G 暗証番号 (数字４桁) の入力で簡単にログインできます。
- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

1. パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

▶スマートフォン
smart　G-BOOK アプリ（無料）を「Android マーケット」または「App Store」からダウンロードします。

・URL → http://mo.g-book.com/mpx/spappdl/

・QR コード→

smart G-BOOK アプリを起動

▼

「G-BOOK ID または GAZOO ID をお持ちですか？」で［はい］を選択

▼

ID とパスワードを入力

▼

[ログイン] にタッチ

▼

トップ画面が表示されます

▼

[メニュー] にタッチ

▼

メニューが表示されます。



知識

●「オートログイン」を「オン」にすると、2回目以降は ID・パスワードの入力が不要となります。



1. ヘルプネット

ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にオペレーターがお客様の状況を通報します。

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

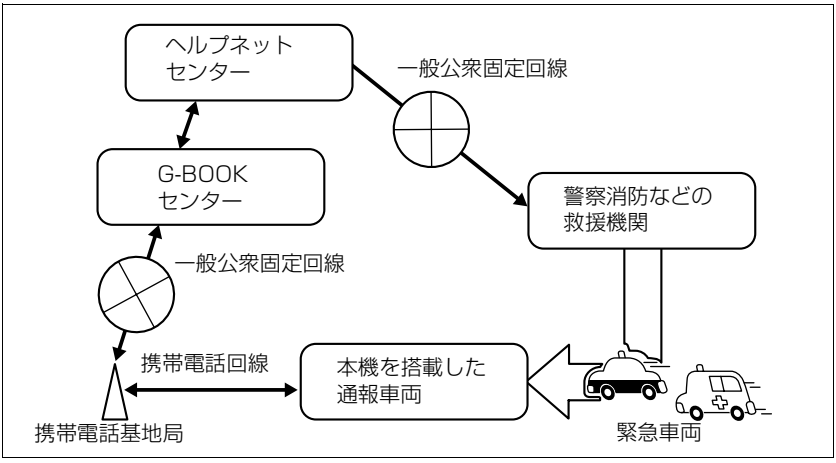
- 本システムは、エンジンスイッチが ACC または ON のときに作動します。

サービスのご利用について

- ヘルプネットは、本機で G-BOOK オンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（→ P.575）
- G-BOOK mX の場合、サービス開始操作後は、2 年ごとに本機または G-BOOK サイトでの登録情報の更新が必要です。
- ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

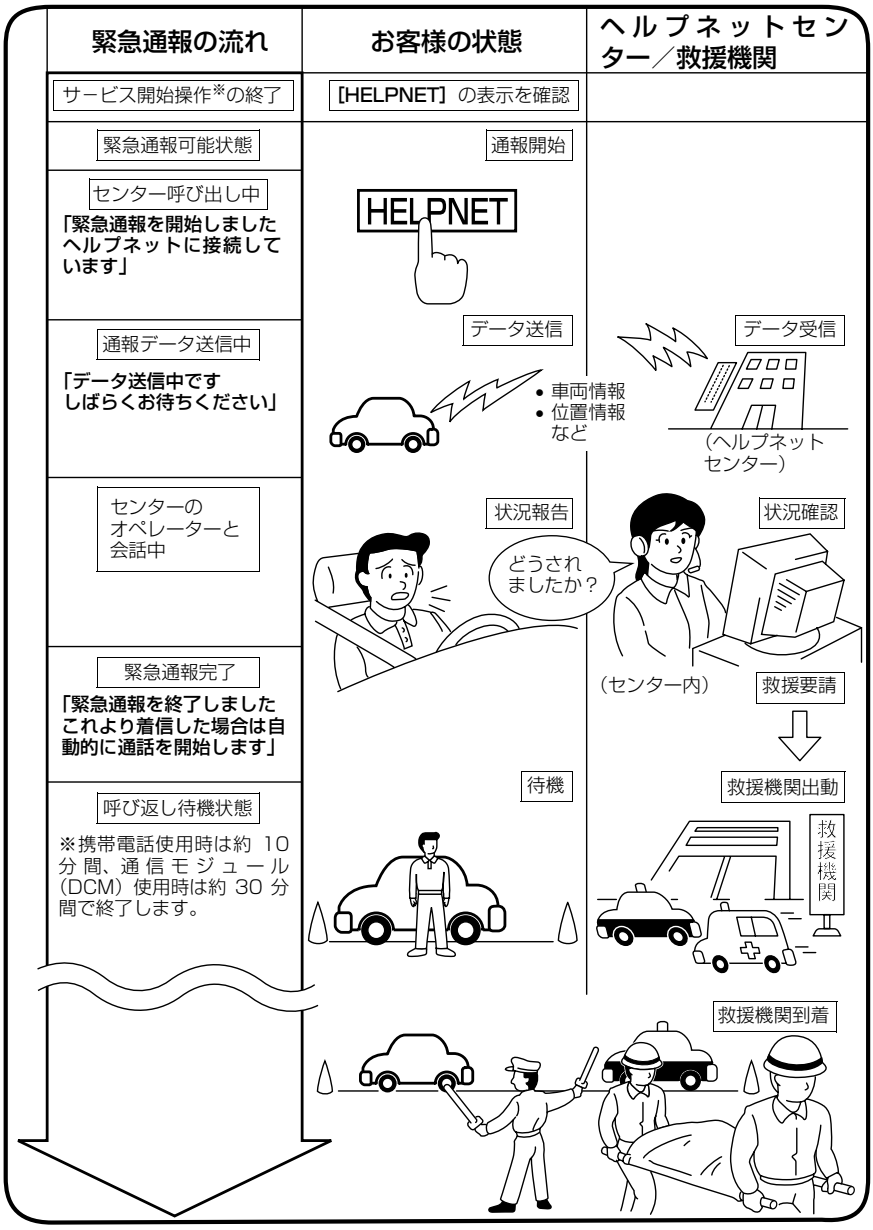
緊急通報のしくみ

- 本機の情報画面に表示される **[HELPNET]** にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

緊急通報の主な流れ

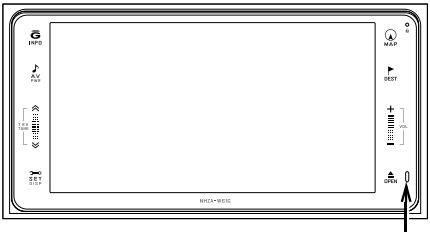


※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称とはたらき

車載機

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。



マイク

本機に内蔵されています。
緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。

⚠注 意

- 本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。本機が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

⚠警 告

- 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作※は契約者本人が行い、情報・G・BT ナビ画面に【HELPNET】が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
  - ・機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
  - ・G-BOOK オンラインサービスの利用契約がされてない、または利用契約が解除されている場合
  - ・登録情報が更新されていない場合
  - ・サービス開始操作※を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていない場合
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
  - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
  - ・携帯電話が故障している場合
  - ・携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。
  「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→ P.584）
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
  走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- 本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
  このような場合には、**[HELPNET]** による緊急通報をしてください。
- G-BOOK　オンラインサービスを解約しても、情報・G・BT ナビ画面に、**[HELPNET]** が表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

1. ヘルプネット

⚠警告

- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 本機の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
  動作温度範囲：－20℃～＋60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。

⚠注意

- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてください。この場合、エンジンスイッチをOFF(LOCK)にした時点で、緊急通報は終了します。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知識

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

サービス開始操作※をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。

利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 「手動保守点検」を行い、以下の点を確かめる。(→ P.580)

- 通信が正常に始まる。
- 通報位置が正しい(ヘルプネットセンターとの通話で確認)。
- 通話ができる。

3 手動保守点検後、情報・G・BT ナビ画面に **[HELPNET]** が表示される。

- 情報・G・BT ナビ画面に **[HELPNET]** が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくても **[HELPNET]** が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠警告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で **[いいえ]** にタッチする、または画面外の ◁ などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - ・ 発呼しない。
  - ・ 通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
  - ・ 通話できない。
- サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断した場合は、基本的に **[HELPNET]** は表示されませんが、**[HELPNET]** が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。
- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、**[HELPNET]** は表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、**[HELPNET]** が表示されない場合、緊急通報は動作しません。**[HELPNET]** の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  - 本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
  - ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（→ P.482）および使用する携帯電話の通信設定（→ P.623）を行ってください。
  - 本機に携帯電話を Bluetooth 接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
  - 電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→ P.584）
  - 携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

知識

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明を OFF に設定してください。
  （設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

緊急通報をする

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

エンジンスイッチが ACC または ON のとき、情報・G・BT　ナビ画面で **[HELPNET]** にタッチすると緊急通報を開始します。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

⚠警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

⚠警告

- ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチをACCまたはONにして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 [HELPNET] にタッチ。



2 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。



- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 緊急通報を中止するとき
  ➡ **[中止]** にタッチ。

3 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。



4 データ通信完了後、通話モードになる。



- マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話することができます。

5 オペレーターと通話する。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの症状、警察または消防への通報の要・不要を伝える。



● 通話音量を調整するとき
➡［−］または［+］にタッチ。

知識

● 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに救援機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
● ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
（ヘルプネットを通信モジュール（DCM）で使用する場合は、緊急通報は中止されます。）

6 警察または消防への通報が必要なときはヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

7 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。



8 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約 10 分間、通信モジュール（DCM）使用時は約 30 分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



⚠警告

● 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
● 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

知 識

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。

9 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



知 識

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

- 保守点検は、次の 2 種類があります。
  - 自動保守点検：（→ P.579）
  - 手動保守点検：（→ P.580）

自動保守点検について

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

⚠警 告

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠注 意

- 自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

- 自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。
  - ・ 点検時期：（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
  - ・ 点検時間：開始後 1 ～ 2 分で終了します。
- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

手動で保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

- G-BOOK mX の場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検を行ってください。
- 手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。
  - ・ 車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
  - ・ ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。

⚠警告

- 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

- 手動保守点検を実施する前に、現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認してください。



GPS マーク

画面外の G・INFO **→（** G-BOOK **）→** G-BOOK 画面

1 **［メインメニュー］**にタッチ。



2 **［保守点検］**に約 10 秒以上タッチし続ける。



3 ヘルプネットセンターに接続を開始します。



- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 中止するとき
  ➡**［中止］**にタッチ。

4 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されていること



5 データ通信完了後、通話モードになります。

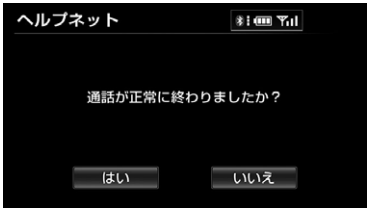


6 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整したいとき
  ➡**［－］**または**［＋］**にタッチ。

7 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら**［はい］**にタッチ。



⚠警告

- ここで表示された画面で**［いいえ］**にタッチする、または画面外の ⓐ などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

8 保守点検を終了する。



9 画面外の G・INFO にタッチして、情報・G・BT ナビ画面に **[HELPNET]** が表示されていることを確認する。



⚠警告

- サービス開始操作※で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断した場合は、基本的に **[HELPNET]** は表示されませんが、**[HELPNET]** が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠注意

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度OFF(LOCK)にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、本機などの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

利用登録の更新

▶G-BOOK mX 利用時

ヘルプネットサービス利用開始日から2年毎に利用登録の更新手続きが必要です。

更新期限が近づくと、ナビ画面にて更新手続きのご案内が表示されます。

ナビ画面または G-BOOK のパソコンサイト(http://g-book.com/) のユーザーサイトにて更新または変更してください。

利用登録の更新操作について

画面外の G・INFO → (G-BOOK) → メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 **[ヘルプネット]** にタッチ。



2 **[利用登録の更新手続き]** にタッチ。

3 G 暗証番号を入力する。

4 **[決定]** にタッチ。

5 ヘルプネット登録情報画面の内容を確認。



6 **[更新]** にタッチ。

- 登録情報に変更がある場合、**[変更]** にタッチし、画面にそって情報を変更してください。

7 ヘルプネットの登録情報を更新したと表示される。

知 識

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。
- 更新期限の約一ヶ月前に、ナビの画面にお知らせを表示します。
  このお知らせ画面から更新することもできます。

携帯電話の設定について

⚠警告

- 緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）
  （1）ダイヤルロック
  （2）発信を制限もしくは禁止する機能
  （3）ドライブモード
  （4）着信拒否、着信制限
  （5）着信転送
  （6）留守番電話
  （7）発信者電話番号非通知
  （8）着信を制限もしくは禁止する機能
  ※（1）（2）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
  （3）～（8）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
  また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクトフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。
- ヘルプネットはG-BOOKオンラインサービスの通信設定を利用します。
  ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の通信設定（→ P.623）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

知識

- ヘルプネットを使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
  - 携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
  - 緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
  - 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

G-BOOK利用契約の不成立または消滅

- 未登録の場合
- 利用契約を解除した場合

ヘルプネット利用登録の不成立

- サービス開始操作※を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

車載機または車両関連機器の異常による通信不能

- 車載機（車載ユニット、通信モジュール（DCM）、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知 識

- ヘルプネットは、本機の GPS から位置情報を取得しています。（→P.183）

ヘルプネットセンター／ G-BOOK センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

その他

- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていない
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
  - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
  - ・携帯電話が故障している
  - ・携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

● 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症　状	考えられること	処　置
[保守点検] が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。(→ P.537)
[HELPNET] が表示されない	サービス開始操作※が完了していない。	サービス開始操作※を実施してください。(→ P.575)
緊急通報できない	▶携帯電話使用時 動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	▶携帯電話使用時 使用する携帯電話の通信設定をしましたか。	使用する携帯電話の通信設定をしてください。(→ P.623)
	▶携帯電話使用時 携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→ P.580)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状況の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→ P.580)

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. オペレーターサービス

G-BOOK mX Pro をご利用の場合は、購入手続きなしで利用することができます。
G-BOOK mX をご利用の場合は、有料オプションになります。

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

オペレーターサービスメニュー

▶ドライブサポート
- ナビの目的地設定
- 駐車場の案内
- 電話番号の案内
- 夜間・休日診療機関の案内

▶セキュリティサービス
（G-BOOK mX Pro 契約が必要）
- オートアラームの作動連絡
- 盗難車両の位置追跡
- 警備員の派遣手配

▶トラブルサポート
- ロードアシスト 24 への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web 登録が必要（有料）	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料 ※

※ 携帯電話・固定電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

● 利用料金や詳しいサービス内容については、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知 識

● G-BOOK mX Pro をご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。オペレーターからの着信には対応していません。
● 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。
この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、画面外の にタッチして地図画面上にGPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
● ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
● オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
● マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
● G-BOOK　　オンラインサービスを通信モジュール（DCM）で使用する場合、電話機接続で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的に Bluetooth 接続が切断されます。

オペレーターサービスを購入する

▶G-BOOK mX 利用時
利用するには、まずコンテンツの購入手続きをします。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[オペレーター]** にタッチ。



2 画面の指示にしたがって、購入手続きをする。

オペレーターサービスを使う

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[オペレーター]** にタッチ。



2 オペレーターに接続する。



● 中止するとき
➡ **[切断]**（携帯電話使用時）または **[中止]**（通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

3 オペレーターと通話する。



●「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。

4 オペレーターとの通話が終了する。

● 自動的に回線が切断されます。

5 画面の指示にしたがって操作する。



●「目的地設定」、「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOK センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

携帯電話・固定電話から利用する

● いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 オペレーターに電話をかける。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

2 利用したい内容を伝える。

3 本機を使用して、手動で受信する。

● 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
表示されない場合は、手動で情報を取得してください。（→ P.591）

知 識

● ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
● ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
● 通話料はお客様のご負担になります。
本機から通信モジュール（DCM）を接続してご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

手動で情報を取得する

● 自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **［情報確認］**にタッチ。



2 メッセージが表示されたら、**［はい］**にタッチ。



● メッセージが表示されないとき
➡ **［受信一覧］**にタッチ。



● 過去に依頼した情報が表示されます。

3. マップオンデマンド（差分更新）

マップオンデマンドについて

マップオンデマンドは、全国の高速道路・有料道路、ナビに登録した自宅および設定した目的地周辺の道路変更部分のみを、携帯電話網、インターネット網を通じてナビに配信するサービスです。

これにより、地図データを短期間で更新でき、更新された地図を使って、ナビのルート探索・案内を利用できます。

差分更新と全更新について

地図更新には、「差分更新」と「全更新」があります。

マップオンデマンドは「差分更新」になります。

差分更新について

通信または CD-R/DVD-R を使用して、部分的に地図データを更新します。

この場合、更新されるエリアは更新方法によって異なります。

知 識

- 更新方法により、通信にかかる実費などが別途必要です。（→ P.593）
- 差分更新の対象は、道路と道路に付随する案内情報、および立体ランドマーク相当の著名な施設に限定されます。コンビニなどの一般施設は更新されません。（→ P.595）
- 通信による自動更新のご利用には、G-BOOK mX Pro の契約が必要です。利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
  G-BOOK mX をご利用の場合、カーナビ通信料定額プランの契約および本機での設定により、自動更新が可能です。カーナビ通信料定額プランについては、ご利用の携帯電話事業者へお問い合わせください。

全更新について

最新版地図ソフトで全国の地図データをすべて更新します。

差分更新を継続して利用するためには、トヨタ販売店で最新版地図ソフトを購入いただき、更新していただく必要があります。

詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

知 識

- 全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

差分更新サービス期間と費用

サービス期間について

本機購入後、３年間サービスをご利用いただけます。
その後は、最新版地図ソフトを購入いただければ、購入日から２年間サービスをご利用いただけます。

更新にかかる費用について

サービス期間中は、差分更新時に次の費用がかかります。

更新方法		更新時の費用
通信で更新 ▶G-BOOK オンラインサービス利用時	携帯電話	通信にかかる実費
	通信モジュール（DCM） ▶通信モジュール（DCM）使用時	G-BOOK 基本利用料に含まれます
CD-R/DVD-R で更新		CD-R/DVD-R 代、パソコンの通信にかかる実費
地図更新 DVD を注文して更新		地図更新 DVD 代（→ P.600）

更新方法について

更新方法は次の方法があります。

通信で更新する（→ P.597、P.599）

▶G-BOOK オンラインサービス利用時

- Bluetooth 携帯電話または通信モジュール（DCM）を利用して更新します。
- 全国の高速道路・有料道路、主要国道および自宅周辺 80km 四方、目的地周辺 10km 四方の道路・施設情報を更新できます。
  - ・携帯電話で更新する場合、通信にかかる実費はお客様にご負担いただきます。
  - ・携帯電話で更新する場合、初回のみ CD-R/DVD-R での更新が必要です。ただし、「カーナビ通信料定額プラン」を「契約あり」と設定されている場合（→ P.624）、CD-R/DVD-R での更新は不要です。

3. マップオンデマンド（差分更新）

CD-R/DVD-R で更新する（→ P.600）

● ご希望の都道府県の地図データを、マップオンデマンドのダウンロードサイトからダウンロードし、CD-R/DVD-R 経由で本機のデータを更新します。

● この方法は G-BOOK オンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。
この場合、GAZOO 会員 ID とパスワード、および本機に同梱の「シリアル No.」または「G-BOOK 用車載端末 ID ラベル」が必要です。
詳しくは、マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）の使い方ガイドでご確認ください。

知 識

● CD-R/DVD-R 代、パソコンの通信にかかる実費はお客様にご負担いただきます。

■地図更新 DVD を注文して更新する（→ P.600）

● マップオンデマンド・サポートデスクに電話していただければ、地図更新 DVD を注文することができます。この地図更新 DVD を使用して更新します。

知 識

● この方法は G-BOOK オンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

マップオンデマンドに関するお問い合わせ

● 下記マップオンデマンド・サポートデスクにお電話にてお問い合わせください。
お問い合わせの際は、お手元に本機の型番（NHZA-W61G）と本機に同梱の「シリアル No.」または「G-BOOK 用車載端末 ID ラベル」をご用意ください。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561ー57ー6814
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

更新エリアと更新対象について

各更新方法の更新エリアおよび更新対象は、次のようになっています。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">地図データ</td><td colspan="3">更新エリア・更新対象</td></tr>
<tr><td colspan="2">マップオンデマンド（差分更新）</td><td rowspan="2">全更新</td></tr>
<tr><td>通信で更新</td><td>CD-R/DVD-R で更新</td></tr>
<tr><td rowspan="4">道路データ</td><td>高速道路・有料道路</td><td>全国</td><td rowspan="3">全国
（ご希望の都道府県を選択できます。）</td><td rowspan="4">すべて</td></tr>
<tr><td>主要国道</td><td>全国</td></tr>
<tr><td>一部国道、主要道、都道府県道、その他の道路、幅 5.5m 未満の道路</td><td>• 自宅周辺と目的地周辺
• 自宅周辺 80km 四方（幅 5.5m 未満の道路 10km 四方）
• 目的地周辺 10km 四方</td></tr>
<tr><td colspan="2">施設情報</td><td colspan="2">• 全国の高速道路・有料道路施設
• 立体 ランドマーク相当の著名な施設</td></tr>
<tr><td colspan="2">市街図、音声案内</td><td colspan="3">更新対象外</td></tr>
</table>

知 識

- 地図更新画面で確認することもできます。（→ P.596）
- マップオンデマンド（差分更新）により新たに追加された交差点などでは、ルート案内時、音声案内されない場合があります。

3. マップオンデマンド（差分更新）

地図更新画面を表示する

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

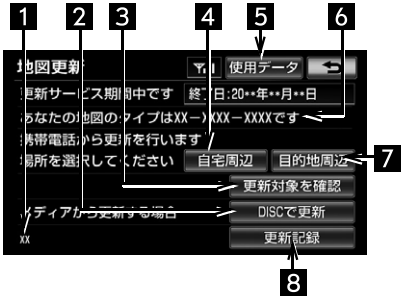
1 画面外の にタッチ。

2 **［地図更新］**にタッチ。

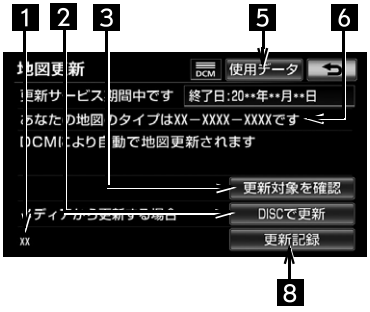


地図更新画面の使い方

▶G-BOOK mX モデルの場合



▶G-BOOK mX Pro モデルの場合



情報の確認

● 次の情報が確認できます。
- 更新サービス期間中かどうかと終了日
- 地図のタイプ
  ＊＊-＊＊＊＊-＊＊＊＊
  電話で地図更新 DVD を注文するときに、地図のタイプの情報が必要になることがあります。（→ P.600）
- 地図のバージョン
  ＊＊

各スイッチの使い方

項目 (スイッチ)		機能
1	ナビゲーション地図のバージョン	ナビゲーション地図のバージョンを示しています。
2	DISC で更新	CD-R/DVD-R、または地図更新 DVD で更新をする。
3	更新対象を確認	更新エリアと更新対象を確認する。
4	自宅周辺 ▶携帯電話使用時	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と自宅周辺の更新をする。 • 自宅を登録すると有効になります。
5	使用データ	使用データ画面を表示する。 • ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。 • 使用データ画面に表示される**［地図更新］**は、全更新時に使用します。

項目 (スイッチ)		機能
6	ナビゲーション地図のタイプ	ナビゲーション地図のタイプを示しています。 地図更新DVDをご注文の際などに必要になることがあります。
7	目的地周辺 ▶携帯電話使用時	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と目的地周辺の更新をする。 • 目的地を設定すると有効になります。
8	更新記録	最後に差分更新を実施した日を確認する。

地図更新中の操作について

地図更新中でも、エンジンスイッチやナビ、オーディオなどの操作をすることができます。

知 識

- 更新の途中でエンジンスイッチを OFF（LOCK）にしても、次回エンジンスイッチをACC または ON にすれば処理を再開します。
- 差分データをダウンロードまたはコピー中、および地図更新準備中に、ナビ、オーディオなどの操作を行っても地図の更新は継続されます。ただし、音楽 CD をハードディスクに録音している間は、地図更新の処理を中断します。この場合は、録音終了後、地図更新の処理を再開します。

携帯電話で更新する

▶G-BOOK mX 利用時

差分データがある場合に、手動で更新します。

初回は CD-R/DVD-R にて更新をする必要があります。（→ P.600）

「カーナビ通信料定額プラン」を「契約あり」と設定されている場合（→ P.624）、CD-R/DVD-R での更新は不要です。

画面外の → **地図更新** → 地図更新画面

または

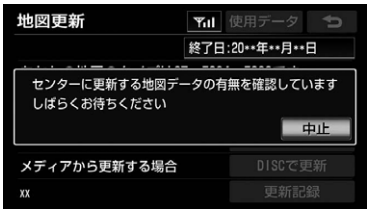
画面外の G・INFO → (G-BOOK) → **地図更新** → 地図更新画面

1 更新する場所を選択する。
[自宅周辺] または **[目的地周辺]** にタッチ。



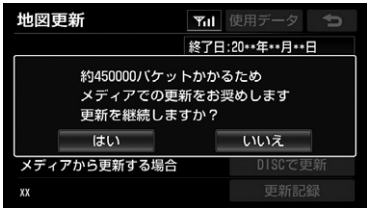
3. マップオンデマンド（差分更新）

2 G-BOOK センターに接続する。



- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 差分データ量が多いときはメッセージが表示される。
継続してよければ、**[はい]** にタッチ。



4 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

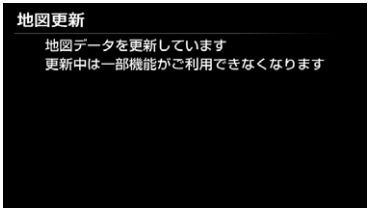


- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の **[地図更新]** にタッチ。



6 地図が更新される。



- 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

知識

- 差分データが本機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合は、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、自動で新しい地図に更新します。
- 地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、次回、オープニング画面の表示時間が長くなることがあります。
- 通信にかかる実費はお客様のご負担になります。
- データ量が多いときに表示される通信データ量は概算値になります。
  データ量が多い場合は、通信にかかる費用を節約するためにも、CD-R/DVD-R での更新をお勧めします。

● 次のいずれかにより前回のダウンロードを途中で中断した場合は、次回 **[自宅周辺]** または **[目的地周辺]** にタッチすると、続きのダウンロードを再開できます。
  - **[中止]** にタッチしたとき
  - 通信が中断したとき
  - エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしたとき
● 更新するデータ量によっては、更新準備完了に時間がかかる場合があります。途中でエンジンを切っても、地図の更新は継続されます。

通信モジュール（DCM）で更新する

▶G-BOOK mX Pro 利用時

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。

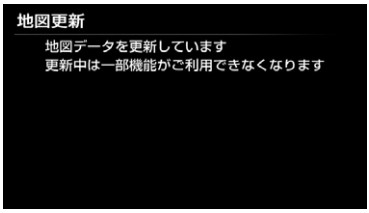
1 G-BOOK センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の **[地図更新]** にタッチ。



3 地図が更新される。



● 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

知 識

● 差分データが本機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合は、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、自動で新しい地図に更新します。
● 地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、次回、オープニング画面の表示時間が長くなることがあります。

CD-R/DVD-R で更新する

● 未更新の期間が長い場合はCD-R/DVD-Rでの更新をおすすめします。

知 識

● CD-R/DVD-R代やパソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担になります。
● G-BOOK オンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

インターネットからダウンロードして CD-R/DVD-R を用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）からデータをダウンロードする。

2 データをCD-R/DVD-Rにコピーする。

注 意

● CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。
● ダウンロードしたデータのファイル名および拡張子を変更しないでください。
変更すると地図更新できません。

知 識

● G-BOOK オンラインサービスを利用していない場合は、GAZOO 会員 ID とパスワード、本機の型番（NHZA-W61G）と本機に同梱の「シリアル No.」または「G-BOOK 用車載端末 ID ラベル」が必要です。
● 詳しくは、マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）の使い方ガイドでご確認ください。

電話で地図更新 DVD を注文する（有料）

マップオンデマンド・サポートデスクに電話して注文してください。
その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

● 地図更新 DVD は有料です。料金については、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
● 地図のタイプ ＊＊-＊＊＊＊-＊＊＊＊：
地図更新画面で確認できます。
（→ P.596）
● 本機の型番（NHZA-W61G）と本機に同梱の「シリアル No.」または「G-BOOK 用車載端末 ID ラベル」

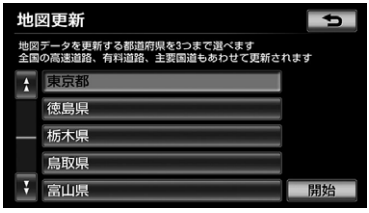
マップオンデマンド・サポートデスク
0561－57－6814
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

CD-R/DVD-R、地図更新 DVD で地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

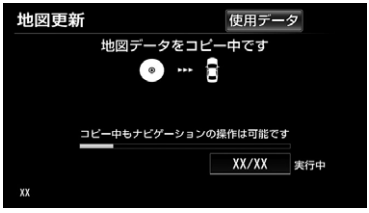
1 CD-R/DVD-R、または地図更新 DVD を本機に挿入する。

2 更新する都道府県を 3 つまで選択し、**[開始]** にタッチ。



- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

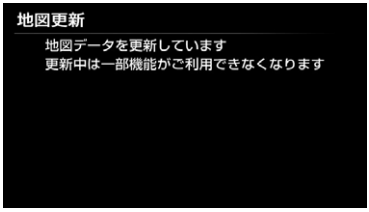


- コピーが完了したら、CD-R/DVD-R、または地図更新 DVD を取り出すことができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の **[地図更新]** にタッチ。



5 地図が更新される。



- 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

知識

- 差分データが本機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合は、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、自動で新しい地図に更新します。
- 地図更新の準備ができた後、地図画面の **[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、次回、オープニング画面の表示時間が長くなることがあります。

■本機にCD-R/DVD-R、地図更新DVDが挿入されているとき

4都道府県以上続けて更新したい場合など、CD-R/DVD-R、地図更新DVDが本機に挿入された状態から地図を更新するときは、次の手順で行います。

1 画面外の ⊂⊃ または G・INFO にタッチ。

- 画面外の G・INFO にタッチして情報画面やBTナビ画面が表示されたとき
  ➡ G-BOOK にタッチ。

2 **[地図更新]** にタッチ。

3 **[DISCで更新]** にタッチ。



- 以後の操作は、「CD-R/DVD-R、地図更新DVDで地図を更新する」（→ P.601）の **2** 以降と同様です。

知識

- 次の場合にCD-R/DVD-R、地図更新DVDで更新しようとすると、メッセージが表示されます。
  - 携帯電話で差分データをダウンロード中
  - 携帯電話でダウンロード途中の差分データがあるとき
- データのコピー終了後、**[地図更新]** にタッチしないでエンジンスイッチをOFF(LOCK) にした場合、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき、自動で新しい地図に更新します。

更新日を確認する

最後に差分更新を実施した日を確認できます。

画面外の ⊂⊃ → 地図更新 → 地図更新画面

または

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ 地図更新 → 地図更新画面

1 **[更新記録]** にタッチ。



知っておいていただきたいこと

携帯電話での更新について

地図更新に携帯電話を使用される場合は、次の点をご理解の上、ご利用ください。

- 初回は CD-R/DVD-R による更新が必要です。（→ P.600）
  ただし、「カーナビ通信料定額プラン」を「契約あり」と設定されている場合（→ P.624）、CD-R/DVD-R での更新は不要です。
- 接続時間は更新に必要な差分データ量により異なります。また、電波状況や携帯電話の通信速度によっても異なります。
- 通信料は更新に必要な差分データ量により異なります。未更新の期間が長い場合は、CD-R/DVD-R での更新をお勧めします。

地図更新にかかる時間の目安について

地図更新にかかる時間は、大きく分けて次の２つがあります。

■地図更新準備の時間

差分データをダウンロードまたはコピーし、地図更新準備をするまでの時間です。

更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。（お客様がご利用の地図データにより更新準備にかかる時間は異なります。）
定期的に更新することをお勧めします。

■地図更新をする時間

本機の地図データを書き換える時間です。

地図更新準備が完了後、現在地画面の **[地図更新]** にタッチしてから、10 ～ 20 秒程度で地図更新が完了します。ただし、差分データ量が多い場合は数分程度かかることがあります。

知 識

- 地図更新準備の間にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。
  とくに、音楽 CD をハードディスクに録音している間は、一時的に更新処理を停止し、録音終了後に処理を再開するため、その分時間がかかります。

■各道路の更新データ配信の目安について

- 高速道路は供用開始後、最短７日で配信します。
  ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集 / 整備状況によっては配信までに３カ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信されます。

■配信されないデータについて

差分更新では、音声案内データは配信されません。

交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが新規に変更された場合、固有の音声案内は出力されません。

故障とお考えになる前に

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「−」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	▶通信モジュール（DCM）使用時 お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	故障ではありませんのでそのままご利用ください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	画面外の → **[地図更新]** の順にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

4. ドライブプラン

ドライブプランを利用する

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、簡単な操作で経由地および目的地が設定できます。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **［ドライブプラン］**にタッチ。



2 設定したいドライブプランにタッチ。

3 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
  なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次の手順でも利用できます。
  ・My リクエスト（→ P.548）
  ・G で設定（→ P.556）

5. G-Security

▶G-BOOK mX Pro 利用時

G-Security について

G-Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Security のご利用に際して

G-Security を利用するには、次の機器の装着が必要です。

(1)車載機

(2)通信モジュール（DCM）

(3)G-BOOK 対応オートアラーム：
アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Pro に申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知（→ P.609）

▶G-BOOK 対応オートアラーム装着車

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知（→ P.610）

エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。

■車両の位置追跡（→ P.610）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→ P.610）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知 識

- G-Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
  また、E メールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- G-BOOK利用契約を解除した場合、Eメールによる通知は送信されません。連絡先に変更があった場合、変更手続を行ってください。（→ P.626）

初期設定を確認・変更する

アラーム通知※、エンジン始動通知の設定の確認・変更について説明します。

※ G-BOOK 対応オートアラーム装着車のみ

通知設定の一覧

* 初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	設定中 *	解除中
	E メール	設定中 *	解除中
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中 *

設定中 : 通知します
解除中 : 通知されません

知 識

- E　メールアドレスの登録がない場合は、E メールでの通知はされません。サポートアドレスの登録はナビ画面で行えます。（→ P.626）

解除中→設定中へ切り替える

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 **[メインメニュー]** にタッチ。



2 **[セキュリティ]** にタッチ。



3 設定したい項目にタッチ。



- 設定の説明画面が表示されるとき
  ➡ 内容を確認し、**[確認]** にタッチ。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中へ切り替える

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 ［メインメニュー］にタッチ。



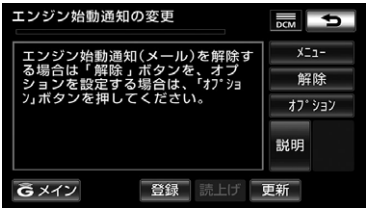
2 ［セキュリティ］にタッチ。



3 解除したい項目にタッチ。



4 エンジン始動通知を解除するとき
➡ ［解除］にタッチ。



- アラーム通知を解除するとき
  ➡ 手順 **5** へ

5 G暗証番号またはパスワードを入力する。

- G 暗証番号を登録しているとき
  ➡ G 暗証番号表示窓スイッチにタッチ。
- G 暗証番号を登録していないとき
  ➡ パスワード表示窓スイッチにタッチ。

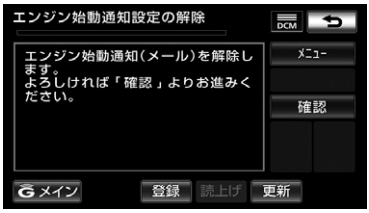


- ソフトウェアキーボードで入力します。

6 ［解除］にタッチ。



7 **[確認]** にタッチ。



- 設定が解除中にかわり、通知設定が切り替わります。

知 識

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

オートアラーム作動を通知する

▶G-BOOK 対応オートアラーム装着車
ドアのこじ開けなどのオートアラーム作動を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるＥメールアドレスや電話番号に通知します。

- アラーム通知の設定･解除を行うことができます。(→ P.607)

- 車外に出た後、ドア・トランクまたはバックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

- バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-BOOK 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動を通知する

エンジン始動を検知し、ご指定の E メールアドレスに通知します。
お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておけば第三者によるエンジン始動がわかります。

● エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.607）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、エンジンスイッチが OFF（LOCK）になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。（初回の通知から 24 時間経過後、自動解除されます。）

車両の位置を追跡する

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

- ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

警備員を派遣する

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

- ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

6. G ルート探索（プローブ情報付）

G ルート探索をする（プローブ情報付）

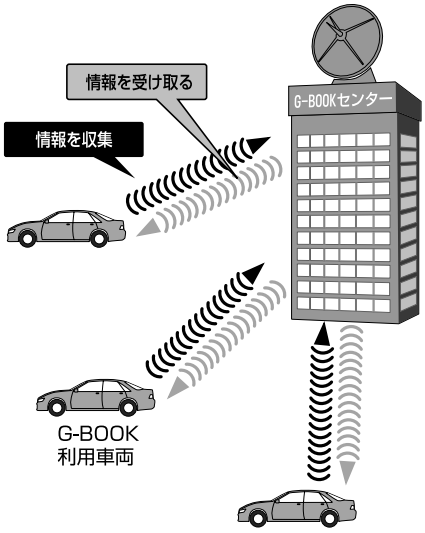
G-BOOK センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

知識

- オペレーターに依頼したナビの目的地設定も、G ルート探索による案内ができます。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索を実行してもルートが変わりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

プローブコミュニケーション交通情報とは

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK 利用車両の走行情報を G-BOOK センターで集約し、G-BOOK 利用車両に配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOK 利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。



G ルート探索の利用方法

G ルート探索の取得方法には、自動取得と手動取得の２種類の設定があります。

ご利用のサービスにより、初期設定が異なります。

- 初期設定
  - G-BOOK mX Pro：自動取得
  - G-BOOK mX：手動取得

取得設定（自動／手動）を切り替える

Gルート探索の取得方法(自動／手動)はナビ詳細設定画面で切り替えることができます。（→ P.166）

画面外の → ナビ詳細設定 → ルート系設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[プローブ交通情報自動取得]** にタッチ。



2 **[する]** にタッチ。

- 手動取得（自動取得を解除）にするとき
  ➡ **[しない]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。

- G-BOOK mX で自動取得する場合、G-BOOK センターへ接続するときの確認メッセージを表示する／しないを設定することができます。（→ P.625）

G ルート探索を自動で取得する

Gルート探索の取得を自動に設定すると、次のタイミングで自動的に G ルート探索情報を取得できます。

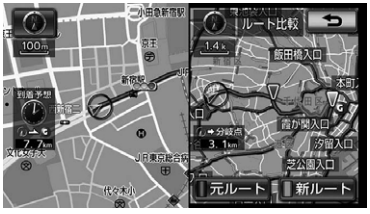
- ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
- JCT 手前や高速道路にはいる手前

全ルート図表示画面（→ P.115）

1 ルート案内が始まると自動的に G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。

2 Gルート探索でルートが変更になった場合、画面と音声でお知らせします。

3 新旧ルートを表示します。



目的地設定時に手動で取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面で、G ルート探索を取得できます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で **[G ルート]** にタッチ。



- G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 通常のルート探索をしたルートにもどすとき
  ➡ **[元ルート]** にタッチ。
- G ルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、**[元ルート]** にタッチしたあとに **[G ルート]** にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。

知 識

- G ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に、手動で G ルート探索を取得することができます。

現在地画面表示中

1 **[再探索]** にタッチ。



2 **[G ルート探索]** にタッチ。



- G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- G ルート探索情報の取得を中止するとき
  ➡ **[取得中止]** にタッチ。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

7. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。

▶渋滞予測情報画面



● 渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
▶赤色	渋滞	渋滞の区間を示しています。
▶橙色	混雑	混雑の区間を示しています。
▶黒色	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
▶灰色	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

● 都市間高速道路
● 都市高速道路
● 主な有料道路
● 一部の一般道路
・ 松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

* 情報提供路線は随時更新されます。

渋滞予測情報を表示する

画面外の G・INFO →（ 情報 ）→ 情報画面

1 **[高速渋滞予測]** にタッチ。



2 G-BOOKセンターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するとき

  ➡ **[切断]**（携帯電話使用時）または **[中止]**（通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

知 識

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→ P.564）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-BOOK センターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかにタッチ。

[+]：渋滞予測時間を進める

[−]：渋滞予測時間をもどす

[現在]：現在の渋滞状況を表示する

知 識

- G-BOOK センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、G-BOOK センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

7. 渋滞予測

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

画面外の G・INFO **→（** 情報 **）→** 高速渋滞予測 **→** 渋滞予測画面

1 **［渋滞増減予測表示］**にタッチ。



作動表示灯

- アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないとき
  ➡ 再度 **［渋滞増減予測表示］**にタッチ。

2 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。



- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知 識

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 **[広域]** または **[詳細]** にタッチ。



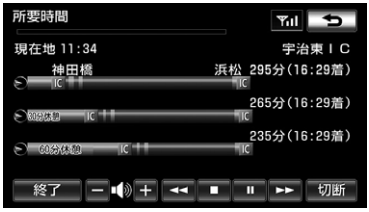
- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。
  - ・もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（→ P.128）で設定した車速から計算されます。
    そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

▶区間所要時間予測表示



画面外の G・INFO **→（** 情報 **）→** 高速渋滞予測 **→** 渋滞予測画面

1 **[所要時間]** にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

2 区間所要時間予測表示を解除するときは、**[終了]** または **[⮌]** にタッチ。

知識

- 出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

8. 周辺情報

周辺情報について

目的地やルート周辺の気象情報など、ドライブに役立つ情報を音声読み上げや地図上のアイコンで案内します。

案内する情報について

次の情報を案内します。
- 目的地到着予想時刻頃の天気
  （情報が更新された場合、変更情報を表示）
- ルート周辺および目的地付近のゲリラ雷雨、強風・豪雨情報

※ 目的地までの直線距離が 50km 以下の場合、表示・案内はありません。

提供する情報は、随時追加します。

最新の情報は G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）などでお知らせします。

周辺情報を設定する

ご利用の際は、あらかじめ取得したい情報を設定してください。

画面外の G・INFO **→（** G-BOOK **）→** メインメニュー **→** G-BOOK.com **→** G-BOOK.com 画面

1 **[周辺情報]** にタッチ。



2 **[メニュー]** にタッチ。



3 取得したい情報を選択する。

周辺情報を取得する

1 目的地画面から目的地を設定する。（→ P.111）

2 **[案内開始]** にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、情報を取得します。
- 取得した情報は、音声で案内、または地図上にアイコンで表示します。

知 識

- 情報は案内開始時、一定距離走行毎、目的地に接近時に G-BOOK センターにアクセスし、更新します。

9. ETC 割引情報

ETC 割引情報を表示する

本機に表示されている通常料金をもとに、各種割引情報（平日・休日・特別）の一覧を表示することができます。

全ルート図表示中（→ P.115）

1 **[割引情報]** にタッチ。



2 平日割引情報が表示される。



※ 画面は表示例です。実際の画面とは異なります。

- 休日割引情報を表示したいとき
  ➡ **[休日]** にタッチ。
- 特別割引情報を表示したいとき
  ➡ **[特別]** にタッチ。

スイッチ	機能
平日	平日（月曜～金曜、除く祝祭日）割引を一覧表示
休日	休日（土曜～日曜、祝祭日）割引を一覧表示
特別	特別に設定された期間の割引を一覧表示

- 各画面で **[詳細]** にタッチすると、適用条件などの詳細を表示します。

知 識

- ルートが複数の路線にまたがっている場合、割引率が同じ路線はまとめて表示されます。
- 割引情報の更新は割引適用日まで、または各道路管理者による割引情報開示日から 9 営業日までに行います。割引適用日までに情報を更新できない場合がありますので、最新情報は各道路管理者のホームページ等をご確認ください。

10. G- 駐車場

G- 駐車場について

現在地や目的地付近の駐車場情報を提供します。満空情報を表示できるほか、車両のサイズや形状、こだわり条件を登録しておくと、ご希望の駐車場情報を検索することができます。

駐車場情報を表示する

画面外の G・INFO →（G-BOOK）→ メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 **[駐車場]** にタッチ。



2 希望の検索条件にタッチ。



● こだわり検索ではあらかじめ、条件の設定が必要です。
次の条件を３つまで設定できます。
- 満車空車の情報あり
- 空車優先
- 24 時間営業
- 立体駐車場除く
- 機械式除く
- 障害者用スペースあり
- 領収書発行可能

3 駐車場の情報をG情報マークで表示します。



マーク	内容
	満車（赤）
	混雑（橙）
	空車（青）
	満空情報なし（灰）
	車両制限の可能性あり
	休止中

● G　情報マークの表示／非表示を設定できます。（→ P.567）

知 識

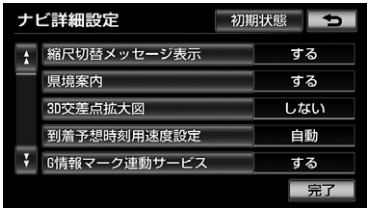
● G- 駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

近接案内

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近付くと最新の満空情報に自動で更新されます。
設定はナビ詳細設定画面から行います。(→ P.164)

画面外の → ナビ詳細設定 → 案内表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 **[G情報マーク連動サービス]**にタッチ。



2 **[する]**にタッチ。

- 解除するとき ➡ **[しない]**にタッチ。

3 **[完了]**にタッチ。

11. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

HDD オーディオでは、音楽 CD から内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。

ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。

- データベースの検索について

➡「タイトル情報を再取得する」（→ P.293）

アルバム修正画面（→ P.291）

1 **[G で検索]** にタッチ。



2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知 識

- 該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. G-BOOK 詳細設定

通信設定を変更する

▶携帯電話使用時
携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。

画面外の → G-BOOK →
設定・編集画面

1 **[通信設定]** にタッチ。



2 各項目を設定する。



項目	ページ
使用する携帯電話の通信設定をする	P.623
カーナビ通信料定額プランの設定をする	P.624
通信接続時の確認	P.625
自動通信の設定	P.626

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

⚠注 意

- **[完了]** にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  - ・エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする。
  - ・エンジンをかけなおす。

知 識

- 通信設定画面の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。

使用する携帯電話の通信設定を変更する

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の通信設定を確認してください。
(1)携帯電話を初めて接続するとき
(2)バッテリーの接続が断たれたとき
(3)使用する携帯電話を変更したとき

画面外の → G-BOOK →
通信設定 → 通信設定画面

1. G-BOOK 詳細設定

1 使用する携帯電話の通信事業者を選択する。



項目	機能
au※1	au のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
docomo※2	docomo のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank※3	SoftBank のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

※1 au は KDDI 株式会社の商標または登録商標です。

※2 docomoは株式会社NTT ドコモの商標です。

※3 SoftBank はソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

知 識

- 通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOK オンラインサービスを利用できません。

カーナビ通信料定額プランの設定をする

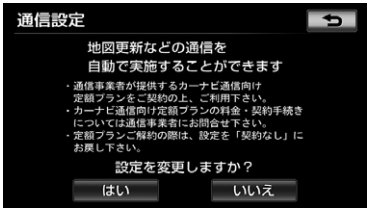
G-BOOK mX 利用時、カーナビ通信料定額プランを設定すると、マップオンデマンドは自動更新となります。

画面外の → G-BOOK → 通信設定 → 通信設定画面

1 **[カーナビ通信料定額プラン]** にタッチ。

2 **[契約あり]** にタッチ。

3 表示されている内容を確認し、設定を変更する場合は **[はい]** にタッチ。



- 変更しないとき
  ➡ **[いいえ]** にタッチ。

4 暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

知 識

● カーナビ向け通信が定額になる料金プラン※にご加入の場合、地図更新を自動で行う設定が可能です。
※カーナビ通信料定額プラン
・au：カーナビ用料金オプション
・Softbank：カーナビプラン
・ドコモには 2011 年 5 月現在カーナビ通信料定額プランはありません。
最新の情報は各通信事業者にお問い合わせください。

通信接続時の確認メッセージを表示する

携帯電話で G-BOOK センターへ接続するときに、確認のメッセージを表示させることができます。

画面外の → G-BOOK → 通信設定 → 通信設定画面

1 **[通信接続時の確認]** にタッチ。

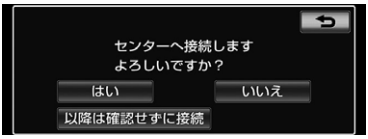
2 **[する]** にタッチ。



● 解除するとき
➡ **[しない]** にタッチ。

知 識

● 接続確認画面で **[以降は確認せずに接続]** にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。
このとき、通信接続時の確認は「しない」に設定されます。
再度表示したいときは、通信接続時の確認を「する」に設定してください。



● 通信接続時の確認を「しない」に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。

携帯電話による自動通信の設定をする

エンジン始動時に G-BOOK センターへ自動で接続し、G-BOOK センターからのお知らせや新着メールなどの有無を確認できます。

画面外の → G-BOOK → 通信設定 → 通信設定画面

1 **[自動通信]** にタッチ。

2 **[する]** にタッチ。

● 解除するとき
➡ **[しない]** にタッチ。

知 識

- 電話機接続 (→ P.517) で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。
- 自動通信の設定を「しない」に設定しても、プローブ交通情報自動取得の設定 (→ P.612) により自動で通信する場合があります。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Security やロードアシスト 24 などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

G-BOOK 利用申込書に記入または Web 登録で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

画面外の G・INFO → (G-BOOK) → メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 **[サポートアドレスの登録・変更]** にタッチ。



※表示されているメニューは一例です。
この画面に表示されていないときは **[ユーザー]** にタッチし、ユーザーページにて操作してください。

2 表示される電話番号を確認した後、**[メール]** にタッチ。

- 電話番号を変更するときは、変更する電話番号にタッチし、入力します。

3 E メールアドレスを確認する。

- E メールアドレスを変更するとき
  ➡ 変更するEメールアドレスにタッチし、入力する。

知 識

- サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でも行えます。

携帯電話を追加する

▶G-BOOK mX 利用時
利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。

携帯電話を追加する場合
↓
携帯電話を登録する→ P.482
↓
使用する携帯電話の通信設定をする（au ／ docomo ／ SoftBank）→ P.623
↓
ヘルプネットの「手動保守点検」を実施する → P.580

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-BOOK オンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

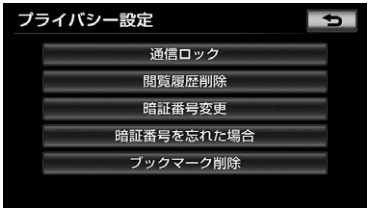
○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
マップオンデマンド（地図更新）		×（携帯電話または通信モジュール（DCM）で更新するとき）
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
オペレーターサービス		×
CD タイトル情報取得		×
G-BOOK と ナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点	○（保存済みデータのみ）
	ドライブプラン	×
	G で設定	×
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）

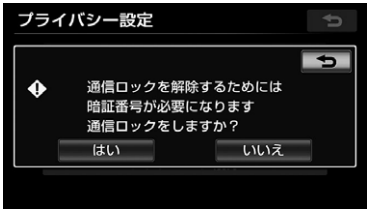
ロックする

画面外の → G-BOOK →
プライバシー設定 →
プライバシー設定画面

1 **[通信ロック]** にタッチ。



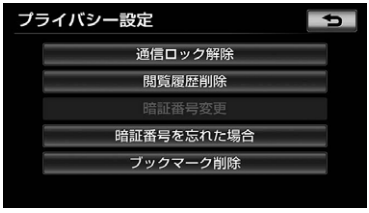
2 **[はい]** にタッチ。



解除する

画面外の → G-BOOK →
プライバシー設定 →
プライバシー設定画面

1 **[通信ロック解除]** にタッチ。



2 暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。

知 識

- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」(→ P.630) をご覧ください。

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ P.628）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

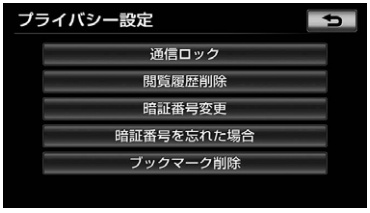
⚠注 意

[完了] にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。

- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする。
- エンジンをかけなおす。

画面外の → G-BOOK → プライバシー設定 → プライバシー設定画面

1 **[暗証番号変更]** にタッチ。



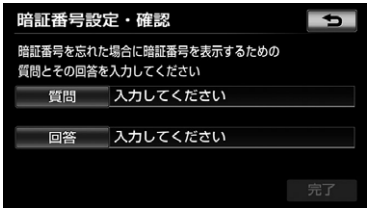
2 現在の暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡ 設定してある暗証番号を入力する。
- 間違えたとき
  ➡ **[修正]** にタッチ。
- 暗証番号を忘れたとき
  ➡「暗証番号を忘れた場合」（→ P.631）

3 新しく設定したい暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、**[完了]** にタッチ。

5 **[質問]**、**[回答]** にタッチして、それぞれ入力する。



- ソフトウェアキーボードで入力します。



6 **[完了]** にタッチ。

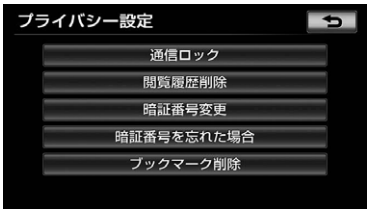
知 識

- 暗証番号は　4　桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。
  （→ P.631）
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。
- 暗証番号を変更するときも、同様の操作で行うことができます。

暗証番号を忘れた場合

画面外の → G-BOOK →
プライバシー設定 →
プライバシー設定画面

1 **[暗証番号を忘れた場合]** にタッチ。



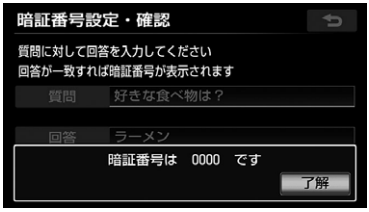
2 **[回答]** にタッチ。

3 回答を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

4 **[完了]** にタッチ。

5 暗証番号を確認したら、**[了解]** にタッチ。



2. プライバシー設定

設定・編集画面を表示する

G-BOOK オンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 画面外の にタッチ。

2 G-BOOK にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。



項目	ページ
通信設定※	P.623
My リクエスト編集	P.553
プライバシー設定	P.632

※携帯電話接続時のみ設定することができます。

プライバシー設定を変更する

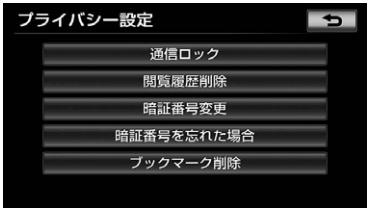
プライバシーに関する各種設定をすることができます。

画面外の → G-BOOK → 設定・編集画面

1 **[プライバシー設定]** にタッチ。



2 各項目を設定する。



項目	ページ
通信ロックを使う	P.628
暗証番号を変更する	P.630
暗証番号を確認する	P.631

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

3. 契約内容・契約者情報の確認・変更

契約内容・契約者情報の確認・変更

登録内容や契約者情報の確認・変更、G 暗証番号の変更などを行えます。

画面外の G・INFO →（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー → ユーザー画面



この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機　能
1	会員情報／利用契約変更・解約スイッチ	登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。
2	サポートアドレスの登録・変更スイッチ	サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
3	コンテンツ購入履歴／解約スイッチ	契約している有料コンテンツの確認や解約ができます。
4	ドライブプランのデータコピースイッチ	他の G-BOOK や GAZOO ID で登録しているドライブプランや G メモリをコピーできます。
5	お車を手放す際にスイッチ	利用契約を解約することができます。
6	お車の情報スイッチ	車両登録番号の変更ができます。

1. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

メッセージ	原　因	処　置
G-BOOK の利用手続きを行ってください（所要時間：約５～１０分）	G-BOOK mX Pro に申し込んだが、車載機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ **[開始する]** にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ **[あとで]** にタッチ。
ヘルプネットのサービス開始操作を行ってください（所要時間：約2分）	ヘルプネットのサービス開始操作※が実施されていない。	サービス開始操作※の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ **[開始する]** にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ **[あとで]** にタッチ。
G-BOOK の利用手続きが必要です 情報・G・BT ナビのメインメニューの　G-BOOK.com から手続きできます	G-BOOK オンラインサービスの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 （→ P.535）
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定できます	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。（→ P.517）
携帯電話の通信設定が必要です 設定・編集の G-BOOK から設定できます	使用する携帯電話の通信設定がされていない。	使用する携帯電話の通信設定を行ってください。（→ P.623）
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の電話から設定できます	Bluetooth の設定がされていない。	Bluetooth の設定を行ってください。（→ P.516）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
緊急通報中です G-BOOK サービスをご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 • 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作して下さい	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または **[切断]** にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の G-BOOK のプライバシー設定で削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。
携帯電話が接続されていません 保守点検はできません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。(「携帯電話を接続する」(→ P.484)
これ以上Gメモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要なGメモリ地点情報を削除して下さい	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点を削除してください。(→ P.146)
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の **[忘れた場合]** にタッチして確認してください。

1. こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	①携帯電話について、次の点を確認してください。 • 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 • 携帯電話単体で正常動作するか。 • 携帯電話の異常でないか。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ②携帯電話と Bluetooth 接続ができているか確認してください。 ③他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPS を受信して下さい	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認下さい	• 携帯電話が Bluetooth 接続されていない。 • 携帯電話に異常がある。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） • 携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 • 携帯電話と Bluetooth 接続されているか。 • 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 • 携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	• サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。 • 通信設定に誤りがある。	①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ②使用する携帯電話の通信設定を確認してください。（→ P.623）

ご参考に

1 参考情報

1. アフターサービスについて..... 638
保証について 638

2. バッテリーの交換について..... 640
バッテリー交換をする前に..... 640
バッテリーを交換した後に..... 641

3. お手入れについて 642
車載機のお手入れ 642
アンテナのお手入れ 642

4. VICS情報有料放送
サービス契約約款..... 643

5. スピーカー一覧 645

6. 仕様について 647
車載機の仕様について 647

2 さくいん

1. 50音さくいん..... 652

2. アルファベットさくいん..... 670

1. アフターサービスについて

保証について

1） 保証の内容

トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

（以下、この無償修理を保証修理といいます。）

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2） 保証の期間、受け方

① 保証の期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し 3 か年間とします。

ただし、その期間内でも走行距離が 60,000km までとします。

② 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3） 保証しない事項

① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

・ トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など

・ 取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災

② 次に示すものの費用は負担いたしません。

消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）

商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4） 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5） その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

この HDD ナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

知 識

- アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. バッテリーの交換について

バッテリー交換をする前に

お車から車載機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、車載機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
地上デジタルテレビ放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
HDD オーディオデータ	プレイリストデータや音楽データ
	録音の設定
Gracenote メディアデータベース更新データ	バージョンアップしたデータ
	バージョンアップ履歴
プローブ情報	アップロード条件ファイル
セキュリティ	パスワードの設定
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信 / 着信履歴	記憶された発信 / 着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
バックガイドモニター※	バックガイドモニターの設定

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択したとき。（→ P.421）

知 識

● 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。

バッテリーを交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチを ACC または ON にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

次のように画面がかわります。



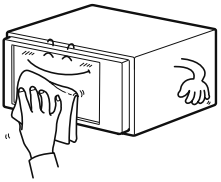
知識

● セキュリティを設定している場合（→ P.52）は、表示される画面は異なります。

3. お手入れについて

車載機のお手入れ

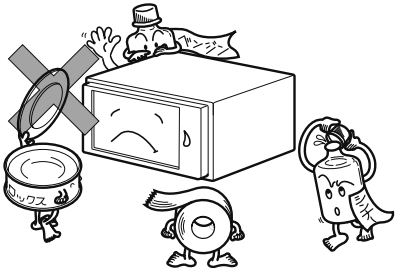
汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください

- 化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



- 変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条

1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サー ビス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表 視聴料金]

視聴料金　300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2013 年 11 月 1 日変更時のものを掲載しています。

5. スピーカー一覧

2011年4月現在

車種	年式（H：平成）	スピーカーサイズ（cm）
iQ	H20/11 ～現在	16
アイシス	H16/9 ～現在	16
アリオン	H22/4 ～現在	16
アルファード	H20/5 ～現在	6 × 9 インチ
アルファード G	H14/5 ～現在	16
ist	H14/5 ～現在	16
WISH	H21/4 ～現在	16
ヴァンガード	H22/2 ～現在	16
ヴィッツ	H17/1 ～現在	16
ヴェルファイア	H20/5 ～現在	6 × 9 インチ
ヴォクシー	H22/4 ～現在	16
エスティマ	H18/1 ～現在	16
エスティマハイブリッド	H18/6 ～現在	16
FJ クルーザー	H22/11 ～現在	6 × 9 インチ
オーリス	H21/10 ～現在	16
カムリ	H18/1 ～現在	6 × 9 インチ
カローラアクシオ	H18/10 ～現在	16
カローラフィールダー	H18/10 ～現在	16
カローラ ルミオン	H21/12 ～現在	16
クラウンセダン	H13/8 ～現在	14
クラウン ロイヤル / クラウン アスリート	H20/2 ～現在	16
サクシード	H14/7 ～現在	10
シエンタ	H15/10 ～現在	16
タウンエース バン / ライトエース バン	H20/2 ～現在	16
タウンエース トラック / ライトエース トラック	H20/2 ～現在	16
ノア	H22/4 ～現在	16
ハイエース	H16/8 ～現在	16
パッソ	H16/5 ～現在	10
パッソセッテ	H20/12 ～現在	16
bB	H17/12 ～現在	16
プリウス	H21/6 ～現在	6 × 9 インチ

5. スピーカー一覧

車種	年式（H：平成）	スピーカーサイズ（cm）
プリウス α	H23/5 ～現在	6 × 9 インチ
ブレイド	H21/12 ～現在	16
プレミオ	H22/4 ～現在	16
プロボックス	H14/7 ～現在	10
ベルタ	H17/11 ～現在	16
ポルテ	H16/7 ～現在	16
マーク X	H21/10 ～現在	6 × 9 インチ
マーク X ジオ	H19/9 ～現在	6 × 9 インチ
ラウム	H15/5 ～現在	16
ラクティス	H17/10 ～現在	16
Rush	H18/1 ～現在	16
RAV4	H17/11 ～現在	16
ランドクルーザー	H19/9 ～現在	6 × 9 インチ
ランドクルーザープラド	H21/8 ～現在	6 × 9 インチ
レジアスエース	H16/8 ～現在	16

知 識

- スピーカー一覧はラジオレス車のスピーカーサイズを掲載しています。車種、年式、グレードなどご不明な点は販売店にお問い合わせください。
- 上記のスピーカー一覧から設定しても、お車の使用状況やお客様の好みにより必ずしも最適な音質にならない場合があります。

6. 仕様について

車載機の仕様について

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が車載機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ～ 62 チャンネル
液晶パネル	7 型ワイド（16:9）低反射パネル
画面寸法	幅 158.6mm・高さ 84.3mm・対角 179.6mm
画素数	1,152,000 個（800（H）× 480（V）× 3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	LED バックライト
動作温度範囲	-20 ℃～ +65 ℃
保存温度範囲	-40 ℃～ +85 ℃

■ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM…522 ～ 1,629kHz
	FM…76 ～ 90MHz
実用感度	AM…34dBμ 以下 (S/N20dB)
	FM…14dBμ 以下 (S/N30dB)
ステレオセパレーション	25dB 以上

■CD 部

残留歪み	0.3% 以下
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	65dB 以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB 以上

6. 仕様について

■SD メモリーカード部

残留歪み	0.3%以下
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	65dB 以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB 以上

■DVD 部

音声歪み率	0.3%以下
音声周波数特性	100 ～ 19,997Hz 0 ± 3dB
音声信号対雑音比	65dB 以上（1kHz:0dB [JIS-A]）
映像信号対雑音比	58dB 以上（White 50%）

■共通部

定格出力	25W × 4（4Ω、1kHz、10%THD 以下）
最大出力	40W × 4（試験電圧 14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
消費電流	1W × 4 出力時…約 5A 最大…約 15A
外形寸法	横幅 205.5mm・高さ 104mm・奥行 161.5mm
質量（重量）	約 3.35kg

■HDD（ハードディスクドライブ部）

容量	100GB
使用温度範囲	- 20 ℃ ～ + 65 ℃

■バックガイドモニター ★

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素数
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 1.41mm
	F 値	1：2.4
	画角（水平、垂直）	135°、105°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.7lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		- 30 ℃ ～ + 70 ℃
保存温度範囲		- 40 ℃ ～ + 85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 23mm × 20mm × 24mm
質量（重量）		約 25g（ケーブル除く）

■マルチビューバックガイドモニター ★

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 0.82mm
	F 値	1：2.4
	画角（水平、垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.7lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		150mA（最大）
使用温度範囲		- 30 ℃ ～ + 70 ℃
保存温度範囲		- 40 ℃ ～ + 85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 23mm × 20mm × 24mm
質量（重量）		約 25g（ケーブル除く）

★印はオプションです。

6. 仕様について

■マルチアングル全周囲モニター ★

【フロントカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 27mm × 22mm × 24mm
質量		約 30ｇ（ケーブル除く）

【サイドカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 7.0V
消費電流	LED OFF 時	100mA（最大）
	LED ON 時	200mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 37mm × 37mm × 24mm
質量		約 36ｇ（ケーブル含む）

★印はオプションです。

【バックカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 27mm × 22mm × 24mm
質量		約 30 g（ケーブル除く）

1. 50 音さくいん

あ

ITS スポットサービス（DSRC）.....470
iPod.....329
　iPod について.....335
　アルバムの中からランダムに聞く.....334
　同じ曲（トラック）を
　　繰り返し聞く.....334
　画質を調整する.....336
　カバーアート表示の設定を
　　変更する.....336
　画面モードを切り替える.....337
　再生したいファイルを選ぶ.....332
　再生する.....331
　全アルバムの中から
　　ランダムに聞く.....334
　早送り、早戻しする.....333
　ビデオ音声入力の設定を変更する.....336
　プレイモードを選ぶ.....332
アフターサービス.....638
アラーム通知.....609
暗証番号の変更.....630
暗証番号を忘れた場合.....631
安全・快適走行設定.....168
案内道路情報（ルート情報）.....118
案内表示設定.....164

い

EWS（緊急警報放送）.....315
ETC 画面の使い方.....465
　ETC 画面の表示.....465
　ETC の設定（通知設定）.....467
　ETC マーク表示.....466
　エラーコードの表示.....466
　登録情報の表示.....467
　履歴表示.....466
　割込表示.....465
ETC システム.....461
ETC 割引情報.....619
イコライザーの設定.....230
緯度経度の表示.....63
EPG（電子番組表）.....308
一時停止案内.....78
インターチェンジの指定・解除.....137

う

迂回メモリ地点の修正.....147
迂回メモリ地点の消去.....148
迂回メモリ地点の登録.....147

え

エアコン切替表示の設定を変更する.....45
HDD オーディオ.....275
　概要.....275
　データベースについて.....275
　データベースのバージョンを
　　確認する.....278
　データベースを更新する.....278

HDD オーディオの再生 282
アルバムの中からランダムに聞く 286
同じアルバムを繰り返し聞く 286
聞きたいアルバムを選ぶ 283
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 285
再生する 283
全アルバムの中から
ランダムに聞く 286
早送り、早戻し 285
HDD オーディオの編集する 287
アルバム情報の編集 291
アーティスト名修正 292
アーティスト読み修正 292
アルバムタイトル、
アルバム読み修正 291
アルバムの削除 294
HDD 詳細情報の表示 296
曲（トラック）の削除 295
ジャンルの修正 293
タイトル情報の再取得 293
トラックタイトル、
トラック読み修正 293
マイベストの削除 290
マイベストの編集 288
曲の削除 290
曲の追加 289
曲の並べ替え 290
名称の修正 288
HDD オーディオの録音 279
HDD 空き容量を確認する 296
録音する 279
曲を選んで録音する 279
自動で録音する 279
録音の設定を変更する 280
録音を中止する 280
エコ機能 174
エコ運転評価 177
エコ情報の表示 177
エコトライアル機能 179
エコドライブインフォメーション 181
燃費の計算 172
エネルギーモニターの表示 182
区間燃費の表示 178
ルート案内時の燃費設定 176
SD メモリーカードについて .....27、271
同じ曲（ファイル）を
繰り返し聞く 273
同じプレイリストを繰り返し聞く 273
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 272
再生する 272
再生を一時停止する 272
セキュア AAC/
セキュア MP3 について 274
全プレイリストの中から
ランダムに聞く 274
出し入れ 23
早送り、早戻し 273
プレイリストの中から
ランダムに聞く 273
プレイリストを切り替える 272

1. 50 音さくいん

MP3 243
MP3 について 247
同じフォルダを繰り返し聞く 246
繰り返し聞く 245
再生する 244
再生を一時停止する 244
全フォルダの中から ランダムに聞く 246
早送り、早戻し 245
ファイルを選ぶ 245
フォルダの中からランダムに聞く 246
フォルダを選ぶ 244
メディアの出し入れ 23
エラーコードについて（ETC） 468
エラーコードの確認方法 466
統一エラーコード一覧 468
エリアスイッチ 239
エンジン始動通知 610

お

応答保留 498
お車を手放すとき ..... 480、544
お手入れ
アンテナのお手入れ 642
車載機のお手入れ 642
オーディオ＆ビジュアル 219
iPod 329
HDD オーディオ 287
SD オーディオ 271
DVD プレーヤー 240
MP3/WMA 243
音楽 CD 240
DVD 251
デジタルテレビ 297
Bluetooth オーディオ 341
USB メモリ 322
ラジオ 236
オーディオ操作画面 224
オーディオ操作スイッチ 15
オーディオ電源 224
音の到達時間の補正（TIME CORRECTION） 229
オペレーターサービス 588
オペレーターサービス専用電話番号 590
オペレーターサービスの購入 589
オープニング画の設定 48
カスタムへの画像の登録 48
音質調整 225
音声案内について ..... 62、122
音声設定 165
音声の設定 90
音声操作画面 371
音声操作システム 369
音声多重放送 313
音声認識（音声操作システム） 369
音声認識コマンド一覧 383

音声認識中止機能 373
音声認識発信 496
音量設定
　ナビゲーション 90
　バックガイドモニター 415
　ハンズフリー 503
音量調整 224
音量調整スイッチ 15
音量バランスの調整（FAD/BAL） 230

か

ガイド画面
　バックガイドモニター 396
ガイド方法
　バックガイドモニター 397
解約手続き 543
各種手続き 541
画質・設定スイッチ 15
画質の調整 41
学校存在案内 82
カメラ
　バックガイドモニター 395
　バックモニター 429
　サイドモニター 436
　ブラインドコーナーモニター 436
　マルチアングル全周囲モニター 445
　マルチビュー
　　バックガイドモニター 422
画面切り替え時の動画表現 86
画面の調整・設定 41
画面モードについて 43
画面モードの切り替え
　iPod 337
　DTV 315
　DVD 259
　VTR 339
画面を消す 42
簡易画面 501

き

機器アドレス
　オーディオ ..... 356、358
　ハンズフリー ..... 518、520
機器名称
　オーディオ ..... 356、358
　ハンズフリー ..... 518、520
季節規制区間の迂回ルート探索 140
季節規制区間の表示 84
逆走注意案内 81
居住地域の設定（デジタルテレビ） 317
距離の補正 159
緊急警報放送（EWS） 315
緊急情報 210
緊急通報 576

く

QUICK SETUP 50
区間所要時間予測表示 617
Gracenote メディアデータベース 275

1. 50 音さくいん

け

継続方法を変更する.....541
携帯電話で地図を呼び出す 105
携帯電話の接続.....484
　自動接続 484
　手動接続 485
携帯電話の登録.....482
携帯電話本体から発信.....497
携帯連携 216
　携帯電話への情報の送信 216
　車載機への情報の送信 217
警備員の派遣 610
県境案内 86
現在地スイッチ..... 15
現在地の修正 159
現在地の表示 63

こ

交差点案内 124
　交差点拡大図表示.....125
　ターンリスト図表示.....127
　レーンリスト図表示.....124
交差点拡大図表示
　拡大図表示の解除.....126
　交差点拡大図.....125
　3D 交差点拡大図表示.....126
　立体的な拡大図表示.....126
　連続車線変更案内.....126
後席ディスプレイ 360
後席ディスプレイの設定.....233
高速道路・都市高速道路表示.....87
　高速分岐案内 89
　ハイウェイモード 87
高速分岐案内画面の表示・解除 89
交通情報放送 239
交通・ナビ関連情報の表示.....391
故障とお考えになる前に
　G-BOOK..... 587、604
　デジタルテレビ 321
　ナビゲーション 187
個人情報の初期化 46
ご当地グルメ施設の案内.....86
コマンド（音声認識コマンド）.....384
コマンドリスト 371
5 ルートの詳細情報 120
5 ルート表示.....119
コンテンツデータから
　地図を呼び出す 102
こんなメッセージが表示されたときは
　G-BOOK.....634
　デジタルテレビ 320
　ナビゲーション 185

さ

サイドモニター 436
細街路案内 123
作動条件 14
サポートアドレス 626
残距離表示 60
残距離表示の切り替え 131
サンプリング周波数
MP3/WMA ..... 247、248
SD オーディオ 274
USB メモリ 327

し

G・INFO スイッチ 15
CSE・BASS の設定 228
G 情報マーク表示 566
G-Security（G セキュリティ） 606
アラーム通知 609
エンジン始動通知 610
警備員の派遣 610
車両の位置追跡 610
初期設定の確認・変更 607
G 駐車場 620
CD 240
曲を選ぶ 241
繰り返し聞く 242
再生する 241
再生を一時停止する 241
使用できるディスク 25
出し入れ 23
早送り、早戻し 242
ランダムに聞く 242
CD タイトル情報取得 622
G で設定 556
G-BLOG 557
G メモリ 557
G メモリ一括ダウンロード 558
ドライブプラン 556
GPS について 183
GPS ボイスナビゲーション 55
地図について 191
地図の操作 63
地点の登録 142
VICS・交通情報 197
目的地案内 110
G-BOOK mX ／ mX Pro 531
G-BOOK.com 546
G-BOOK オンラインサービス 523
オペレーターサービス 588
各種手続き 541
CD タイトル情報取得 622
G-Security 606
ヘルプネット 570
My リクエスト 548
マップオンデマンド（地図差分更新） 592
メインメニュー 546
G-BOOK 画面 545
G-BOOK サポートセンター ..... 543、544
G-BOOK の設定・編集 632
G-BLOG 557
G メモリ 557
G メモリ一括ダウンロード 558
G メモリ地点 554

1. 50 音さくいん

G ルート探索（プローブ情報付）.....611
市街図表示・解除..... 72
事故多発地点案内..... 80
自車マーク 60
自車マークの切り替え..... 72
システム初期化中画面
　バックガイドモニター 420
シーズンレジャー
　ランドマークの表示..... 85
施設記号表示の消去..... 75
施設記号の表示..... 74
　設定・編集画面から
　　施設記号を表示する 75
　地図画面から施設記号を表示する..... 74
施設情報表示 566
施設で地図を呼び出す 100
施設内容の表示.....107
自宅の登録・解除.....143
自宅を目的地に設定.....113
視聴制限 .....262、269
自動音量切替 90
自動再探索 132
自動通信の設定.....626
自動通知
　（メンテナンス案内）の設定 172
自動電話機接続.....521
自動表示切替設定.....164
自動表示設定（サイドモニター）.....437
自動保守点検 579
車庫入れ
　バックガイドモニター 397
車載機..... 15
車載機の設定..... 44
　エアコン切替表示の設定を変更する.... 45
　オープニング画面の設定..... 48
　テーマカラーを変更する..... 45
　個人情報を初期化する..... 46
　操作画面継続表示の設定を
　　変更する..... 44
　地図表示を切り替える..... 45
車載機の Bluetooth 設定変更
　オーディオ 358
　ハンズフリー 520
車種の設定.....232
車速設定（平均車速の設定）..... 128
車両情報の設定 129
車両の位置追跡 610
ジャンルで地図を呼び出す 104
周辺施設走行中呼出ジャンルの変更 77
周辺情報.....618
住所で地図を呼び出す..... 100
渋滞・規制音声案内 201
渋滞考慮探索 206
渋滞考慮探索設定
　渋滞考慮探索 206
　新旧ルート比較表示.....207
　プローブ交通情報自動取得 612
渋滞増減予測表示 616
渋滞予測.....614
渋滞予測時間の変更 615
渋滞予測情報.....614
手動保守点検.....580
縦列駐車
　バックガイドモニター.....398

受信レベル表示
G-BOOK....530
ハンズフリー....478
受話音量....499
仕様....647
使用する携帯電話の設定....623
情報確認....591
情報画面....390
新旧ルート比較表示....207

す

スイッチの表示....64
スイッチ表示設定....64
スケール表示....194
ステアリングスイッチ....17
オーディオの操作....17
音楽 CD・MP3/WMA・HDD オーディオ・iPod ミュージック・Bluetooth オーディオの操作....18
SD オーディオ・USB メモリの操作....18
DVD・iPod ビデオの操作....19
ラジオ・デジタルテレビの操作....18
音量調整....17
モードの切り替え....17
スライドタッチ操作....20
スライドタッチ操作の設定....21
3D 交差点拡大図表示....126
3D 表示・解除....67
地図の回転....68
見下ろす角度の調整....68

せ

精度について....188
セキュリティの設定....52
作動インジケータを点滅させる....53
セキュリティのロックを解除する....53
セキュリティを作動させる....52
セキュリティを停止する....53
設定・編集（ETC）
通知設定....467
設定・編集（運転支援）
安全・快適走行設定....168
設定・編集（オーディオ）
オーディオプレーヤー切り替え....354
サウンドライブラリ編集....287
CD 録音設定....280
Bluetooth オーディオ設定....350
設定・編集（G-BOOK）
通信詳細設定....623
プライバシー設定....632
My リクエスト編集....548
設定・編集（電話）
音量設定....503
電話機接続....517
電話詳細設定....518
電話帳編集....504
Bluetooth 設定....516
設定・編集（ナビ）
案内中止／案内再開....121
音量設定....90
地図更新....596
ナビ詳細設定....163
メモリ地点登録編集....145、146
ルート変更....134

1. 50 音さくいん

設定・編集（メンテナンス）
　項目設定 169
　販売店設定 172
設備マーク表示 88
全ルート図表示 ..... 115、131

そ

走行軌跡の表示・消去 84
操作画面継続表示の設定 44
その他（ナビ詳細設定） 167
ソフトウェアキーボード 30
　各スイッチの使い方 30
ソフトウェアキーボードの設定 35
　単語の編集 35
　定型文の修正 36
　入力履歴の削除 37
　予測変換候補の表示設定 37

た

タイトル情報の再取得 293
タイムスタンプ 198
ダイヤル画面 491
ダイヤル発信 487
WMA 243
　同じフォルダを繰り返し聞く 246
　繰り返し聞く 245
　再生する 244
　再生を一時停止する 244
　全フォルダの中から
　　ランダムに聞く 246
　WMA について 247
　ディスクの出し入れ 23
　早送り、早戻し 242
　ファイルを選ぶ 245
　フォルダの中からランダムに聞く 246
　フォルダを選ぶ 244
単語の編集 35
探索条件の変更 134
ターンリスト図表示・解除 127

ち

地域番号
　（リージョンコード） ..... 267、269
近くの施設の検索 75
　ルートを考慮したリストの表示 76
地上デジタルテレビ 297
地図／オーディオ表示 71
地図／地図／エコ情報表示 71
地図記号・表示 194
地図更新画面 596
地図差分更新 592
地図縮尺の切り替え 66
地図データについて 191
地図データの情報を見る 192
地図データベースについて 193
地図について 191
地図の移動 65

地図の縮尺スケール表示 194
地図の操作 63
地図の表示 63
地図の表示色の切り替え 72
地図の文字サイズの変更 68
地図の呼び出し方法 91
　携帯電話 105
　コンテンツデータ 102
　施設 100
　ジャンル 104
　住所 100
　電話番号 101
　マップコード 105
　名称 96
　履歴 106
地図表示画面の設定 74
地図表示設定 163
地図向きの切り替え 67
地点の登録 142
着信音量 503
着信拒否する 498
着信中の操作 498
着信割り込み表示 513
駐車
　バックガイドモニター 395
　バックモニター 429
　マルチアングル全周囲モニター 445
　マルチビュー
　　バックガイドモニター 422

つ

通過道路指定の解除 140
通過道路の指定 138
通過道路の修正 139
通信機器の選択 517
通信接続時の確認メッセージ 625
通信設定 623
通信中マーク 529
通信ロック 628
通話中の操作 490
通話転送 500

て

テーマカラーの変更 45
DSRC 安全運転支援案内 82
　合流支援情報提供 83
　前方障害物情報提供 82
DTS 270
DVD ビデオ・DVD-VR 251
　アングルの切り替え 257
　一時停止する 254
　音声の切り替え 256
　音声モードの切り替え 258
　画面モードの切り替え 259
　再生する 253
　再生モードの切り替え 258
　再生中の操作について 266
　字幕の切り替え 257
　使用できるディスク 25

1. 50 音さくいん

初期設定 259
オートスタートの設定 262
音声言語の設定 260
言語コードの入力 263
視聴制限レベルの設定 262
字幕言語の設定 260
設定の初期化 265
ソフトメニュー言語の設定 261
マルチアングルマーク表示の設定 261
スロー再生する 255
静止画の切り替え 255
DVD ビデオについて 266
停止する 254
ディスクの指定位置に戻る 258
ディスクの出し入れ 23
早送り、早戻し 255
見たい場所を選ぶ 255
メニュー画面の操作 256
提携駐車場の検索 108
定型文の修正 36
ディスプレイ開警告ブザー 25
出入口 IC の指定・解除 137
デジタルテレビ 297
アンテナインジケータについて 298
EPG（電子番組表）を見る 308
映像を切り替える 312
音声多重放送のモード切り替え 313
音声を切り替える 313
画面モードの切り替え 315
緊急警報放送（EWS）について 315
字幕を切り替える 314
初回起動時の設定 301
初期設定 315
居住地域の設定 317
メールの閲覧 318
文字スーパーの設定 314
地上デジタルテレビを見る 303
チャンネルを選ぶ 304
データ放送を見る 310
データ放送を操作する 310
テレビ放送の受信方法を設定する 306
番組を選ぶ 304
プリセットモードを切り替える 305
放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 307
miniB-CAS カードの情報を見る 318
miniB-CAS カードの出し入れ 300
miniB-CAS カードの動作確認をする 319
miniB-CAS について 299
文字スーパーを切り替える 314

ディスプレイの角度を調整する 40
デモンストレーション（デモ） 121
電子番組表（EPG） 308
電源を入れる・切る 22
電池残量表示
　オーディオ 342
　ハンズフリー 478
電話機詳細情報表示 518
電話（ハンズフリー） 471
　ダイヤル画面 491
　電話を受ける 489
　電話をかける ..... 487、491
　電話を切る 488
　電話を保留する 498
電話機接続 517
電話詳細設定 513
電話帳 504
　電話帳データの削除 509
　電話帳データの修正 508
　電話帳データの新規追加 507
　電話帳データの転送 505
　電話帳の編集 504
電話帳発信 492
電話帳編集 504
電話番号で地図を呼び出す 101
電話を受ける 489
電話をかける ..... 487、491
　音声認識発信 496
　携帯電話本体から発信 497
　ダイヤル発信 487
　電話帳発信 492
　ナビ発信 496
　履歴発信 493
　ワンタッチ発信 495
電話を切る ..... 488、490

と

統一エラーコード一覧（ETC） 468
統一エラーコードの表示（ETC） 466
到着予想時刻表示
　G-BOOK 617
　ナビゲーション ..... 60、128
到着予想時刻表示の切り替え 131
道路形状案内 79
トーン 490
特別メモリ地点の登録・解除 144
ドライブプラン ..... 552、556、605
ドラッグ操作 20
ドルビーデジタル 269

1. 50 音さくいん

な

ナビゲーション画面の調整 41
ナビゲーション画面の見方 60
ナビ詳細設定 163
　案内表示設定 164
　音声設定 165
　自動表示切替設定 164
　その他 167
　地図表示設定 163
　ルート系設定 166
ナビ設定の記憶・消去 ..... 161、162
ナビ発信 496

に

2 画面表示・解除 69
　地図／エコ情報 71
　地図／オーディオ 71
　右画面の設定 69
入力履歴の削除 37

の

ノースアップ表示 67

は

ハイウェイモード表示・解除 ..... 87、88
パスキー
　オーディオ 358
　ハンズフリー 520
バックガイドモニター 395
バックモニター 429
HDD（ハードディスク）
　オーディオ 275
ハートフル音声 90
ハンズフリー 471
ハンズフリーの準備 482
ハンズフリーの設定 502
販売店の修正 173
販売店の消去 173
販売店の設定 172

ひ

BEEP 音通知 44
ビジュアルシティマップ表示 77
VICS・交通情報 197
　渋滞・規制音声案内 201
　渋滞考慮探索 206
　新旧ルート比較表示 207
　VICS 記号 215
　VICS・交通情報の表示設定 199
　VICS 図形情報・文字情報 202
　放送局の選択 208
　割込情報の表示・設定 ..... 202、205
昼画表示 41
ピンポイント検索 107

ふ

VTR....338
画質を調整する....340
画面モードを切り替える....339
再生する....339
VTR モードを切り替える....339
フェリー航路の案内....130
プライバシー設定....632
ブラウザ....561
自動読上げ....564
フリック操作....20
Bluetooth オーディオ....341
Bluetooth オーディオの再生
アルバムを選ぶ....347
アルバムの中からランダムに聞く....349
一時停止する....346
同じアルバムを繰り返し聞く....348
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く....348
曲を選ぶ....347
再生する....346
全アルバムの中からランダムに聞く....349
早送り、早戻しする....348
Bluetooth オーディオの設定
車載機の Bluetooth 設定を初期化する....359
車載機の Bluetooth 設定を変更する....358
ポータブルオーディオの詳細情報を表示する....356
ポータブルオーディオの接続....352
ポータブルオーディオの選択....354
ポータブルオーディオの登録....350
ポータブルオーディオの登録を削除する....359
Bluetooth 携帯電話....474
Bluetooth 接続確認表示
オーディオ....352
ハンズフリー....484
Bluetooth 接続状態表示
オーディオ....343
ハンズフリー....479
Bluetooth 設定....516
ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステム....436
プローブコミュニケーション交通情報....611

1. 50 音さくいん

へ

平均車速の設定（車速設定）.....128
並列駐車
　バックガイドモニター.....397
ヘディングアップ表示.....67
ヘルプネット.....570
　緊急通報.....576
　故障とお考えになる前に.....587
　サービス開始操作.....575
　自動保守点検.....579
　手動保守点検.....580
　利用登録の更新.....583

ほ

方位マーク.....60
補正が必要なとき.....159
ポータブルオーディオ詳細情報表示.....356
ポータブルオーディオの接続.....352
　自動接続.....352
　手動接続.....353
ポータブルオーディオの選択.....354
ポータブルオーディオの登録.....350
ポータブルオーディオの登録を
　削除する.....359

ま

マイク.....371、476、572
My リクエスト.....548
My リクエスト画面.....548
My リクエスト編集.....553
マップオンデマンド
（地図差分更新）.....592
　更新日の確認.....602
　故障とお考えになる前に.....604
　差分更新.....592
　CD-R/DVD-R で更新.....600
　全更新.....592
　地図更新画面.....596
　通信モジュール（DCM）で更新.....599
マップコード.....105
マップコードで地図を呼び出す.....105
マップマッチング.....59
マルチアングル.....269
マルチアングル全周囲モニター.....445
　回転表示モード.....449
　バックモード.....447
　フロントモード.....446
　マルチアングル
　　全周囲モニターの設定.....450
マルチビューバックガイドモニター.....422
　カメラの視点切替方法.....423
マルチランゲージ.....269

み

右画面の設定（2 画面表示時）
地図画面から設定する 69
設定・編集画面から設定する 70
miniB-CAS カード
miniB-CAS カードの情報を見る 318
miniB-CAS カードの動作確認をする 319
miniB-CAS カードの出し入れ 300
miniB-CAS について 299

め

名称で地図を呼び出す 96
メインメニュー 546
メディア 23
使用できるメディアについて 25
SD メモリーカード 27
CD、DVD 25
出し入れ 23
メモリ地点の修正 149
位置修正 151
グループの絞込み 153
グループの作成・編集 154
グループの削除 155
グループの指定 154
電話番号入力 152
特別メモリ地点に登録 144
特別メモリ地点の解除 145
マークの変更 149
名称入力 150
名称表示 150
名称読み入力 151
メモリ地点の消去 146
メモリ地点の登録 142
メモリ地点の取り込み・取り出し 156
メンテナンス機能 169
自動通知（メンテナンス案内）の設定 172
メンテナンス案内 170
メンテナンス時期の設定 169
メンテナンス設定の更新 ..... 171、172
メンテナンス設定の消去 ..... 171、172

も

モードの切り替え（オーディオ） 224
目的地案内 110
目的地案内の開始・中止 121
目的地スイッチ 15
目的地の消去 136
目的地の設定 111
目的地の追加 135
目的地の並び替え 135
目的地方向マーク 60
目的地履歴の消去 141
文字の表示範囲を変更する 39
文字入力
ソフトウェアキーボード 30
メモリ地点の名称入力 150
名称で地図を呼び出す 96

1. 50 音さくいん

ゆ

USB メモリー 322
MP3/WMA について 327
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 325
同じフォルダを繰り返し聞く 326
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 325
聞きたいフォルダ（アルバム）を選ぶ 324
再生する 324
全フォルダの中からランダムに聞く 326
早送り、早戻しする 325
フォルダの中からランダムに聞く 326
USB メモリーについて 327
ユーザー画面 633
EUPHONY 226
有料コンテンツ 542

よ

予測変換候補の表示設定 37
呼び出した地図の操作 107
夜画表示 41

ら

ライブコントラスト 42
ラジオ 236
エリアスイッチについて 239
交通情報放送を聞く 239
自動で放送局を記憶する 237
放送局を選ぶ 237
放送局を記憶する 237
ラジオを聞く 236
ラジオアンテナの設定 129

り

リージョンコード（地域番号） ..... 267、269
リスト画面の切り替え方 38
立体ランドマークの表示 77
リニア PCM 270
リダイヤル 510
立体的な拡大図表示 126
リモコンでの操作 360
利用開始操作 537
量子化ビット 270
利用手続き
G-BOOK 535
履歴で地図を呼び出す 106
履歴の削除
ソフトウェアキーボード 37
ハンズフリー 495
履歴発信 493

る

ルート学習 114
ルート学習結果の消去 114
ルート系設定 166
ルート情報（案内道路情報） 118
ルート探索 113
ルートの再探索 132
自動再探索 132

ルート変更.....134
季節規制区間の迂回ルート探索.....140
探索条件の変更.....134
通過道路指定の解除.....140
通過道路の指定.....138
通過道路の修正.....139
出入口 IC の指定・解除.....137
目的地の消去.....136
目的地の追加.....135
目的地の並び替え.....135
ルート変更画面の表示.....134
ルートを考慮したリストの表示.....76

れ

レーンリスト図表示・解除.....124
連続車線変更案内.....126

ろ

録音する.....279

わ

割込情報
（ビーコン即時案内）の表示.....202
ワンタッチスクロール（地図の移動）.....65
ワンタッチダイヤル.....495
ワンタッチダイヤルの削除.....510
ワンタッチダイヤルの登録.....510
ワンタッチ発信.....495

2. アルファベットさくいん

B

BEEP 音通知 44
Bluetooth オーディオ 341
Bluetooth 携帯電話 474

C

CD 240

D

DTS 270
DVD ビデオ 251
DVD-VR 251
DVD プレーヤー 240

E

EWS（緊急警報放送） 315
ETC システム 461
ETC 割引情報 619
EPG（電子番組表） 308

G

Gracenote メディアデータベース 275
G 情報マーク連動サービス 621
G 駐車場 620
GPS について 183
GPS ボイスナビゲーション 55
G-BOOK オンラインサービス 531
G-BOOK mX/mX Pro 531
G-BOOK.com 546
G-BLOG 557
G メモリ 557
G メモリー括ダウンロード 558
G メモリ地点 554
G ルート探索（プローブ情報付） 611

I

iPod 329
IC の指定・解除 137

M

miniB-CAS カード 299
miniB-CAS カード情報 318
MP3 243
My リクエスト 548

Q

QUICK SETUP 50

S

SD メモリーカード ..... 27、271

U

USB 322
USB メモリ 324

V

VICS・交通情報 197
VTR 338

W

WEB 検索 559
WMA 243

MEMO

MEMO

HDDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
アイシン・エィ・ダブリュ株式会社

●印刷　C−2012年1月11日　●発行−2012年1月26日
99400-00419B